

320-89



機關科力學教科書

商船學校

明治
44.11.9
丙寅

目 次

第 壹 章

Particle ノ Kinematics.

	頁
1. Speed	1
2. Speed ノ 變化	2
3. Speed ノ Curve	2
4. Speed ノ 變スル割合一様ナル運動	5
5. Displacement	6
6. Displacements ノ 組合	6
7. Displacement ノ 分解	8
8. Vector	8
9. Velocity... ..	10
10. Velocities ノ 組合及ヒ Velocity ノ 分解	10
11. Relative Velocity	13
12. Velocity ノ 變化... ..	16
13. Acceleration... ..	16
14. Hodograph	16
15. 一様ナル speed ナ以テ圓運動ヲナセル點ノ受クル acceleration	18
16. Acceleration ノ 組合及分解	19
17. Tangential Acceleration 及ヒ Normal Acceleration	19
18. Angular Displacement	20
19. Angular Velocity... ..	21
20. Angular Acceleration	22

2	目	次
21.	平面上ヲ輾轉スル圓板ノ周上ノ點ノ速度	23
22.	鉛直ニ抛ケラレタル物體ノ運動	24
23.	拋物體ノ運動	25
24.	摩擦無キ斜面ヲ降ル物體ノ運動	29
25.	Simple Harmonic Motion	32
26.	Simple Pendulum	36

第 貳 章

運動ノ定律, 萬有引力

27.	Newton ノ第一運動定律	39
28.	Impulse 及ヒ Momentum	39
29.	Newton ノ第二運動定律	39
30.	Impulsive Force	40
31.	Newton ノ第三運動定律	40
32.	Universal Gravitation ニ關スル Law	41
33.	Mass ト Weight	42
34.	力ノ單位	43

第 參 章

力ノ組合及ヒ分解

35.	Transmissibility ノ Principle	45
36.	一點ニ働ケルニ力ノ合力	45
37.	一力ヲ作用線ノ交ハレルニ力ニ分ツコト	46
38.	作用線同一ナル衆力ノ組合	47
39.	作用線カ互ニ直角ニ交ハレル三力ノ組合	47
40.	一力ヲ作用線カ互ニ直角ニ交ハレル三力ニ分解スルコト	48

	目	次	3
41.	同一平面上ニ於テ作用線カ一點ニ會セル衆力ノ組合	48	
42.	點ニ關スル力ノ Moment	50	
43.	Varignon's Theorem	51	
44.	力ノ直線ニ關スル Moment	52	
45.	Couple	53	
46.	一力ヲ他ノ一力ト一ツノ Couple トニテ置き換フルコト	54	
47.	二個ノ平行力ノ組合	55	
48.	同一平面上ニアル數多ノ平行力ノ組合	58	
49.	同一平面上ニアリテ一點ニ會セサル且平行ナラサル諸力ノ組合	60	
50.	同一平面上ニアラサル平行力ノ組合	62	
51.	同一平面上ニアラサル一點ニ會セサル, 且平行ナラサル諸力ノ組合	63	

第 四 章

重 心

52.	平行力ノ Centroid	65
53.	Centre of Gravity	67
54.	平面ニ關スル Weight ノ Moment	68
55.	部分ノ移動ニヨル全部重心ノ移動	70
56.	Zero Moment ノ平面	70
57.	三角形ノ Centroid	71
58.	一直線上ニアラサル三點ニ置カレタル相等シキ重錘ノ重心	71
59.	平行四邊形ノ重心	72
60.	四邊形ノ重心	72
61.	梯形ノ重心	73
62.	三角錐ノ重心	76
63.	三角錐ノ角點ニ置カレタル四箇ノ相等シキ重量ノ重心	78

4	目	次
64.	任意ノ底面ノ錐體ノ重心	78
65.	圓ノ弧ノ重心	79
66.	圓ノSector及ヒSegmentノ重心	81
67.	二個ノ平面ニテ截リ離サレタル球面ノ部分ノ重心	83
68.	球ノSector及ヒSegmentノ重心	84
69.	Funicular Polygonヲ用非テ重心ヲ求ムルコト	85

第五章

力ノ釣合ノ條件

70.	一直線上ニアル諸力ノ釣合	87
71.	同一平面上ニアリテ一點ニ會セル諸力ノ釣合	87
72.	同一平面上ニアル平行力ノ釣合	89
73.	同一平面上ニアラサル平行力ノ釣合	90
74.	同一平面上ニアリテ、一點ニ會セサル、且平行ナラサル諸力ノ釣合	90
75.	三力ノ釣合	92
76.	問題 I.	93
77.	問題 II.	95
78.	問題 III.	97
79.	重力ノ作用ヲ受ケテ静止セル物體ノ釣合	99
80.	釣合ノ安定、不安定、及ヒ中性	101

第六章

綱ニ於ケル張力

81.	Cordニ於ケル張力	103
82.	Cordヲ一定ノ位置ニ保ツ爲ニ各結合點ニ加フヘキ重量	103
83.	Lordヲ保持スルCordノ位置	104

目	次	5
84.	Lordsノ作用線間ノ距離等シキ場合ノcordノ位置、但シ各 loadsハ相等シ	105
85.	兩端ニテ支ヘラレタル heavy flexible cord	106

第七章

摩擦

86.	摩擦	107
87.	Journal Friction	113
88.	Rolling Friction	115

第八章

簡單ナル機械

89.	簡單ナル機械	117
90.	槓杆	118
91.	Wheel and Axle	120
92.	滑車	120
93.	數多ノ滑車ノ組合	121
94.	Chinese Windlass	124
95.	Weston's Differential Tackle	125
96.	斜面	125
97.	楔	126
98.	螺旋	127

第九章

Moment of Inertia.

99.	Moment of Inertia	129
-----	-------------------	-----

100.	Radius of Gyration	129
101.	Moment of Inertia に関スル定理 I.	130
102.	Moment of Inertia に関スル定理 II.	131
103.	Moment of Inertia に関スル定理 III.	132
104.	直線ノ Moment of Inertia	134
105.	矩形ノ Moment of Inertia	136
106.	圓形ニ曲ケラレタル針金ノ Moment of Inertia	137
107.	圓板ノ Moment of Inertia	138
108.	球殻ノ Moment of Inertia	139
109.	球體ノ Moment of Inertia	139

第拾章

剛體ノ運動

110.	Centre of Mass	143
111.	Rigid Bodies	144
112.	質點群ニ働ケル諸力	144
113.	D'Alembert's Principle	145
114.	Rigid Body ノ Translation	145
115.	Translation ナサセル剛體ニ働ケル Effective Forces ノ合力	146
116.	Rotation	147
117.	Plane Motion	148
118.	Instantaneous Rotation	150
119.	Centripetal Force ト Centrifugal Force	152
120.	Momentum ノ Moment	155
121.	Rotation ニ付テ Equation of Motion	156
122.	Compound Pendulum	158
123.	Ballistic Pendulum, 及ヒ Centre of Percussion	160

第拾壹章

Work 及ヒ Energy.

124.	Work	163
125.	Work ノ單位	164
126.	Power	165
127.	Work ノ Diagram	165
128.	數多ノ物體ヲ引キ揚ケル場合ノ Work	166
129.	廻轉ニ於ケル Work	167
130.	Energy	167
131.	Kinetic Energy	168
132.	Potential Energy	171
133.	Conservative Forces	172
134.	Work ト Kinetic Energy	173
135.	Conservative System ニ付 Work ト Kinetic Energy	174
136.	Energy ノ Conservation	175
137.	機械ニヨリ移サル、Energy	175
138.	Efficiency	176

第拾貳章

衝突

139.	彈性體衝突ニ付 Newton ノ法則	177
140.	固定表面ヘ球ノ衝突	178
141.	同一直線上ヲ動キツ、アルニ球ノ衝突	179
142.	ニ球カ斜ニ衝突セル場合	180
143.	衝突ニ基ク Kinetic Energy ノ損失	182
144.	彈性體衝突時間中ニ於ケル作用	183

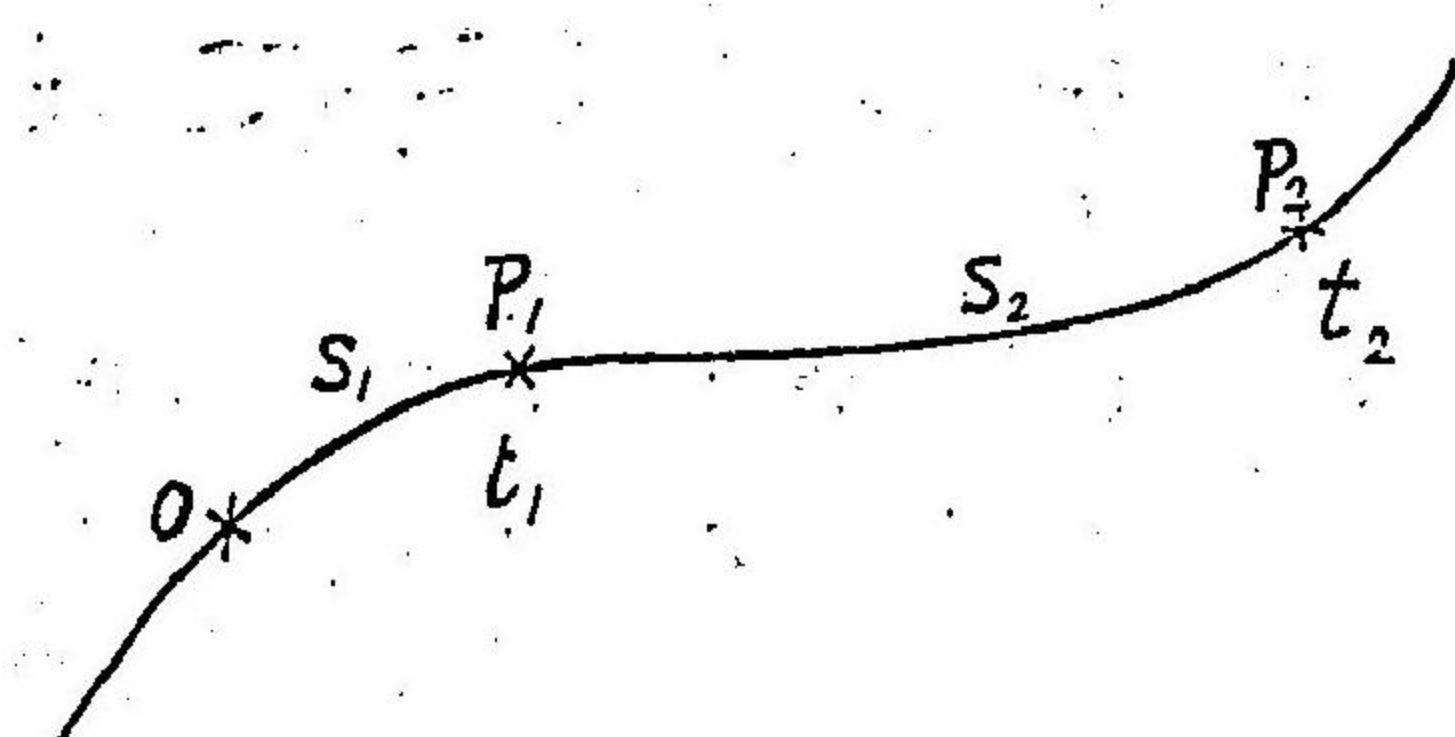
力 學

第 壹 章

Particle 之 Kinematics.

1. Speed

或時間ニ於ケル運動點 P ノ mean speed トハ、其時間ニ P 點ノ經過セル路程ヲ其時間ニテ除セシモノナリ、時ノ初ニ動點 P ハ O 點ニアリ、 t_1 ナル時ニ P_1 ニ至リ、 t_2 ナル



時ニ P_2 ニ至レリトス、道ニ沿ヒテ測リタル O ヨリ P_1 ニ至ル路程ヲ s_1 トシ、O ヨリ P_2 ニ至ル路程ヲ s_2 トス、長サノ單位ヲ foot トシ、時ノ單位ヲ second トスレバ、 t_1 ヨリ t_2 ニ至ル間ノ動點ノ mean speed ハ次式ニテ與ヘラル。

$$v = \frac{s_2 - s_1}{t_2 - t_1} \text{ feet per second.}$$

道ノ上ノ或一點 P_1 ニ於ケル speed, 又ハ或瞬時 t_1 ニ於ケル speed トハ上式ニ於テ $t_2 - t_1$ カ微小トナレル極限ニ於ケル値ナリ, speed 一樣ナル運動ニ於テハ mean speed ト, 任意ノ時ニ於ケル instantaneous speed トハ其値同一ナリ.

speed ノ單位ハ單位時間ニ單位ノ長サノ割合ニテ動ク點ノ speed ナリ, 長サノ單位ガ foot, 時ノ單位ガ second ナレバ幾何 feet per second ト呼ブ, 長サノ單位ガ centimetre, 時ノ單位ガ second ナレバ幾何 centimetres per second ト稱ス.

2. Speed ノ變化.

v_1 及 v_2 ヲ夫々 t_1 及 t_2 ニ於ケル動點 P ノ speed トセバ, t_1 ヨリ t_2 迄ノ時間ニ speed ノ變化ノ割合ハ平均

$$a = \frac{v_2 - v_1}{t_2 - t_1} \text{ feet per second per second.}$$

ナリ, t_2 ト t_1 トノ差ガ微小トナレル極限ニ於テ上式ノ値ハ其瞬時ニ於ケル speed ノ變スル割合ヲ與フルモノナリ.

speed ノ變スル割合ヲ呼ブニ幾何 feet per second per second 又ハ幾何 centimetres per second per second 等ト云フ.

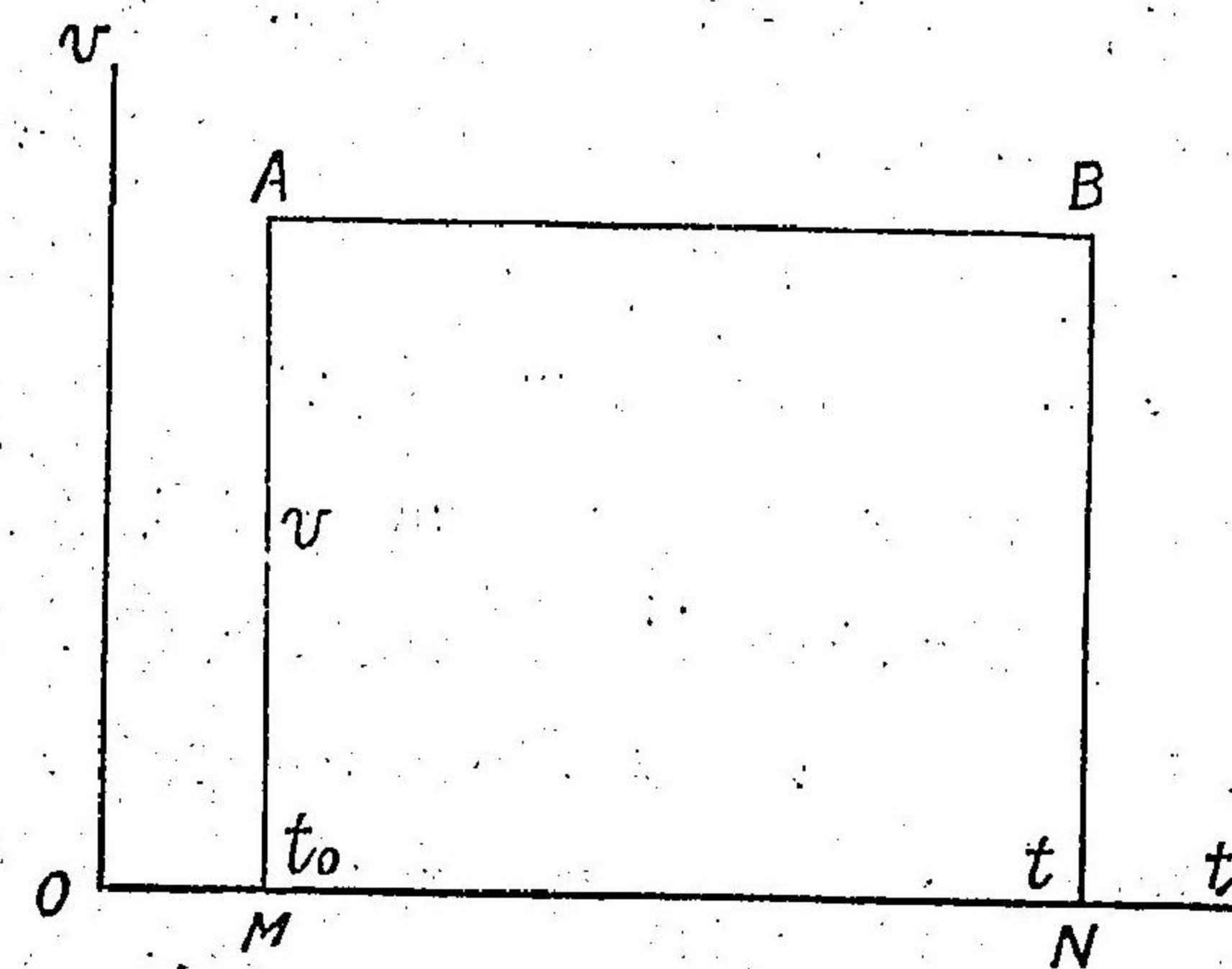
3. Speed ノ curve.

Speed v ト, 時 t トヲ坐標トシテ畫ケル curve ヲ speed ノ curve ト云フ.

Speed 一樣ナル場合ニ speed ノ curve ハ t 軸ニ平行ナ

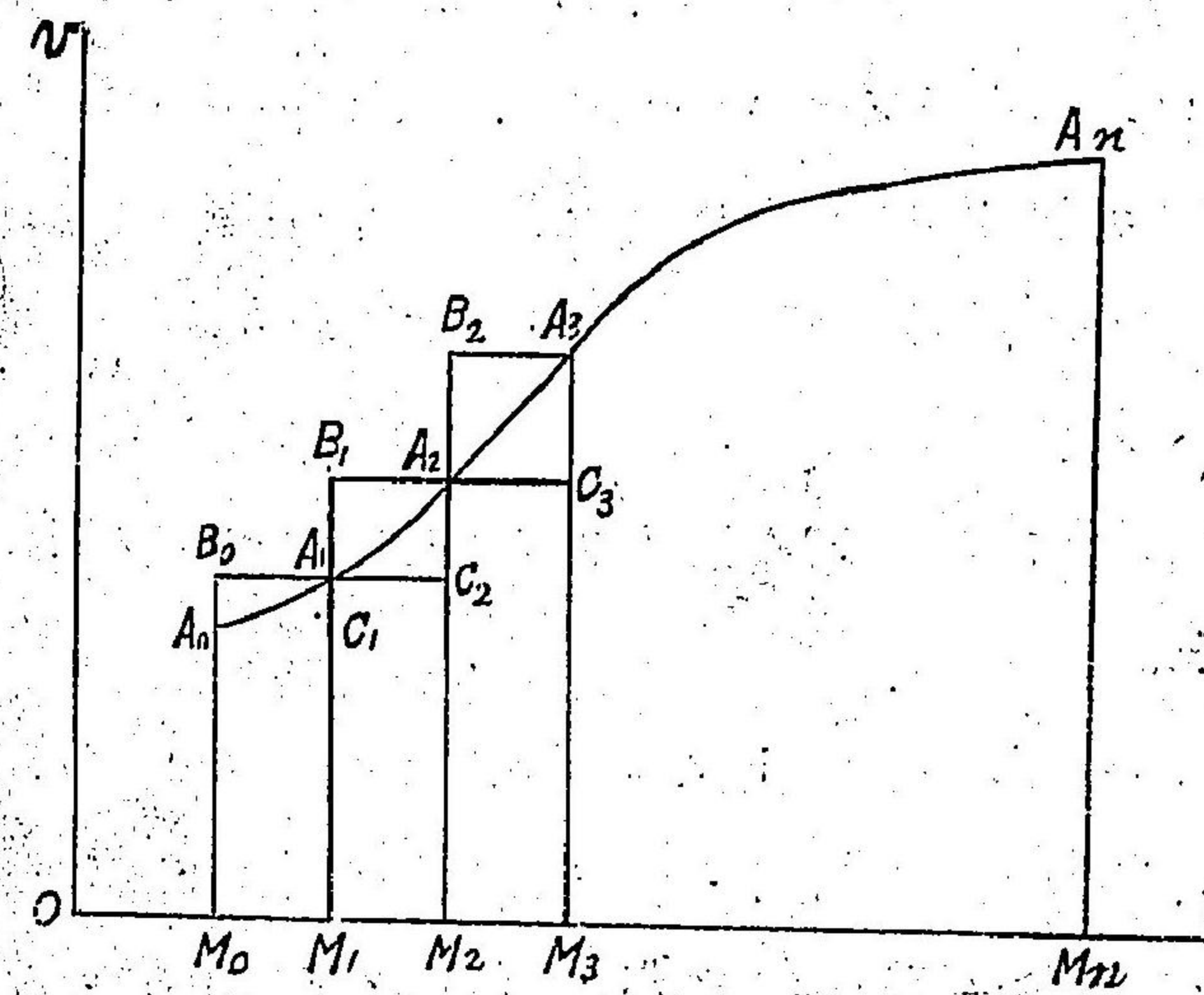
ル直線 AB トナルベシ, t_0 ヨリ t 迄ノ道程ヲ s トスレハ

$$s = v(t - t_0)$$



故ニ s ハ矩形 ABNM ノ面積ニテ表ハサル.

曲線 $A_0A_1A_2\dots A_n$ ハ speed 一樣ナラザル運動點 P ノ speed ノ curve ナリトス, A_0M_0 ハ初ニ於ケル speed ヲ表ハシ, A_nM_n ハ終ニ於ケル speed ヲ表ハス, 此時間中ニ於



ケル P ノ 道 程 ヲ s ト ス.

時間 M_0M_n ヲ 等 分 ス 其 各 分 點 ヲ M_1, M_2, M_3 等 ト ス 是 等
ノ 各 瞬 時 M_1, M_2, M_3 等 ニ 於 ケル speed ハ 夫 々 $A_1M_1, A_2M_2,$
 A_3M_3 等 ニ テ 表 ハ サ ル 今 假 ニ 動 點 カ 時 間 M_0M_1 ニ ハ speed
 A_0M_0 ヲ 以 テ 動 キ 時 間 M_1M_2 ニ ハ speed A_1M_1 ヲ 以 テ 動 キ
時 間 M_2M_3 ニ ハ speed A_2M_2 ヲ 以 テ 動 キ 追 テ 此 ク ノ 如 キ
運 動 ヲ ナ シ タ リ ト セ バ speed ノ curve ハ $A_0C_1A_1C_2$ ト ナ
リ 其 各 部 分 時 間 ニ 於 ケル 道 程 ハ 夫 々 矩 形 $A_0M_0M_1C_1,$
 $A_1M_1M_2C_2, A_2M_2M_3C_3$ 等 ヲ 以 テ 表 ハ サ レ 全 時 間 M_0M_n ニ 於
ケル 道 程 ハ 是 等 ノ 面 積 ノ 和 即 チ 此 場 合 ノ speed ノ curve
ト 其 兩 端 ノ ordinates ト t 軸 ト ノ 間 ノ 面 積 ニ テ 表 ハ サ ル
此 道 程 ヲ s_1 ト ス

次 ニ 假 ニ 動 點 ガ 時 間 M_0M_1 ニ ハ speed A_1M_1 ヲ 以 テ 動
キ 時 間 M_1M_2 ニ ハ speed A_2M_2 ヲ 以 テ 動 キ 時 間 M_2M_3 ニ ハ
speed A_3M_3 ヲ 以 テ 動 キ 追 テ 此 ク ノ 如 キ 運 動 ヲ ナ シ タ リ
ト 考 フ レ バ speed ノ curve ハ $B_0A_1B_1A_2B_2A_3$ ト ナ リ 其 各
分 部 時 間 ニ 於 ケル 道 程 ハ 夫 々 矩 形 $B_0M_0M_1A_1, B_1M_1M_2A_2,$
 $B_2M_2M_3A_3$ 等 ノ 面 積 ニ テ 表 ハ サ レ 全 時 間 M_0M_n ノ 道 程 ハ
是 等 矩 形 ノ 面 積 ノ 和 即 チ 此 場 合 ノ speed ノ curve ト 其 兩
端 ノ ordinates ト t 軸 ト ノ 間 ノ 面 積 ニ テ 表 ハ サ ル 此 道 程
ヲ s_2 ト ス.

道 程 s ハ 明 カ ニ s_1 ト s_2 ト ノ 中 間 ノ 値 ヲ 有 ス 面 積 s
ト s_1 ト ノ 差 ハ n ヲ 増 加 ス ル ニ 從 ヒ 如 何 程 ニ テ モ 微 小
ト ナ ル ベ シ n ガ 限 リ 無 ク 増 大 サ レ タ ル 時 s_1 モ s_2 モ 動

點 實 際 ノ speed ノ curve $A_0A_1A_2$ A_n ト 其 ノ 兩 端 ノ ordi-
nates ト t 軸 ト ノ 間 ノ 面 積 ト ナ ル ベ シ 故 ニ 道 程 s ハ 其
speed ノ curve ト 其 兩 端 ノ ordinates ト t 軸 ト ノ 間 ノ 面 積
ニ テ 表 ハ サ ル.

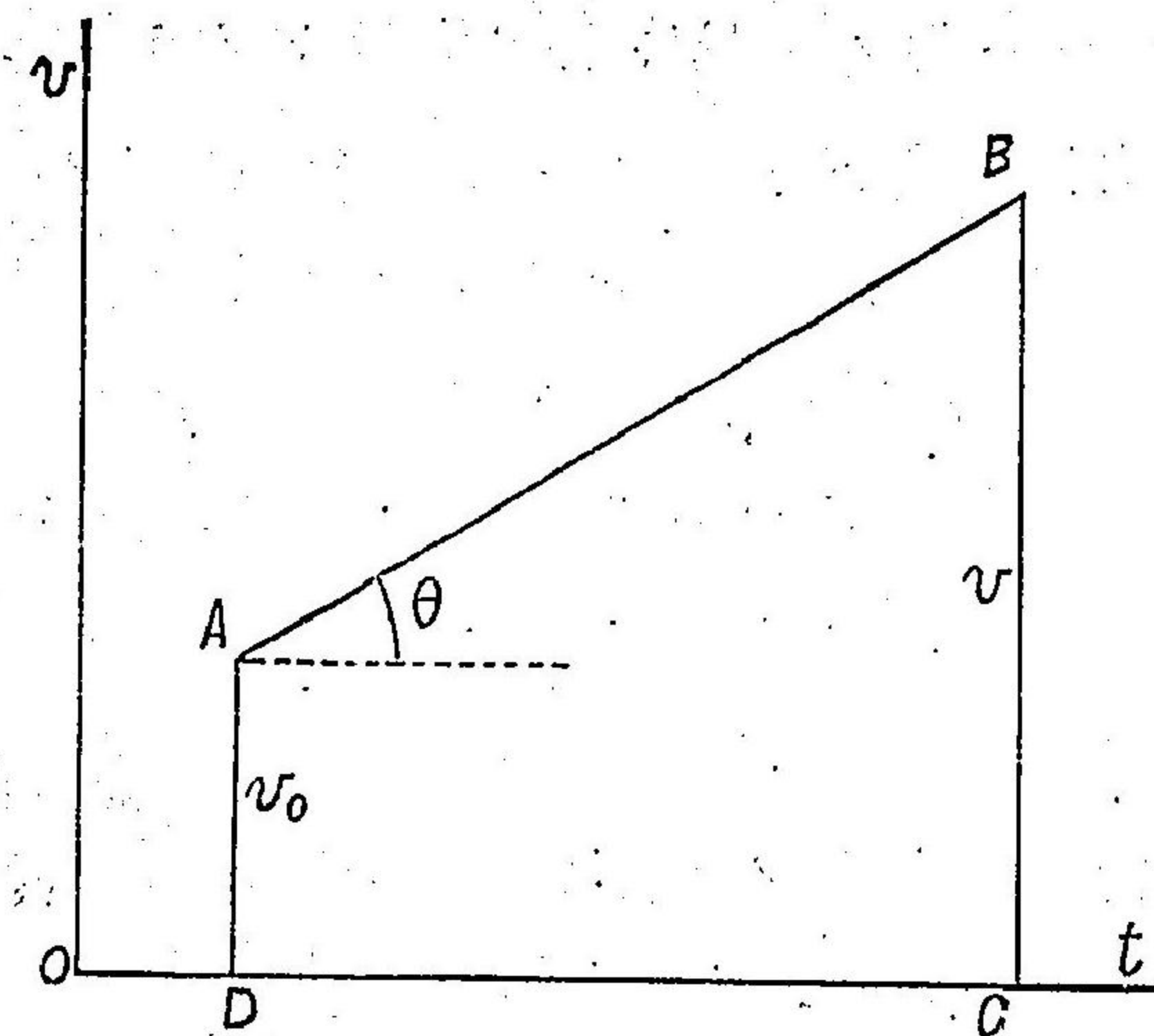
4. Speed ノ 變 ス ル 割 合 一 様 ナ ル 運 動.

Speed ノ 變 ス ル 割 合 ヲ a ft. per sec. per sec. ト シ 初 ノ speed
ヲ v_0 ft. per sec., 終 リ ノ speed ヲ v ft. per sec. ト ス レ バ

$$a = \frac{v - v_0}{t} \text{ ft. per sec. per sec.}$$

ナ ル ヲ 以 テ

$$v = v_0 + at = \text{ft. per sec.} \dots \dots \dots (1)$$



此 場 合 ニ speed ノ curve ハ 直 線 AB ト ナ ル ベ シ AB ガ t
軸 ト ナ セ ル 角 ヲ θ ト ス レ バ

$$\tan \theta = a$$

道 程 s ハ 梯 形 ABCD ノ 面 積 ニ テ 表 ハ サ ル 故 ニ

$$s = v_0 t + \frac{1}{2} at^2 \dots \dots \dots (2)$$

(1) ト (2) ト ヨリ

v^2 = v_0^2 + 2 as(3)

若シモ v_0 = 0 ナル場合ニハ (1), (2), (3) ハ夫々

v = at
s = 1/2 at^2
v^2 = 2 as

5. Displacement.

動點 P ガ或位置 P_1 ヨリ他ノ位置 P_2 ニ來レリ、然ル時 P ハ P_1 ヨリ P_2 ノ方向ニ直線 P_1P_2 ノ長サニヨリテ表ハサレタル大サノ Displacement ヲ受ケタリト云フ。

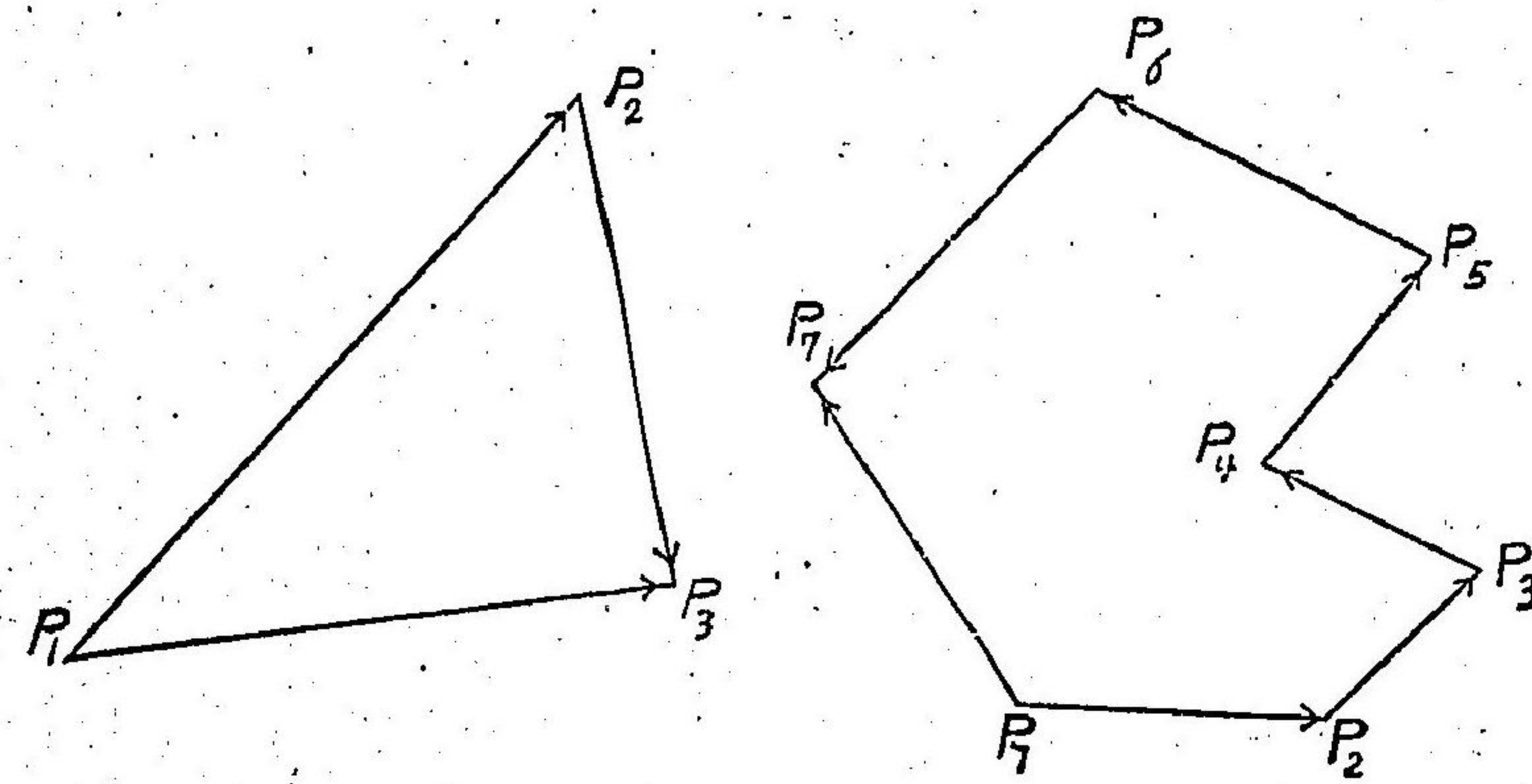
Displacement ハ初ノ位置ト終ノ位置トノミニ付テ考ヘラレタル位置ノ變更ヲ表ハスモノニシテ、P ガ經過セル道ニ關係セズ、displacement ハ大サ並ニ方向ヲ有スル量ナリ、此クノ如キ量ハ直線ニ矢ヲ附シテ表ハサレ得ルモノナリ、其直線ノ長サハ其量ノ大サヲ表ハシ、矢ハ其量ノ方向ヲ示スモノナリ

6. Displacements ノ組合.

I. 或動點ガ數多ノ displacements ヲ連續的ニ受ケタル場合.

動點 P ガ P_1P_2 ノ displacement ヲ受ケ、然ル後 P_2P_3 ノ displacement ヲ受ケタリトセバ、P ハ此間ニ結局 P_2P_3 ノ displacement ヲ受ケタルモノナリ、即 P_1P_3 ハ displacements P_1P_2 ト P_2P_3 トノ Resultant ヲ表ハス、同様ニシテ動點 P ガ displacements P_1P_2, P_2P_3, P_3P_4, P_{n-1}P_n ヲ順次ニ受ケタル時、

P ハ結局 displacement P_1P_n ヲ受ケケルモノナリ、P_1P_n ハ P_1P_2, P_2P_3, P_3P_4, P_{n-1}P_n ノ Resultant ナリ。



Resultant ノ大サ及ヒ方向ハ動點ノ受ケタル所ノ displacement ノ順序ニ關係セス。

II. 動點カ同時ニ數多ノ displacements ヲ受ケタル場合.

A, B, C 等ヲ與ヘラレタル displacements トス、或點カ是等ノ displacements ヲ同時ニ受ケタル場合ニ於ケル Resultant ハ、是等ノ displacements ヲ連續的ニ受ケタル場合ノ Resultant ト、大サ、方向トモニ同一ナルコトヲ示サントス。

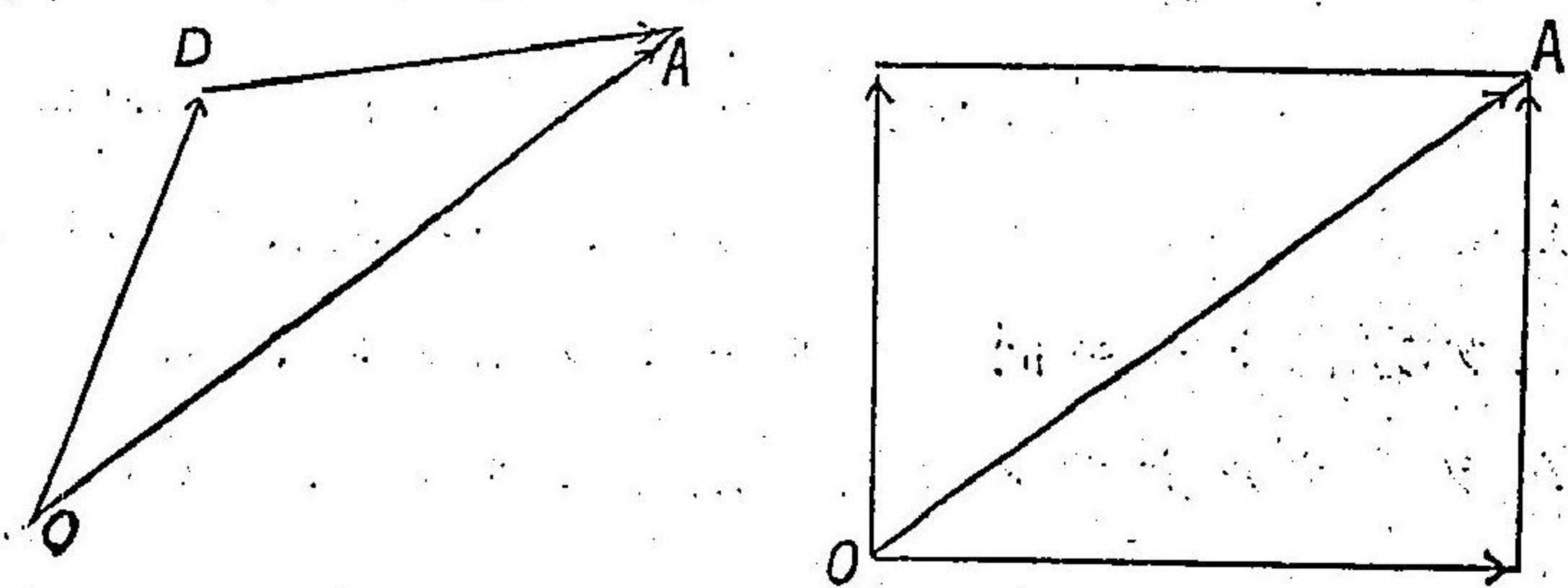
A ヲ A/n ナル大サノ n 個ノ連續セル displacements ヲ成ルモノト見ルコトヲ得、B ヲ B/n ナル大サノ n 個ノ連續セル displacements ヲ成ルモノト見ルコトヲ得、C 其他ニ付テモ同様ニ考フルコトヲ得。

動點カ A, B, C 等ヲ連續的ニ受ケタル時ノ resultant ト、A/n, B/n, C/n, A/n, B/n, C/n, ノ如キ順序ニ A/n, B/n, C/n,

等ヲ夫々 n 回宛受ケタル時ノ resultant トハ全ク同一ナリ、 n カ極メテ大トナリシ極限ニ於テ $\frac{A}{n}, \frac{B}{n}, \frac{C}{n}, \dots, \frac{A}{n}, \frac{B}{n}, \frac{C}{n}, \dots$ ヲ連続的ニ受クルコトハ、 A, B, C, \dots 等ヲ同時ニ受クルコトニ同シ故ニ A, B, C, \dots 等ヲ同時ニ受ケタル時ノ resultant トハ、 A, B, C, \dots 等ヲ連続的ノ受ケタル時ノ resultant トハ大サ并ニ方向トモ同一ナリ。

7. Displacement ノ 分解.

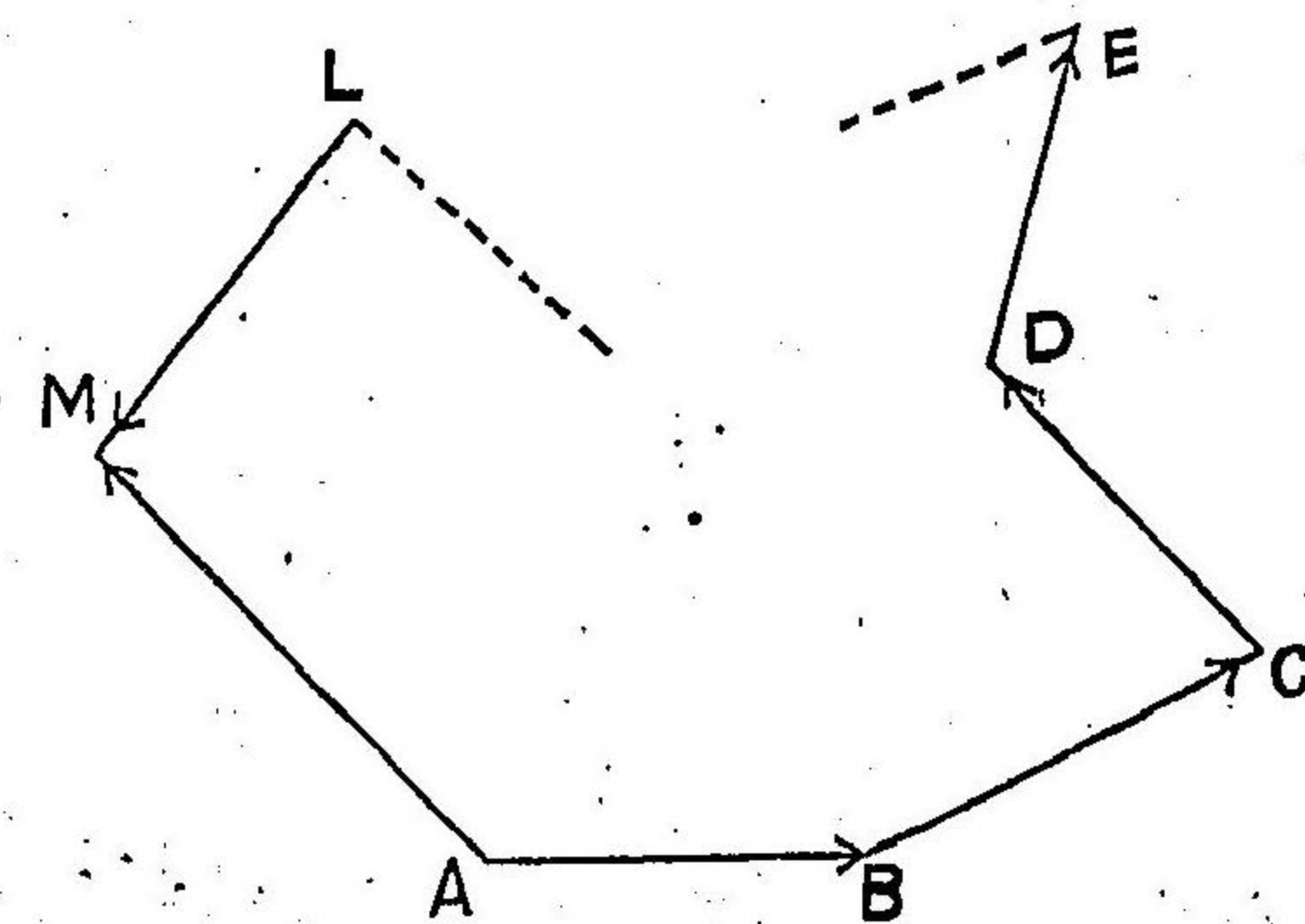
Displacement OA ヲ任意ノ方向ノ二個ノ displacements ニ分ツコトヲ得、 O ヨリ指定サレタル方向ヘ直線 OD, DA ヲ引キテ三角形 ODA ヲ作ルベシ、然ル時 OD, DA ハ指定サレタル方向ニ於ケル二個ノ components ナリ、通常ハ互ニ直角ヲナセル components ニ分ツヲ便トナス場合多シ。



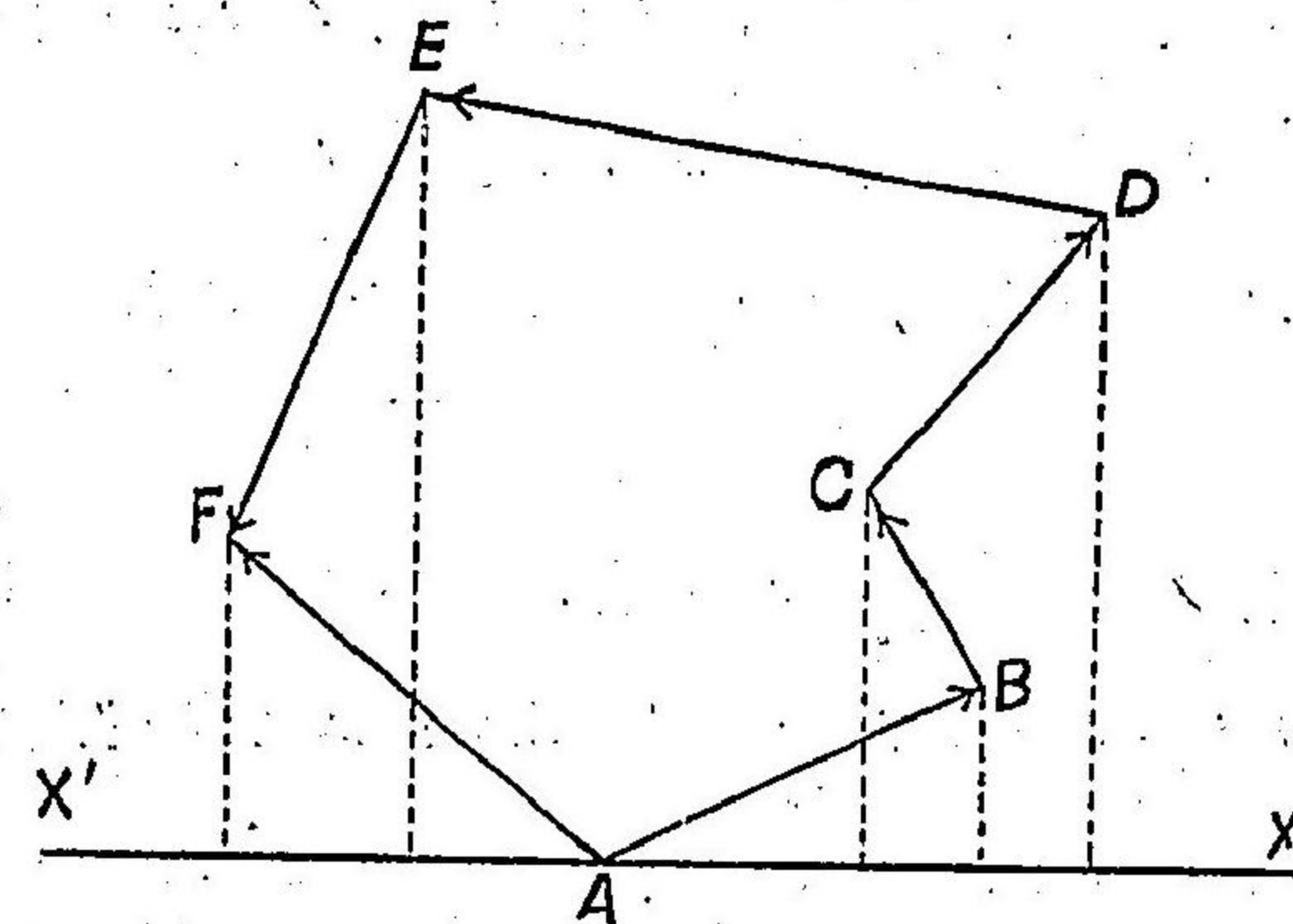
8. Vectors.

大サ并ニ方向ヲ有スル量ヲ Vector 量ト云フ、之ヲ直線ニ矢ヲ附シテ圖ニ示スコトヲ得、其直線ノ長サハ其量ノ大サヲ表ハシ、矢ハ其量ノ方向ヲ示スモノナリ。

同種類ノ數多ノ vectors アリ、是等ノ vectors ガ夫々多角形 $ABC \dots LM$ ノ邊ニヨリテ表ハサル然ル時邊 AM ニヨリテ表ハサル、vector ヲ、與ヘラレタル vectors ノ vector sum ト云フ、vector sum ノ大サ及ビ方向ハ、與ヘラレ



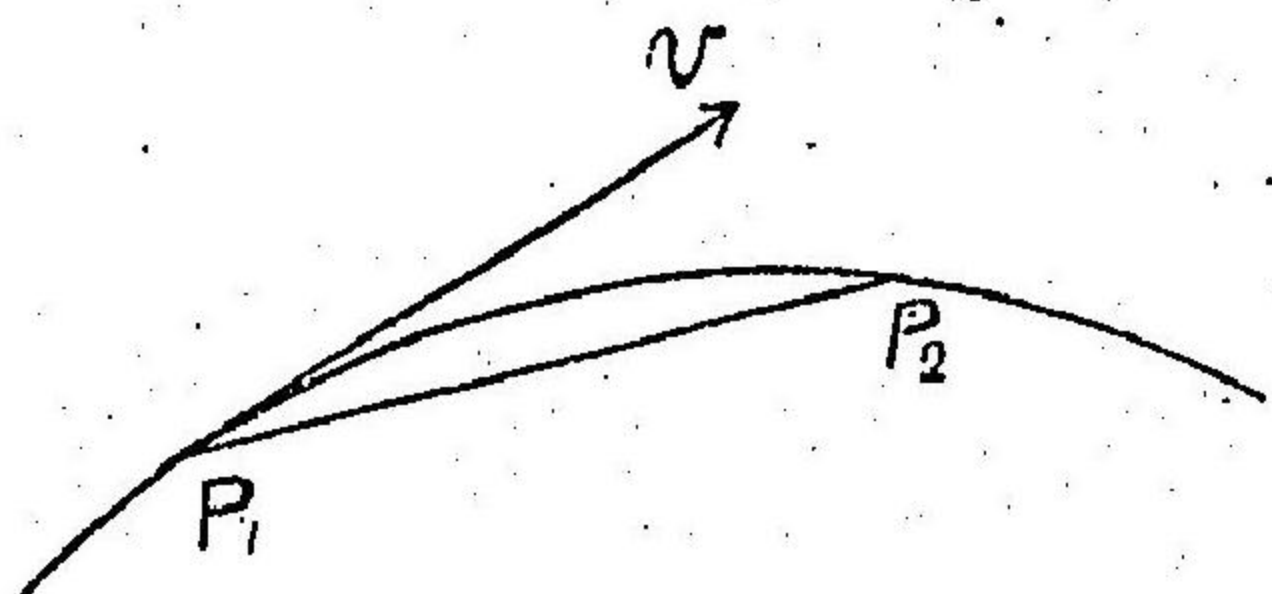
タル vectors ノ加ヘラル、順序ニ關セズ同一ナリ、既ニ知レル如ク數多ノ displacements ノ resultant ハ其 vector sum ナリ。



數多ノ vectors ノ任意ニ撰ベル同一方向ニ於ケル components ノ代數和ハ、Resultant ノ方向ニ於ケル component ト大サ方向トモ同一ナリ。

9. Velocity.

單位時間 = 幾何ノ displacement ヲナスカノ割合ヲ Velocity ト云フ、或時 = P_1 ニアリシ動點ガ t 秒ノ後 P_2 ニ來リタリトス、 P_1 ト P_2 トヲ極メテ接近セル二點トス、從



テ t モ極メテ小ナリ然ル時道 P_1P_2 ノ長サト、直線 P_1P_2 ノ長サトハ等シキモノト見ルコトヲ得ベシ故ニ P_2 ニ於ケル velocity ノ大サハ其點ニ於ケル speed = 等シク其方向ハ其點ニ於テ道 = 切線ナリ。

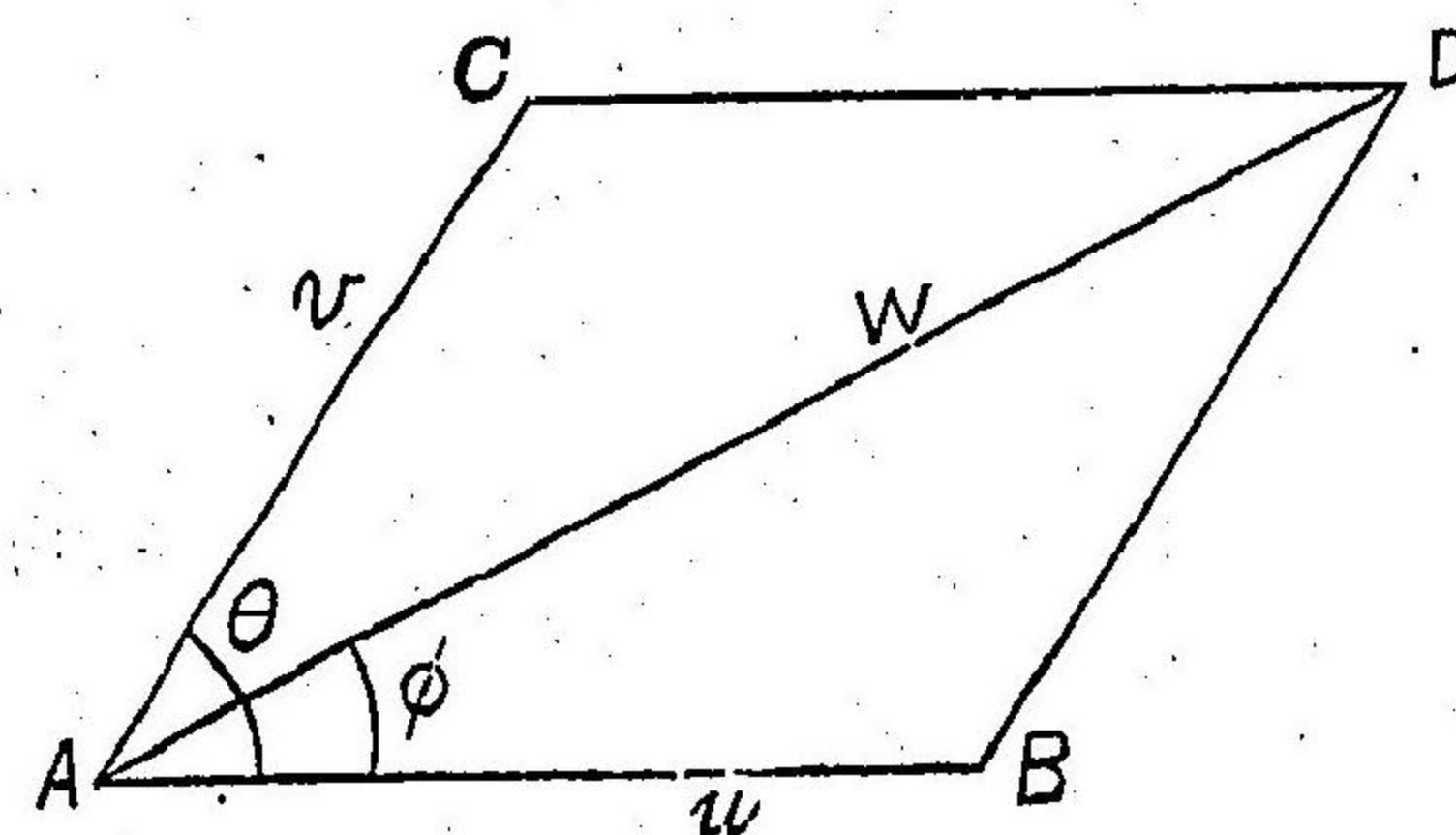
Velocity ハ大サト方向トヲ有ス、故ニ vector 量ナリ。

10. Velocities ノ組合及ヒ Velocity ノ分解。

Velocity ノ組合及分解ハ displacement ノ場合ト同様ナリ。

I. 二個ノ velocities ノ組合。

AB, AC ヲ與ヘラレタル velocities トス、平行四邊形 ABCD ノ對角線 AD ハ resultant ヲ表ハスモノナリ、此平行四邊形ヲ velocity ノ平行四邊形ト云フ、AB, AC ノ大サヲ夫々 u, v トシ、其間ノ角ヲ θ トス、AD ノ大サヲ w トシ、AB ト AD トノ間ノ角ヲ ϕ トス。



$$w^2 = u^2 + v^2 + 2uv \cos \theta$$

$$w = \sqrt{u^2 + v^2 + 2uv \cos \theta}$$

∴

又

$$\tan \phi = \frac{v \cos \theta}{u + v \cos \theta}$$

AC ト BD トハ相等シ、故ニ三角形 ABD ノ二邊 AB, BD ガ夫々二個ノ velocities ヲ表ハス時、第三邊 AD ハ此二個ノ velocities ノ resultant ヲ表ハスベシ、此三角形ヲ velocity ノ三角形ト云フ。

II. Velocity ノ分解。

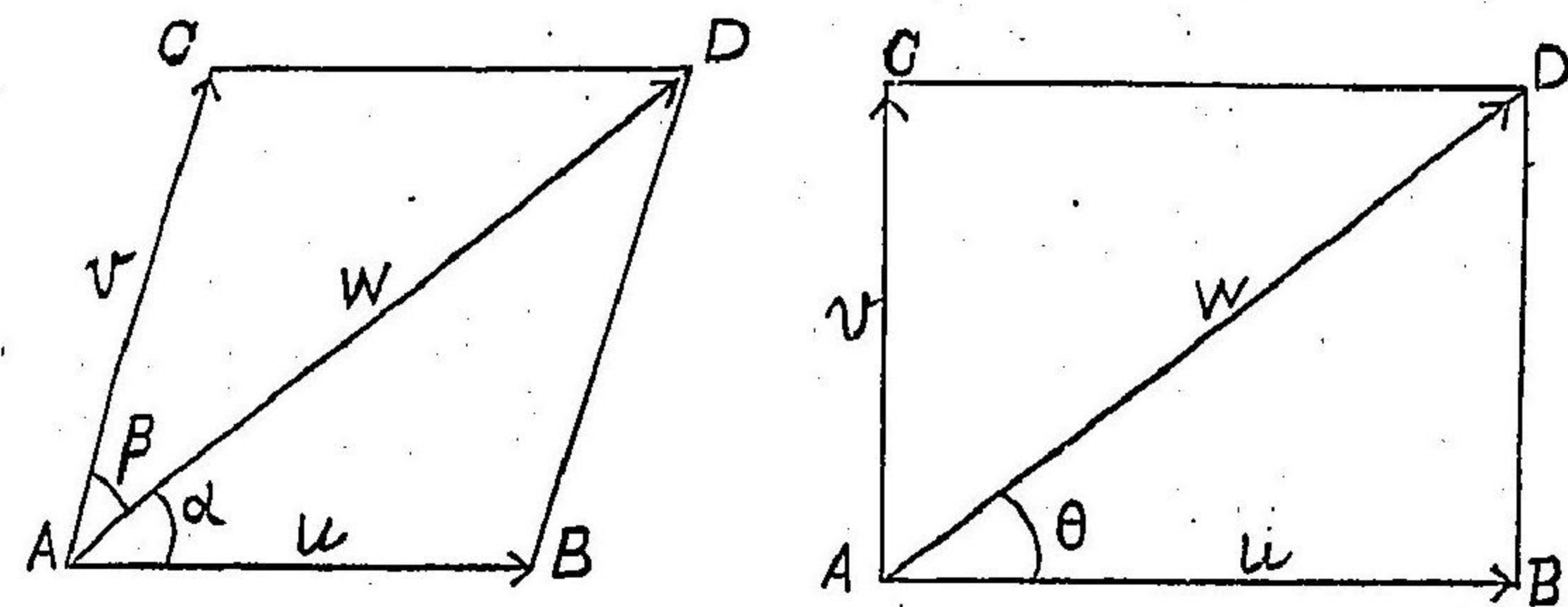
AD ヲ與ヘラレタル velocity トス、之ヲ任意ノ方向 AB ト他ノ方向 AC トニ於ケル components AB ト AC トニ分ツコトヲ得。

AB ハ AD ト角 α ヲナス如クニ、AC ハ AD ト角 β ヲナス如クニ分解スル場合ニハ、AB, AC, AD ノ大サヲ夫々 u, v, w トスレバ

$$\frac{u}{\sin \beta} = \frac{v}{\sin \alpha} = \frac{w}{\sin (\alpha + \beta)}$$

$$u = \frac{w \sin \beta}{\sin(\alpha + \beta)}$$

$$v = \frac{w \sin \alpha}{\sin(\alpha + \beta)}$$



AB と AC と互に直角ヲナス如クニ分ツテ便トナス
 場合多シ此場合ニハ AB と AD とノ間ノ角ヲ θ トスレバ

$$u = w \cos \theta$$

$$v = w \sin \theta$$

III. 數多ノ velocities ノ 組合.

或點ガ多角形ノ邊 AB, BC, CD,KL ニヨリテ表
 ハサレタル數多ノ velocities ヲ同時ニ有スル時其點ノ
 resultant velocity ハ AL ニヨリ大サ并ニ方向ガ表ハサル,
 此多角形ヲ velocity ノ多角形ト云フ, A と L と一致ス
 レバ resultant ハ零即チ其點ハ靜止セリ.

數多ノ velocities ノ resultant ヲ計算ニヨリテ定ムルニ
 ハ次ノ例ニ從フベシ.

u_1, u_2, u_3 及ビ u_4 ヲ與ヘラレタル velocities トス, 是等ノ
 resultant ヲ V トス, u_1, u_2, u_3 及ビ u_4 ガ x 軸トナセル角ヲ

夫々 $\alpha_1, \alpha_2, \alpha_3$ 及 α_4 トス, y 軸トナセル角ヲ夫々 $\beta_1, \beta_2, \beta_3$ 及
 ビ β_4 トス, V カ x 及ビ y 軸トナセル角ヲ夫々 α_r 及 β_r ト
 ス然ル時 u_1, u_2, u_3 及ビ u_4 ノ x 及ビ y component ハ夫々

$$\left. \begin{matrix} u_1 \cos \alpha_1 \\ u_2 \cos \alpha_2 \\ u_3 \cos \alpha_3 \\ u_4 \cos \alpha_4 \end{matrix} \right\} \left. \begin{matrix} u_1 \cos \beta_1 \\ u_2 \cos \beta_2 \\ u_3 \cos \beta_3 \\ u_4 \cos \beta_4 \end{matrix} \right\}$$

又 V ノ x 及ビ y component ハ

$$V \cos \alpha_r \quad V \cos \beta_r$$

而シテ次ノ關係アリ,

$$V \cos \alpha_r = u_1 \cos \alpha_1 + u_2 \cos \alpha_2 + u_3 \cos \alpha_3 + u_4 \cos \alpha_4 \\ = \sum u \cos \alpha$$

$$V \cos \beta_r = u_1 \cos \beta_1 + u_2 \cos \beta_2 + u_3 \cos \beta_3 + u_4 \cos \beta_4 \\ = \sum u \cos \beta$$

$$\therefore V^2 = (\sum u \cos \alpha)^2 + (\sum u \cos \beta)^2$$

$$\therefore V = \sqrt{(\sum u \cos \alpha)^2 + (\sum u \cos \beta)^2}$$

$$\text{又} \quad \cos \alpha_r = \frac{\sum u \cos \alpha}{V}$$

$$\cos \beta_r = \frac{\sum u \cos \beta}{V}$$

IV. Relative Velocity.

一直線上ヲ方向大サトモ同一ナル velocity ヲ以テ動
 ク點 A 及ビ B アリトス, 一點ニ對スル他點ノ位置ハ大
 サニ於テモ方向ニ於テモ一定不變ナリ, 一點ヨリ他點
 ノ上ノミニ着目スレバ, 恰モ靜止セルガ如ク見ユルベ
 シ, 即チ A ニ對スル B ノ relative velocity 一モ, B ニ對スル

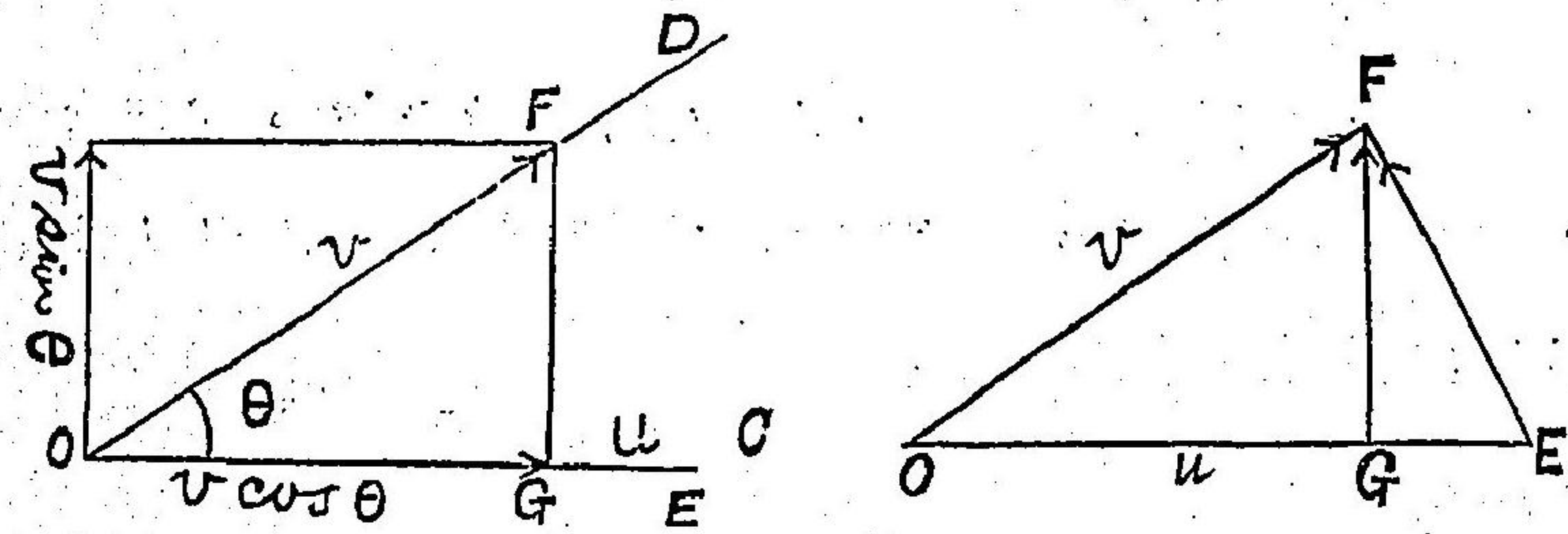
Aノ relative velocity モ零ナリ。

次ニ一直線上ヲ動く點 A 及ヒ B アリ、Aハ 20 ft. per second ノ speed ヲ有シ、Bハ同一ノ方向ヘ 25 ft. per second ノ speed ヲ有スルモノトセバ、AトBトノ距離ハ 5 ft per second ノ割合ヲ以テ變ジツツアルモノナリ、即チ一點ノ他點ニ對スル relative velocity ノ大サハ 5 ft. per sec. ナリ、而シテ其方向ハ Aニ對スル Bノ relative velocity ハ是等ノ點ノ運動方向ト同一ニシテ、Bニ對スル Aノ relative velocity ハ之ニ反對ナル方向ナリ。

上例ニ於テ AトBトノ velocity ノ方向相反セル場合ニハ、二點間ノ距離ハ 45 ft. per sec. ノ割合ヲ以テ變ジツツアルモノナリ、即チ此場合ニハ一點ノ他點ニ對スル relative velocity ノ大サハ 45 ft. per sec. ナリ、而シテ Aノ velocity ノ方向ヲ正トスレバ、Aニ對スル Bノ relative velocity ハ負ノ方向ニ向ヒ、又 Bニ對スル Aノ relative velocity ハ正ノ方向ニ向フ。

上記ノ諸例ニ於テ Aニ對スル Bノ relative velocity ハ Bノ velocity ニ Aノ velocity ト大サ等シク、方向反對ナル velocity ヲ加フレバ得ラル、コトヲ知ル、又 Bニ對スル Aノ relative velocity ハ、Aノ velocity ニ Bノ velocity ト大サ等シク方向反對ナル velocity ヲ加フレバ得ラル、コトヲ知ル。

次ニ Aハ直線 OC 上ヲ velocity u ヲ以テ動き、Bハ直線 OD 上ヲ velocity v ヲ以テ動く場合ヲ考フ。



v ヲOCノ方向ト之ニ直角ナル方向トニ分解スレバ、OCノ方向ノ component ハ $v \cos \theta$ ニシテ、之ニ直角ナル component ハ $v \sin \theta$ ナリ、但シ θ ハ u ト v トノ間ノ角ナリ。

Aニ對スル Bノ relative velocity ノOCノ方向ノ component ハ

$$EG = v \cos \theta - u$$

ナリ、AハOCニ直角ナル方向ニ component velocity ヲ有セズ、故ニAニ對スルBノ relative velocity ノOCニ直角ヲナセル component ハ

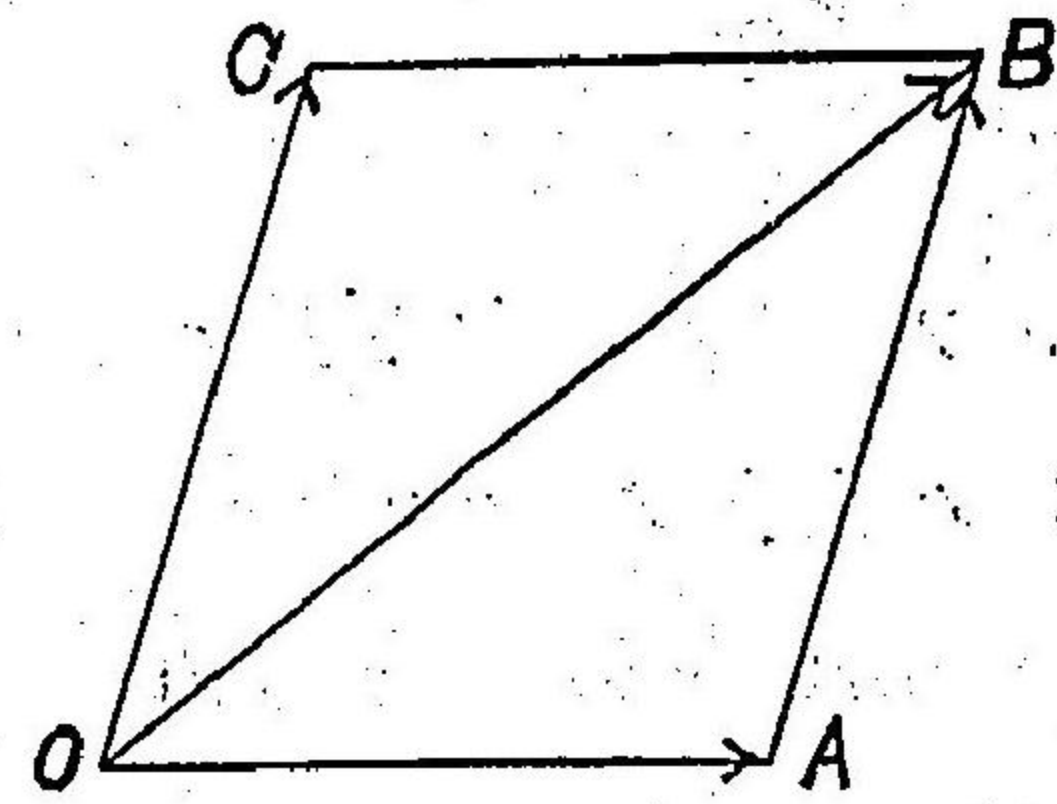
$$GF = v \sin \theta$$

ナリ、故ニAニ對スルBノ relative velocity ハEGトGFトノ resultant EFニテ表ハサル、EFハBノ velocity ニ、Aノ velocity ト大サ等シク方向反對ナル velocity ヲ加ヘテ得ベキ resultant ニ等シ。

一般ニAニ對スルBノ relative velocity ハ、Bノ velocity ニ、Aノ velocity ト大サ等シク方向反對ナル velocity ヲ加ヘテ得ラル、又Aニ對スルBノ relative velocity ト、Bニ對スルAノ relative velocity トハ大サ等シク方向反對ナリ。

12. Velocity の 變化.

或時ニ動點ガ velocity OA ヲ以テ動キツ、アリシモノガ其次ノ或時ニ於テ其 velocity OB トナリタリトス、平行四邊形 OABC ヲ作ル然ル時 OB ハ OA ト OC トノ resultant ナリ。



OB ヲ得ル爲ニ OA ニ加フベキ velocity OC 即チ AB. ヲ此時間ニ於ケル動點ノ velocity ノ變化ト云フ。

13. Acceleration.

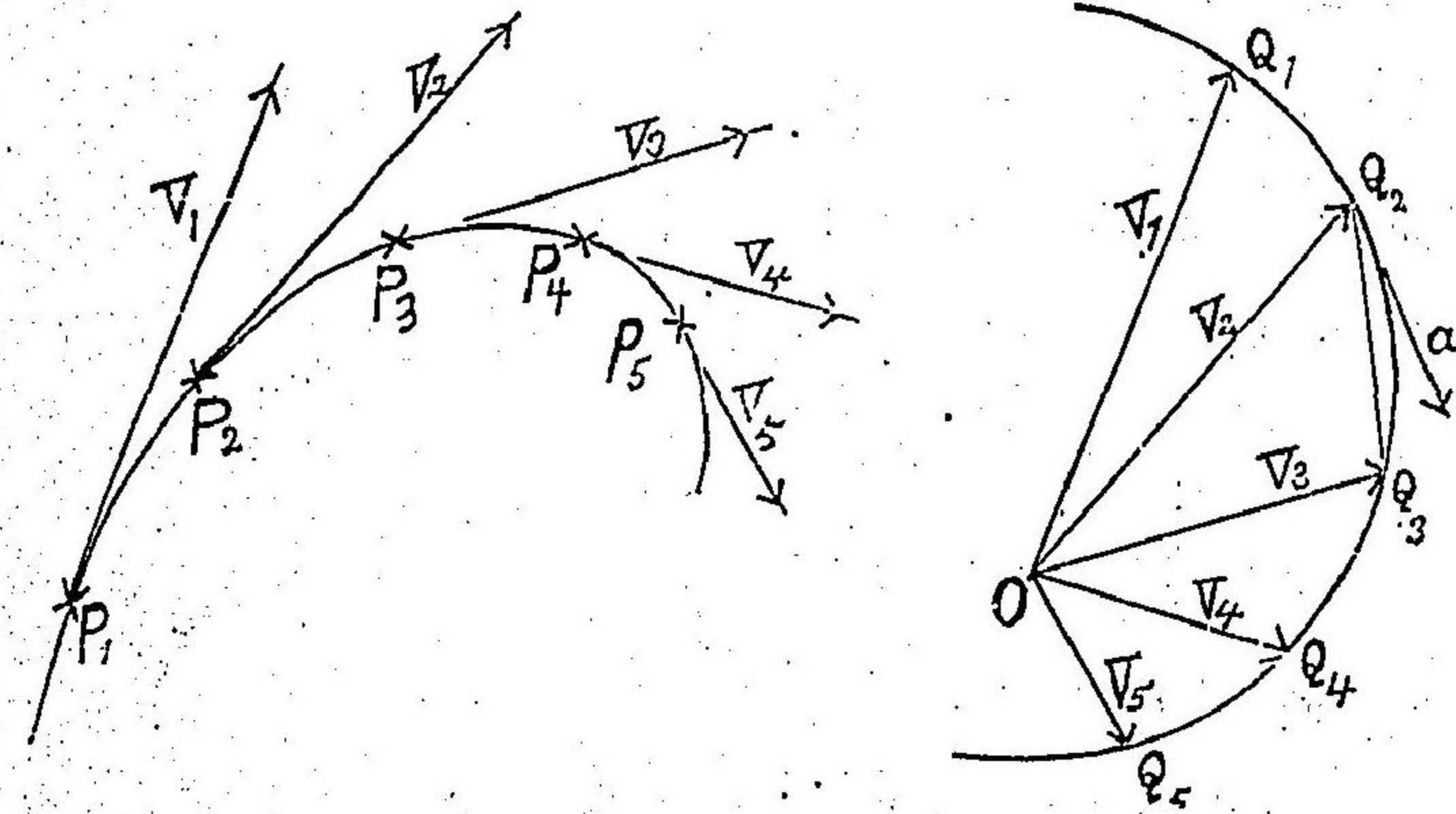
Velocity ノ時ニ對シテ變ズル場合ヲ Acceleration ト云フ、acceleration ハ vector 量ナリ。

14. Hodograph.

動點ガ道ノ上ノ任意ノ點 P ヲ通過スルト同時ニ、其點ニ於ケル velocity ヲ表ハス vector OQ ヲ任意ノ點 O ヲリ引クモノトス然ル時其 vector ヲ表ハス直線ノ端 Q ハ或線ヲ畫クベシ此線ヲ Hodograph ト云フ。

P_1, P_2, P_3 等ハ動點ノ道ノ上ノ點ナリ、是等ノ點ニ相當セル hodograph 上ノ點ハ夫々 Q_1, Q_2, Q_3 等ナリ、即チ P_1 ニ於ケル velocity ハ OQ_1 , P_2 ニ於ケル velocity ハ OQ_2 , P_3 ニ於ケル velocity ハ OQ_3 ナリ。

P_3 ハ P_2 ニ極メテ近キ點ナリトスレバ、從テ Q_2 ト Q_3 トモ亦極メテ近キ點ナリ、動點ガ P_2 ヲヨリ P_3 ニ至ル時間ヲ



t 秒トス、此時間ハ hodograph 上ノ點 Q ガ Q_2 ヲヨリ Q_3 ニ至ル時間ニ同ジ、 Q_2, Q_3 ハ P 點ニ付テハ t 秒時間ニ於ケル velocity ノ變化ナリ、Q 點ニ付テハ同時間中ニ於ケル displacement ナリ、 P_2 ト P_3 從テ Q_2 ト Q_3 トカ極メテ近キ二點トスレバ t モ亦極メテ小ナル時間ナリ、此場合ニ於テ

$$\frac{Q_2 Q_3}{t}$$

ハ hodograph 上ヲ動ク點 Q ニ付テハ Q_2 ナル位置ニ於ケル velocity ノ大サ即チ speed ヲ表ハス、動點 P ニ付テハ P_2 ナル位置ニ於ケル velocity ノ變スル割合ノ大サ、即チ acceleration ノ大サヲ與フルモノナリ、又 P_2 ニ於ケル acceleration ノ方向ハ t ガ微小トナレル極限ニ於ケル Q_2, Q_3 ノ方向、即チ Q_2 ニ於テ hodograph = 切線ノ方向、尙換言スレバ Q_2 ニ於ケル Q ノ velocity ノ方向ナリ。

故ニ動點 P ノ hodograph ヲ畫ケバ、其道ノ上ノ任意ノ點ニ於ケル動點ノ acceleration ノ大サ及ビ方向ハ hodograph 上ノ點 Q ノ之ニ相當セル時ニ於ケル velocity ノ大サ及

ビ方向ト全ク同一ナリ.

例. constant velocity ノ運動點ノ hodograph ハ一點ナリ.
constant acceleration ヲ以テ直線上ヲ動ク點ノ hodograph
ハ直線ナリ.

一樣ナル speed ヲ以テ圓運動ヲナス點ノ hodograph ハ
其 speed ヲ半徑トセル圓ニシテ, hodograph 上ノ點モ一
樣ナル speed ヲ以テ動ク.

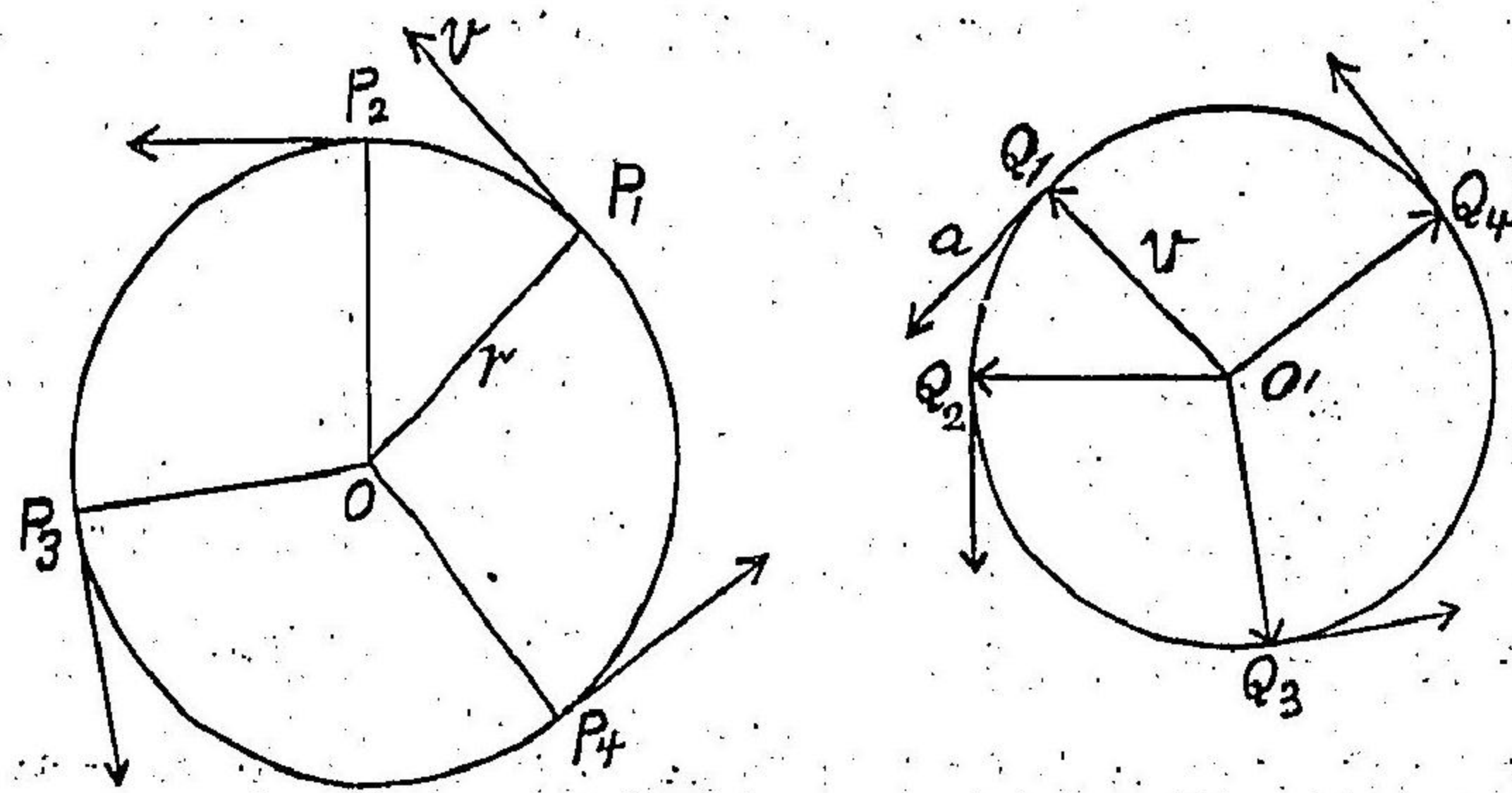
15. 一樣ナル speed ヲ以テ圓運動ヲナセル點ノ受ク
ル acceleration.

動點 P ノ speed ヲ v トス, P ノ書ク圓ノ半徑ヲ r トス
然ル時 hodograph ハ半徑 v ナル圓ニシテ hodograph 上ノ
點 Q モ一樣ナル speed a ヲ以テ動クベシ a ハ即チ P 點
ノ acceleration ノ大サナリ.

P ノ一周時間ハ Q ノ一周時間ニ等シ之ヲ T トス, 然ル時

$$T = \frac{2\pi r}{v} = \frac{2\pi v}{a}$$

$$\therefore a = \frac{v^2}{r}$$



而シテ其方向ハ常ニ動點ノ書ク圓ノ中心ニ向フコト
カ容易ニ證明セラル.

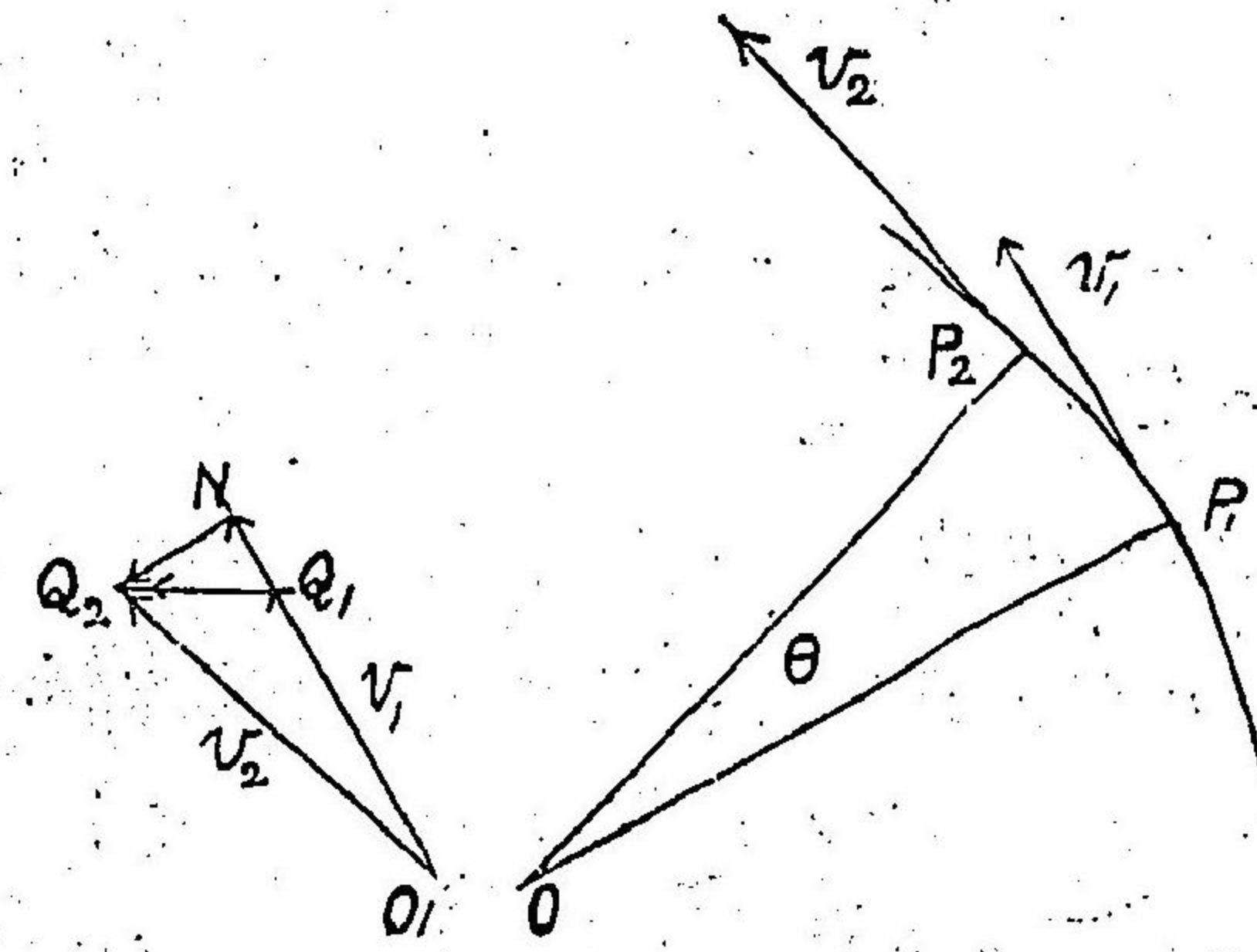
16. Acceleration ノ組合及ビ分解.

Velocity ノ場合ト全ク同様ナリ.

17. Tangential Acceleration 及ビ Normal Acceleration.

P_1 及ビ P_2 ハ動點ノ道ノ上ノ極メテ近キ二點ニシテ,
是等二點ニ於ケル speeds ヲ夫々 v_1 及ビ v_2 トス, 又是
等二點ニ於ケル normals ノ交點ヲ O トス, $O'Q_1$ 及ビ $O'Q_2$
ハ夫々 P_1 及ビ P_2 ニ於ケル velocity ヲ表ハスモノトス
即チ Q_1 及ビ Q_2 ハ hodograph 上ノ點ナリ, 而シテ $\overline{Q_1Q_2}$ ハ
 P_1 ヨリ P_2 ニ至ル間ノ velocity ノ變化ヲ表ハスモノナ
リ.

Q_2N ハ $O'Q_1$ 又ハ其延長上ヘ引ケル垂線ナリ, 然ル時
velocity Q_1Q_2 ハ二個ノ velocities Q_1N ト NQ_2 トノ和ナリト
考フルコトヲ得, Q_1N ハ P_1 ニ於ケル切線ニ平行ニシテ,
 NQ_2 ハ P_2 ニ於ケル normal ニ平行ナリ.



動點ガ P_1 ヨリ P_2 至ル時間ヲ t トス, t ガ極メテ微小トナレル時角 P_1OP_2 ヲ θ トス, radius of curvature ヲ ρ トス然ル時

$$\rho\theta = P_1P_2 = v_1t$$

故ニ P_1 於ケル normal acceleration ヲ a_n トスレバ

$$\begin{aligned} a_n &= L_1 \frac{NO_2}{t} = L_1 \frac{v_2 \sin \theta}{t} \\ &= L_1 v_2 \frac{\theta}{t} = L_1 \frac{v_2 v_1}{\rho} \\ &= \frac{v_1^2}{\rho} \end{aligned}$$

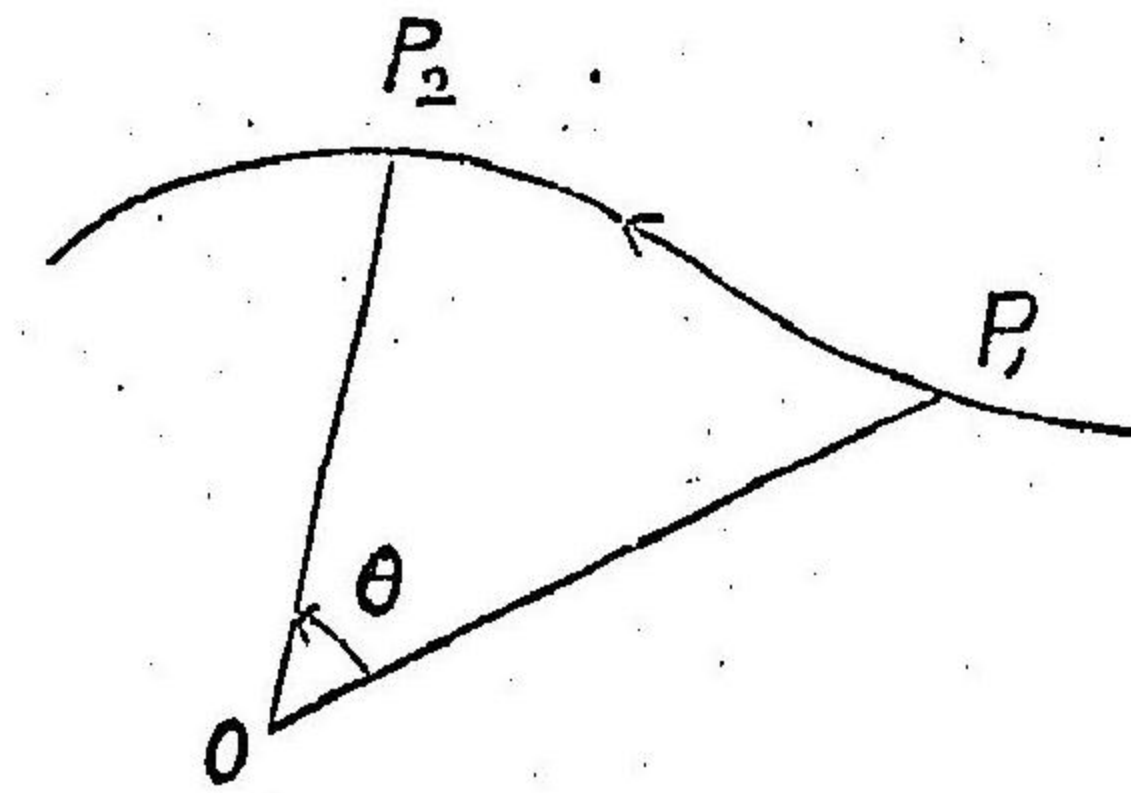
又 P_1 於ケル tangential acceleration ヲ a_t トスレバ

$$\begin{aligned} a_t &= L_1 \frac{Q_1N}{t} = L_1 \frac{O'N - O'Q_1}{t} \\ &= L_1 \frac{v_2 \cos \theta - v_1}{t} \\ &= L_1 \frac{v_2 - v_1}{t} \end{aligned}$$

故ニ tangential acceleration ハ其點ニ於テ動點ノ speed ノ變ズル割合ニ等シ.

18. Angular Displacement.

或點 O ニ關シ或時間ニ於ケル動點 P ノ angular displacement トハ, O ヨリノ radius vector ノ時ノ初ニ於ケル位置ト終ニ於ケル位置トノ間ノ角 P_1OP_2 ノコトナリ.



19. Angular Velocity.

t 秒時間ニ於テ動點 P ノ或點 O ニ關スル angular displacement ヲ θ radians トスレバ, P ノ O ニ關スル mean angular velocity ハ次式ニテ表ハサル.

$$\omega = \frac{\theta}{t} \text{ radians per second.}$$

t ガ限り無く微小トナレル極限ニ於ケル上式ノ値ハ instantaneous angular velocity ヲ表ハス.

角ノ單位ハ通常 radian ナルヲ以テ angular velocity モ radians per second ヲ以テ表ハサル, P ガ O ヲ中心トシテ圓運動ヲナス如キ場合ニハ時トシテ revolutions per minute, 又ハ revolutions per second ニテ表ハサル、コトアリ, N revolutions per minute ヲ radians per second ニテ表ハセバ

$$\omega = \frac{2\pi N}{60} \text{ radians per second.}$$

ナリ.

動點 P ガ圓運動ヲナセル時, P ノ linear velocity v ト, 中心ニ關スル P ノ angular velocity ω トノ間ニ次ノ關係アリ.

圓ノ半徑ヲ r トシ, t 秒時間ノ angular displacement ヲ θ トシ, θ = 對スル弧ノ長サヲ s トス, angular velocity 一樣ナル場合ニハ

$$\omega = \frac{\theta}{t} = \frac{s}{rt}$$

$$= \frac{v}{r}$$

即チ

$$v = r\omega$$

r ガ feet ニテ表ハサレタル時, 上式ヨリ得ラル、 v ハ feet per second ニテ表ハサレタルモノナリ.

ω ガ一樣ナラザル場合ニハ, 上記ノ v ト ω トノ關係ハ或瞬時ニ動點ノ有スル linear velocity ト angular velocity トノ關係ヲ表ハスモノナリ:

一樣ナル speed v ヲ以テ半徑 r ナル圓運動ヲナセル點ノ acceleration ヲ ω ヲ以テ示セバ

$$\frac{v^2}{r} = r\omega^2$$

20. Angular Acceleration.

Angular velocity ノ時ニ對シテ變化スル割合ヲ Angular Acceleration ト云フ,

Angular acceleration a ガ一樣ナル場合ニハ, ω_0 ト ω トヲ夫々時ノ初ト終トニ於ケル angular velocity ノ値トシ, 其時間ヲ t 秒トシ, 此間ニ畫カレタル角ヲ θ トスレバ

$$\omega = \omega_0 + at$$

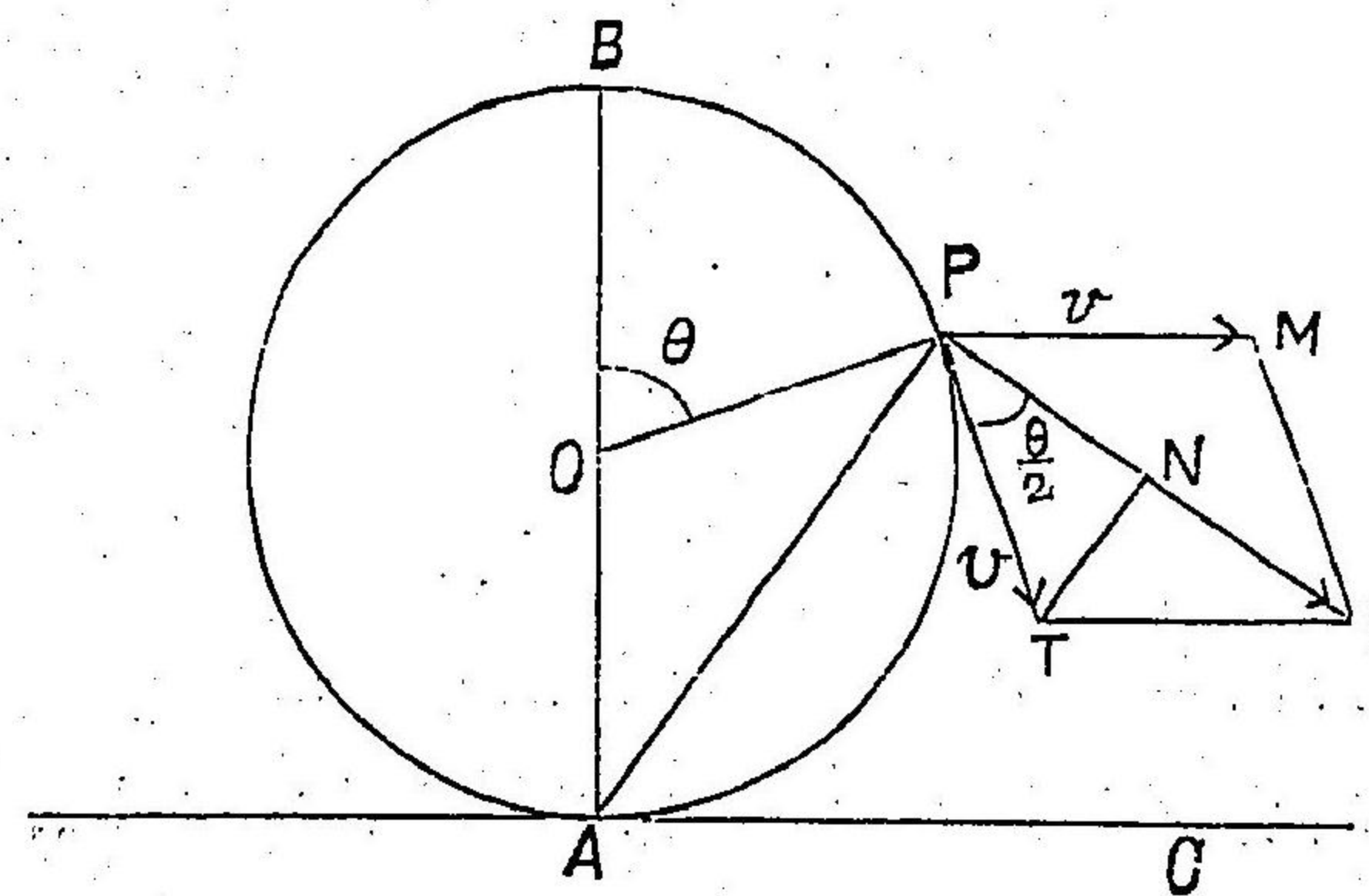
$$\theta = \omega_0 t + \frac{1}{2} at^2$$

$$\omega^2 = \omega_0^2 + 2a\theta$$

21. 平面上ヲ輾轉スル圓板ノ周上ノ點ノ速度.

平面 AC 上ヲ輾轉スル圓板 APB ノ周上ノ任意ノ點 P ノ速度ヲ見出サントス. 圓板ノ中心 O ハ一直線上ヲ動キ其 velocity v ナリトス. 圓板ノ半徑ヲ r トス, A ハ任意ノ時ニ於ケル圓周ト平面トノ接觸點ナリ.

周上ノ任意ノ點 P ハ中心 O = 對シテ圓ノ周ヲ畫ク可ク其間 = O ハ圓周ノ長サ = 等シキ距離ヲ進ムベシ, 故ニ周上ノ任意ノ點ガ O = 對シテ有スル relative velocity ハ大サ v = シテ方向ハ其點ニテ圓ニ切線ナリ, 故ニ P ノ



absolute velocity ハ O ノ velocity = 等シキ velocity $PM = v$ ト O = relative ナル P 點ノ velocity $PT = v'$ トノ和 PL ニヨリテ表ハサル, A = 於テハ

$$v - v = 0$$

故ニ A ハ此瞬時ニ velocity ヲ有セズ, B = 於テハ

$$v + v = 2v$$

ナリ.

角 POB 即チ角 MPT, ヲ θ トスレバ

$$PL = 2PN = 2v \cos \frac{\theta}{2}$$

又

$$\text{角 LPT} = \text{角 OPA} = \frac{\theta}{2}$$

故ニ

$$\text{角 APL} = 90^\circ$$

故ニ此瞬時に於テ P ハ A ヲ中心トシ velocity PL ヲ以テ
廻轉セントスルモノナリ, 其 angular velocity ハ

$$\frac{2v \cos \frac{\theta}{2}}{AP} = \frac{2v \cos \frac{\theta}{2}}{2r \cos \frac{\theta}{2}}$$

$$= \frac{v}{r}$$

$$= \omega$$

22. 鉛直ニ抛ケラレタル物體ノ運動.

地球引力ノ作用ニヨリ自由ニ落下スル物體, 又ハ鉛
直ニ上方ヘ抛ケラレタル物體ハ恒ニ地球ノ中心ヘ向
ヘル acceleration アリ, 此 acceleration ハ通常 g ヲ以テ表ハ
サル, 其大サハ

$$g = 32.16 \text{ feet per second per second.}$$

ナリ.

時間ヲ t トシ, 初速ヲ v_0 トシ終速ヲ v トシ, 道程ヲ s

トスレバ

$$v = v_0 + gt$$

$$s = v_0 t + \frac{1}{2} gt^2$$

$$v^2 = v_0^2 + 2gs$$

鉛直ニ抛ケ上ゲラレタル場合ニハ g ヲ負トスベシ,
初速 $v_0 = 0$ ナル場合ニハ

$$v = gt$$

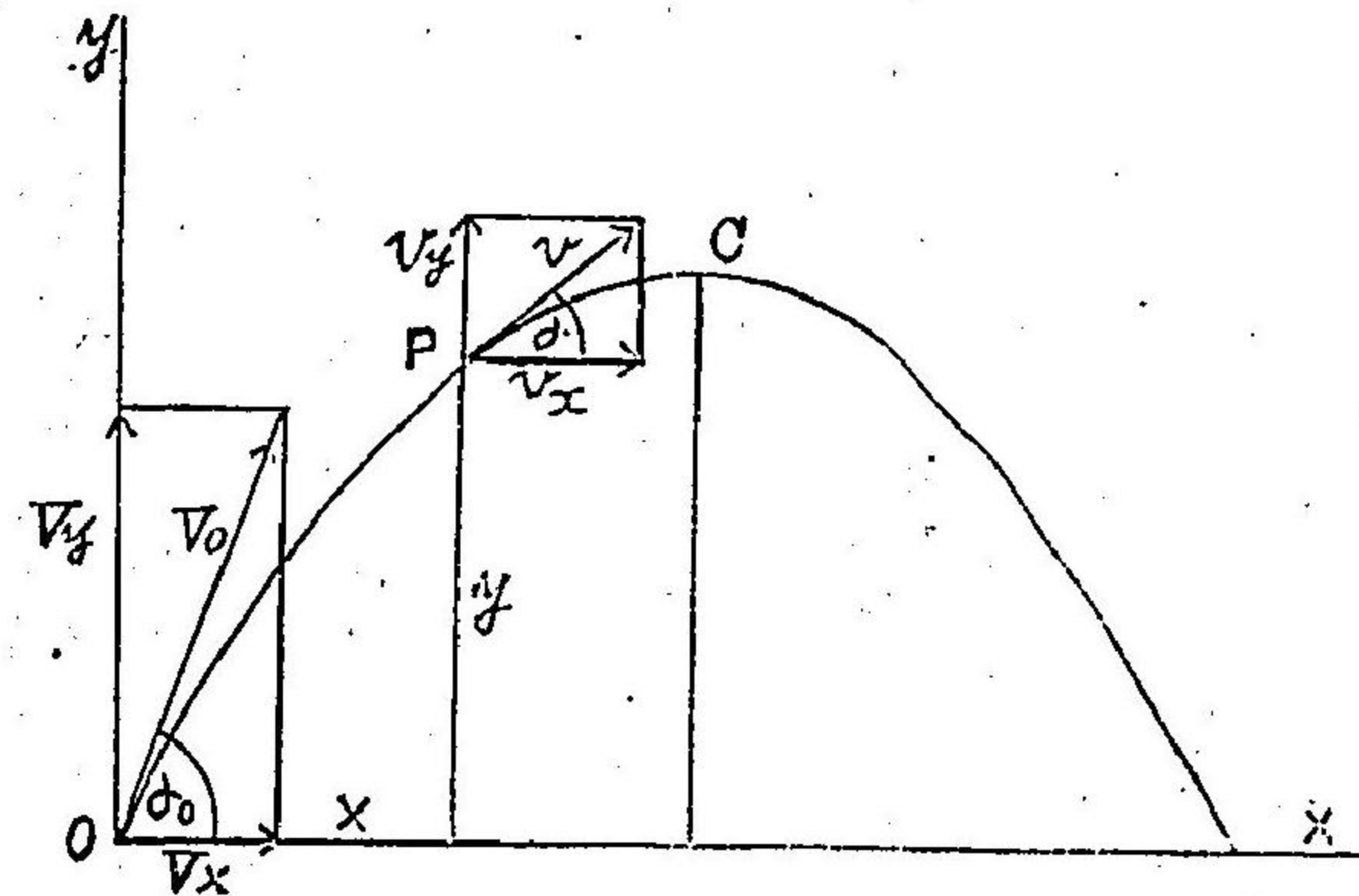
$$s = \frac{1}{2} gt^2$$

$$v^2 = 2gs$$

23. 拋物體ノ運動.

空氣ノ抵抗無キモノトスレバ拋物體ノ受クル所ノ
acceleration ハ一定ナリト見ルコトヲ得, 此場合拋物體ノ
畫ク道ハ parabola ナリ.

V_0 ヲ初ノ velocity トス, V_0 カ水平方向トナス角ヲ α_0 ト
ス, x 軸ヲ水平ニ採リ, y 軸ヲ鉛直ニ採ル, V_0 ノ x 及ビ



y component ヲ夫々 V_x 及ビ V_y トスレバ

$$V_x = V_0 \cos \alpha_0$$

$$V_y = V_0 \sin \alpha_0$$

P(x, y)ヲ道ノ上ノ任意ノ點トス此點ニ於ケル速度ヲ
vトシ、其x及y componentヲ夫々v_x及v_yトスレバ

$$v_x = v \cos \alpha = V_0 \cos \alpha_0 \dots\dots\dots(1)$$

$$v_y = v \sin \alpha = V_0 \sin \alpha_0 - gt \dots\dots\dots(2)$$

但αハvカ水平方向ニ對シテナセル角ナリ、tハ物
體ガOヨリPニ至ル時間ナリ。

又

$$x = v_x t = V_0 t \cos \alpha_0 \dots\dots\dots(3)$$

$$y = v_y t - \frac{1}{2} g t^2$$

$$= V_0 \sin \alpha_0 t - \frac{1}{2} g t^2 \dots\dots\dots(4)$$

此兩式ヨリ

$$y = x \tan \alpha_0 - \frac{g x^2}{2 V_0^2 \cos^2 \alpha_0} \dots\dots\dots(5)$$

(5)ハ物體ノ道ヲ表ハセルモノニシテParabolaナリ、
(2)ヨリ

$$t = \frac{V_0 \sin \alpha_0 - v_y}{g}$$

最高點Cニ於テハv_y = 0ナルヲ以テOヨリCニ至ル
時間ヲt₀トスレバ

$$t_0 = \frac{V_0 \sin \alpha_0}{g} \dots\dots\dots(6)$$

此値ヲ(3)ト(4)トニ用ヒテ

$$x_c = \frac{V_0^2 \sin \alpha_0 \cos \alpha_0}{g}$$

$$x_c = \frac{V_0 \sin 2\alpha_0}{2g} \dots\dots\dots(7)$$

$$y_c = \frac{V_0^2 \sin^2 \alpha_0}{2g}$$

$$= \frac{x_c^2 g}{2V_0^2 \cos^2 \alpha_0} \dots\dots\dots(8)$$

任意ノ點Pニ於ケル velocity vノ方向αヲ求ムルニ
ハ(1)ト(2)トヨリ

$$\tan \alpha = \tan \alpha_0 - \frac{gt}{V_0 \cos \alpha_0}$$

然ルニx = V₀t cos α₀ナルヲ以テ

$$\tan \alpha = \tan \alpha_0 - \frac{gt^2}{x}$$

又ハ

$$\tan \alpha = \tan \alpha_0 - \frac{gx}{V_0^2 \cos^2 \alpha_0}$$

次ニ任意ノ方向ニ於ケル displacement R, 并ニ之ニ對

スル時間ヲ見出サントス、OPガx軸トナセル角ヲθト
スレバ

$$y = x \tan \theta$$

然ルニ

$$y = x \tan \alpha_0 - \frac{gx^2}{2V_0^2 \cos^2 \alpha_0}$$

ナルヲ以テ

$$x = \frac{2V_0^2 \cos \alpha_0 \sin (\alpha_0 - \theta)}{g \cos \theta}$$

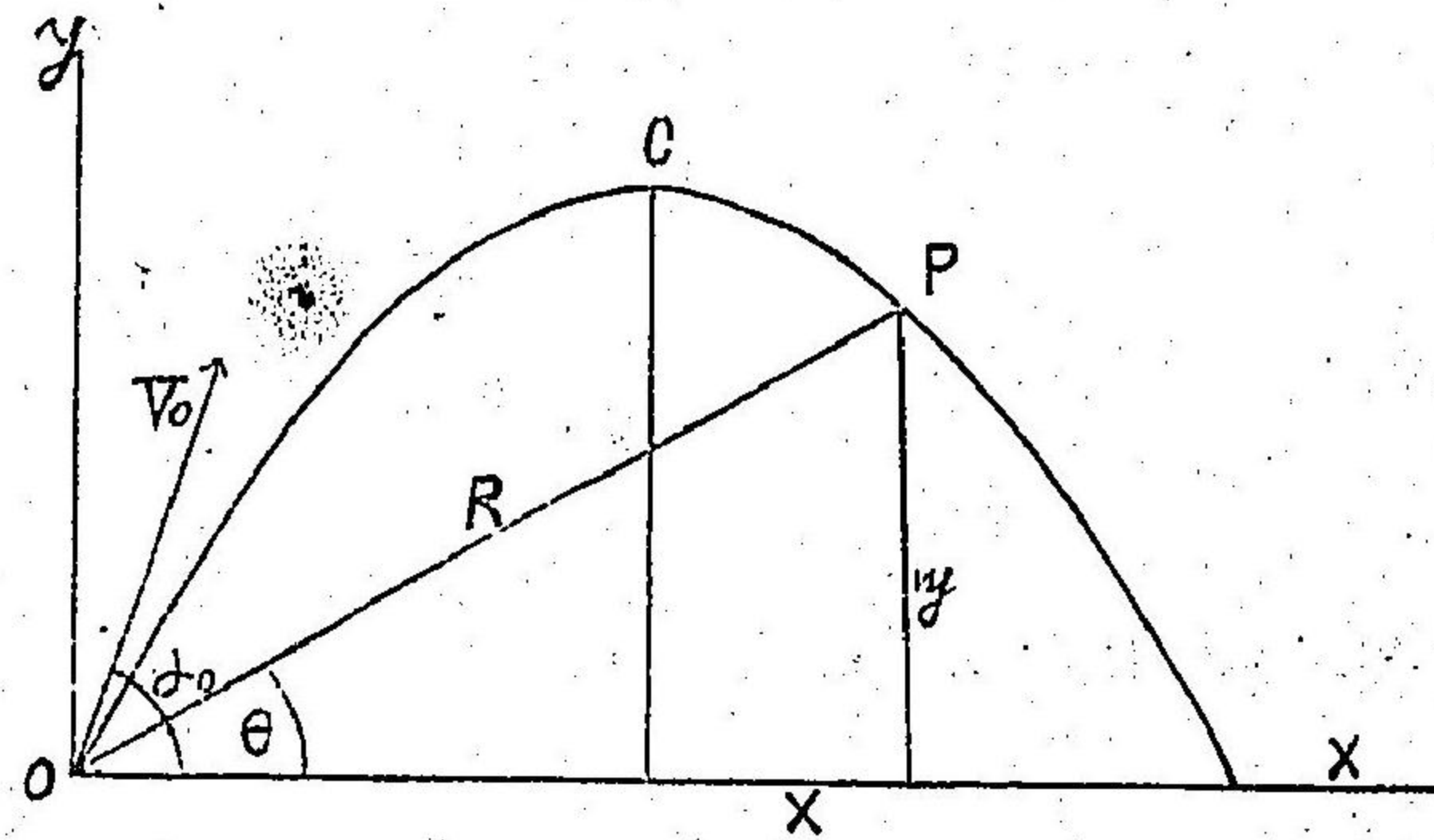
$$x = \frac{2V_0^2 [\sin(2\alpha_0 - \theta) - \sin \theta]}{g \cos \theta}$$

$R = \frac{x}{\cos \theta}$ ナルヲ以テ

$$\begin{aligned} R &= \frac{2V_0^2 \cos \alpha_0 \sin(\alpha_0 - \theta)}{g \cos^2 \theta} \\ &= \frac{V_0^2 [\sin(2\alpha_0 - \theta) - \sin \theta]}{g \cos^2 \theta} \end{aligned}$$

此 displacement ノ 時間ハ

$$t = \frac{x}{V_0 \cos \alpha_0} = \frac{2V_0 \sin(\alpha_0 - \theta)}{g \cos \theta}$$



R ハ $\sin(2\alpha_0 - \theta)$ ガ 最大ナルトキ、即チ $2\alpha_0 - \theta = 90^\circ$ ナル時、即チ $\alpha_0 = \frac{1}{2}(90^\circ + \theta)$ ナル場合ニ最大ナリ、故ニ到達シ得ベキ最大ナル displacement ニ對スル角 α_0 ハ

$$90^\circ - \alpha_0 = \frac{1}{2}(90^\circ - \theta)$$

ナル關係ヲ満足セザル可ラズ、換言スレバ V_0 ノ 方向ハ鉛直線ト R トノ間ノ角ヲ二等分スルモノナラザル可ラズ、 $\theta = 0$ ナル場合、即水平ノ方向ニ於テ最モ大ナル displacement ヲ與フル爲ノ投射角ハ水平方向ニ對シ 45°

ノ角ヲナス様ニ撰バザル可ラズ。

次ニ或定マレル點ヲ打ツ爲ノ α_0 ノ 値ヲ見出サントス。

$$y = x \tan \alpha_0 - \frac{gx^2}{2V_0^2 \cos^2 \alpha_0}$$

即チ $y = x \tan \alpha_0 - \frac{gx^2}{2V_0^2} (1 + \tan^2 \alpha_0)$

即チ $\frac{gx}{V_0^2} \tan^2 \alpha_0 - 2 \tan \alpha_0 + \left(\frac{gx}{V_0^2} + \frac{2y}{x} \right) = 0$

$\therefore \tan \alpha_0 = \frac{V_0^2}{gx} \pm \sqrt{\left(\frac{V_0^2}{gx} \right)^2 - \left(1 + \frac{2y}{gx} \right)}$

又 $x = \frac{V_0^2 [\sin(2\alpha_0 - \theta) - \sin \theta]}{g \cos \theta}$

$\therefore \sin(2\alpha_0 - \theta) = \frac{gx \cos \theta}{V_0^2} + \sin \theta$

$\therefore \alpha_0 = \frac{\theta}{2} + \frac{1}{2} \sin^{-1} \left(\frac{gx \cos \theta}{V_0^2} + \sin \theta \right)$

又 $R = \frac{x}{\cos \theta}$ ナルヲ以テ

$$\alpha_0 = \frac{\theta}{2} + \frac{1}{2} \sin^{-1} \left(\frac{gR \cos^2 \theta}{V_0^2} + \sin \theta \right)$$

24. 摩擦無キ斜面ヲ降ル物體ノ運動

P ハ 斜面ニヨリテ支ヘラル、ニアラザレバ g ナル大サノ acceleration ヲ以テ鉛直ニ落下スベキモ、斜面ニ支ヘラル、爲ニ斜面 AB ニ沿フテ降ルベシ、 AE ハ鉛直線、 BE ハ水平線ナリ、 α ハ AB ト BE トノ間ノ角即チ斜面ノ傾角ナリ、斜面ノ長サ AB ヲ l トシ、斜面ノ高サ AE

ヲルトス, g ヲ AB ノ 方向ト, 之ニ 直角ナル 方向トニ 分解スレバ AB ノ 方向ノ component ハ

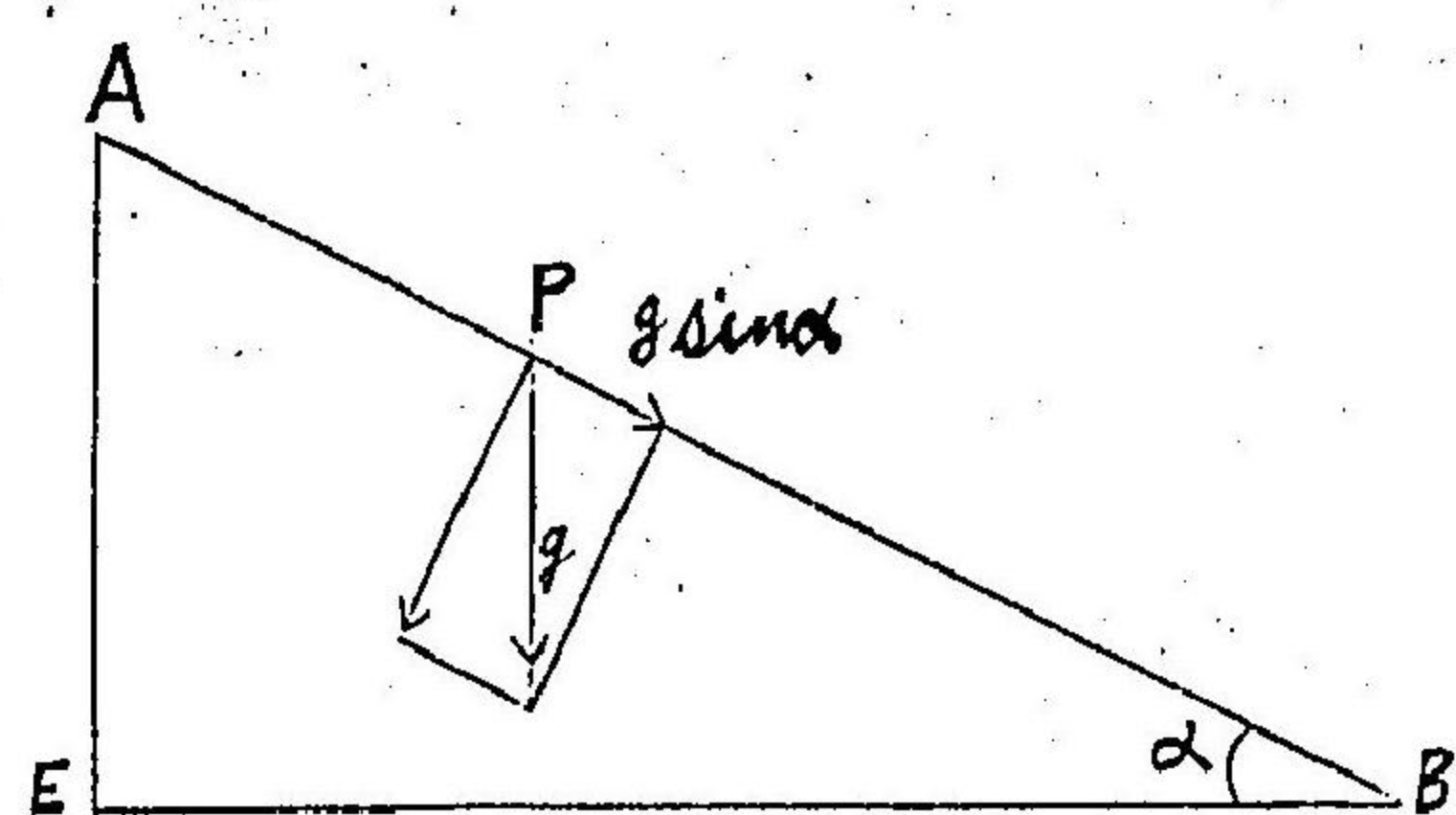
$$g \sin \alpha$$

ナリ, 此 値ハ AB 上ノ 各 點ニ 於テ, 相等シキヲ 以テ, P ガ AB ヲ 降ル 運動ハ constant acceleration ノ 運動ナリ. v_0 及 v ヲ 夫々 A 及 B ニ 於ケル speed トスレバ

$$\begin{aligned} v^2 - v_0^2 &= 2(g \sin \alpha)l \\ &= 2gl \sin \alpha \\ &= 2gh \end{aligned}$$

若シモ $v_0 = 0$ ナレバ

$$v^2 = 2gh$$



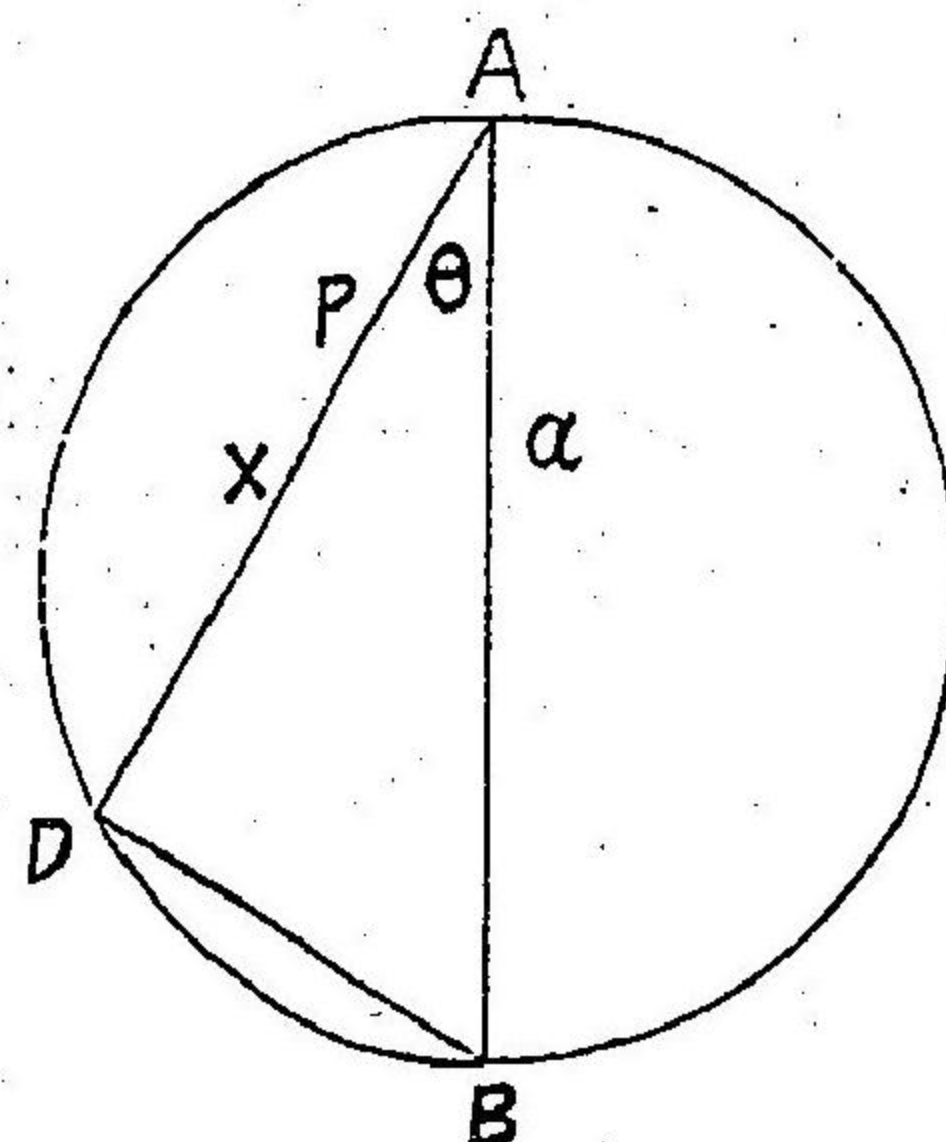
故ニ B ニ 於テ P ノ 有スル speed ハ 恰モ P ガ A ヨリ 自由ニ 鉛直ニ 落下シテ E ニ 於テ 有スベキ speed ニ 等シ, 但シ 其 時間ハ 異ナレリ, P ガ AB ニ 沿フテ A ヨリ B ニ 至ル 時間ヲ t トシ, P ガ AE ニ 沿フテ 自由ニ 落ツルトキ A ヨリ E ニ 至ル 時間ヲ t' トスレバ

$$t = \frac{v - v_0}{g \sin \alpha}$$

$$t' = \frac{v - v_0}{g}$$

$$\therefore \frac{t}{t'} = \operatorname{cosec} \alpha = \frac{l}{h}$$

圓 ADB ハ 鉛直面内ニ アリ, A ハ 其 周上ノ 最高點ニ シテ, AB ハ 直徑ナリ. AD ハ 任意ノ 弦ナリ, 其 長サヲ x トス, 角 DAB ヲ θ トス, 斜面 AD ニ 沿フテ A ヨリ D ニ 降ル 時間ヲ t トス



然ルトキ

$$x = a \cos \theta$$

動點 P ノ AD ノ 方向ノ acceleration ハ $g \cos \theta$ ナリ, P ガ A ニ アルトキノ speed ヲ 零トスレバ

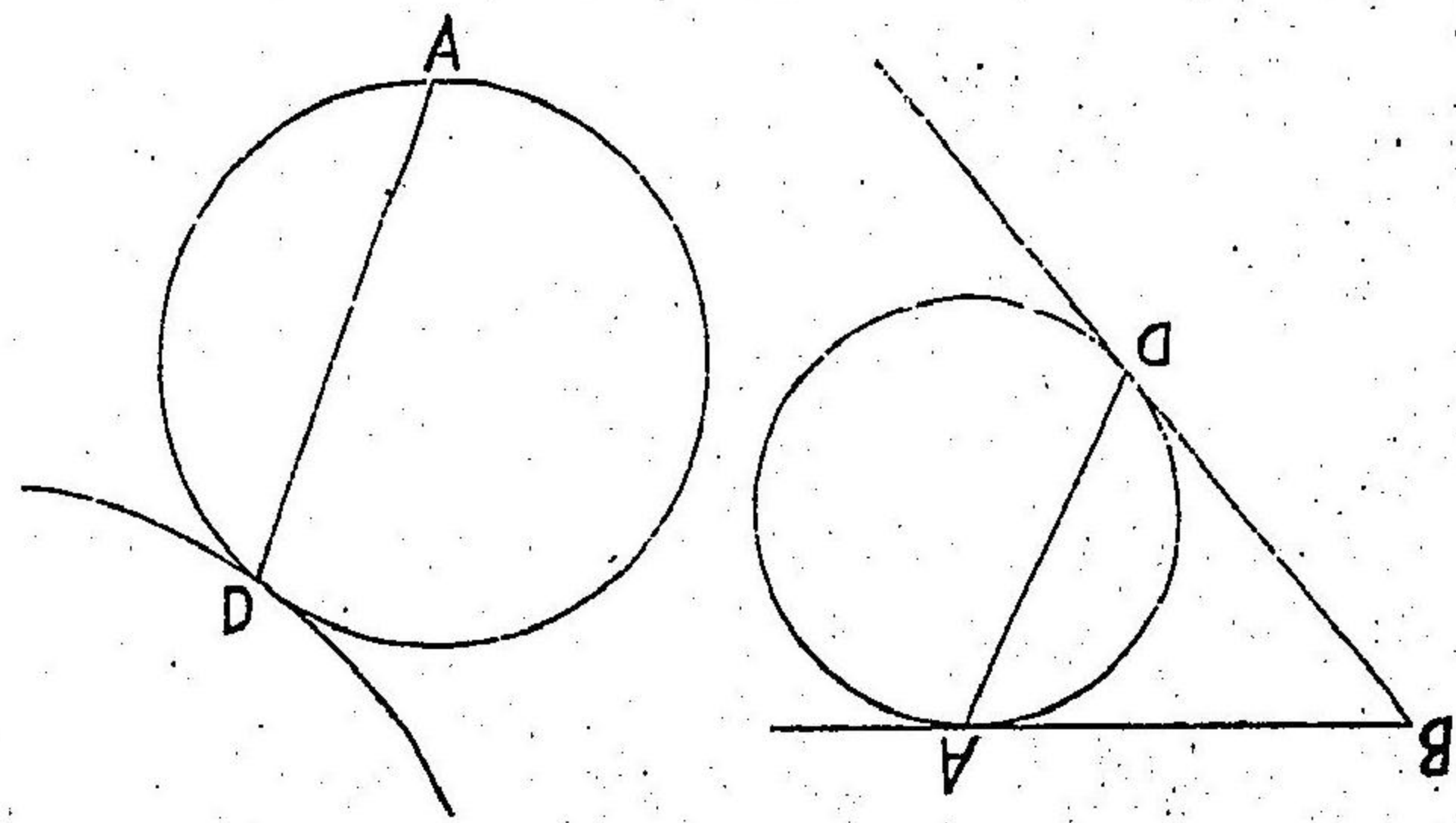
$$x = \frac{1}{2}(g \cos \theta) t^2$$

故ニ

$$t = \sqrt{\frac{2x}{g \cos \theta}} = \sqrt{\frac{2a}{g}}$$

故ニ t ハ θ ニ 關係無シ, 即チ P ガ A ヨリ 弦ニ 沿フテ 周

上ニ落ツル時間ハ何レノ弦ニ付テモ相等シ、從テ A ヨリ圓周外ノ一點ニ落ツルトキ如何ナル道ニ沿フテ降ルモ其時間ハ任意ノ弦ニ沿フテ周上ニ落ツル時間ヨリ大ナリ、例ヘバ或點 A ヨリ A ヲ含ム鉛直面内ノ或圓



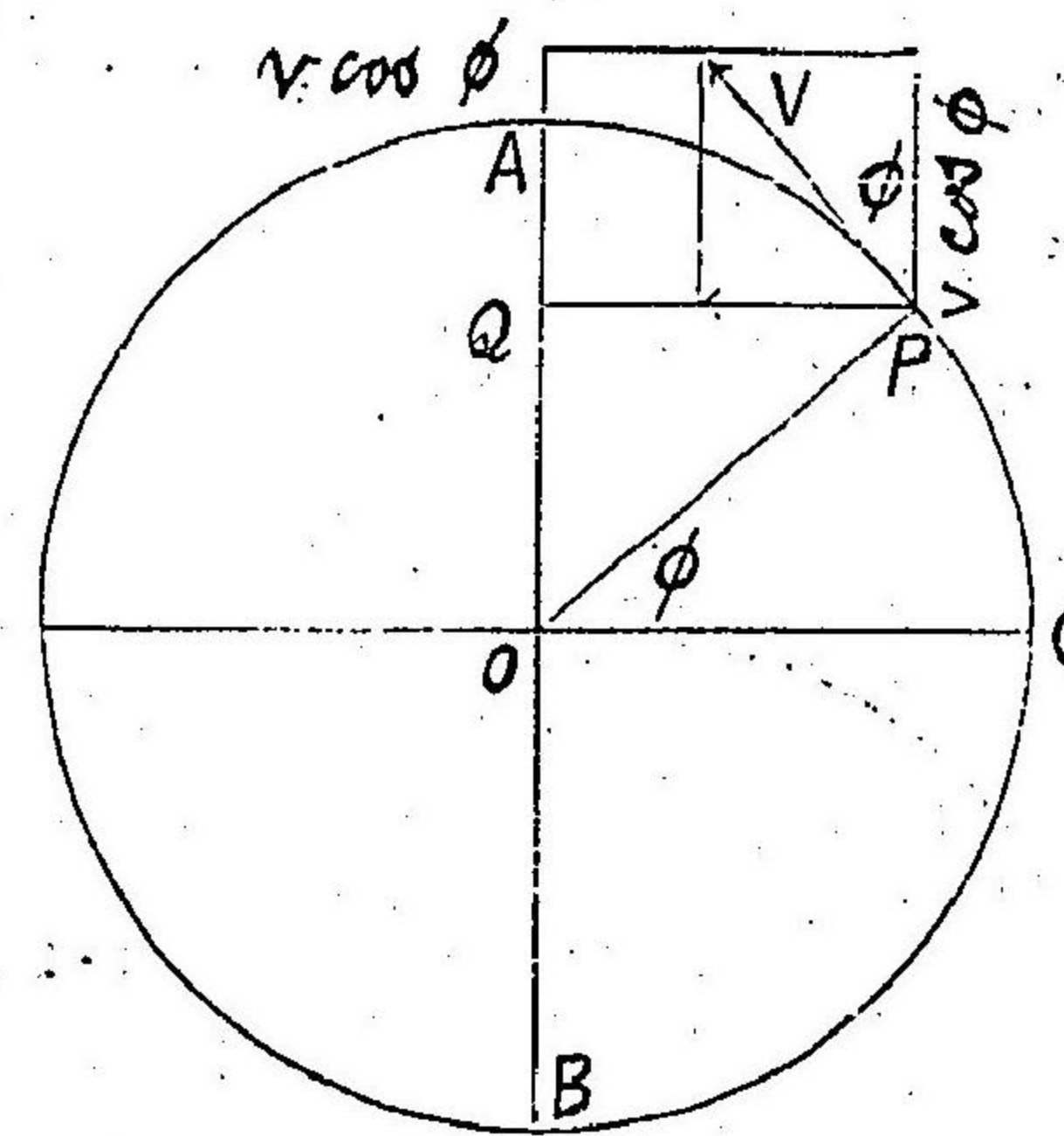
周上又ハ或直線上ヘノ quickest descent ノ線ハ AD ナリ、但 D ハ A ヲ最高點トシテ畫カレタル圓ガ與ヘラレタル圓又ハ直線ト切スル點ナリ。

25. Simple Harmonic Motion.

半徑 a ナル圓周上ヲ一様ナル angular velocity ω ヲ以テ矢ノ方向ヘ動ク點 P アリ、任意ノ直徑 AB 上ヘノ P ノ正射影 Q ハ一種ノ週期運動ヲナスベシ、此 Q 點ノ運動ヲ Simple Harmonic Motion ト云フ。

OC ハ AB ニ垂線ナリ、P ガ C ニアリシ時ヲ時間 t ヲ測ル初メトス、角 COP ヲ ϕ トス、 ϕ ヲ Phase ト云フ、OA ヲ a トス、 a ヲ Amplitude ト云フ、Q ガ或點ヲ二回引續キ同一ノ方向ヘ通過スル時間ヲ T トス、T ヲ Period ト云フ、T ハ P ガ圓

周ヲ一周スル時間ニ等シ、 $\frac{1}{T}$ ヲ n トス、 n ヲ Frequency ト云フ、圓 ABC ヲ Circle of Reference 又ハ Auxiliary Circle ト云フ。



$$OA = y = a \sin \phi$$

$$= a \sin \omega t \dots \dots \dots (1)$$

此式ニヨリ任意ノ時ニ於ケル Q ノ位置ガ與ヘラル。

P ノ velocity ヲ v トスレバ

$$v = a \omega$$

之ヲ AB ニ平行ナルモノト直角ナルモノトニ分ツ、其内平行ナル component ハ Q ノ之ニ相當セル時ニ於ケル velocity ナリ、Q ノ velocity ヲ y' トスレバ

$$y' = a \omega \cos \omega t \dots \dots \dots (2)$$

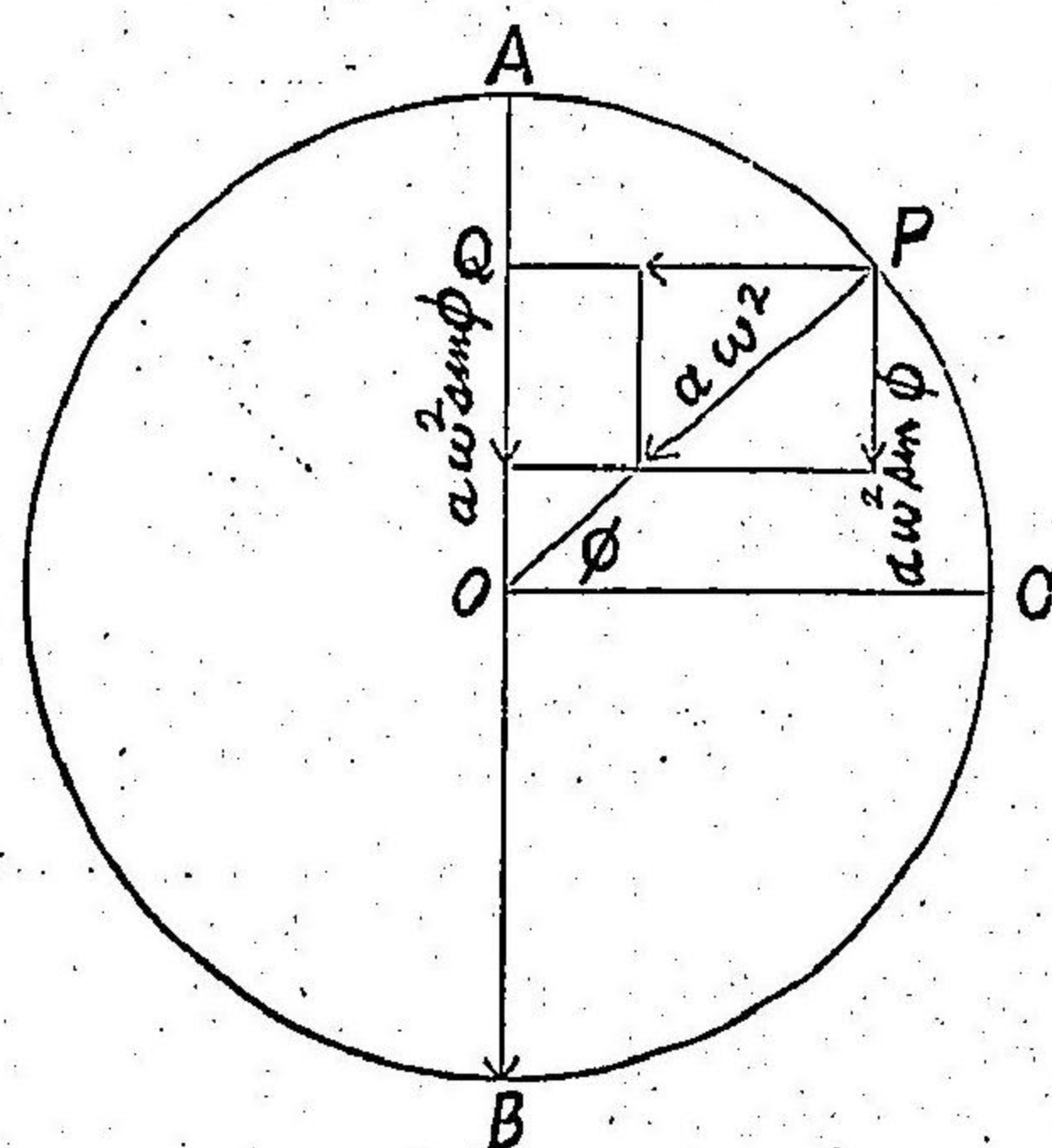
此式ニヨリ任意ノ時ニ於ケル Q ノ velocity ガ與ヘラル、上式ニヨリテ Q ノ velocity ハ A ト B トニ於テ零ニシテ、O ニ於テハ其絶對値最大トナリ、其値ハ $a \omega$ ナルコトガ

知ラル、

Pノ acceleration ハ

$$\frac{v^2}{a} \text{ 即チ } a\omega$$

ニシテ恒ニ中心Oニ向フ之ヲABニ平行ナルモノト直角ナルモノトニ分テハ其平行ナル component ハQノ此瞬時ニ於ケル acceleration \ddot{y} ナリ。



$$\begin{aligned} \ddot{y} &= -a\omega^2 \sin \omega t \\ &= -\omega^2 y \dots\dots\dots(3) \end{aligned}$$

Accelerationノ値ハOニ於テ零ニシテA及ビBニ於テ絶対値最大ニシテ $a\omega^2$ トナル而シテアットットハ正負ノ符號相反セリ, accelerationハ恒ニ中心Oニ向ヘリ。

若シモ時間ノ初ヲPカAニアリシ時トスレバ

$$\begin{aligned} y &= a \cos \omega t \dots\dots\dots(1)' \\ \dot{y} &= -a\omega \sin \omega t \dots\dots\dots(2)' \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \ddot{y} &= -a\omega^2 \cos \omega t \\ &= -\omega^2 y \dots\dots\dots(3)' \end{aligned}$$

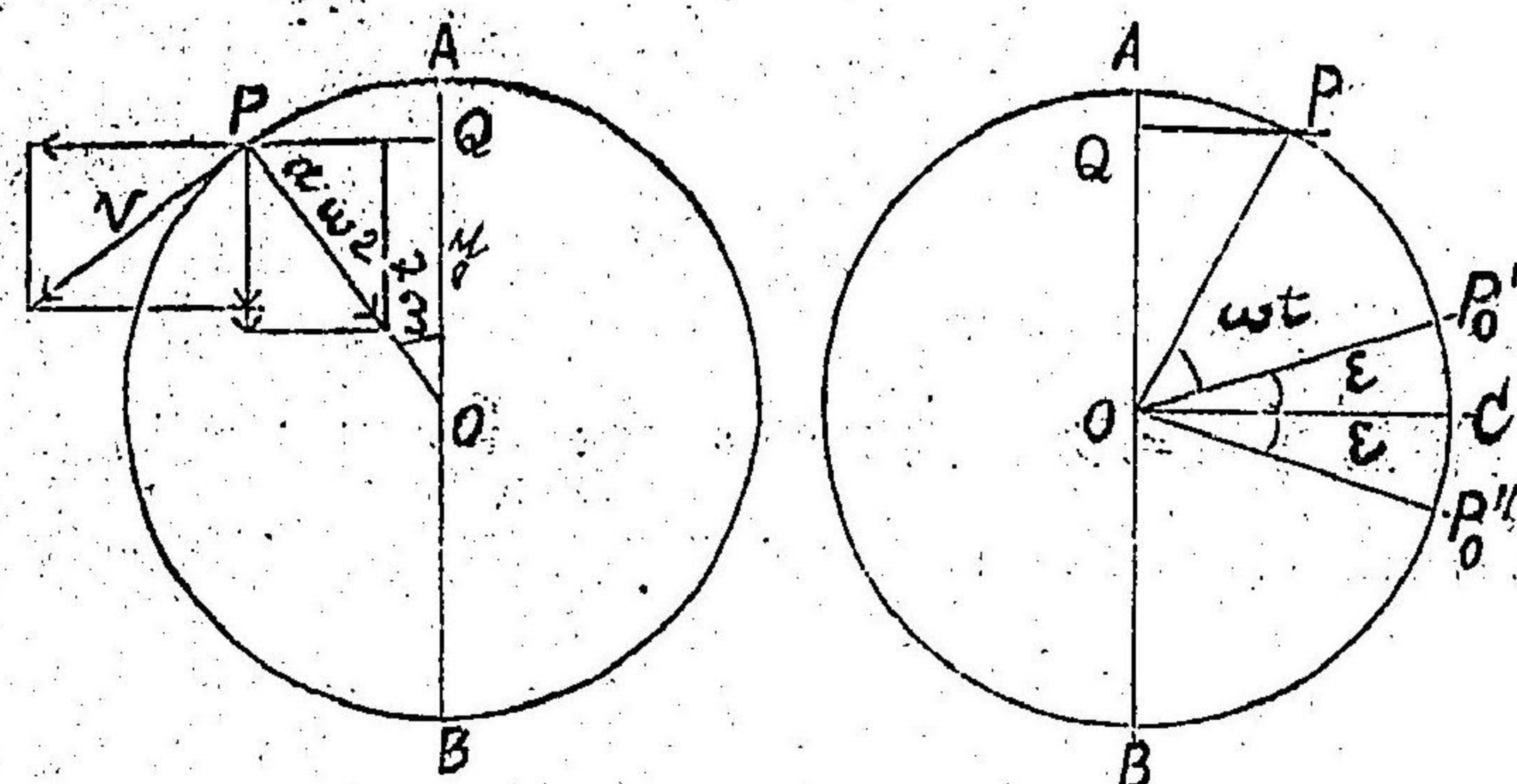
又時ノ初ガPカP'又ハP''ニアリシ時トスレバ

$$y = a \sin (\omega t + \epsilon) \dots\dots\dots(1)''$$

$$\dot{y} = a\omega \cos (\omega t + \epsilon) \dots\dots\dots(2)''$$

$$\begin{aligned} \ddot{y} &= -a\omega^2 \sin (\omega t + \epsilon) \\ &= -\omega^2 y \end{aligned}$$

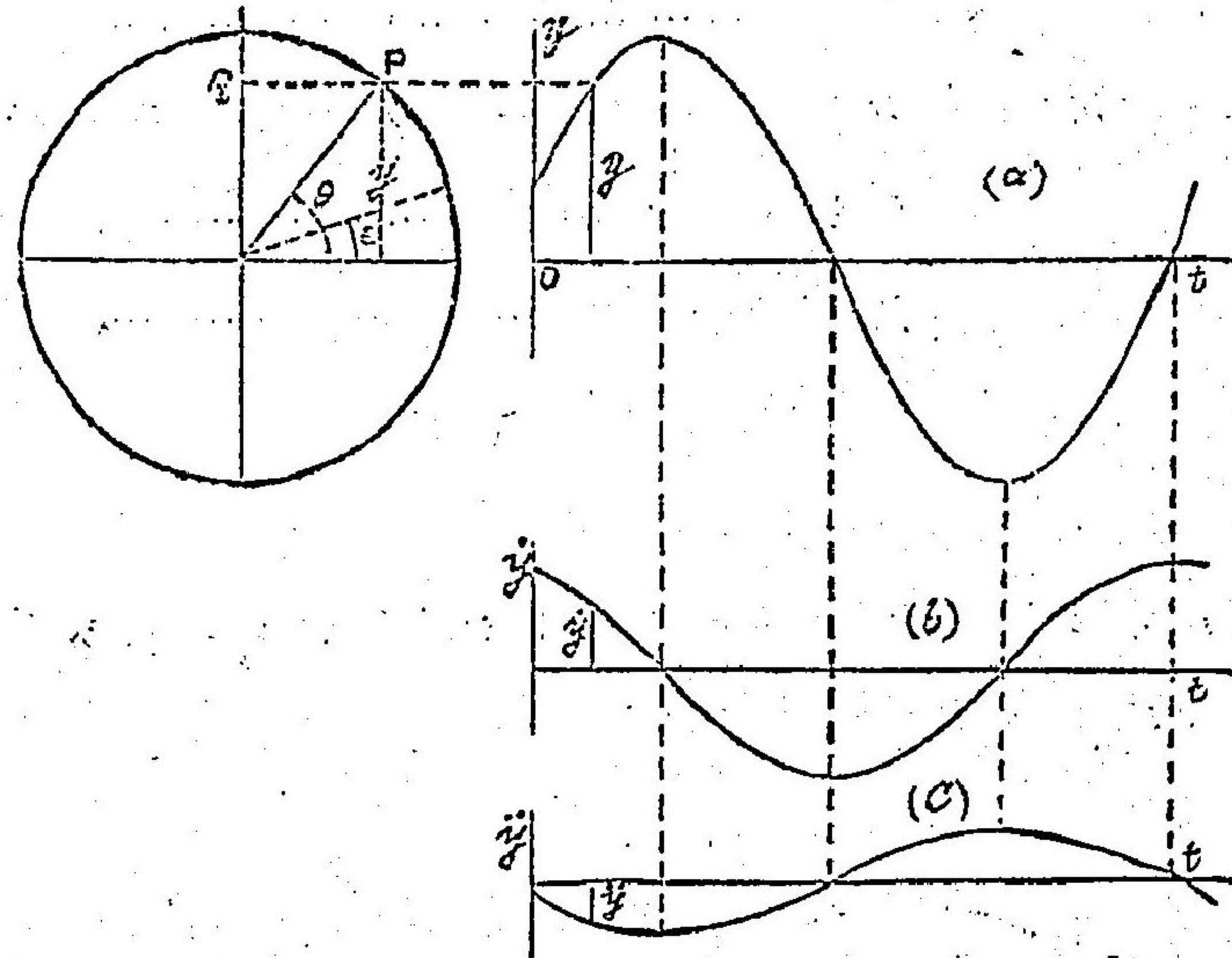
但時ノ初ガP'ナレバ ϵ ヲ正トシ,P''ナレバ ϵ ヲ負トスベシ。



上述三組ノ式ハ同一ノ simple harmonic motionニ關係セルモノナリ其形式ノ異ナレルハ單ニ時ノ初ノ採リ方ガ異ナレル爲ナリ。

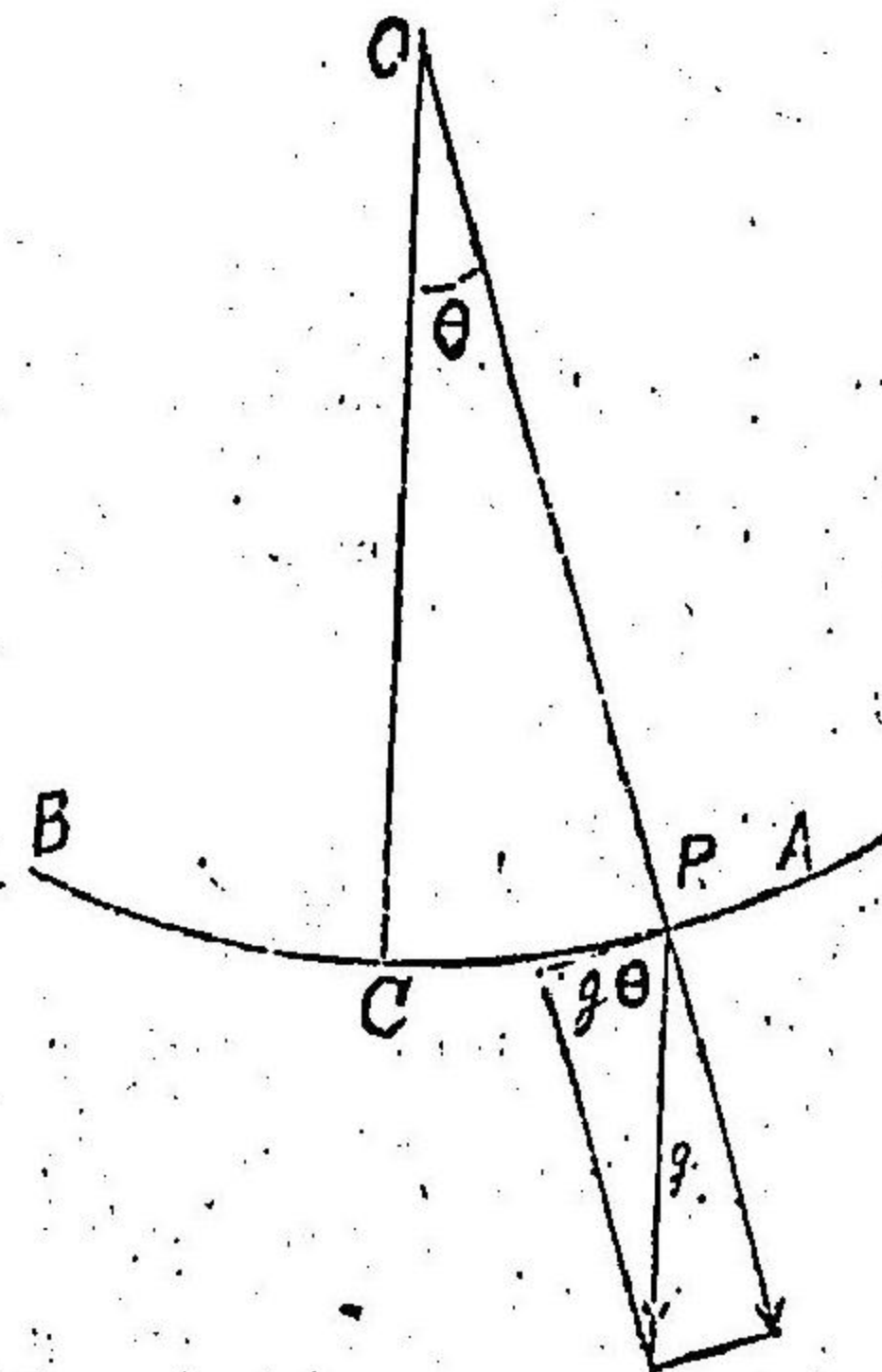
横軸ノ方ヘ時間tヲ測リ,縦軸ノ方ヘ displacement ヲ測リテ書ケル曲線ヲ Harmonic Curveト云フ,(a)圖ハ harmonic curveナリ,(b)圖ハ横軸ノ方ヘ時間tヲ測リ,縦軸ノ方ヘyヲ測リテ書ケルモノナリ。(C)圖ハ横軸ノ方ヘ時

間ヲ測リ、縦軸ノ方ヘシテ測リテ畫ケルモノナリ。



26. Simple Pendulum.

質量無キ絲ニテ質點ヲ釣ルセシモノヲ Simple, 又ハ Mathematical Pendulum ト云フ、小物體ヲ輕キ細長ナル絲ニ



テ釣ルセバ略此 Pendulum = 近キモノヲ得ベシ、絲ヲ支フル點 O ト質點 P トノ距離、即絲ノ長ヲ pendulum ノ長ナト云フ、P ヲ其靜止ノ位置 C ヨリ側方ヘ持來タシ、之ヲ放テハ P ハ鉛直面内ニ弧 AB ヲ畫キ振動スベシ、角 COP = theta トスレバ、道 = 切線ノ方向ノ P ノ acceleration ハ $g \sin \theta$ ナリ、theta ガ小ナル場合ニハ此値ハ $g \theta$ ト見ルヲ得、即チ acceleration ハ theta = 比例ス、即弧 CP = 比例ス、故ニ theta ガ小ナル場合ニハ P ノ運動ハ Simple harmonic motion ト見做スヲ得、振動ノ period ヲ T トスレバ前節(3)ヨリ

$$\left(\frac{2\pi}{T}\right)^2 = \frac{\text{acceleration}}{\text{displacement}} = \frac{g\theta}{l\theta} = \frac{g}{l}$$

$$T = 2\pi \sqrt{\frac{l}{g}}$$

第 貳 章

運動ノ定律、萬有引力

27. Newton ノ 第一運動定律.

物體ハ外力ニ働カル、ニアラザレバ静止セルモノハ依然静止ノ状態ヲ保持シ、運動セルモノハ其速度ノ大サ並ニ方向ヲ變セズ.

此定律ハ物體ハ Inertia ヲ有スルモノナルコトヲ示スモノナルヲ以テ Inertia ノ定律ト云フ. 此定律ハ一面ニハ力ノ定義ヲ與フルモノナリ、即チ力ハ物體ノ velocity ヲ變スルモノナリ.

28. Impulse 及ビ Momentum.

物體ニ働ケル力ト其力ノ働ケル時間トノ乘積ニヨリテ表ハサレタル量ヲ Impulse ト云フ. F ヲ力トシ、 t ヲ時間トスレバ impulse ハ Ft ナリ.

物體ノ mass ト其 velocity ノ大サトノ乘積ニテ表ハサレタル量ヲ momentum ト云フ、 m ヲ mass トシ、 v ヲ velocity トスレバ momentum ハ mv ナリ.

29. Newton ノ 第二運動定律.

Momentum ノ 變化ハ Impulse ニ 比例ス.

mass m ナル物體ガ velocity v ヲ以テ動キツ、アル時、

其運動方向ニ一定ノ力 F ガ働キ始メ t 秒時間ノ後ニハ此力ノ爲ニ velocity ガ v_2 トナリタリトスレバ

$$Ft = Km(v_2 - v_1)$$

但 K ハ常數ナリ適當ニ單位ヲ撰ベバ $K=1$ トナスコトヲ得然ル時上式ハ

$$Ft = m(v_2 - v_1)$$

トナルベシ此式ヨリ

$$F = m \frac{(v_2 - v_1)}{t}$$

t ガ微小トナレル極限ニ於テ

$$\frac{v_2 - v_1}{t}$$

ノ値ハ其瞬時ニ於ケル acceleration a ヲ與フルモノナリ、故ニ

$$F = ma$$

即チ力ノ大サハ質量ノ大サト acceleration ノ大サトノ乘積ニテ表ハサル。

30. Impulsive Force.

前節ニヨリ

$$Ft = m(v_2 - v_1)$$

$m(v_2 - v_1)$ ガ有限ノ大サヲ有シテ而カモ t ガ甚ダ小ナル場合ニ F ヲ Impulsive force ト云フ。

31. Newton ノ第三運動定律.

物體 A ガ他ノ物體 B ニ或力ヲ働ケバ B モ亦同時ニ

或力ヲ A ニ働クモノナリ、一方ノ力ヲ Action ト云ヒ、他方ノ力ヲ Reaction ト呼ブ、Newton ノ第三運動定律ハ次ノ如シ。

Action ニハ必ズ Reaction ヲ伴フ、此兩者ハ大サ等シク方向反對ナリ。

32. Universal Gravitation ニ關スル Law.

地球表面上ニ於テ真空内ヲ落下スル物體ノ受クル Acceleration ハ、地表ヨリノ距離ガ地球半徑ニ比シテ極メテ小ナル場合ニ付テノミ constant ト見做シ得ルモ、實際ニハ距離ノ平方ニ反比例スルモノナリ。

Universal Gravitation ニ關セル Newton ノ law ニヨレバ、二個ノ particles ノ質量ヲ夫々 m, m' トシ、其距離ヲ r トスレバ其間ニ引力アリ、其大サヲ F トスレバ

$$F \propto \frac{mm'}{r^2}$$

即チ

$$F = \kappa \frac{mm'}{r^2}$$

κ ヲ gravitation ノ constant ト云フ。

理論上 homogeneous ナル球體ト其球體外ノ或點ニアル particle トノ間ノ attraction ハ、恰モ其球體ノ全質量ガ其球ノ中心ニ集合セル場合ノ attraction ニ等シキモノナリ、若シ地球ヲ homogeneous ナル球體ナリトスレバ、地球引力ニヨル acceleration ハ、地心ヨリノ距離ノ平方ニ反比例スベシ。

κ は

$$m = m' = 1, \quad r = 1$$

ナル場合ノ F ノ大サニ等シ、 m' ヨリノ attraction ノ爲ニ m ノ受クル acceleration ハ

$$\frac{m'}{r^2}$$

ナリ、 m ヲ地球上ニアル物體ノ mass トシ、 m' ヲ地球ノ mass トシ、 r ヲ地球ノ半径トスレバ $\kappa \frac{m'}{r^2}$ ハ m ノ受クル acceleration ナリ、之ヲ g トスレバ

$$\kappa \frac{m'}{r^2} = g$$

故ニ

$$\kappa = \frac{3}{4} \frac{g}{\pi r \rho}$$

但 ρ ハ地球ノ density ナリ。

C. G. S. system ニ於テハ

$$\kappa = 6.65 \times 10^{-8}$$

33. Mass ト Weight.

或物體ノ weight トハ其物體ニ働ケル地球ノ引力ノコトナリ、或物體ノ mass ヲ m_1 トシ、或場所ニ於ケル acceleration ヲ g トスレバ其場所ニ於テ其物體ノ weight W_1 ハ次式ニテ表ハサルベシ。

$$W_1 = m_1 g$$

或他ノ物體ノ mass ヲ m_2 トシ、同一ノ場所ニ於ケル其物體ノ weight ヲ W_2 トスレバ

$$W_2 = m_2 g$$

故ニ同一ノ場所ニ於テ

$$\frac{W_1}{W_2} = \frac{m_1}{m_2}$$

場所ヲ異ニスレバ g ノ値モ異ナルヲ以テ上記ノ關係ハ成立セズ。

34. 力ノ單位.

力ノ單位ニ重力單位ト絶對單位トアリ。

(i) 重力單位.

1 pound ノ mass ヲ有スル物體ニ働ケル地球引力ノ大サ、即 1 pound ノ mass ヲ有スル物體ノ受クル weight ヲ以テ力ノ單位トシ之ヲ Pound ト呼ブ。

1 gram ノ mass ヲ有スル物體ニ働ケル地球引力ノ大サヲ力ノ單位トシ之ヲ Gram ト呼ブ、又 mass 1 kilogram ニ働ケル weight ヲ單位トシ之ヲ Kilogram ト呼ブ。

(ii) 絶對單位.

1 pound ノ mass = 1 foot per second per second ノ acceleration ヲ與フル力ヲ力ノ單位トシ之ヲ Poundal ト呼ブ。

1 gram ノ mass = 1 centimetre per second per second ノ acceleration ヲ與フル力ヲ力ノ單位トシ之ヲ Dyne ト稱ス。

g ノ値ハ場所ニヨリテ異ナルヲ以テ重力單位ヲ採ル上ニハ g ノ値ヲ指定スル必要アリ、通常用ヒラルル g ノ値ハ

$$g = 32.16 \text{ feet per second per second}$$

$$g = 980.6 \text{ centimetres per second per second}$$

故ニ力ノ單位ニ付重力單位ト絶對單位トノ關係ハ

$$1 \text{ pound ノ力} = 32.16 \text{ poundals.}$$

$$1 \text{ kilogram ノ力} = 980.6 \times 10^3 \text{ dynes.}$$

$$1 \text{ gram ノ力} = 980.6 \text{ dynes.}$$

故ニ mass m pounds ノ物體ニ a feet per second per second ノ acceleration ヲ與フル力ノ大サヲ F トスレバ

$$F = ma \text{ poundals}$$

又ハ

$$F = \frac{ma}{g} \text{ pounds}$$

第 參 章

力ノ組合及ヒ分解

35. Transmissibility ノ principle.

剛體ニ作用セル力ノ効果ハ其力ノ作用線上ニ於テ其着力點ヲ移スモ變セザルモノナリ.

36. 一點ニ働ケルニ力ノ合力.

F_1, F_2 ヲ質點 P ニ働ケルニ力トス, F_1 ノ爲ニ生ゼラルベキ acceleration ヲ a_1 トシ, F_2 ニヨリテ生ゼラルベキ acceleration ヲ a_2 トス, P ノ mass ヲ m トス然ル時

$$F_1 = ma_1$$

$$F_2 = ma_2$$

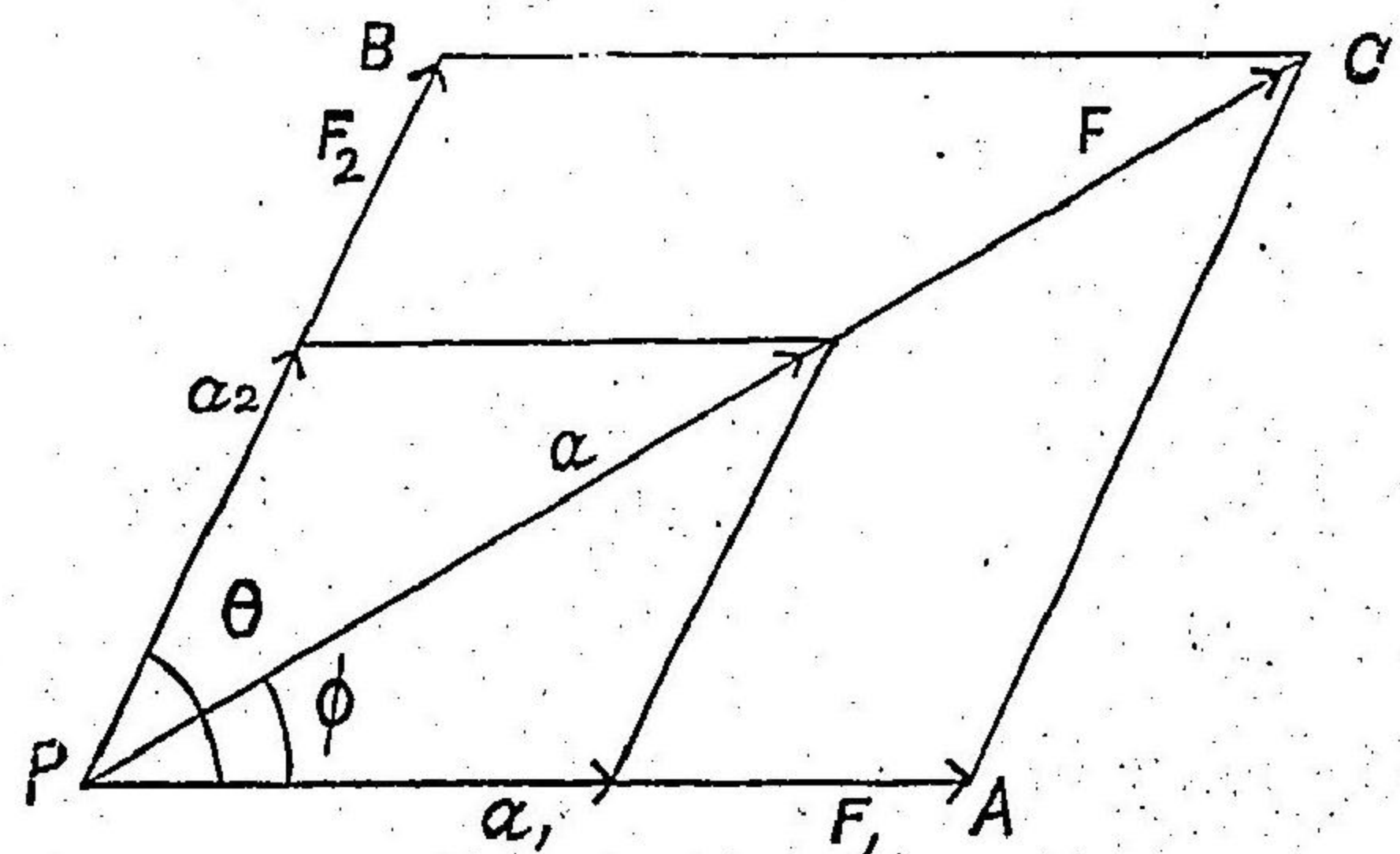
a_1 ト a_2 トノ resultant ヲ a トス, a ハ a_1 ト a_2 トニヨリテ定マル平行四邊形ノ對角線ニヨリ其大サ并ニ方向トモ表ハサル此 acceleration a ハ

$$ma = F$$

ナル式ニヨリテ表ハサル、一力 F ヲ a ノ方向ニ作用スルモ得ラルベシ、即チ F ハ F_1 ト F_2 トカ共ニ作用セルト同一ノ効果ヲ質點 P ニ與フルモノナリ, F ヲ F_1 ト F_2 トノ Resultant ト云フ、圖ニ於テ

$$PA = F_1 \quad PB = F_2$$

F の大サ及方向ハ平方行四邊形 PACB ノ對角線 PC ニヨリテ表ハサル此平行四邊形ヲ力ノ平行四邊形ト云フ又 Resultant ハ三角形 PAC ノ邊 PC ニテ表ハサル、



モノト見ルコトヲ得此三角形ヲ力ノ三角形ト云フ。
 F_1 ト F_2 トノ間ノ角ヲ θ トシ、 F ト F_1 トノ間ノ角ヲ ϕ トスレバ

$$F^2 = F_1^2 + F_2^2 + 2F_1F_2 \cos \theta$$

$$\therefore F = \sqrt{F_1^2 + F_2^2 + 2F_1F_2 \cos \theta}$$

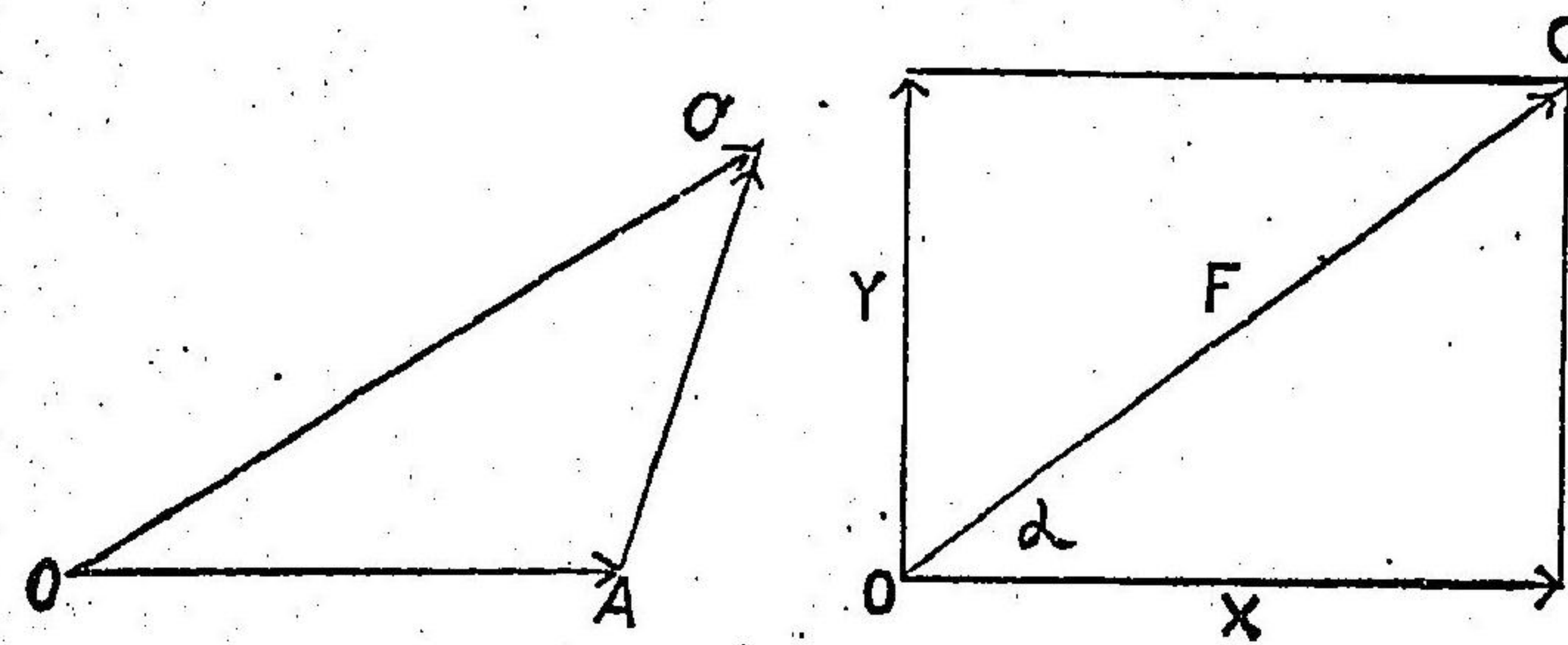
$$\tan \phi = \frac{F_2 \sin \theta}{F_1 + F_2 \cos \theta}$$

37. 一力ヲ作用線ノ交ハレル二力ニ分ツコト。

一力 OC ヲ與ヘラレタル方向ニ於ケル二力ニ分解スルコトヲ得、O ヲ過ギリ與ヘラレタル方向ヘ直線 OA ヲ引キ、C ヲ過ギリ他ノ與ヘラレタル方向ヘ直線 AC ヲ引キ三角形 OAC ヲ作ル然ル時 OA, AC ハ OC ノ分力ナリ。

通常ハ互ニ直角ヲナセル二力ニ分ツヲ便トスル場

合多シ、F ヲ與ヘラレタル力トシ、互ニ直角ナル分力ヲ夫々 X, Y トシ F ト X トノ間ノ角ヲ α トス。



$$X = F \cos \alpha, \quad Y = F \sin \alpha$$

38. 作用線同一ナル衆力ノ組合

F_1, F_2, F_3 等ガ同一ノ作用線ニ沿フテ働ケル時其合力ヲ R トスレバ

$$R = \Sigma F$$

但シ ΣF ハ一方ニ向ヘルモノヲ正トシ、他方ニ向ヘルモノヲ負トセル代數和ナリ、R ノ方向ハ ΣF ノ符號ニヨリテ定マル。

39. 作用線ガ互ニ直角ニ交ハレル三力ノ組合。

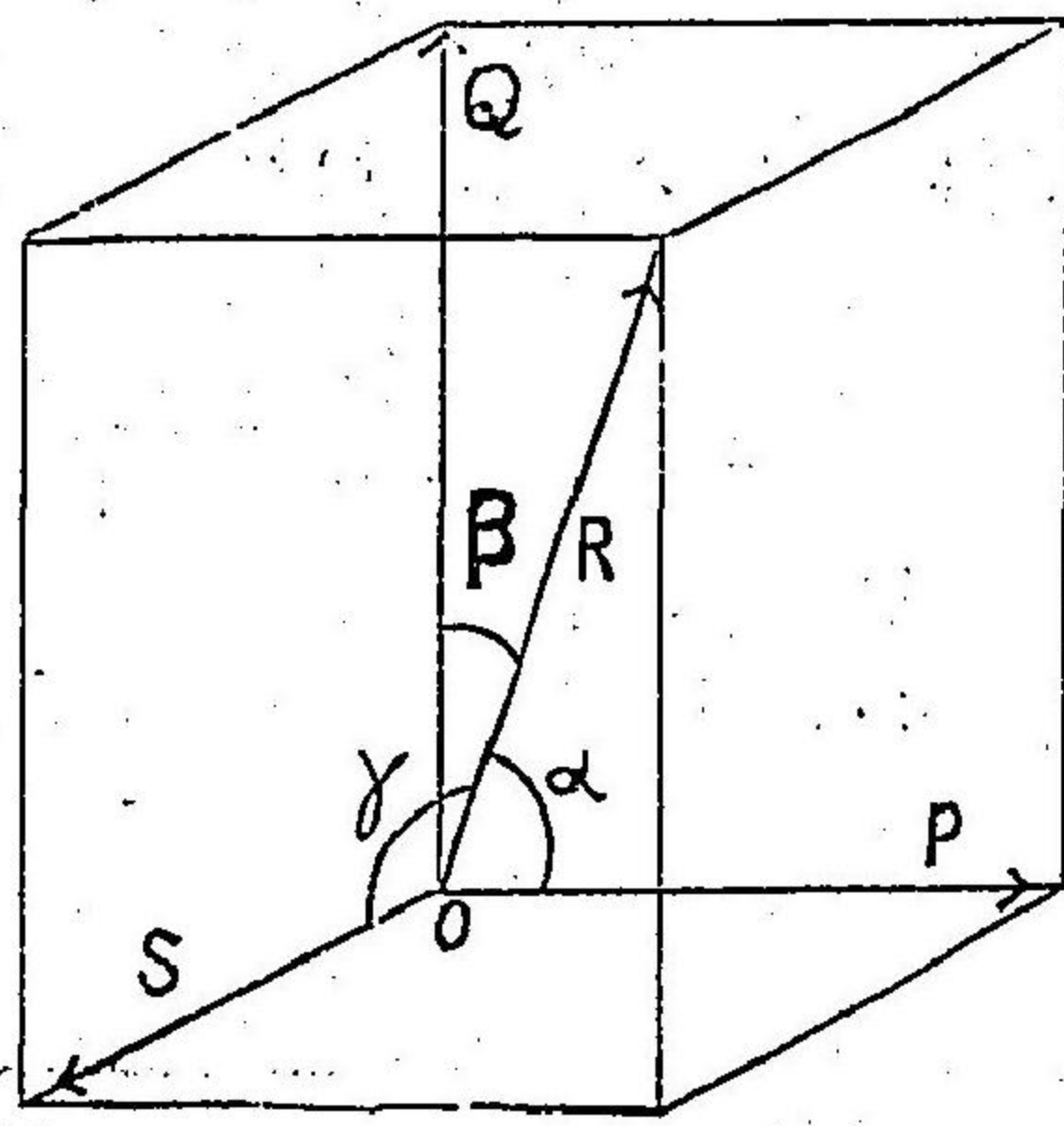
P, Q, S ヲ與ヘラレタル三力トス、其作用線ハ O 點ニ會シテ互ニ直角ヲナセリ、合力ヲ R トス、R ガ P, Q, S トナセル角ヲ夫々 α, β, γ トスレバ

$$R^2 = P^2 + Q^2 + S^2$$

故ニ

$$R = \sqrt{P^2 + Q^2 + S^2}$$

又



$$\cos \alpha = \frac{P}{R} = \frac{P}{\sqrt{P^2 + Q^2 + S^2}}$$

$$\cos \beta = \frac{Q}{R} = \frac{Q}{\sqrt{P^2 + Q^2 + S^2}}$$

$$\cos \gamma = \frac{S}{R} = \frac{S}{\sqrt{P^2 + Q^2 + S^2}}$$

40. 一力ヲ作用線ガ互ニ直角ニ交ハレル三力ニ分解スルコト.

Fヲ與ヘラレタルカトシ之ヲ坐標軸ノ方向ニ分解セントス, x, y, z 分力ヲ夫々 F_x, F_y, F_z トシ, Fカ x 軸, y 軸, z 軸トナセル角ヲ夫々 α, β, γ トスレバ

$$F_x = F \cos \alpha$$

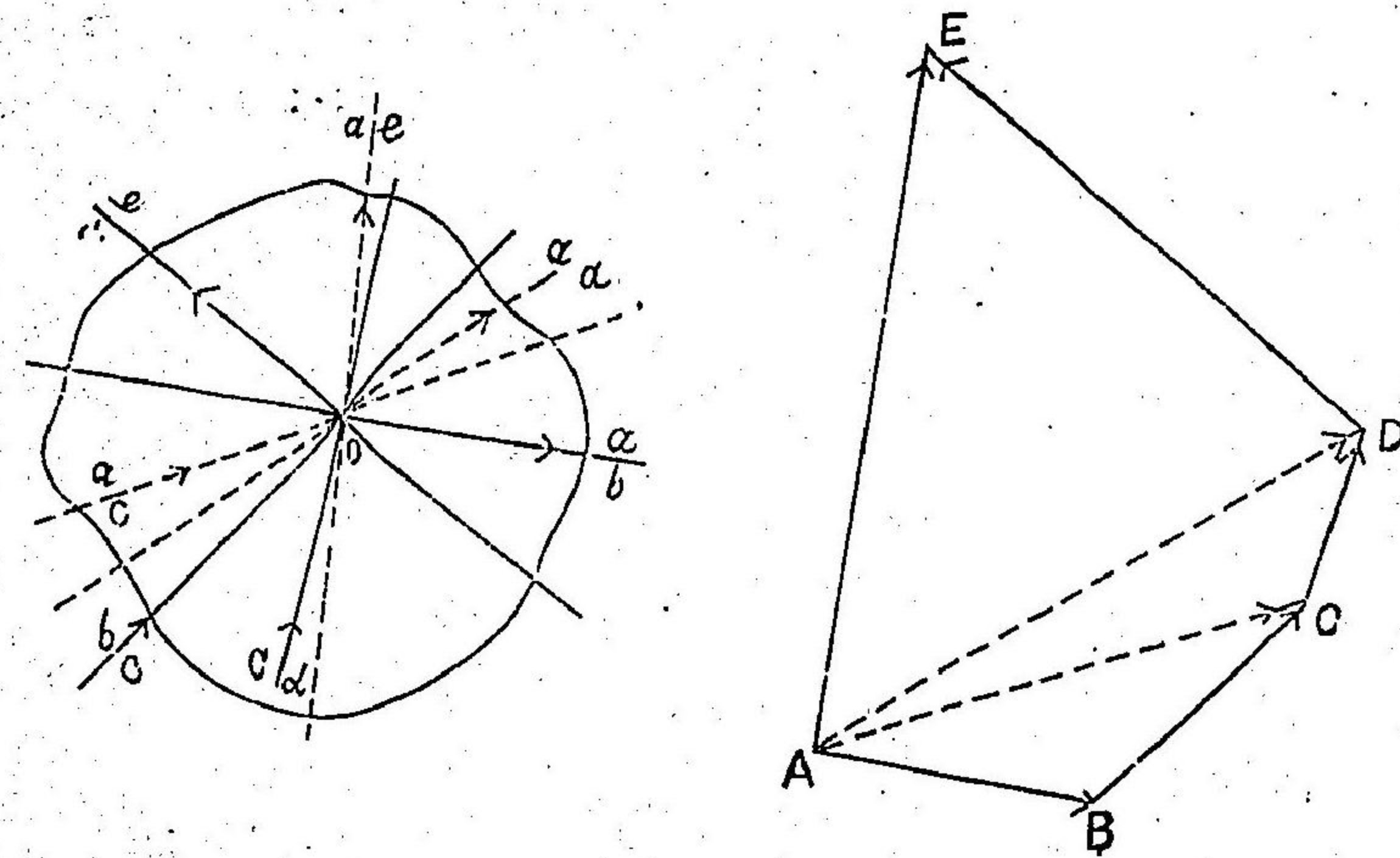
$$F_y = F \cos \beta$$

$$F_z = F \cos \gamma$$

41. 同一平面上ニ於テ作用線ガ一點ニ會セル衆力ノ組合.

AB, BC, CD, DE, ヲ與ヘラレタル諸カトシ, 其作用線ヲ夫々 ab, bc, cd, de トス.

ABトBCトノ和ハACニシテ其作用線ハACニ平行ナル ac ナリ, ACトCDトノ和ハADナリ, 其作用線ハADニ平行ナル ad ナリ, ADトDEトノ和ハAEニシテ其作用線ハAEニ平行ナル ae ナリ, 即チAEハAB, BC, CD, DEノ合力ノ大サ并ニ方向ヲ示スモノニシテ, 其作用線ハ共通ノ着力點ヲ通シAEニ平行ナル ae ナリ.

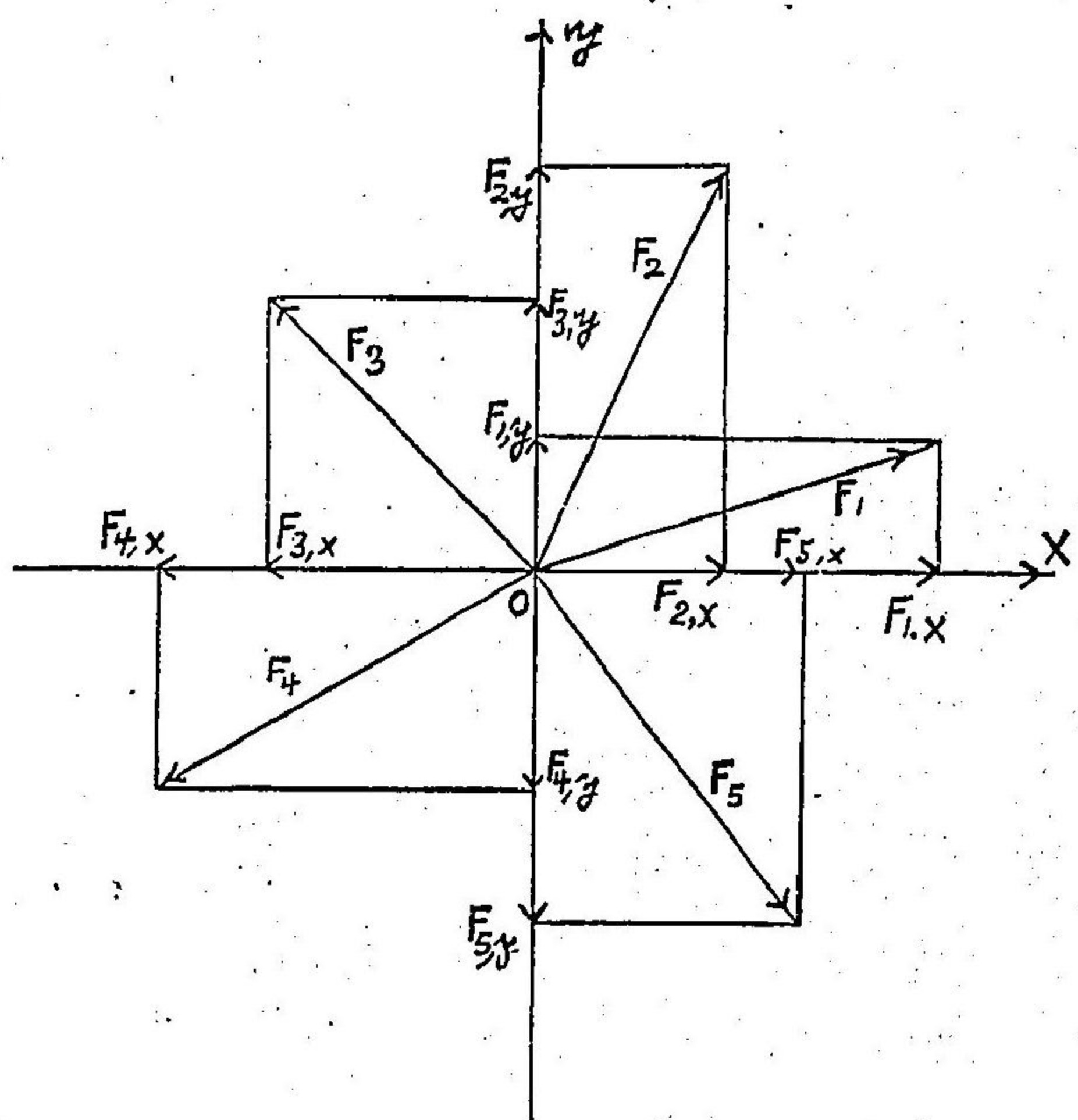


多角形 ABCDE ヲ力ノ多角形ト云フ.

又計算ニヨリテ合力ヲ定ムルニハ次ノ如クナスベシ, F_1, F_2, F_3 等ヲ與ヘラレタル諸カトス, F_1 ノx, y分力ヲ夫々 $F_{1,x}, F_{1,y}$ トシ, F_2 ノx, y分力ヲ夫々 $F_{2,x}, F_{2,y}$ トス, F_3 ノx, y分力ヲ夫々 $F_{3,x}, F_{3,y}$ トス, 其他ノカモ同様ニx, y軸ノ方向ニ分ツ, Rヲ合力トシ, 其x, y分力ヲ夫々 R_x, R_y トス, Rノx軸, y軸トナス角ヲ夫々 α, β トス.

$$R_x = R \cos \alpha = \sum F_x$$

$$R_y = R \cos \beta = \sum F_y$$



而シテ

$$R^2 = (\sum F_x)^2 + (\sum F_y)^2$$

∴

$$R = \sqrt{(\sum F_x)^2 + (\sum F_y)^2}$$

又

$$\cos \alpha = \frac{\sum F_x}{R} = \frac{\sum F_x}{\{(\sum F_x)^2 + (\sum F_y)^2\}^{\frac{1}{2}}}$$

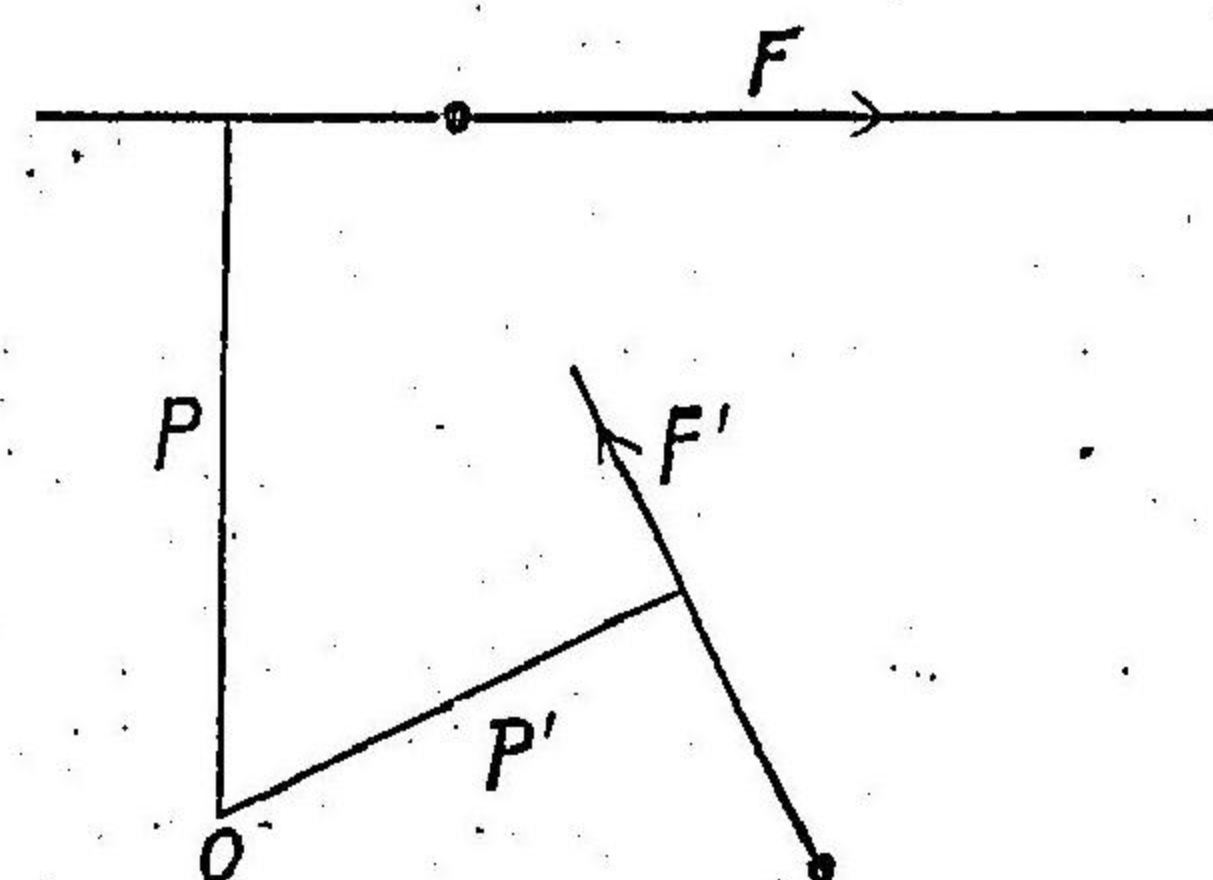
$$\cos \beta = \frac{\sum F_y}{R} = \frac{\sum F_y}{\{(\sum F_x)^2 + (\sum F_y)^2\}^{\frac{1}{2}}}$$

42. 點ニ關スル力ノ moment.

或點ニ關スル或力ノ moment トハ其力ノ大サト其點

ヨリ此力ノ作用線ヘノ垂直距離トノ乘積ニテ表ハサル、量ナリ、點ヲ moment ノ origin 又ハ centre ト云ヒ、origin ヨリ作用線ヘノ垂直距離ヲ moment ノ arm ト云フ。

或點ニ關スル或力ノ moment ハ其力ガ物體ニ作用セシ時物體ガ其點ヲ中心トシテ廻轉セントスル傾向ヲ測ルモノナリ、而シテ之ニ正負ノ符號ヲ附シテ廻轉ノ向キヲ表ハス、通常時計ノ針ノ廻轉ノ反對ノ方ヘ廻轉セシメントスル moment ニ正號ヲ



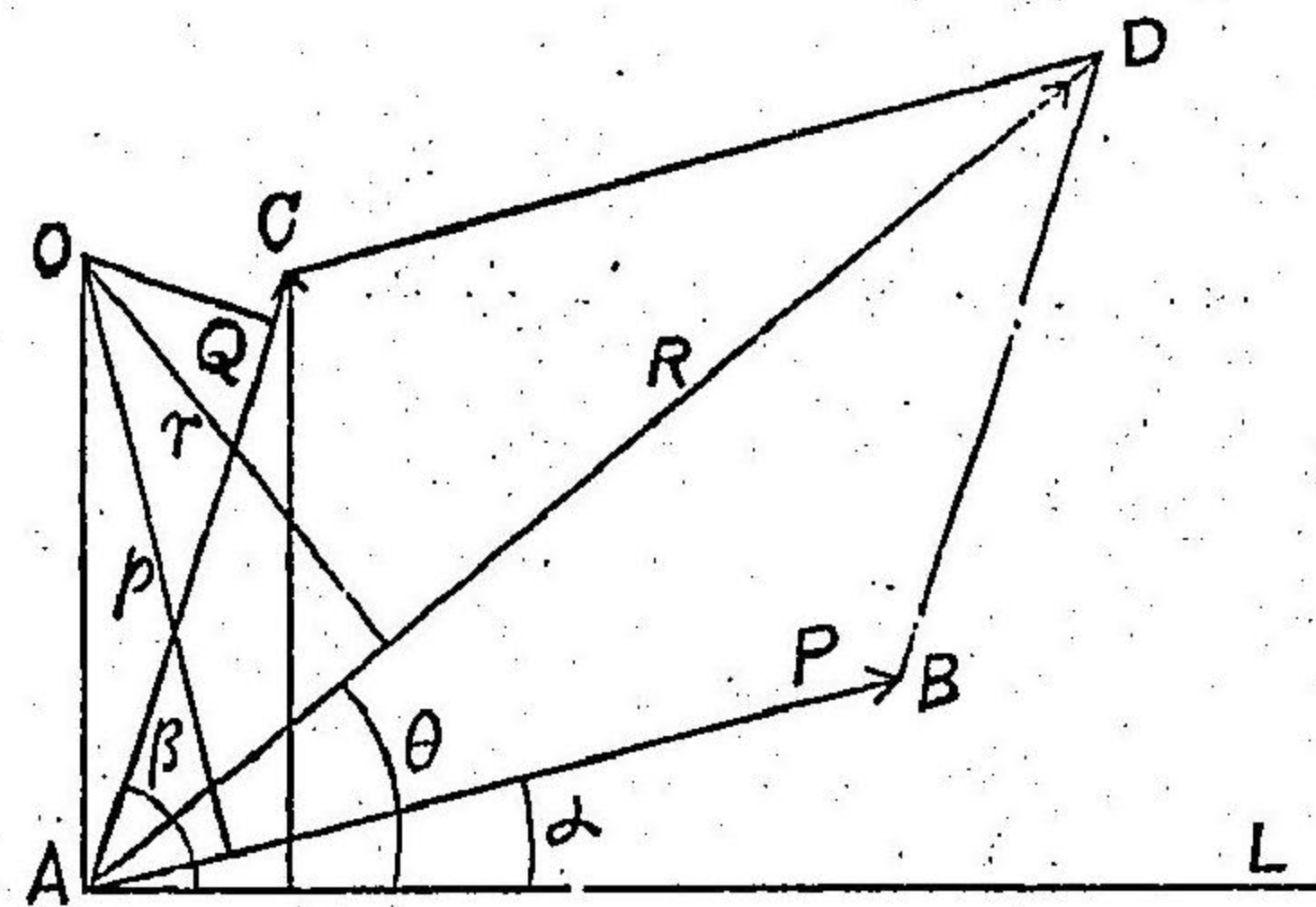
附シ、時計ノ針ノ廻轉ト同方ヘ廻轉セシメントスル moment ニハ負號ヲ附スルモノトス、圖ニ示セル場合ニ於テ O 點ニ關スル F ノ moment ハ其 arm ヲ p トスレバ $-Fp$ ナリ、又 O 點ニ關スル F' ノ moment ハ其 arm ヲ p' トスレバ $+F'p'$ ナリ。

43. Varignon's Theorem.

P, Q ハ作用線ガ A 點ニテ交ハレルニ力ナリ、其合力ヲ R トス、O 點ハ P ト Q トニヨリテ定マレル平面上ノ任意ノ點ナリ、然ル時 R ノ O 點ニ關スル moment ハ P ノ O 點ニ關スル moment ト Q ノ O 點ニ關スル moment トノ代數和ナリ。

AB, AC, AD ハ夫々 P, Q, R ヲ表ハス、AO ヲ結ブ、AO ニ直角ヲナセル直線 AL ヲ引ク、AL ト AB トノ間ノ角、

ALトACトノ間ノ角及ビALトADトノ間ノ角ヲ夫々
 α, β, θ トス.



然ル時

$$P \cos \alpha + Q \cos \beta = R \cos \theta$$

$$\therefore P \cdot \overline{OA} \cdot \cos \alpha + Q \cdot \overline{OA} \cos \beta = R \cdot \overline{OA} \cdot \cos \theta$$

P, Q, R ノ Oニ關スル moment ノ arm ヲ夫々 p, q, r トスレ
 ば

$$\overline{OA} \cos \alpha = p, \quad \overline{OA} \cos \beta = q, \quad \overline{OA} \cos \theta = r$$

ナルヲ以テ

$$Pp + Qq = Rr$$

此關係ハ O 點ガ此平面上何處ニ移サル、モ成立ス但
 シ O ノ位置ニヨリテ Pp, Qq, Rr ハ正又ハ負ナリ.

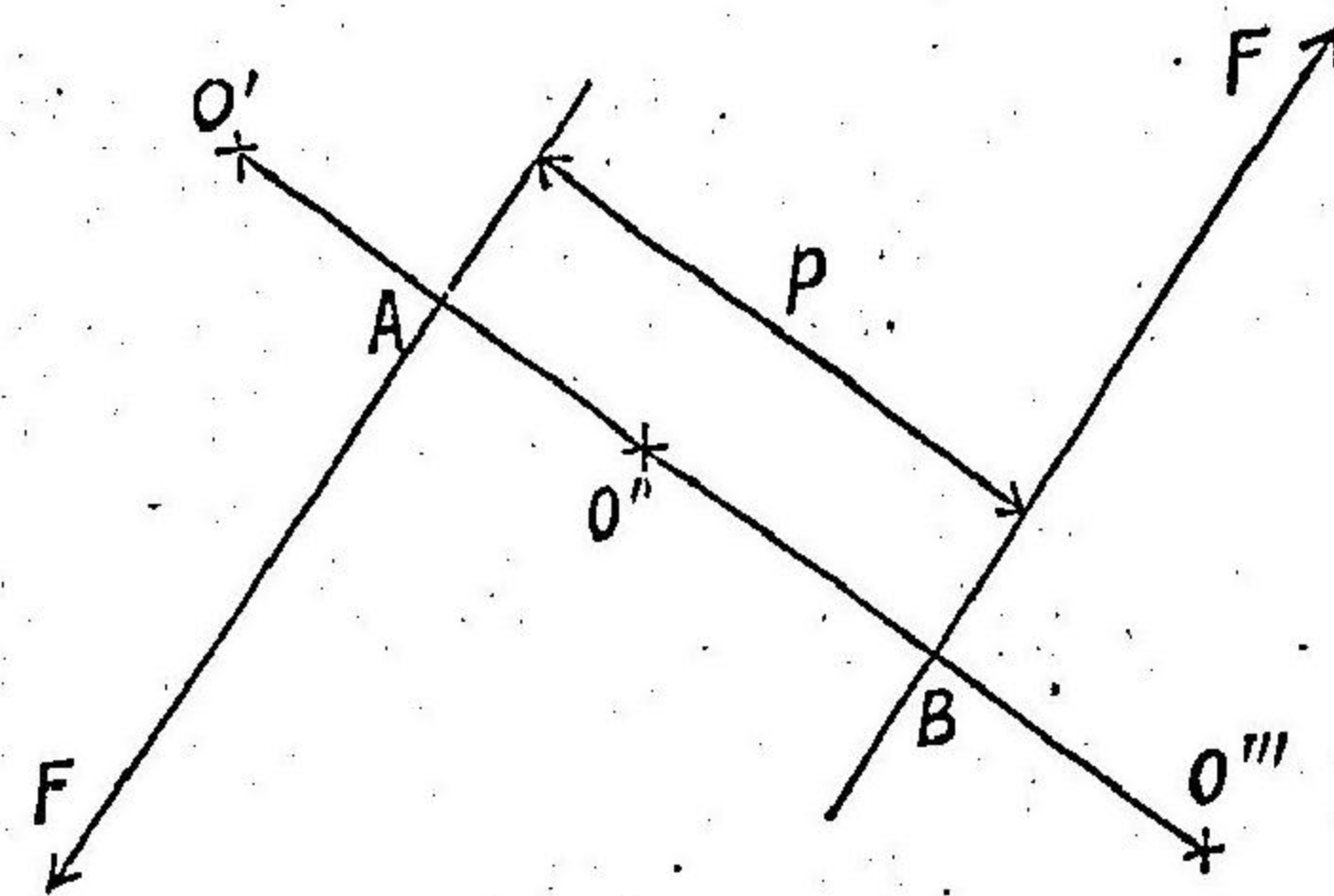
44. 力ノ直線ニ關スル moment.

力 F ヲ直線 AB ニ平行ナルモノト直角ナルモノトニ
 分ツ、平行ナル分力ヲ P トシ、直角ナル分力ヲ Q トス、Q
 ノ作用線ト直線 AB トノ間ノ垂直距離ヲ p トス然ル
 時乘積 Qp ニテ表ハサレタル量ヲ力 F ノ直線 AB ニ關

スル moment ト云フ、 p ヲ其 arm ト云ヒ、AB ヲ軸ト云フ。
 moment ノ符號ハ與ヘラレタル直線ヲ軸トシテ物體
 ガ左廻轉ヲ起サントスル時ハ正ニシテ、之ニ反對ナル
 時ヲ負トス、同一ノ moment モ軸ノ何レノ方面ヨリ見ル
 カニヨリテ其符號ヲ異ニス、坐標軸ヲ moment ノ軸トス
 ル時ハ其 positive end ヨリ見ルヲ普通トス.

45. Couple.

一直線上ニアラサル二個ノ大サ等シク方向反對ナ
 ル力ヲ couple ト云フ、二力ノ作用線間ノ距離ヲ arm ト
 云フ.



couple ノ平面上ノ總テノ點ニ付 couple ヲ成セル二力
 ノ moments ノ代數和ハ相等シクシテ其大サハ一力ノ大
 サト couple ノ arm トノ乘積ニ等シ、而シテ此乘積ヲ couple
 ノ moment ト云フ、其符號ハ二力ノ moments ノ代數和ノ
 符號ニ同ジ、即チ物體ガ此 couple ノ作用ニヨリ左廻轉ヲ
 起サントスル時ハ其 couple ノ moment ハ正ニシテ、右廻
 轉ヲ起サントスル時ハ負ナリ.

F, F' は couple を成セル二力ナリ, 其 arm を p トス, O', O'', O''' を圖ニ示セル如キ位置ニ採レバ是等三點ニ關シニ力ノ moments ノ代數和ハ夫々

$$-F \cdot \overline{O'A} + F' \cdot \overline{O'B} = F \cdot \overline{AB} = Fp$$

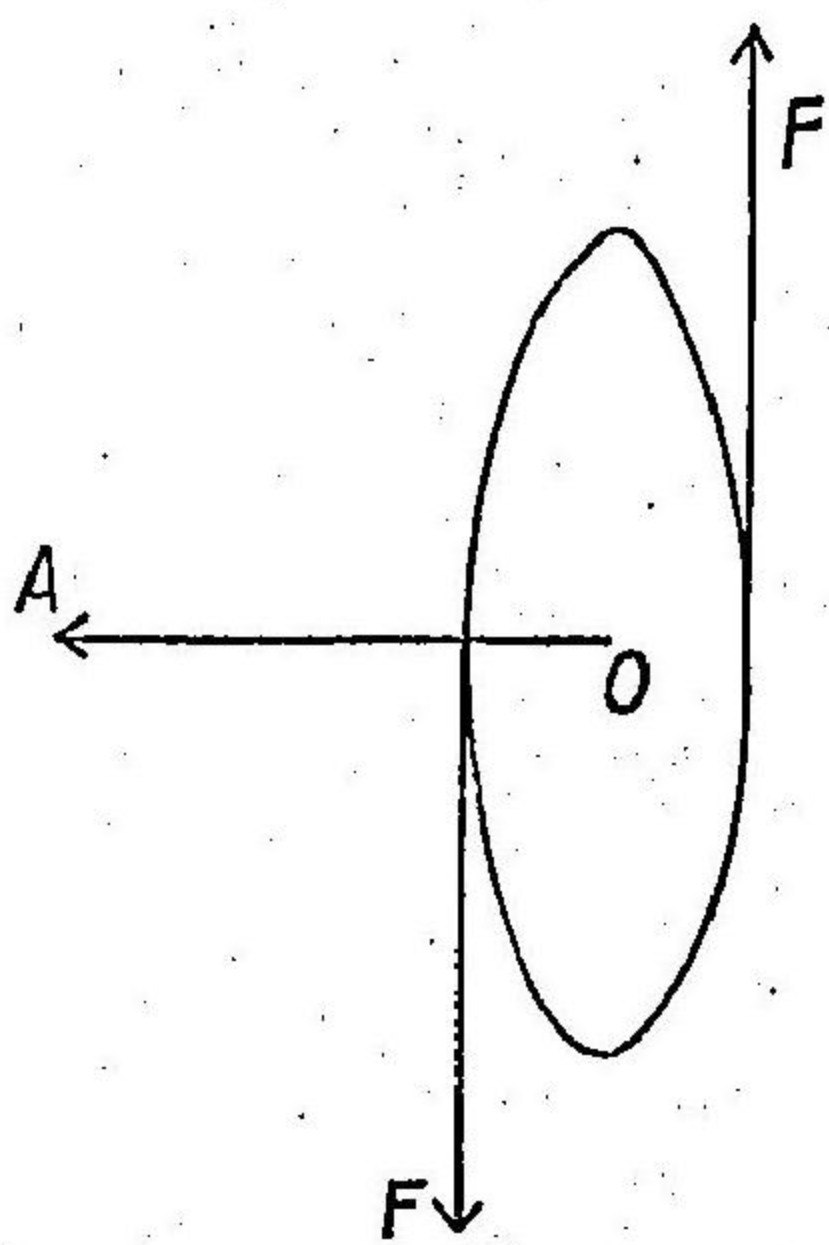
$$F \cdot \overline{O''A} + F' \cdot \overline{O''B} = F \cdot \overline{AB} = Fp$$

$$F \cdot \overline{O'''A} - F' \cdot \overline{O'''B} = F \cdot \overline{AB} = Fp$$

但シAハO'ヨリ, 又ハO''ヨリ, 又ハO'''ヨリFノ作用線へ引ケル垂線ノ足ナリ, BハO', O'', O'''ヨリF'ノ作用線へ引ケル垂線ノ足ナリ.

上記三ツノ場合ハOノ位置ニ付總テノ場合ヲ盡セリ.

Couple ノ moment ハ vector 量ナリ, 其 vector を表ハス直線ハ couple ノ平面ニ垂直ニシテ, 其長サハ moment ノ大サヲ表ハス, vector ノ向キヲ表ハス可キ矢ハ其矢ヲ附スヘキ端ヨリ couple を見タル時左廻轉ニ見ユル如クニ附スルモノトス.

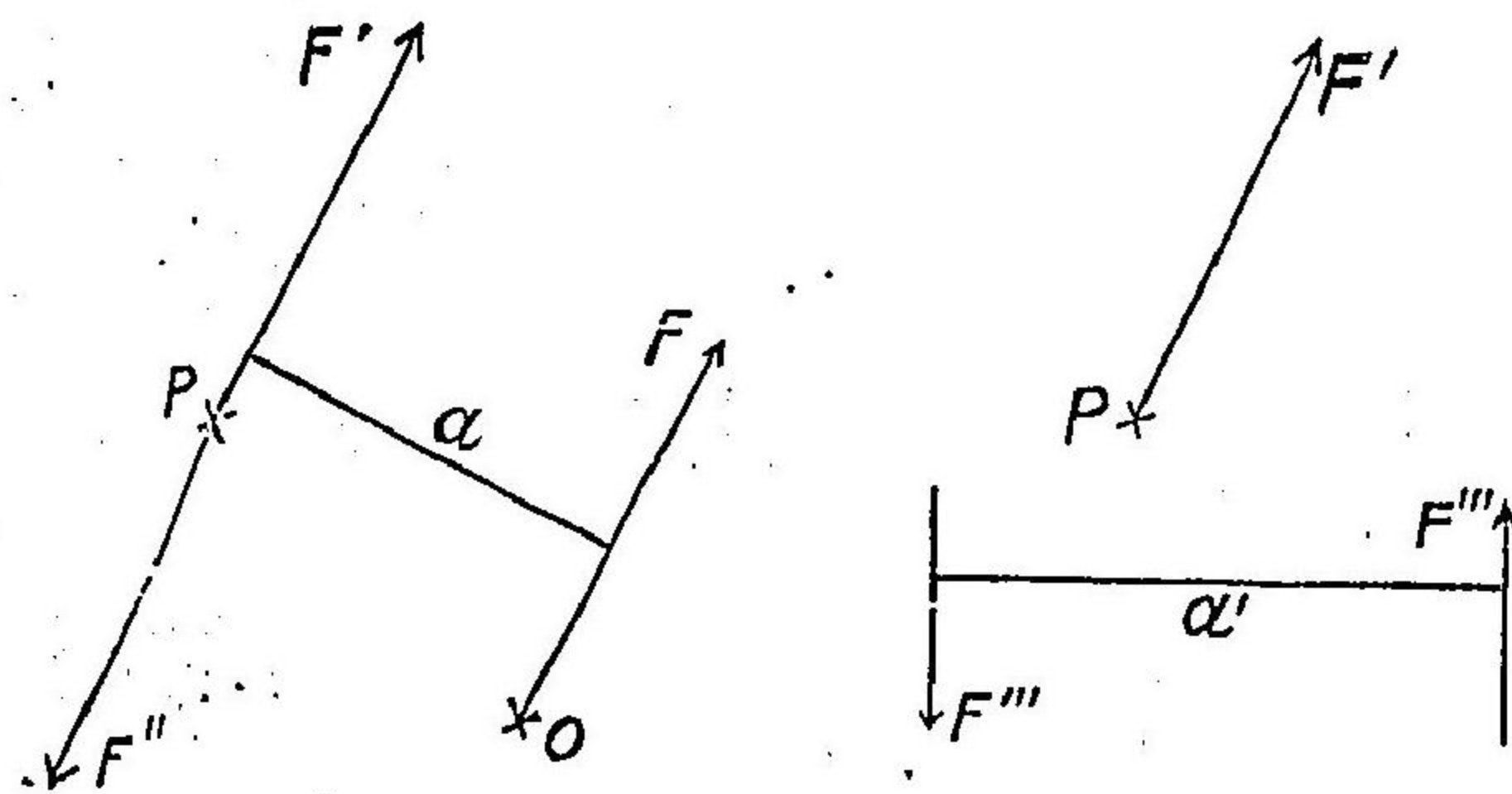


46. 一力ヲ他ノ一力ト一ツノ couple トニテ置キ換フルコト.

一力ヲ任意ノ點ニ働ク一ツノ力ト一ツノ couple トニテ置キ換フルコトヲ得.

與ヘラレタル力ヲFトシO點ニ働クモノトス, Pヲ

任意ノ點トス, Pニ於テ大サ等シク方向反對ナル二力ヲ加フルモ此二力ハ何等ノ効果ヲ與ヘズ, 故ニ實際此クノ如キ二力が存在スルモノト考フルモ差支ナシ, 由テPニ於テFト大サ等シク且平行セル互ニ反對ナル



二力F', F'''ヲ加ヘタリトス, Fノ作用線トF'及F'''ノ作用線トノ間ノ距離ヲaトス, F', F'', Fトノ三力ノ合力ハFナリ, 而シテFトF'''トハcoupleヲ成ス, 其momentハFaナリ, 故ニFハF'トcouple Faトヨリ成ルモノト考フルコトヲ得, 此coupleハ

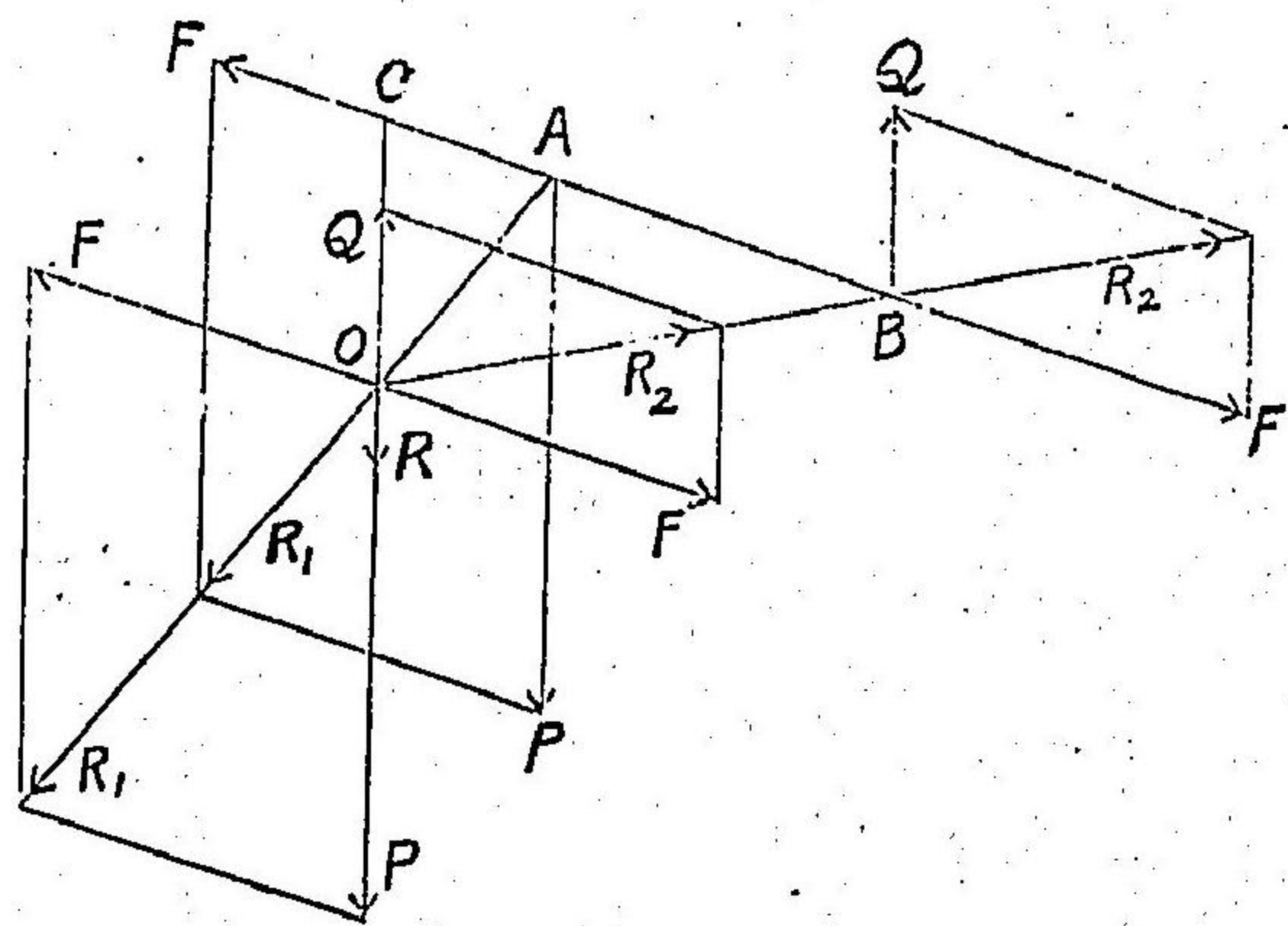
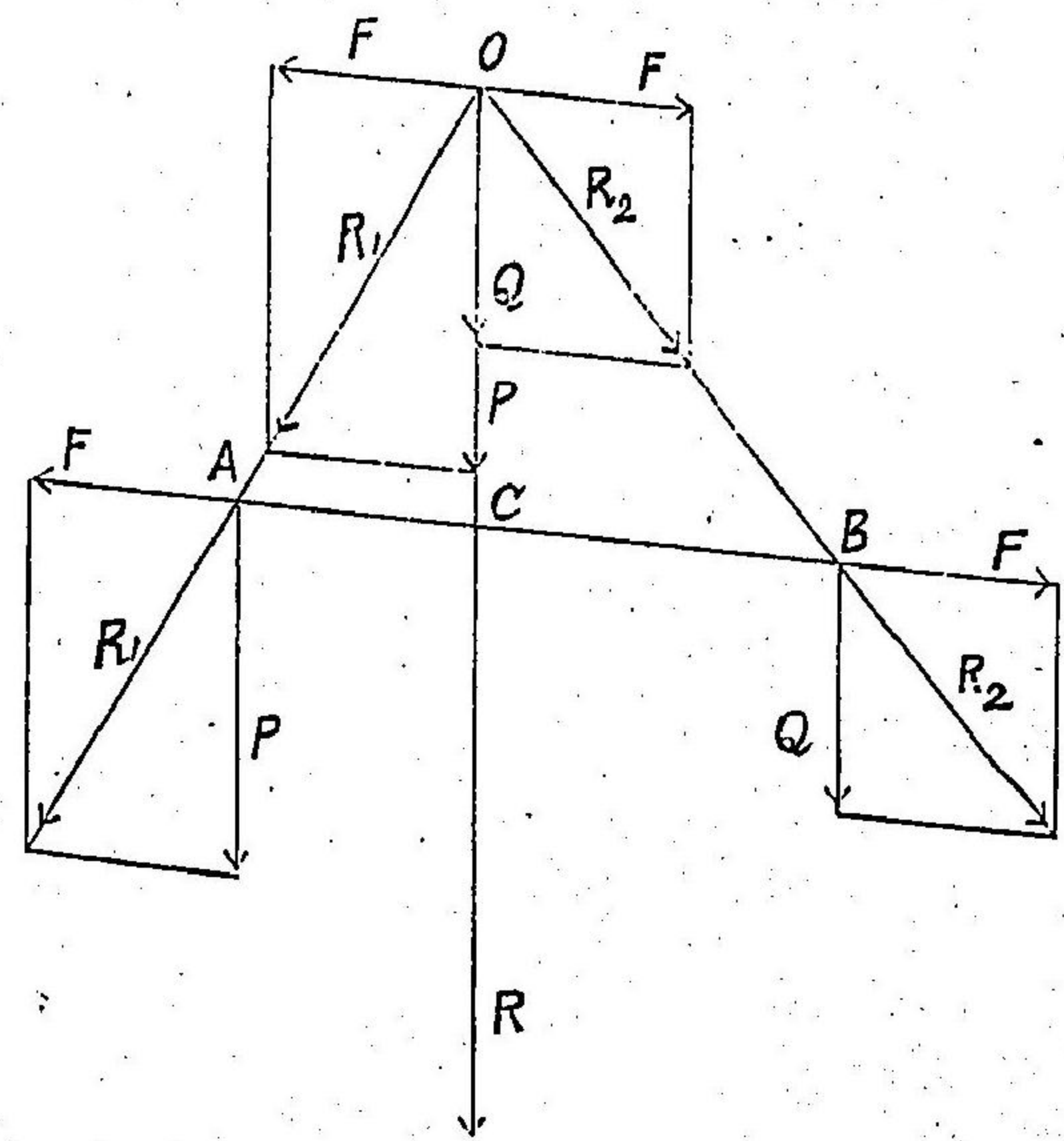
$$Fa = F'''a'$$

ヲ満足スベキcouple F'''a'ニテ置キ換フルコトヲ得, 故ニ結局FハP點ヲ通ジテ働ク力F'トcouple F'''a'トヲ以テ置キ換フルコトヲ得タリ.

47. 二個ノ平行力ノ組合.

P, Qヲ平行セル二力トス, A, Bハ夫々P, Qノ作用線上ノ點ナリ, ABニ沿フテ大サ等シク方向反對ナル二力ヲ加フ, 其大サヲFトス, FトPトノ合力R, ノ作用線

ハ Q ト他ノ F トノ合力 R₂ ノ作用線ト一 點 O ニテ會ス、
R₁ ト R₂ トハ O ニ働ケルモノト見ルコトヲ得、R₁ ト R₂ ト



ノ合力ヲ R トス、R ハ即チ P ト Q トノ合力ナリ、R ハ O
ヲ通ジ P 及ビ Q ニ平行セル力ニシテ其大サハ P ト Q
トガ同一方向ナル時ハ P+Q ニシテ方向ハ P 及ビ Q ト

同一ナリ、若シ又 P ト Q トガ反対方向ヲ有スル時ハ R
ノ大サハ、P ノ方向ヲ正トシ Q ノ方向ヲ負トスレバ、
P-Q ニシテ此値カ正ナレバ R ハ P ト同方向ナリ、負ナ
レバ Q ト同方向ナリ。

R ノ作用線ガ AB ト交ハル點ヲ C トスレバ次ノ關係
アリ。

$$\frac{P}{Q} = \frac{CB}{AC}$$

A, B ハ P 及ビ Q ノ作用線上ノ任意ノ點ナルヲ以テ、R
ノ作用線ハ P, Q ノ作用線ニ交ハル任意ノ直線 AB ヲ
P ト Q トノ反比ニ内分 (P ト Q ト同方向ノ場合) 又ハ外
分 (P ト Q ト反対方向ノ場合) スト云フコトヲ得。

P ト Q トノ垂直距離ヲ l トシ、P ト R トノ垂直距離
ヲ m トシ、Q ト R トノ垂直距離ヲ n トスレバ

$$Pm = Qn$$

即 $\frac{P}{Q} = \frac{n}{m}$

又 $Ql = Rm$

∴ $m = \frac{Ql}{R}$

又 $Pl = Rn$

∴ $n = \frac{Pl}{R}$

此場合ニモ各力ノ moments ノ和ハ合力ノ moment ニ等
シト云フコトヲ得。

48. 同一平面上ニアル數多ノ平行力ノ組合
 與ヘラレタル諸力ヲ F_1, F_2, F_3 等トシ其合力ヲ R トス
 レバ

$$R = \Sigma F \dots \dots \dots (1)$$

但 ΣF ハ一方ヘ向ヘルモノヲ正トシ他方ヘ向ヘルモノ
 ヲ負トセル代數和ナリ, R ノ方向ハ ΣF ノ方向ニテ定
 ル.

任意ノ點 O ニ關スル諸力ノ moments ノ代數和ヲ ΣM
 トシ, R ノ此點ニ關スル moment ノ arm ヲ a トスレバ

$$\left. \begin{aligned} Ra &= \Sigma M \\ a &= \frac{\Sigma M}{R} \end{aligned} \right\} \dots \dots \dots (2)$$

R ノ作用線ハ O ヨリ a ナル距離ニアリテ Ra ト ΣM ト
 ガ同符號トナルベキ側ニアリ.

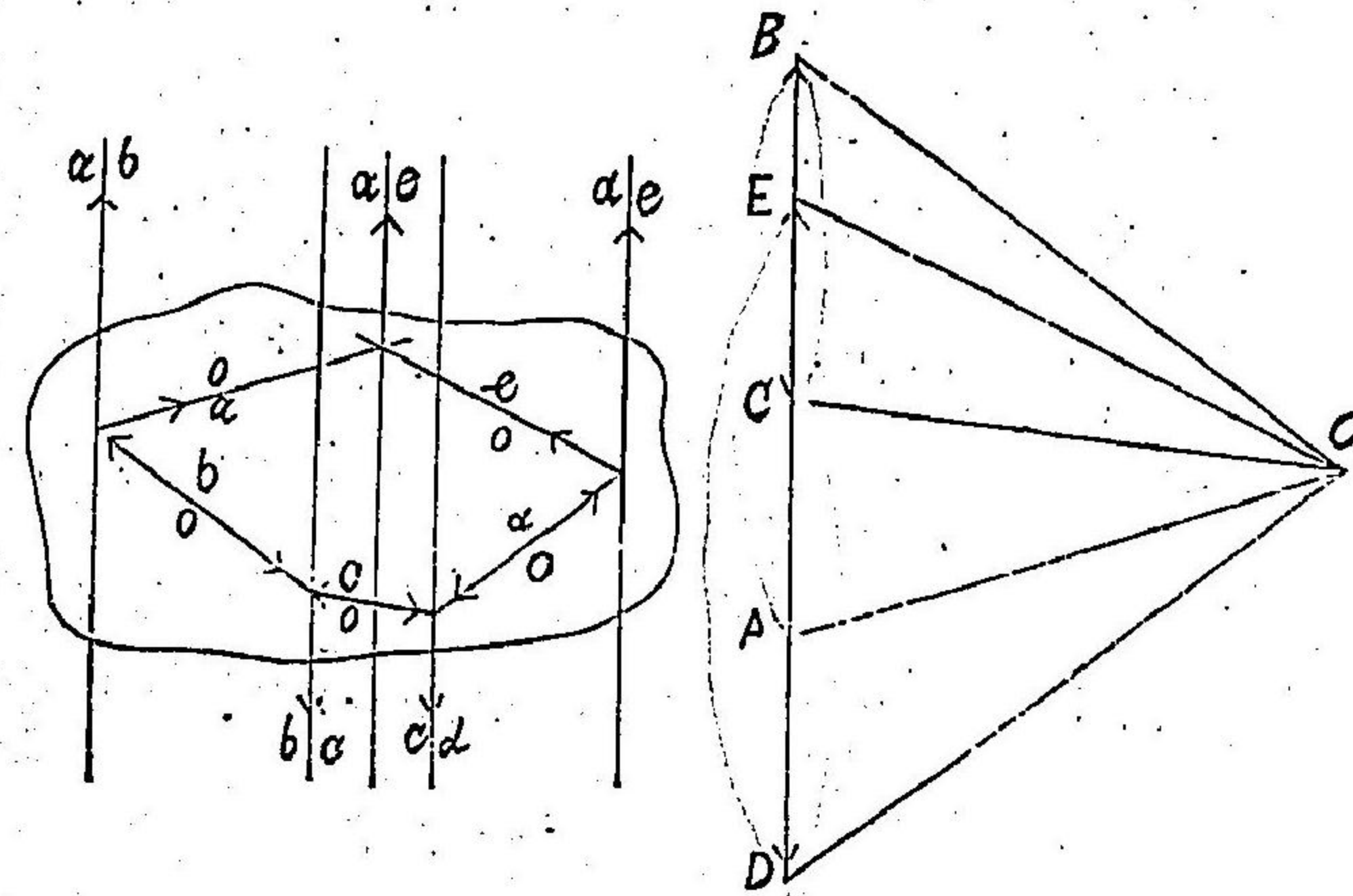
(1)ニヨリテ R ノ大サト, 方向ト定マリ, (2)ニヨリ作用
 線ノ位置ガ定マル.

$\Sigma F = R = 0$ ナレバ諸力組合セノ結果ハ couple ナルコ
 トヲ示スモノニシテ, 其 couple ノ moment ハ ΣM ナリ.

圖上ニ於テ合力 R ヲ定ムルニハ次ノ如クナスベシ.
 簡單ノ爲ニ與ヘラレタ力ヲ四個トス, AR, BC, CD, DE
 ハ與ヘラレタル力ヲ表ハス vectors ナリ然ル時 $ABCDE$
 ハ力ノ多角形ニシテ, AE ハ合力ノ大サ并ニ方向ヲ表
 ハスモノナリ.

作用線ノ位置ヲ定ムル爲ニ任意ノ點 O ヲ撰ビ AB ヲ

AO ト OB トニ分ツ, BC ヲ BO ト OC トニ分ツ, CD ヲ CO
 ト OD トニ分ツ, DE ヲ DO ト OE トニ分ツ是等 vectors
 ニ對スル作用線ハ ab, bc, ao, bo 等ヲ以テ示ス.



ao ト ob トハ ab 上ノ任意ノ點ニテ交ハラシムルコト
 ヲ得, bo ト oc トハ bc 上ノ任意ノ點ニテ交ハラシムルコ
 トヲ得他ノ作用線ニ付テモ同様ナリ, 故ニ便宜上 ob ト
 bo ト一致スル様ニ, oc ト co ト一致スル様ニ, od ト do ト
 一致スル様ニ置ケバ ao ト oe トハ交ハル可シ其交點ハ
 AE ノ作用線ノ通過スベキ點ナリ.

O 點ヲ力ノ多角形ノ Pole ト云ヒ, AO, BO, CO 等ヲ Rays
 ト云フ, 又 ao, bo, co 等ニテ作ラレタル多角形ヲ Funicular
 Polygon ト云ヒ其各邊ヲ String ト云フ.

若シモ力ノ多角形ニ於テ A ト E トガ一致スレバ諸
 力組合ノ結果ハ couple ナルコトヲ示ス, 而シテ ao ト oe ト
 ハ平行スベシ, ao ト oe トノ間ノ距離ハ即チ couple ノ arm

ナリ、之ニ AOノ大サヲ乗シタルモノハ coupleノ moment
 ナリ、若シ aoト oeトガ全ク一致スル時即チ funicular
 polygonガ閉ヂタル場合ニハ resultantハ全ク無キナリ。

49. 同一平面上ニアリテ一點ニ會セザル且平行ナ
 ラザル諸力ノ組合。

F_1, F_2, F_3 等ヲ與ヘラレタル諸力トシ、 F_1 ガx及y軸ト
 ナセル角ヲ夫々 α_1, β_1 トシ、 F_2 ガx及y軸トナセル角ヲ
 夫々 α_2, β_2 トシ、 F_3 ガx及y軸トナセル角ヲ夫々 α_3, β_3 ト
 ス、其他ノ力ニ付テモ同様ナルモノトス、合力ヲ Rトシ
 Rガx及y軸トナセル角ヲ夫々 α_r, β_r トス。

$$R = \{(\sum F \cos \alpha)^2 + (\sum F \cos \beta)^2\}^{1/2} \dots \dots \dots (1)$$

又

$$\left. \begin{aligned} \cos \alpha_r &= \frac{\sum F \cos \alpha}{R} \\ \cos \beta_r &= \frac{\sum F \cos \beta}{R} \end{aligned} \right\} \dots \dots \dots (2)$$

又任意ノ點ニ關スル諸力ノ momentsノ和ヲ $\sum M$ トシ
 Rノ此點ニ關スル momentノ armヲ aトスレバ

$$\left. \begin{aligned} Ra &= \sum M \\ a &= \frac{\sum M}{R} \end{aligned} \right\} \dots \dots \dots (3)$$

(1)ニヨリ Rノ大サガ與ヘラレ、(2)ニヨリ方向ガ定マ
 リ、(3)ニヨリ作用線ノ位置確定ス、但 Rノ momentノ符號
 ガ $\sum M$ ノ符號ト一致スル様ニ aヲ採ルベシ。

若シモ

$$\sum F \cos \alpha = \sum F \cos \beta = 0$$

ナレバ

$$R = 0$$

故ニ resultantハ coupleニシテ其 momentハ $\sum M$ ナリ。

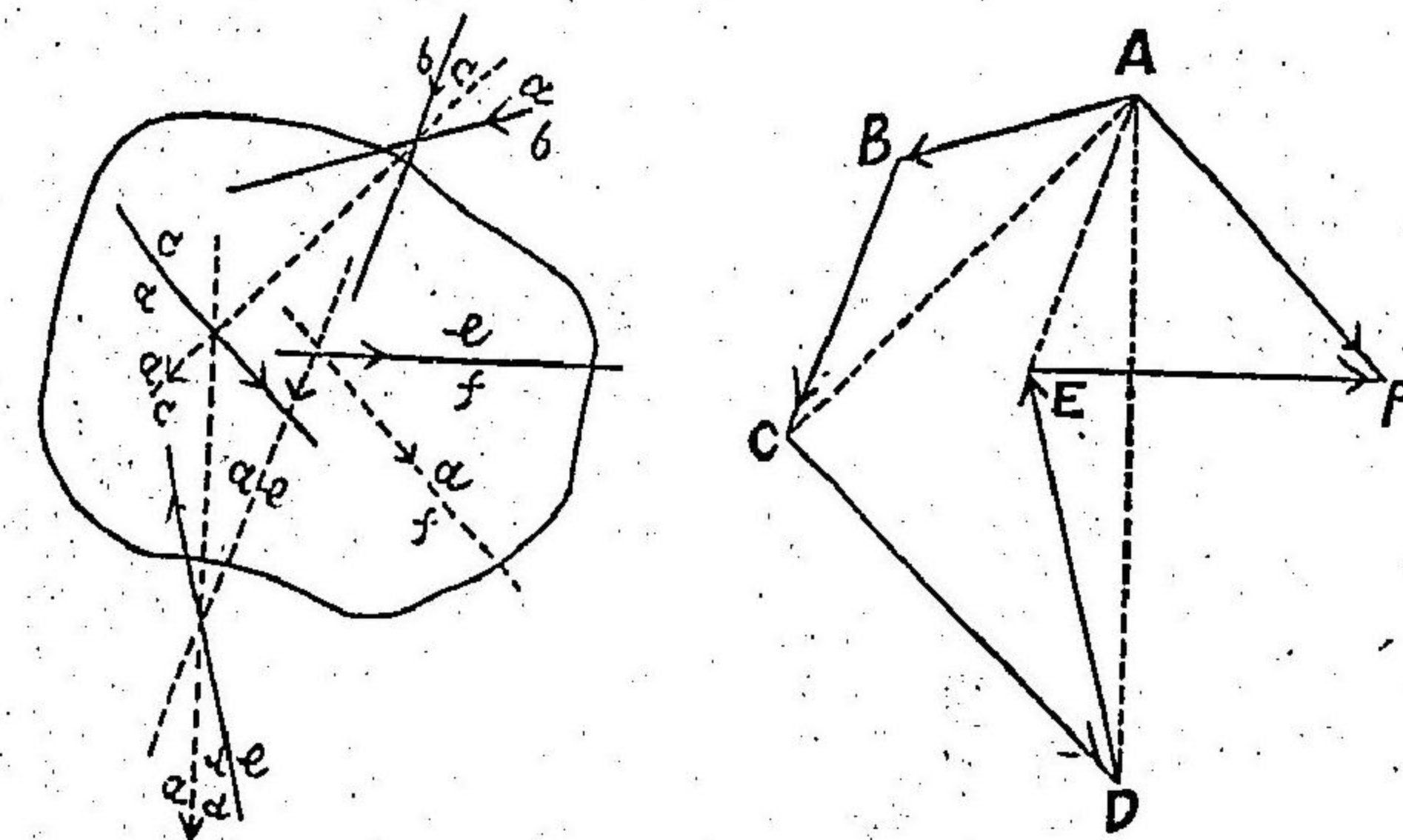
若シモ與ヘラレタル諸力ガ數多ノ couplesヨリ成ル
 時ニハ

$$\sum F \cos \alpha = \sum F \cos \beta = 0$$

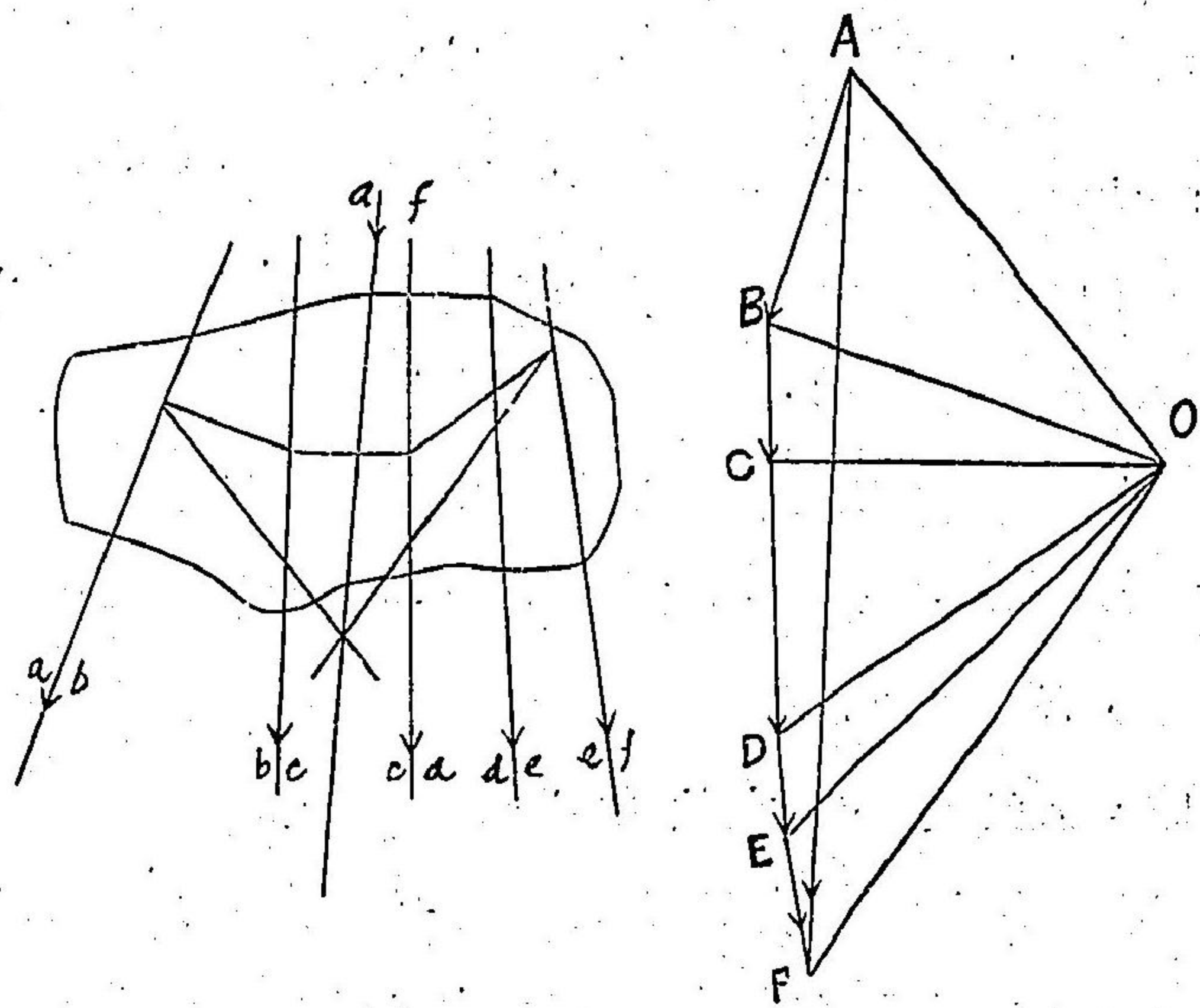
故ニ數多ノ couplesノ resultantハ亦一ツノ coupleナリ、其
 momentハ $\sum M$ ナリ。

圖上ニテ組合ハス方法次ノ如シ。

ABCDEFハ力ノ多角形ナリ、AFハ合力ノ大サ及ビ方
 向ヲ表ハス、其作用線ハ afナリ、力ノ多角形ガ閉ヅレバ
 Resultantハ coupleナリ。



若シモ與ヘラレタル諸力ノ作用線ガ殆ト平行セル
 場合ニハ作用線ノ交點ガ限リアル紙上ニ求メラレサ
 ルコトアリ、此クノ如キ場合ニハ平行力ノ場合ニ用井
 タルト同様ナル方法ヲ採ルベシ。



ABCDEF ハ力ノ多角形ナリ, AFハ合力ニシテ其作用線ハ of ナリ.

50. 同一平面上ニアラザル平行力ノ組合.

與ヘラレタル諸力ノ作用線ニ平行ニ x 軸ヲ採リタリトス, 諸力ノ代数和ヲ ΣF トシ合力ヲ R トスレバ

$$R = \Sigma F \dots\dots\dots(1)$$

R ノ方向ハ ΣF ノ符號ニテ定マル.

諸力ノ x 及 y 軸ニ關スル moments ノ和ヲ夫々 ΣM_y , ΣM_x トス, 又 R ノ作用線ガ xy 面ヲ切ル點ノ坐標ヲ \bar{x} , \bar{y} トス, 然ル時

$$R\bar{x} = \Sigma M_y$$

$$R\bar{y} = \Sigma M_x$$

$$\left. \begin{aligned} \bar{x} &= \frac{\Sigma M_y}{R} \\ \bar{y} &= \frac{\Sigma M_x}{R} \end{aligned} \right\} \dots\dots\dots(2)$$

(1) ト (2) トニヨリ R ノ大サ, 方向, 及ビ作用線ノ位置ハ定マル.

$\Sigma F = R = 0$ ナル時ハ couple ナリ.

51. 同一平面上ニアラザル, 一點ニ會セザル, 且平行ナラザル諸力ノ組合.

諸力ノ作用線ヲ延長シテ任意ニ撰バレタル平面 P ニ交ハラシム, 作用線ガ此平面ニ交ハレル點ニ於テ各力ヲ夫々此平面上ノモノト之ニ直角ナルモノトニ分解スベシ, 然ル時與ヘラレタル諸力ハ同一平面 P 上ニアル數多ノカト, 此平面ニ直角ナル平行力トノ二組トナルベシ, 而シテ此二組ハ各一力ニ組合スコトヲ得, 前者ノ合力ヲ R_1 トシ, 後者ノ合力ヲ R_2 トス, 是ニヨリテ與ヘラレタル諸力ハ R_1 ト R_2 トノ二力ニ組合ハスコトヲ得タルモノナリ.

第四章 重心

52. 平行力ノ Centroid.

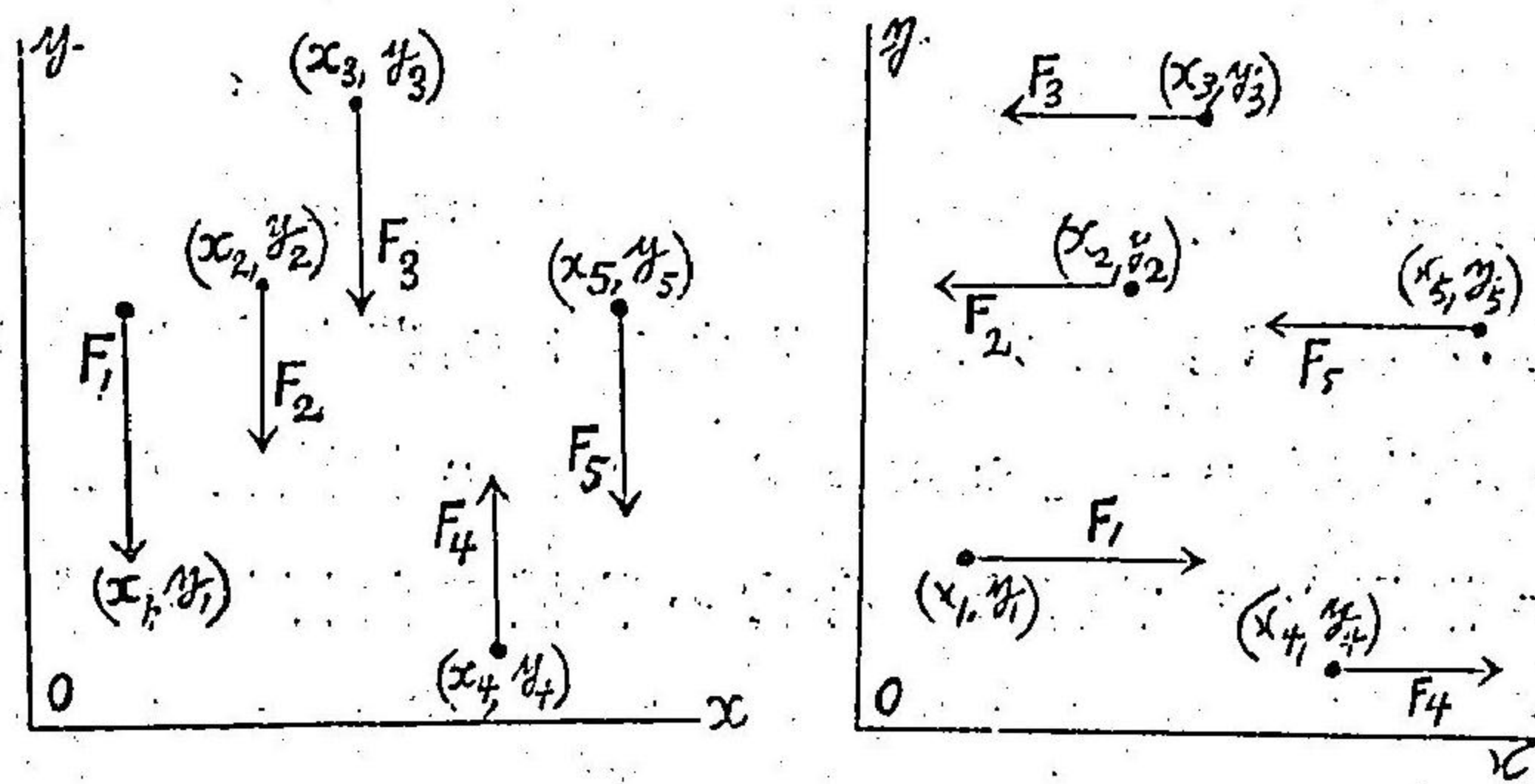
F_1, F_2 ハ平行力ニシテ着力點ヲ夫々 A, B トス然ル時此二力ノ合力ハ直線 AB , 又ハ其延長上ノ定マレル點 C' ヲ通ズ.

$$\frac{\overline{AC'}}{\overline{BC'}} = \frac{F_2}{F_1}$$

此關係ハ F_1, F_2 カ AB トナセル角ノ如何ニ關セズ, 即チ F_1, F_2 カ AB ト如何ナル角ヲナストモ, 其合力カ AB ト交ハル點 C' ハ一定セルモノナリ, 故ニ物體內ノ二點 A, B ニ作用セル平行力ノ合力ハ物體ヲ如何様ニ轉スルモ, 與ヘラレタル平行力ノ方向及ビ着力點ヲ變セサル限リハ常ニ一定ノ點 C' ヲ通スヘシ, 此點 C' ハ平行力ノ合力ノ着力點ト見做スコトヲ得, 此物體ノ他ノ點 C ニ F_1, F_2 ニ平行ナル F_3 ナル力働ケリトス, 然ル時 F_1, F_2 ノ合力ハ一定點 C' ヲ通シテ働クベク, 此 C' ヲ通スル F_1, F_2 ノ合力ト, C ニ働ケル F_3 トノ合力モ亦前ト同理ニテ力ノ方向及ビ着力點ヲ變セザル限リハ一定點 C'' ヲ通シテ作用スベシ, C'' ハ三力 F_1, F_2 及ビ F_3 ノ合力ノ着力點ト

見做スコトヲ得同様ニ數多ノ平行力 F_1, F_2, F_3, F_4 等ガ物體ノ A, B, C, D 等ニ働ケル時、是等ノ力ノ方向、及ヒ着力點ヲ變セサル限リハ、是等ノ力ノ合力ハ物體ヲ如何ニ轉スルモ物體ニ相對的ニ固定セル點ヲ通ズ、此點ハ與ヘラレタル數多ノ平行力ノ合力ノ着力點ト見做シ得ベキモノニシテ此點ヲ與ヘラレタル平行力ノ centroid ト云フ。

F_1, F_2, F_3 等ヲ xy 平面上ニアル平行力トス、各力ノ着力點ノ坐標ヲ夫々 $(x_1, y_1), (x_2, y_2), (x_3, y_3)$ 等トス、合力ヲ R トシ、centroid ノ坐標ヲ (\bar{x}, \bar{y}) トス。



作用線ガ y 軸ニ平行セルモノトスレバ

$$R\bar{x} = F_1x_1 + F_2x_2 + F_3x_3 + \dots$$

但 F_x ハ正又ハ負ナリ。

$$\bar{x} = \frac{\sum Fx}{R} = \frac{\sum Fx}{\sum F}$$

着力點ヲ固定セル儘同一ノ向キニ廻轉シ作用線ガ x 軸ニ平行トナリシ時

$$R\bar{y} = F_1y_1 + F_2y_2 + F_3y_3 + \dots$$

$$\bar{y} = \frac{\sum Fy}{R} = \frac{\sum Fy}{\sum F}$$

故ニ centroid ノ坐標ハ

$$\left. \begin{aligned} \bar{x} &= \frac{\sum Fx}{\sum F} \\ \bar{y} &= \frac{\sum Fy}{\sum F} \end{aligned} \right\}$$

同一平面上ニアラザル平行力ニ付テ其 centroid ノ坐標ヲ $(\bar{x}, \bar{y}, \bar{z})$ トスレバ

$$\left. \begin{aligned} \bar{x} &= \frac{\sum Fx}{\sum F} \\ \bar{y} &= \frac{\sum Fy}{\sum F} \\ \bar{z} &= \frac{\sum Fz}{\sum F} \end{aligned} \right\}$$

53. Centre of Gravity.

物體ヲ組成セル各質點ニ働ケル地球引力、即チ各質點ノ weight ハ平行力ト見做スコトヲ得、從ヒテ是等平行力ノ centroid アリ、此 centroid ヲ Centre of Gravity ト云フ。各質點ノ重量ヲ夫々 w_1, w_2, w_3 等トシ全重量ヲ W トスレバ、前節ニヨリ centre of gravity ハ次式ニテ與ヘラル、平面ニ付

$$\bar{x} = \frac{\sum wx}{W}, \quad \bar{y} = \frac{\sum wy}{W}$$

立體ニ付

$$\bar{x} = \frac{\sum wx}{W}, \quad \bar{y} = \frac{\sum wy}{W}, \quad \bar{z} = \frac{\sum wz}{W}$$

立體面又ハ線ノ centre of gravity ナル語ハ幾何學上ノ立體面又ハ線ニハ重量無キヲ以テ適當ナラズ故ニ立體面又ハ線ノ centroid ナル語ヲ用フルコトアリ或立體ノ centroid トハ其立體ト同一ノ表面ヲ有スル homogeneous ナル物體ノ centre of gravity ト一致スベキ點ノコトナリ或面ノ centroid トハ其面ト一致セル面ヲ有スル homogeneous ナル薄板ノ厚サガ零ニ近接セル場合其 centre of gravity ノ極限ノ位置ナリ又線ノ centroid トハ其線ト一致セル軸ヲ有スル homogeneous ナル細キ棒ノ横斷面積ガ零ニ近接セル場合ノ其 centre of gravity ノ極限ノ位置ナリ。

54. 平面ニ關スル weight ノ moment.

或平面ニ關スル物體ノ weight ノ moment ハ其物體ノ weight ト其平面ヨリ其物體ノ centre of gravity へノ距離トノ乘積ナリ其 moment ノ符號ハ其 centre of gravity ノ坐標ノ符號ニ同一ナリトス。

此定義ニヨリテ物體ノ weight ノ moment ハ其ノ centre of gravity ヲ含ム平面ニ付テハ零ナルコトガ知ラル。

或平面ニ關スル物體ノ weight ノ moment ハ其物體ノ部分ノ weight ノ同一平面ニ關スル moment ノ代數和ニ等シ。

或物體ノ重量ヲ W トシ其 centre of gravity ノ x 坐標ヲ

\bar{x} トス此物體ノ或部分ニ屬スル質點ノ重量ヲ夫々 w_1', w_1'', w_1''' 等トシ是等質點ノ x 坐標ヲ夫々 x_1', x_1'', x_1''' 等トス又此物體ノ他ノ部分ニ屬スル質點ノ重量ヲ夫々 w_2', w_2'', w_2''' 等トシ是等質點ノ x 坐標ヲ夫々 x_2', x_2'', x_2''' 等トス他ノ部分ニ付テモ同様ナリ又

$$w_1' + w_1'' + w_1''' + \dots = W_1$$

$$w_2' + w_2'' + w_2''' + \dots = W_2$$

$$w_3' + w_3'' + w_3''' + \dots = W_3$$

等トス從テ

$$W = W_1 + W_2 + W_3 + \dots$$

然ル時

$$\bar{x} = \frac{(w_1'x_1' + w_1''x_1'' + \dots) + (w_2'x_2' + w_2''x_2'' + \dots) + \dots}{(w_1' + w_1'' + \dots) + (w_2' + w_2'' + \dots) + \dots}$$

$$\text{故ニ} \quad W\bar{x} = W_1\bar{x}_1 + W_2\bar{x}_2 + W_3\bar{x}_3 + \dots$$

但シ

$$\bar{x}_1 = \frac{w_1'x_1' + w_1''x_1'' + w_1'''x_1''' + \dots}{W_1}$$

$$\bar{x}_2 = \frac{w_2'x_2' + w_2''x_2'' + w_2'''x_2''' + \dots}{W_2}$$

$$\bar{x}_3 = \frac{w_3'x_3' + w_3''x_3'' + w_3'''x_3''' + \dots}{W_3}$$

等トス。

前述セル所ニ於テ weight ナル語ノ代リニ容積面積又ハ長サヲ用フレハ前掲ノ關係ハ即所謂容積面積又ハ長サノ平面ニ關スル moment ニ對スル關係ナリ。

55. 部分ノ移動ニヨル全部重心ノ移動.

全體ノ重量ヲ W ハ W_1, W_2, W_3 ナル三部分ヨリ成レ
リトスレハ前節ヨリ.

$$\bar{x} = \frac{W_1 \bar{x}_1 + W_2 \bar{x}_2 + W_3 \bar{x}_3}{W}$$

假ニ W_2 ノ重心ノ x 坐標カ a ダケ加ハリタリトスレ
ハ W ノ重心ノ新位置ノ x 坐標ヲ \bar{x}' トナルベシ、而シテ

$$\bar{x}' = \frac{W_1 \bar{x}_1 + W_2 (\bar{x}_2 + a) + W_3 \bar{x}_3}{W}$$

$$= \frac{W_1 \bar{x}_1 + W_2 \bar{x}_2 + W_3 \bar{x}_3}{W} + \frac{W_2 a}{W}$$

$$= \bar{x} + \frac{W_2 a}{W}$$

$$\therefore \bar{x}' - \bar{x} = \frac{W_2 a}{W}$$

56. Zero Moment ノ 平面.

或平面ニ關シ容積(面積, 長さ)ノ moment カ零ナル時其
平面ヲ其立體(表面線)ノ zero moment ノ 平面ト云フ、立體
(表面線)ノ重心ハ zero moment ノ 平面上ニアリ.

zero moment ノ 平面ハ

圓ノ弧ニ付テハ直徑ヲ含ム bisecting plane ナリ.

Sector ニ付テハ直徑ヲ含ム bisecting plane ナリ.

三角形ニ付テハ中線ヲ通スル平面ナリ!

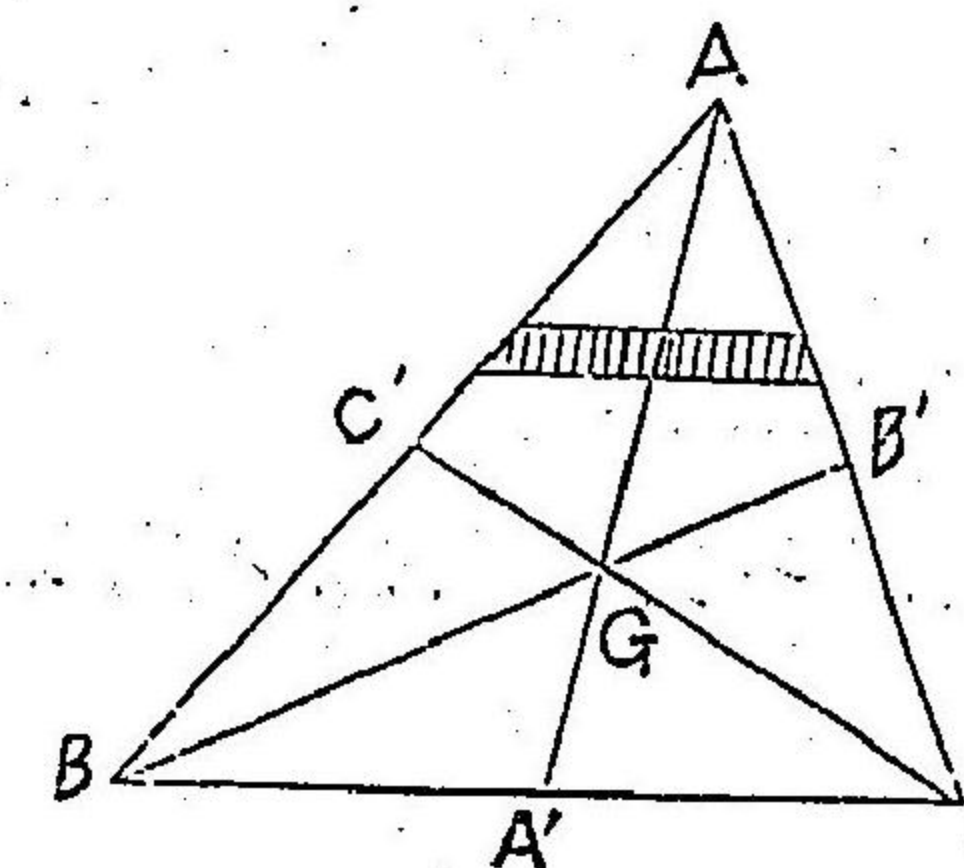
平行四邊形ニ付テハ其對角線ヲ含ム平面ナリ.

三角錐ニ付テハ其頂點ト底面ノ中線トヲ含ム平
面ナリ.

57. 三角形ノ centroid.

三角形ノ centroid ハ其中線ノ交點ナリ.

AA', BB', CC' ハ三角形 ABC ノ中線ナリ、是等ノ一ヲ含
メル平面ハ zero moment ノ 平面ナリ、三角形ノ面モ亦 zero
moment ノ 平面ナリ、是等平面ノ交リノ點 G ハ三角形ノ
重心ナリ、又ハ次ノ如ク言フコトヲ得ヘシ、 BC ニ平行ナ



ル直線ヲ以テ三角形ヲ帶狀極微小面積ニ分ツ、各小面
積ノ重心ハ夫々 AA' 直線上ニアリ、故ニ ABC ノ重心ハ
 AA' 上ニアリ、同様ニ BB' 上ニモアラザル可ラス、故ニ其
交點 G ハ三角形ノ重心ナリ.

G ハ A ヨリ AA' ノ $\frac{2}{3}$ ノ位置ニアリ.

58. 一直線上ニアラザル三點ニ置カレタル相等シ
キ重錘ノ重心.

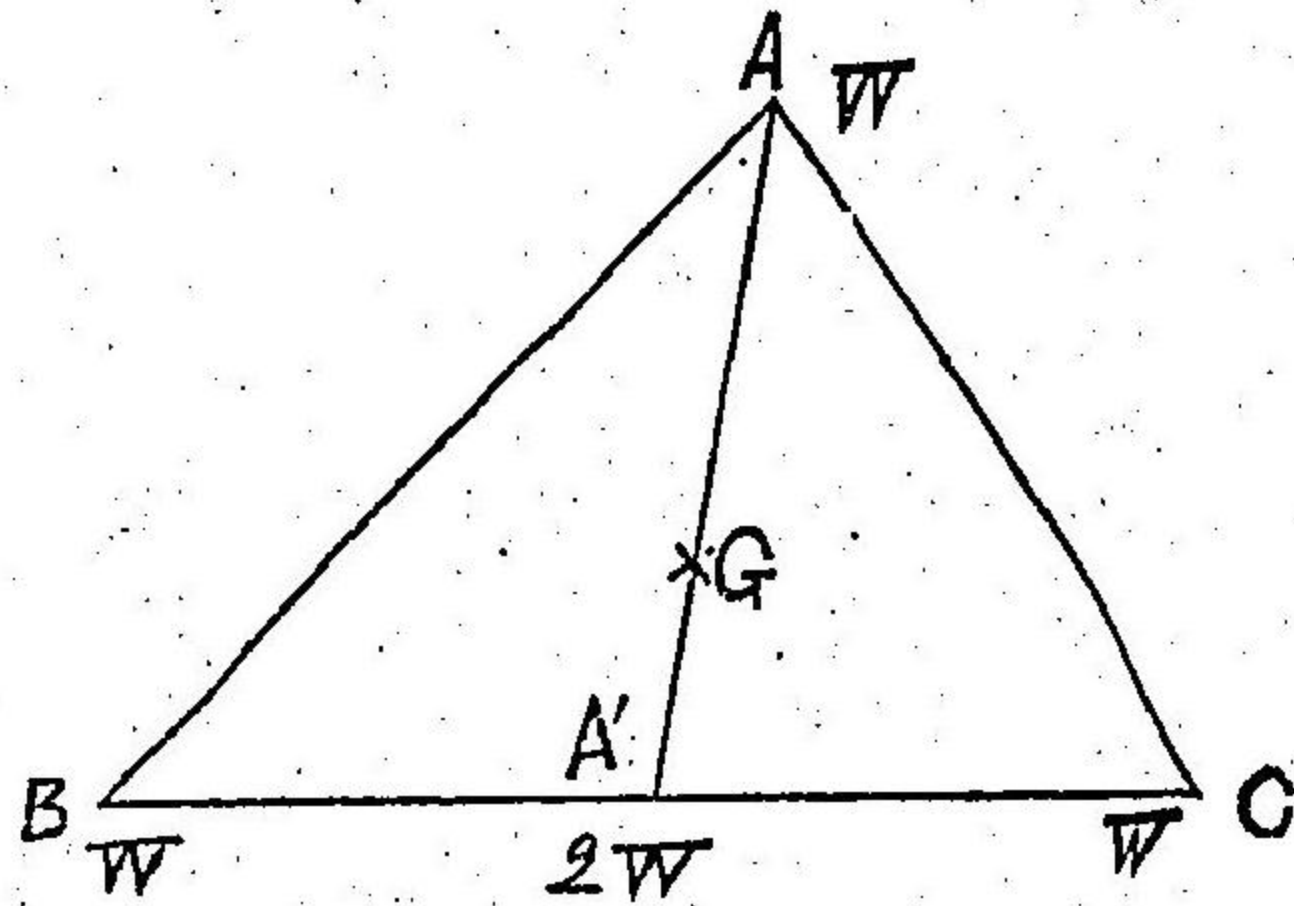
A, B, C ノ三點ニ各重量 W ナル三個ノ重錘アリトス、
 B ニアル重量 W ト、 C ニアル重量 W トノ代リニ、 BC ノ

中點 A' ニアル $2W$ ヲ以テ置キ換フルコトヲ得, A ニアル W ト, A' ニアル $2W$ トノ重心ハ即チ A, B, C ニアル三個ノ重錘ノ重心 G ナリ, G ハ

$$\frac{AG}{GA'} = \frac{2W}{W}$$

ノ關係ヲ満足スヘキ

點ナリ故ニ AG ハ AA' ノ $\frac{2}{3}$ ナリ, 故ニ A, B, C ノ各點ニ相等シキ重量ガ配置サレタル時其重心ハ三角形 ABC ノ重心ト一致ス.



59. 平行四邊形ノ重心.

平行四邊形ノ重心ハ其對角線ノ交點ナルコトガ容易ニ證明セラル.

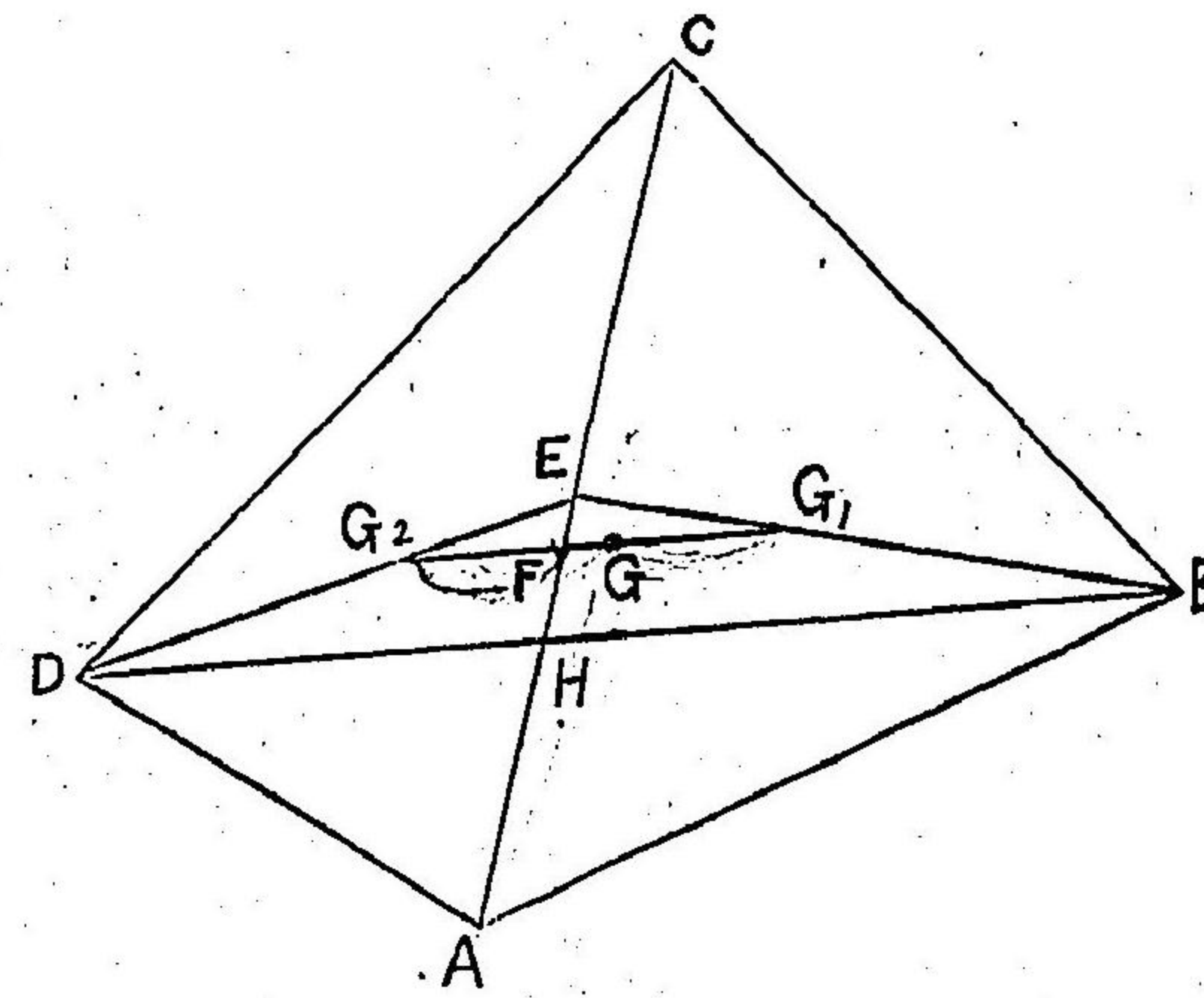
60. 四邊形ノ重心.

四邊形 $ABCD$ ノ對角線 AC ノ中點 E ヲ B , 及 D ト結び, BE, DE ノ上ニ二點 G_1, G_2 ヲ設ケ EG_1 ヲ BE ノ $\frac{1}{3}$, EG_2 ヲ DE ノ $\frac{1}{3}$ ニ等シカラシメ, G_1 ト G_2 トヲ結び AC ト F ニテ交ハラシム, G_1, G_2 ノ上ニテ G, G ヲ G_1, F ニ等シクスレバ G ハ所求ノ重心ナリ.

何ントナレバ對角線 BD ヲ引キテ AC ト H ニテ交ハラシムレバ, G_1, G_2 ハ夫々 $\triangle ABC, \triangle ACD$ ノ重心ナリ且

$$\triangle ABC : \triangle ACD = BH : DH.$$

然ルニ



$$\begin{aligned} BH : DH &= G_1F : G_2F \\ &= G_1G : G_2G \end{aligned}$$

故ニ

$$\triangle ABC : \triangle ACD = G_1G : G_2G$$

故ニ G ハ $ABCD$ ノ重心ナリ.

61. 梯形ノ重心.

$ABCD$ ハ梯形ナリ, E, F ハ夫々 AB, CD ノ中點ナリ, E ト F トヲ結び,

$$AB = a, \quad CD = b, \quad EF = c$$

トス然ル時重心 G ハ EF 上ニアリテ

$$EG = \frac{c}{3} \cdot \frac{a+2b}{a+b}$$

ナリ.

AF, BF ニヨリテ梯形ハ三個ノ三角形 CAF, AFB, FBD トナレリ, $\triangle ACF$ ト $\triangle BFD$ トハ面積相等シ其面積ヲ S トス他ノ $\triangle AFB$ ノ面積ヲ S' トスレバ

$$\frac{S}{S'} = \frac{\frac{1}{2}b}{a} = \frac{b}{2a} \dots\dots\dots(1)$$

一般ニ三角形ノ重心ハ、其角點ニ三角形ノ重量ノ $\frac{1}{3}$ 宛分配サレタル其三個ノ重量ノ重心ト一致スルヲ以テ、S 及ビ S' ヲ夫々其三角形ノ角點ニ分配スレバ

A, 及ビ B ノ各點ニ

$$\frac{1}{3}(S+S')$$

C, 及ビ D ノ各點ニ

$$\frac{1}{3}S$$

F ニ於テ

$$\frac{1}{3}S' + \frac{2}{3}S$$

宛トナルベシ、A 及ビ B ニ

アルモノハ E ニ於ケル

$$\frac{2}{3}(S+S')$$

ニテ置キ換フルコトヲ得、C, D, F ニアルモノハ F ニ於ケル

$$\frac{1}{3}S' + \frac{1}{3}S$$

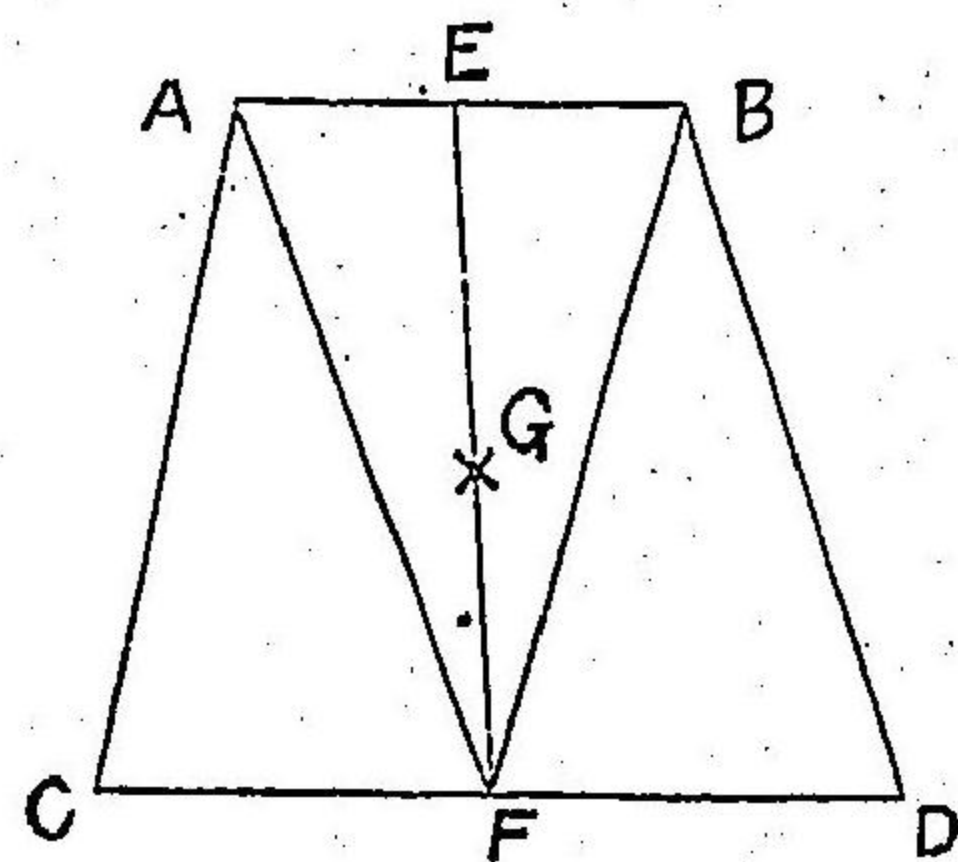
ニテ置キ換フルコトヲ得故ニ梯形ノ重心 G ハ EF 上ニアリテ

$$\frac{2}{3}(S+S') \times EG = \frac{1}{3}(S'+4S) \times FG \dots\dots\dots(2)$$

(1) ト (2) トヨリ

$$\frac{EG}{FG} = \frac{a+2b}{b+2a} \dots\dots\dots(3)$$

故ニ EF ヲ c トスレバ



$$EG = \frac{(a+2b)c}{3(a+b)}$$

又次ノ如クニシテモ見出サル、梯形ノ高サヲ h トス、ABCD ヲニツノ三角形 ABD, ADC ニ分ツ時各面積ハ夫々

$$\frac{1}{2}ah, \quad \frac{1}{2}bh,$$

而シテ底邊 CD ヨリ是等ノ三角形ノ重心ヘノ距離ハ夫々

$$\frac{2}{3}h, \quad \frac{1}{3}h.$$

ナリ、又梯形ノ面積ハ

$$\frac{1}{2}(a+b)h$$

ナリ、又 CD ヨリ G ニ至ル距離トスレバ

$$\frac{1}{2}(a+b)h \cdot y = \frac{ah}{2} \times \frac{2}{3}h + \frac{bh}{2} \times \frac{1}{3}h$$

$$\therefore y = \frac{2a+b}{a+b} \times \frac{h}{3}$$

$$\therefore FG = \frac{(2a+b)c}{3(a+b)}$$

或ハ

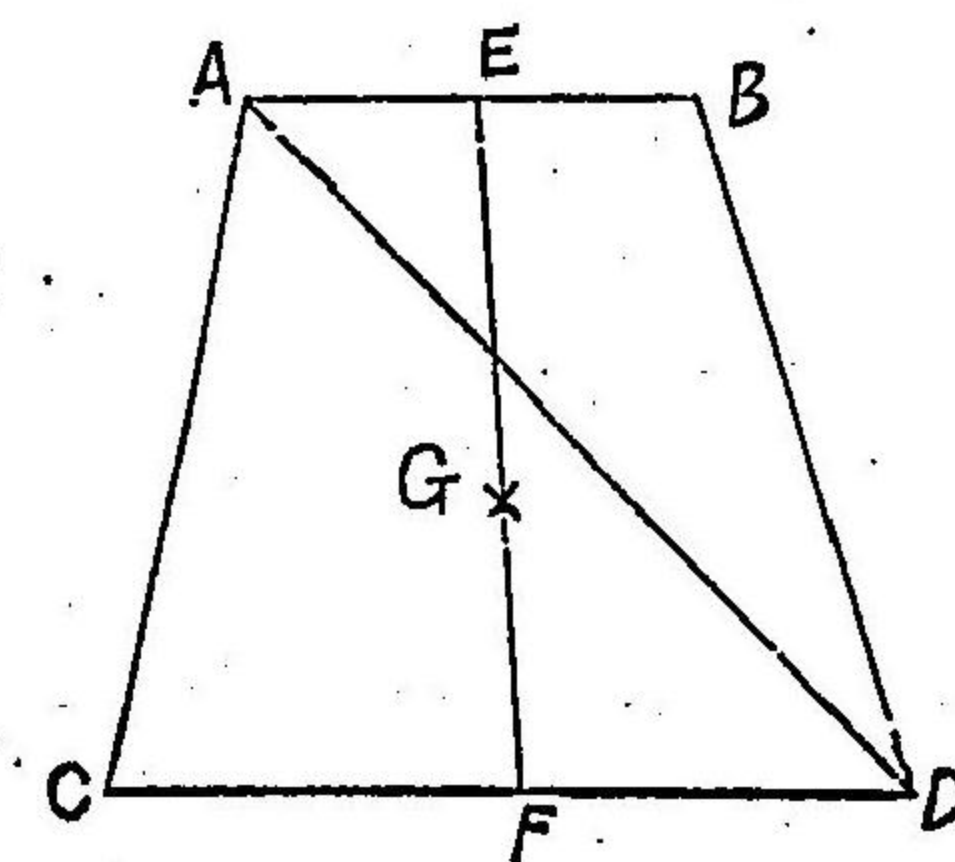
$$EG = \frac{(a+2b)c}{3(a+b)}$$

圖上ニテ定ムルニハ AB ヲ K 迄延長シ

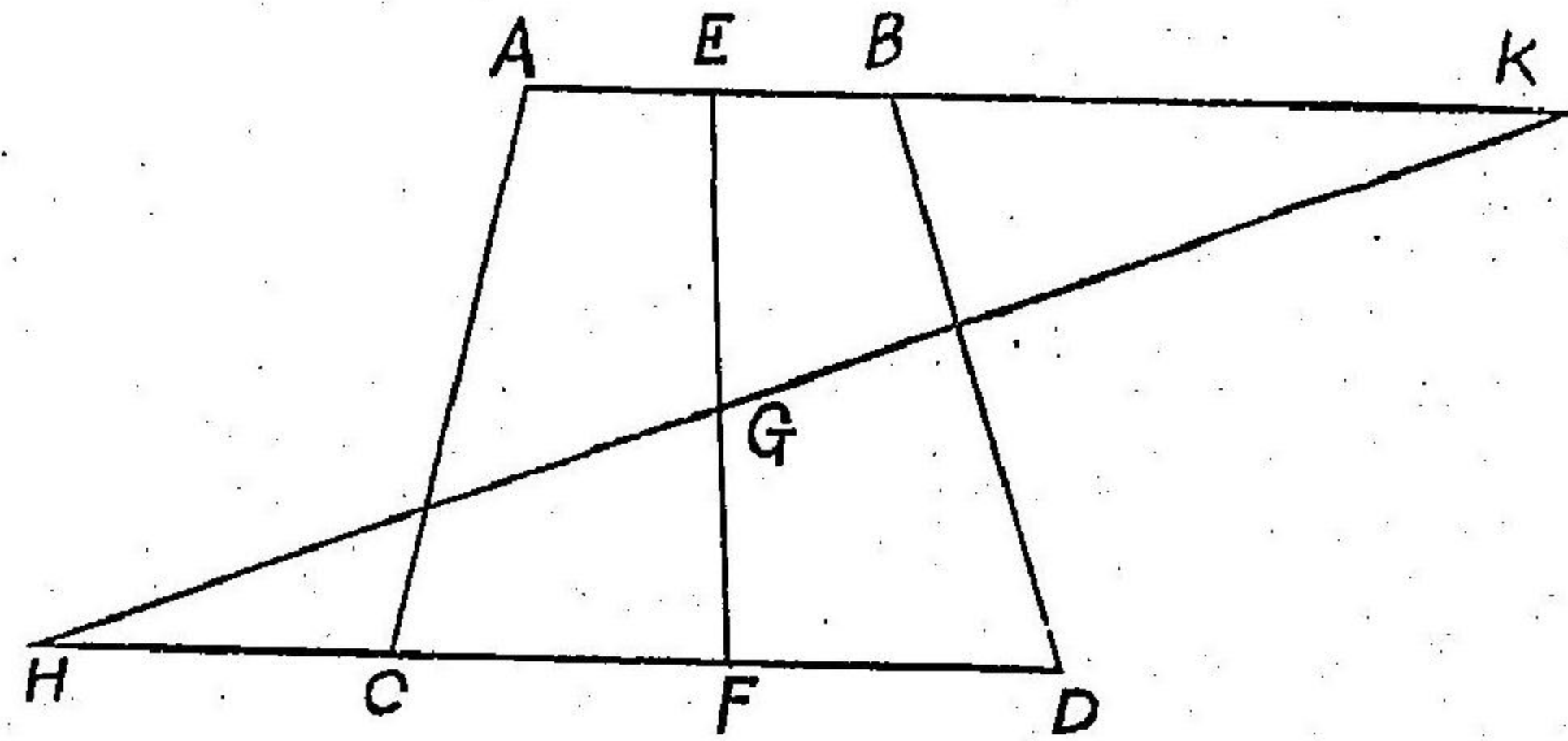
$$BK = b$$

ナラシメ、DC ヲ H 迄延長シ

$$CH = a$$



ナラシムベシ然ル時 HK ト EF トノ交點 G ハ所求ノ重心ナリ.



何ントナレバ CD = 平行ナル直線ニテ數多ノ帶狀ノ微小面積ニ分テバ其各ノ重心ハ EF 上ニアルヲ以テ梯形ノ重心モ EF 上ニアリ, 又(3)式ヨリ.

$$\frac{EG}{FG} = \frac{a+2b}{b+2a} = \frac{\frac{1}{3}a+b}{a+\frac{2}{3}b}$$

$$= \frac{EK}{HF}$$

62. 三角錐ノ重心,

三角錐ノ重心ハ頂點ト底面ノ重心トヲ結ブ直線上ニ沿フテ, 底面ノ重心ヨリ其直線ノ長サノ $\frac{1}{4}$ ノ位置ニアリ.

三角錐 ABCD ノ面 BDC ノ重心ヲ F トス, E ハ CD ノ中點ナリ, 然ル時 ABE ノ面ハ zero moment ノ平面ナリ, 此クノ如キ三個ノ平面ノ交リノ點 G ハ三角錐ノ重心ナリ.

H ハ三角形 ACD ノ重心ナリトスレ

$$EF = \frac{EB}{3},$$

$$EH = \frac{EA}{3}$$

故ニ HF ト AB トハ平行ナリ, 而シテ

$$HF = \frac{1}{3} AB$$

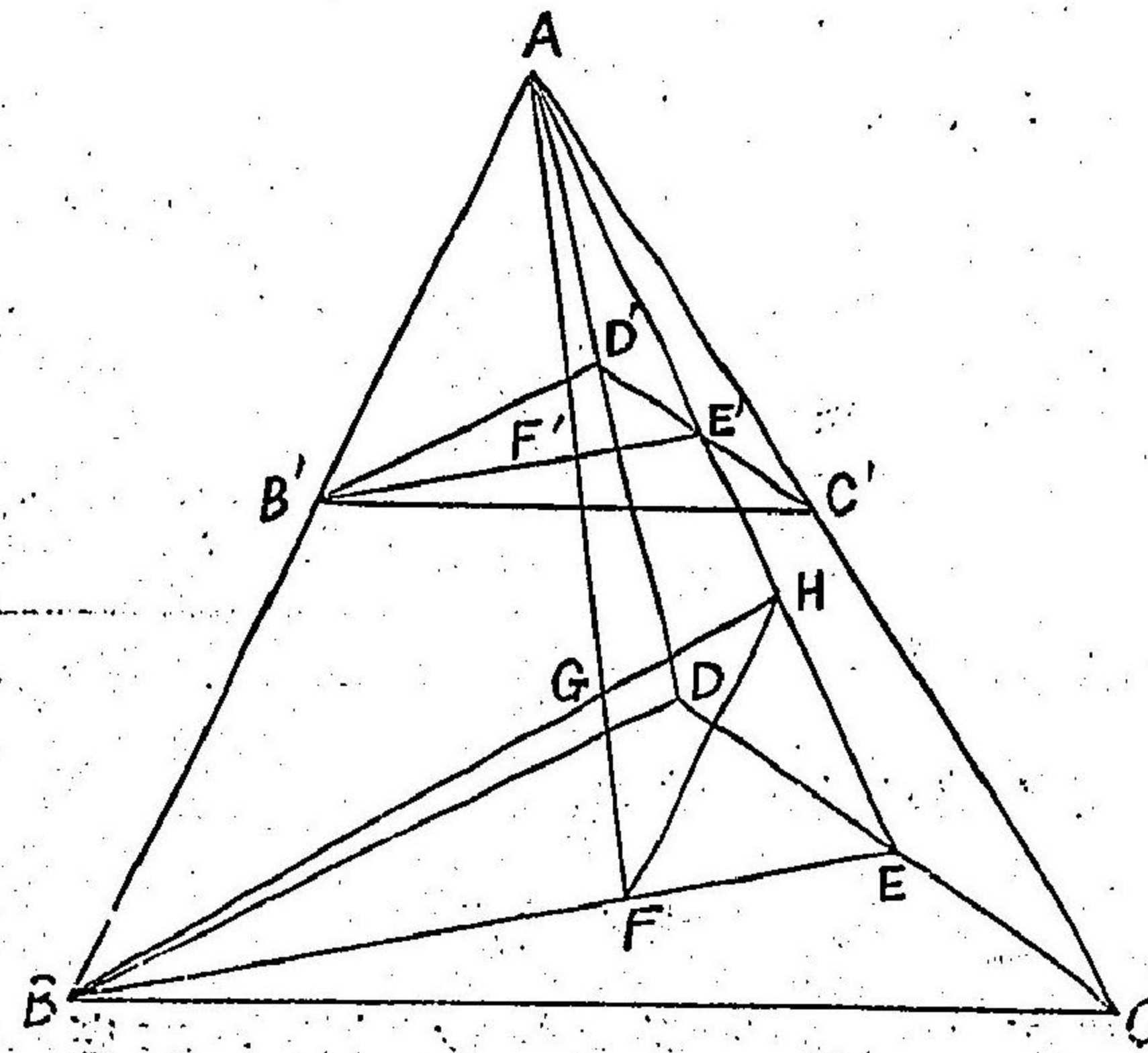
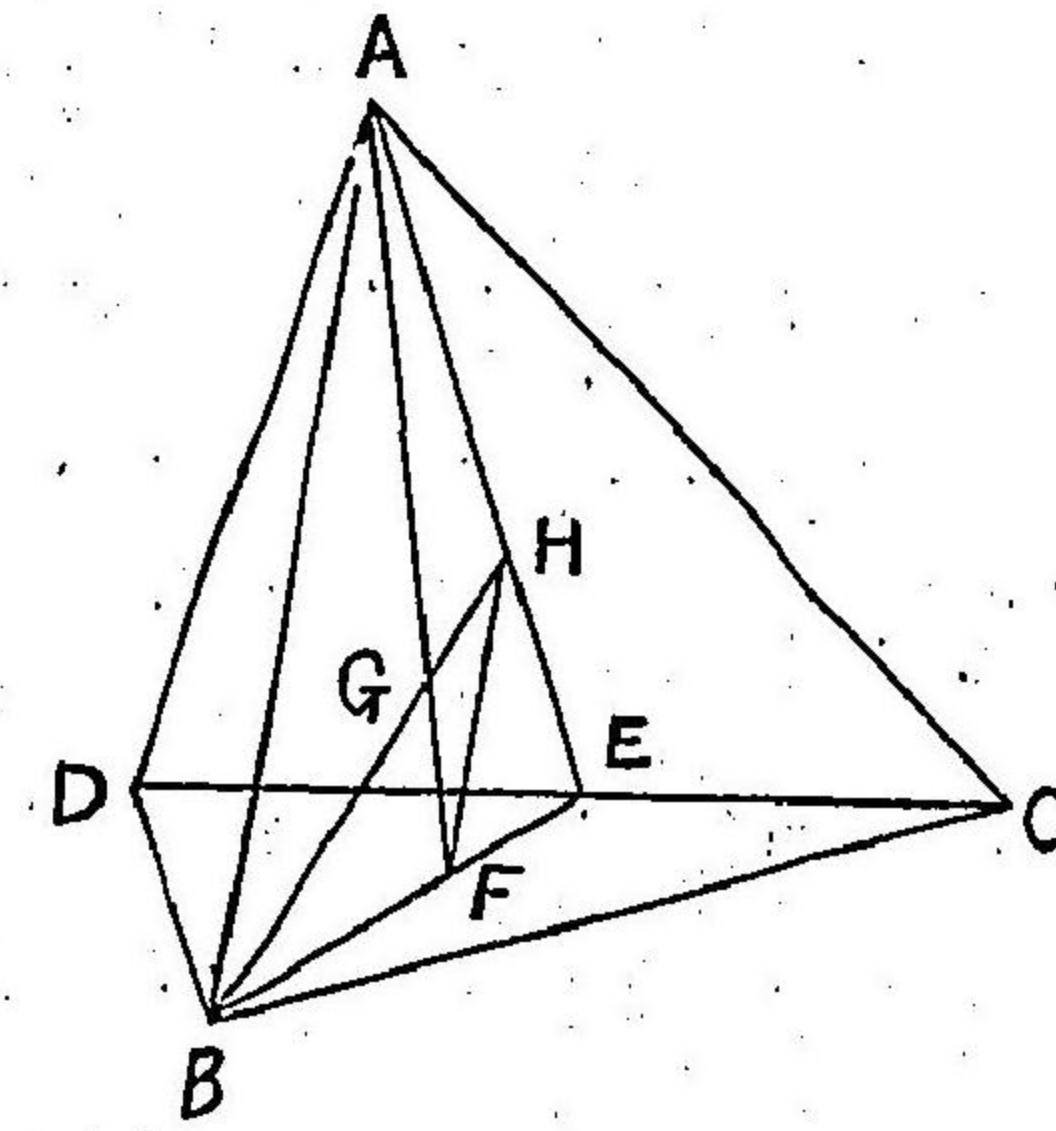
$\triangle GFH$ ト $\triangle GAB$ トハ相似形ナルヲ以テ

$$GF = \frac{1}{3} GA$$

故ニ

$$GF = \frac{1}{4} AF$$

又次ノ如クニナスモ見出サル, 底面ニ平行ナル截面 $B'C'D'$ ト AE, AF トノ交點ヲ E', F' トスレバ E' ハ $C'D'$ ノ中點ニシテ



$$\frac{E'F'}{B'E'} = \frac{EF}{BE} = \frac{1}{3}$$

ナルヲ以テ F' ハ三角形 $B'C'D'$ ノ重心ナリ、是ニ由テ三角錐ヲ底面ニ平行ナル極メテ薄キ數多ノ三角板ヨリ成ルモノトセバ、是等三角形ノ重心ハ皆 AF ノ上ニアルヲ以テ、三角錐ノ重心モ亦 AF 上ニアラザル可ラス、同様ニシテ $\triangle ADC$ ノ重心ヲ H トスレバ、三角錐ノ重心ハ BH 上ニアラザル可ラス、故ニ AF ト BH トノ交點 G ハ三角錐ノ重心ナリ。

63. 三角錐ノ角點ニ置カレタル四個ノ相等シキ重量ノ重心。

$ABCD$ ハ三角錐ナリ、各角點 $A, B, C, D = W$ ナル大サノ重量アリトス、 G' ヲ $\triangle ABC$ ノ重心トスレバ、 A, B, C ニアル三個ノ重量ノ和ハ $3W$ ニシテ其重心ハ G' ナリ、 G ヲ所求ノ重心トスレハ

$$\frac{DG}{GG'} = \frac{3W}{W} = 3$$

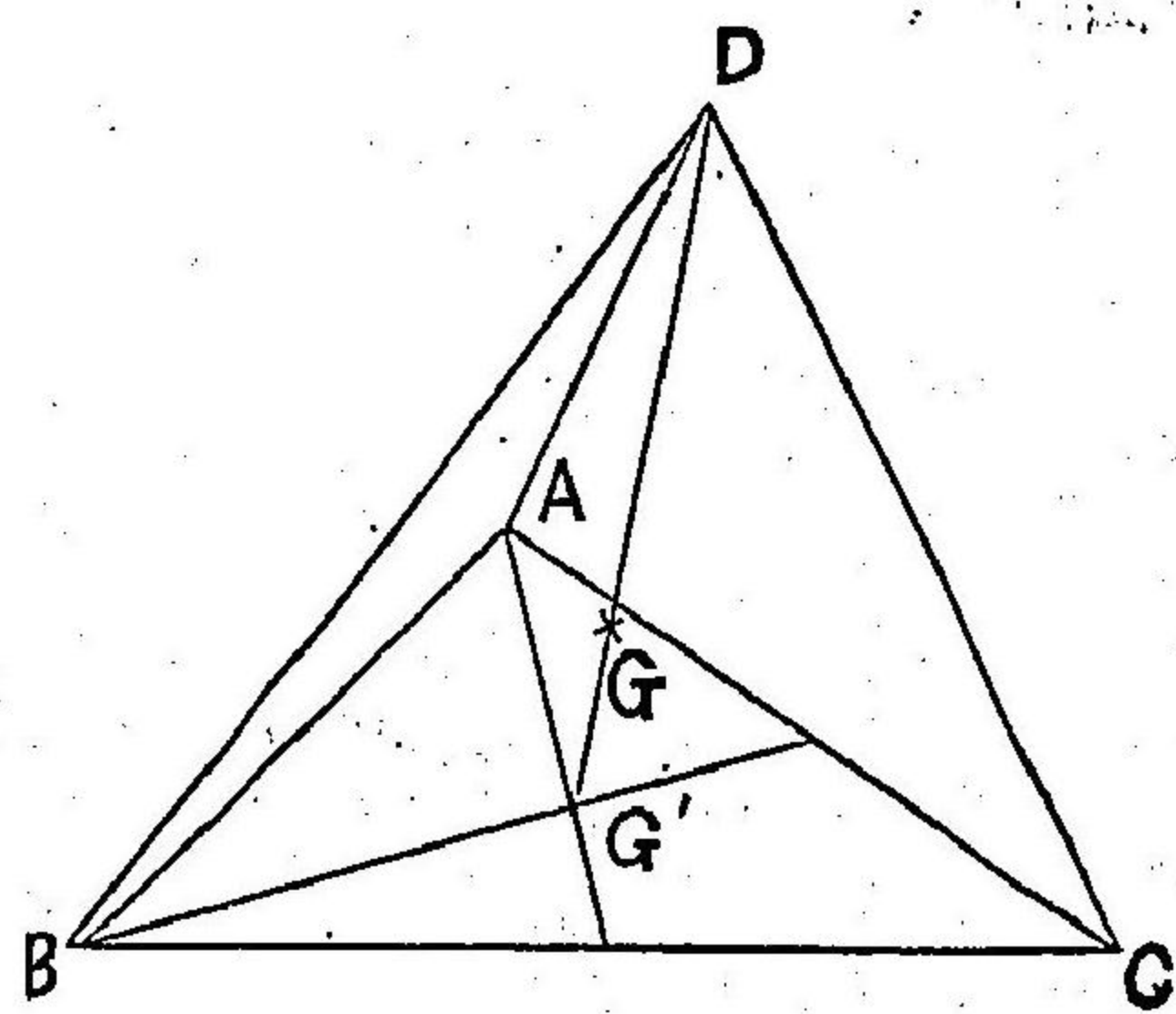
故ニ

$$GG' = \frac{1}{2} DG'$$

故ニ三角錐ノ重心ト一致ス。

64. 任意ノ底面ノ錐體ノ重心。

任意ノ底面ノ pyramid 及 cone ノ重心ハ其底面ノ重心



ト頂點トヲ結ヘル直線ニ沿フテ、底面ノ重心ヨリ其直線ノ長サノ $\frac{1}{3}$ ノ位置ニアリ。

Pyramid ハ數多ノ elementary frustums ヨリ成ルモノト見ルコトヲ得、是等ノ内ノ任意ノ frustums ノ重心ハ其 frustum ノ面ノ重心ト終ニハ一致スベキモノナリ、然ルニ是等 frustumi ノ面ハ皆 pyramid ノ底面ニ similar ナルモノナリ、故ニ frustum ノ面及ビ frustums ノ重心ハ皆頂點ト底面ノ重心トヲ結ヘル軸上ニアラザル可ラス、從テ pyramid ノ重心モ此軸上ニアリ。

又 pyramid ノ底面ヲ數多ノ三角形ニ分チ、是等ノ三角形ヲ底トシ、pyramid ノ頂點ヲ頂點トセル數多ノ pyramids トス、是等ノ細長ナル pyramids ノ重心ハ皆同一ノ平面上ニアリ、其平面ハ元ノ pyramid ノ底面ノ重心ト頂點トヲ結ブ直線ヲ、其底面ノ重心ヨリ其直線ノ長サノ $\frac{1}{3}$ ノ點ニテ切ルベシ、此點ハ即チ元ノ pyramid ノ重心ナリ。

cone ハ pyramid ノ面ノ數ガ限リ無ク増加サレタル場合ノ limit トシテ見ルコトヲ得、從テ其重心ハ pyramid ノ場合ニ同ジ。

65. 圓ノ弧ノ重心。

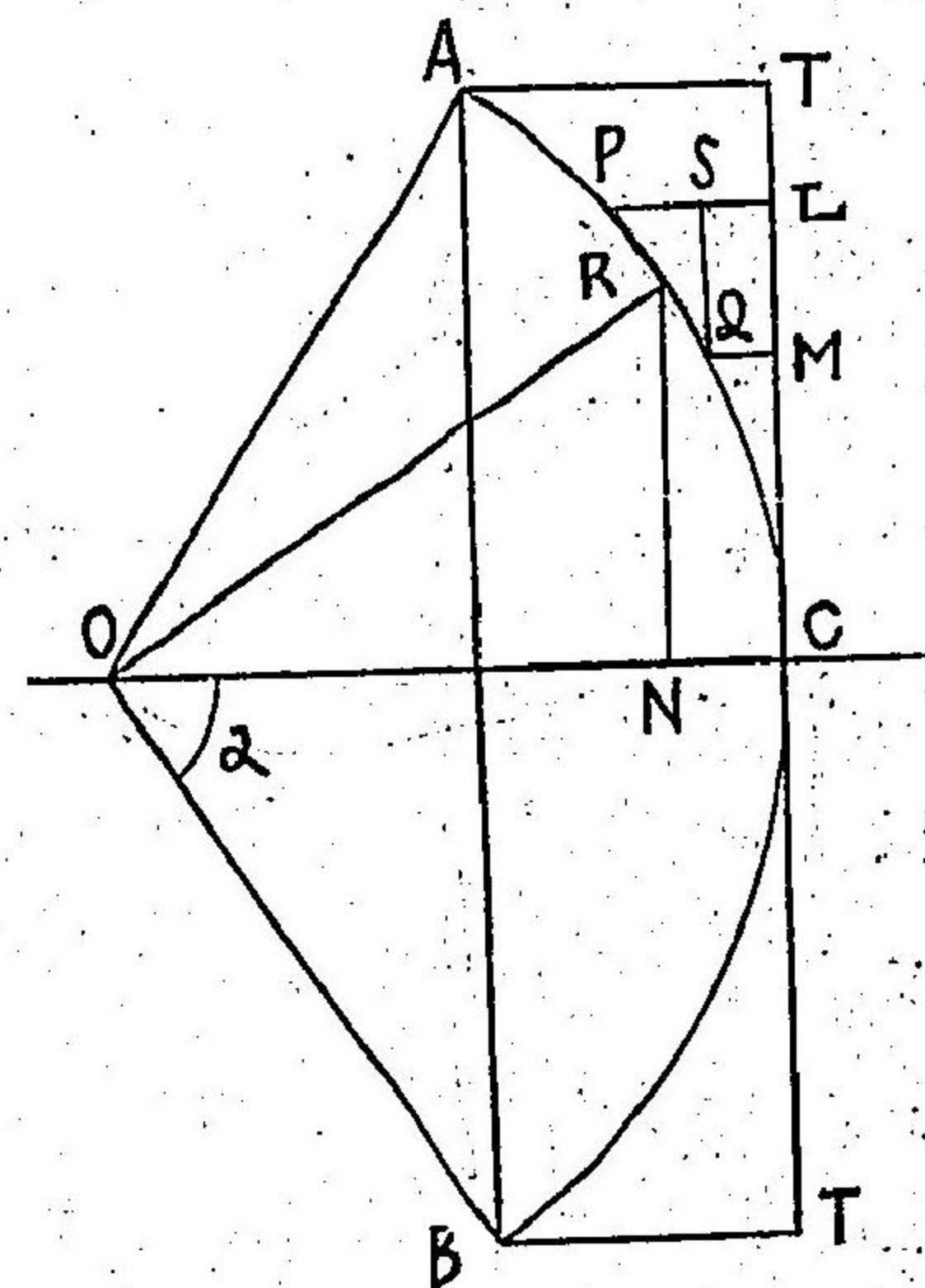
圓ノ弧ノ重心ハ中心ヨリ、中心角ノ二等分線ニ沿フテ

$$\frac{\text{半徑} \times \text{弧ノ弦}}{\text{弧ノ長}}$$

ナル位置ニアリ。

弧 AB ノ中心角 AOB ノ二等分線ヲ OC トス, 重心ハ明ニ OC ノ直線上ニアリ.

AB ノ微小分ヲ PQ トス, 其中點 R ヨリ OC ニ垂線 RN ヲ立テ, P, Q ヨリ C ニ於ケル切線 TT' へ垂線 PL, QM ヲ引ク, S ハ PL ト QS トノ交點ナリ, QS ハ TT' ニ平行ナリ, 直角三角形 ORN ト PQS トニ於テ



$$OR : ON = PQ : OS$$

即

$$OC : ON = PQ : LM$$

$$\therefore OC \cdot LM = PQ \cdot ON$$

故ニ

$$\begin{aligned} \sum PQ \cdot ON &= \sum OC \cdot LM = OC \sum LM \\ &= OC \cdot TT' \end{aligned}$$

而シテ

$$\sum PQ = \text{弧 } AB$$

是等ノ値ヲ

$$\bar{x} = \frac{\sum wx}{W}$$

ニ用フレバ

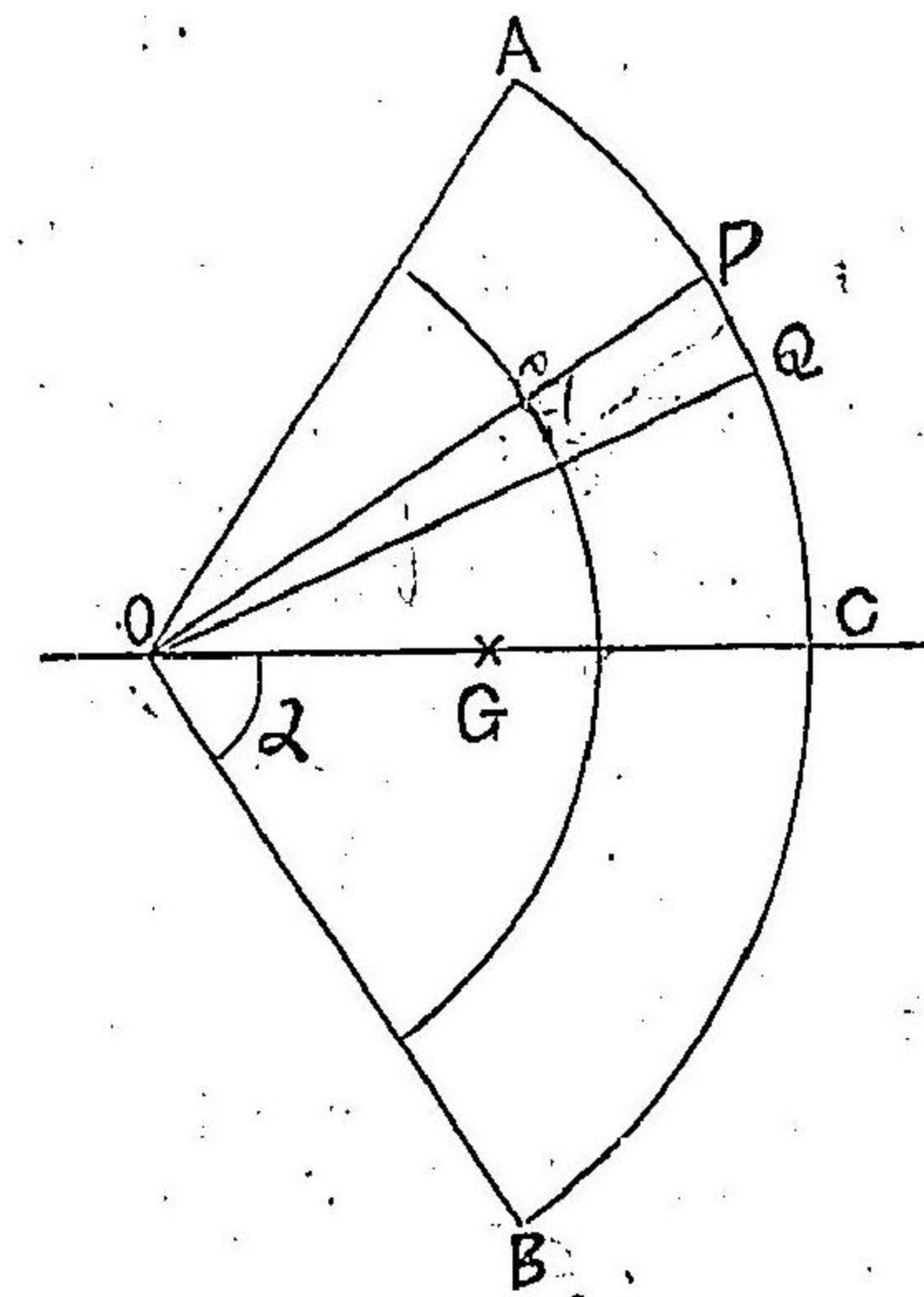
$$\bar{x} = \frac{OC \times \text{弦 } AB}{\text{弧 } AB}$$

半徑ヲ r トシ, 中心角ヲ 2α トスレバ

$$\bar{x} = \frac{r \sin \alpha}{\alpha}$$

66. 圓ノ sector 及 segment ノ重心.

AOB ハ sector ナリ, 弧 AB ノ微小分ヲ PQ トスレバ, OPQ ハ sector ナレドモ, PQ ハ甚ダ小ナルヲ以テ三角形ト見做スコトヲ得, 故ニ其重心ハ PQ ヨリ O ニ向テ其半徑ノ $\frac{1}{3}$ ノ點ナリ, sector AOB ハ此クノ如キ多數ノ sectors ヨリ成ルモノト見ルコトヲ得故ニ sector AOB ノ重心ハ之ト同一ノ重量ヲ有シ, 同一ノ中心角ヲ有シ, 半徑ハ $\frac{2}{3}$ ナル圓ノ弧ノ重心ト同一ナリ, 故ニ G ヲ重心トスレバ



$$OG = \frac{2}{3} \frac{OA \times \text{弦 } AB}{\text{弧 } AB}$$

中心角 AOB ヲ 2α radians トスレバ

$$OG = \frac{2r}{3} \cdot \frac{\sin \alpha}{\alpha}$$

次ニ segment ABC ノ重心ヲ求メントス, sector AOB ノ重心ヲ G トシ, 三角形 AOB ノ重心ヲ G₁ トシ, segment ABC ノ重心ヲ G₂ トス.

$$OG_1 = \frac{2}{3} r \cos \alpha$$

$$OG = \frac{2}{3} \frac{r \sin \alpha}{\alpha}$$

而シテ

$$\triangle ABC \text{ノ面積} = r^2 \sin \alpha \cos \alpha$$

$$\text{sector } AOB \text{ノ面積} = r^2 \alpha$$

故ニ

$$\text{segmentノ面積} = r^2(\alpha - \sin \alpha \cos \alpha)$$

故ニ Oニ關スル momentニ付次ノ關係アリ。

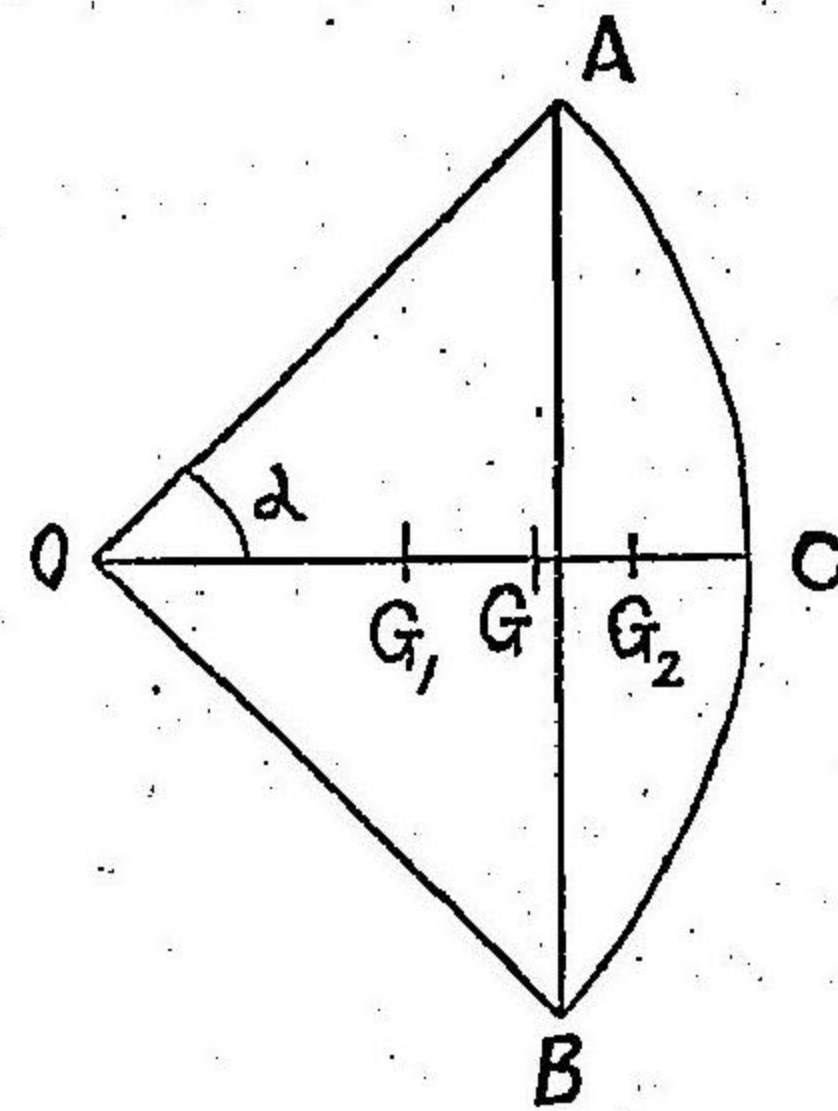
$$r^2 \alpha \frac{2r \sin \alpha}{3\alpha} = r^2(\alpha - \sin \alpha \cos \alpha) \times OG_2 \\ + r^2 \sin \alpha \cos \alpha \cdot \frac{2}{3} r \cos \alpha$$

故ニ

$$OG_2 = \frac{2}{3} \frac{r(\sin \alpha - \sin \alpha \cos^2 \alpha)}{\alpha - \sin \alpha \cos \alpha} \\ = \frac{2}{3} \frac{r \sin^3 \alpha}{\alpha - \sin \alpha \cos \alpha} \\ = \frac{1}{12} \frac{(2r \sin \alpha)^3}{r^2(\alpha - \sin \alpha \cos \alpha)} \\ = \frac{1}{12} \frac{(\text{弦 } AB)^3}{\text{segmentノ面積}}$$

直徑 d ナル半圓ノ重心ヲ求ムルニ sectorノ重心ノ式ニ於テ

$$OA = \frac{d}{2}, \quad \text{弦 } AB = d, \quad \text{弧 } AB = \pi \frac{d}{2}$$



ト置ケハ

$$OG = \frac{2d}{3\pi}$$

又 segmentノ重心ノ式ニ於テ

$$\alpha = \frac{\pi}{2}$$

トスレバ

$$OG_2 = \frac{2d}{3\pi}$$

是即チ中心ヨリ半圓ノ重心ニ至ル距離ナリ。

67. 二個ノ平行平面ニテ截リ離サレタル球面ノ部分ノ重心。

Oヲ中心トセル球面ヲ或直徑 AA' ニ直角ナル二個ノ平面 P, P' ニテ截リタリトス, 更ニ AA' ヲ軸トシ球ヲ

丁度包ム所ノ cylinderヲ作

クレバ其面モ亦 P, P' ニテ

截リ取ラルベシ, 然ル時 P

ト P' トノ距離ノ大小ニ關

セズニ, 此兩平面ニテ截リ

取ラレタル球面ノ部分ノ

面積ト cylinderノ部分ノ面

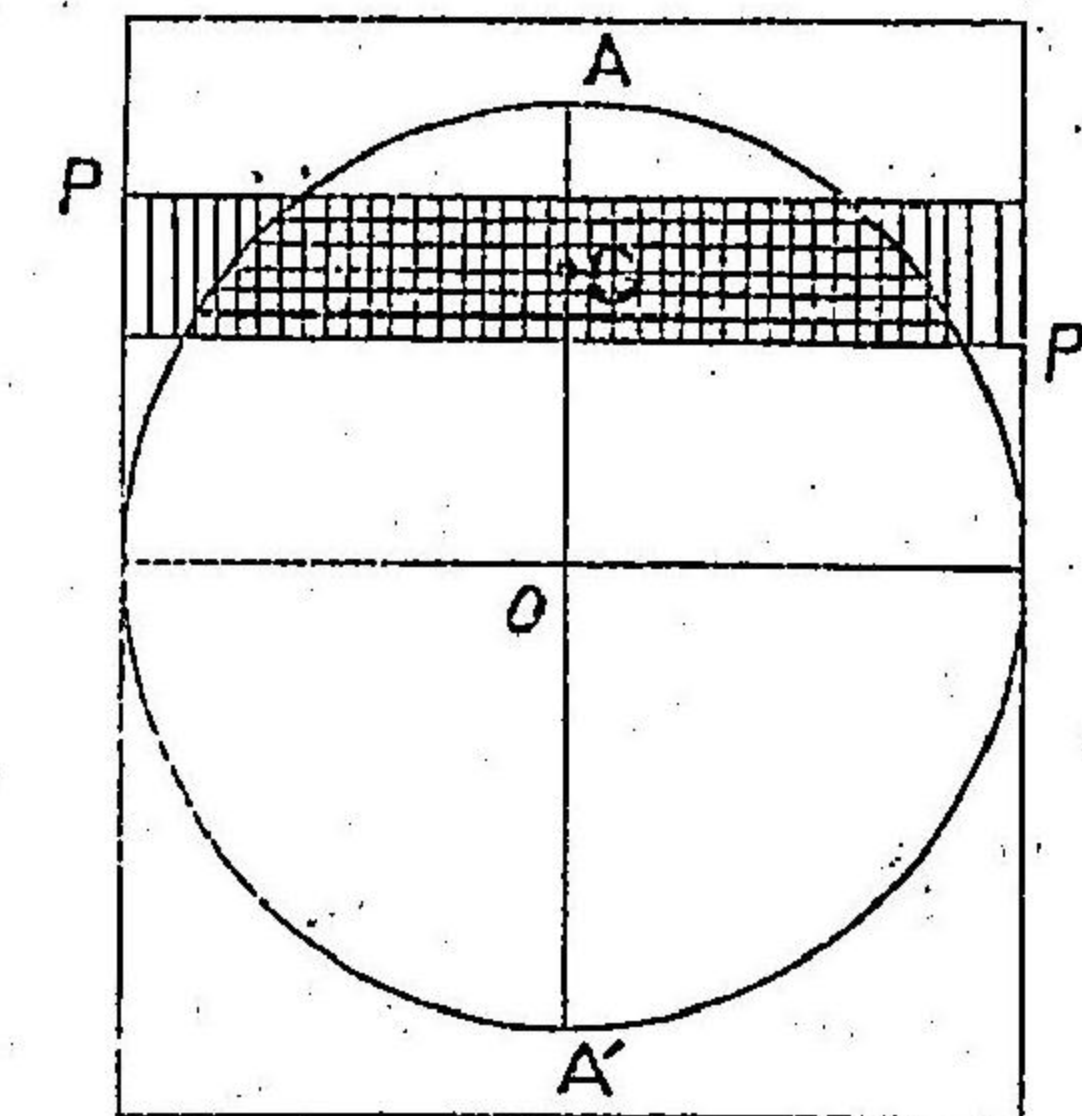
積トハ相等シキモノナリ,

故ニ此兩者ノ重心ハ一致ス, cylinderヨリ截リ取ラレタル

面ノ部分ノ重心ハ其軸 AA' ニアリテ截リタル二個

ノ平面 P, P' ノ間ノ中點ナリ, 故ニ P, P' ニテ截リ取ラレ

タル球面ノ部分ノ重心モ亦此點ナリ。



hemispherical shell ノ重心ハ

$$OG = \frac{1}{2}OA.$$

68. 球ノ sector 及ト segment ノ重心.

球ノ sector ハ其中心ヲ頂點トシ、其表面上ニ底面ヲ有
スル數多ノ小ナル圓錐體ヨリ成ルモノト見ルコトヲ
得、而シテ是等ノ各圓錐體ノ重心ハ皆中心ヨリ半徑ニ
沿フテ半徑ノ $\frac{2}{3}$ ノ點ニアリ、故ニ sector ノ重心ハ之ト同
一ノ重量ヲ有シ、同一ノ中心ヲ有シ、半徑カ其 $\frac{2}{3}$ ナル
spherical cap ノ重心ト一致ス。

AOB ハ與ヘラレタル sector
ニシテ、A'C'B' ハ sector ノ半
徑ノ $\frac{2}{3}$ ノ半徑ノ spherical cap
ナリ、OC ヲ centre line トスレ
ハ sector ノ重心ハ OC 上ニア
リテ O ヨリ

$$\begin{aligned} \frac{1}{2}(OC' + OM') &= \frac{1}{2} \times \frac{2}{3}(OC + OM) \\ &= \frac{1}{3}(OC + OM) \end{aligned}$$

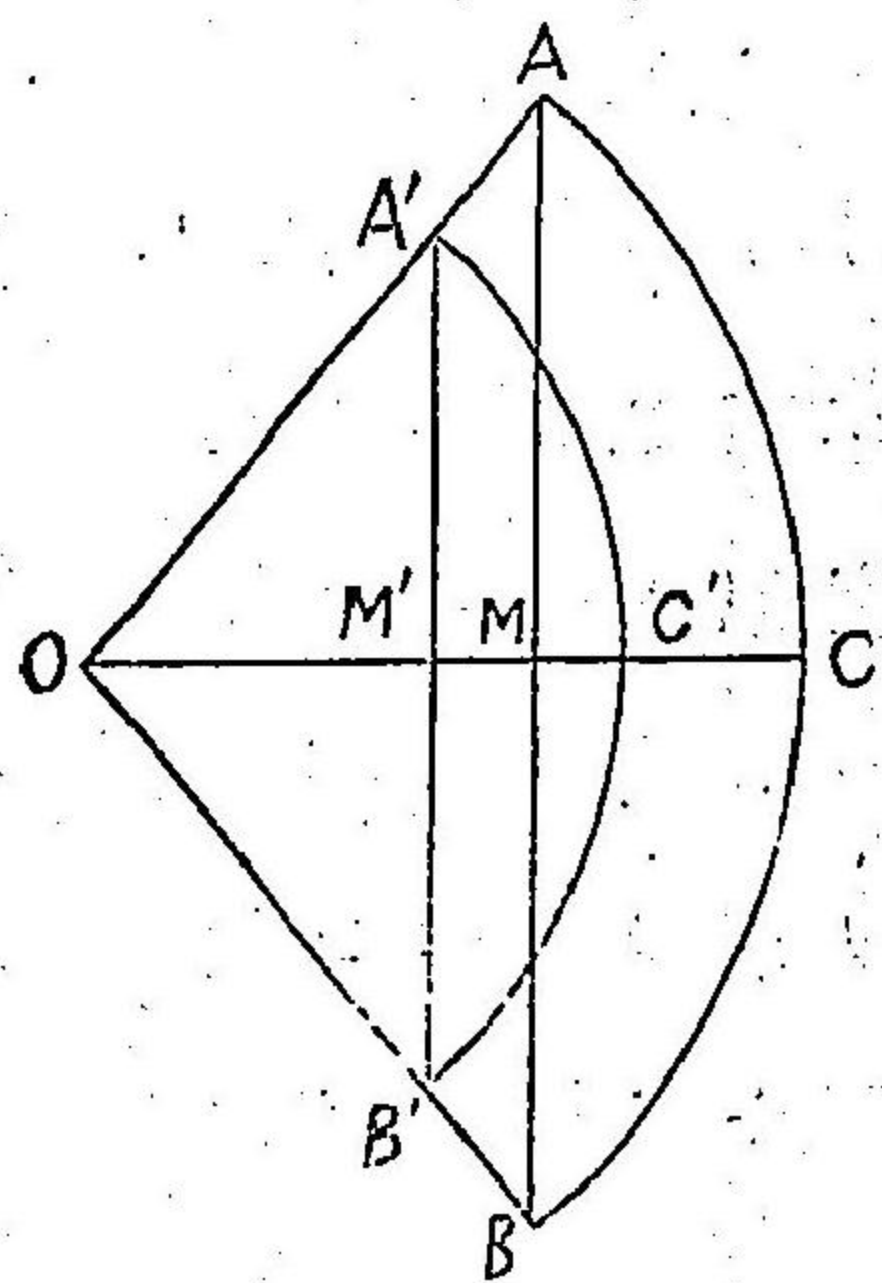
ニアリ。

半球ニ付テ中心ヨリ半徑ノ $\frac{2}{3}$ ナル點ナリ。

球ノ sector ハ其 segment ト圓錐體トヨリ成レリ、而シ
テ球ノ中心ヨリ segment ノ底ニ至ル距離ヲルトシ、半徑
ヲアトスレハ

$$\text{sector ノ容積} = \frac{2}{3}\pi r^2(r-l)$$

$$\text{錐體ノ容積} = \frac{1}{3}\pi l(r^2 - l^2)$$



故ニ

$$\begin{aligned} \text{segment ノ容積} &= \frac{2}{3}\pi r^2(r-l) - \frac{1}{3}\pi l(r^2 - l^2) \\ &= \frac{1}{3}\pi(2r+l)(r-l)^2 \end{aligned}$$

中心ヨリ segment ノ重心ニ至ル距離ヲxトシ、中心ニ
關スル moment ヲ探レハ

$$\begin{aligned} \frac{2}{3}\pi r^2(r-l) \times \frac{2}{3}(r+l) - \frac{1}{3}\pi l(r^2 - l^2) \times \frac{2}{3}l \\ + \frac{1}{3}\pi(2r+l)(r-l)^2 x \end{aligned}$$

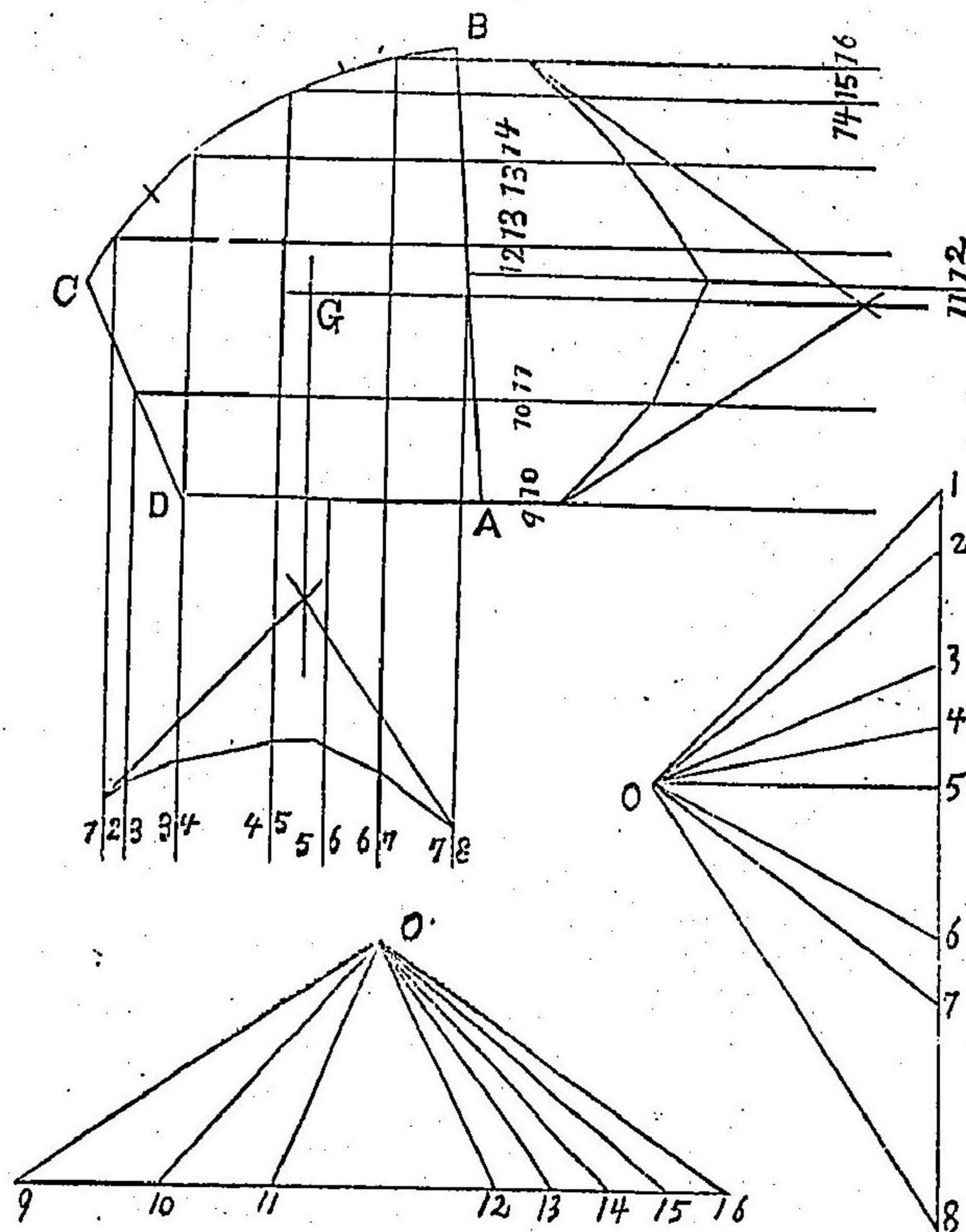
$$\begin{aligned} \therefore x &= \frac{\frac{1}{3}\pi r^2(r^2 - l^2) - \frac{1}{3}\pi l^2(r^2 - l^2)}{\frac{1}{3}\pi(2r+l)(r-l)^2} \\ &= \frac{3}{4} \frac{(r+l)^2}{2r+l} \end{aligned}$$

69. Funicular polygon ヲ用テ重心ヲ求ムルコト.

例ヘハ ABCD ハ一様ナル太サノ針金ナリトス、AB、
CD、DA ハ直線ニシテ、BC ハ中心 A ナル圓ノ弧ナリ、
然ル時 ABCD ノ重心ヲ定ムルコト.

弧 BC ヲ或數例ヘハ四等分ス、各分ノ重心ハ其部分ノ
中點ナリト見做シ、其重量ハ弦ノ長サニテ表ハサル、
モノト見做ス、此假定ハ半徑ニ比シ弧カ小ナレハ誤差
ハ小ナリ、直線ノ部分 AB、CD、DA ノ重心ハ夫々ノ中點
ニシテ各重量ハ長サニ比例ス。

Funicular polygon ニヨリテ Resultant ノ作用線ヲ見出
シ、更ニ着力點ヲ變セスニ各部分ノ重量ノ作用線ヲ同
シ向キニ同シ角ダケ廻轉シ、其位置ニ對シテ Funicular



Polygon = ヲリ Resultant ノ作用線ヲ見出ス,此作用線ト前
ノ位置ニ於ケル Resultant ノ作用線トノ交點Gハ所求ノ
ABCD ノ重心ナリ.

第 五 章

力ノ釣合條件

70. 一直線上ニアル諸力ノ釣合.

此場合ノ條件ハ諸力ノ代數和ヲ ΣF トスレハ

$$\Sigma F = 0$$

何ントナレハ合力ヲ R トスレハ

$$R = \Sigma F = 0$$

71. 同一平面上ニアリテ一點ニ會セル諸力ノ釣合.

此場合ノ條件ハ

(a) $\Sigma F_x = 0,$ 及ヒ $\Sigma F_y = 0$

但 ΣF_x 及ヒ ΣF_y ハ夫々 x 及ヒ y 分力ノ代數和ナリ.

又ハ

(b) $\Sigma F_x = 0,$ 及ヒ $\Sigma M = 0$

但 ΣM ハ共通ノ着力點以外ノ任意ノ點ニ關スル諸力
ノ moments ノ和ナルモ,共通ノ着力點ト moment ノ centre
トヲ結付クル直線カ x 軸ト直角ヲナサザル様ニ mo-
ment ノ centre ヲ撰フヘキモノトス.

又ハ

(c) $\Sigma M_A = 0,$ 及ヒ $\Sigma M_B = 0$

但 ΣM_A 及ヒ ΣM_B ハ夫々共通ノ着力點ト同一直線上ニ

アラサル様ニ撰ハレタル二點 A 及ヒ B ニ關スル諸力
ノ moments ノ和ナリ.

(a) ノ場合

合力ヲ R トスレハ

$$R = \{(\sum F_x)^2 + (\sum F_y)^2\}^{\frac{1}{2}}$$

然ルニ

$$\sum F_x = \sum F_y = 0$$

∴

$$R = 0.$$

(b) ノ場合.

$$\sum M = 0$$

故ニ R カアラバ R ハ共通ノ着力點ト moment ノ centre
トヲ通セサル可ラス、此二點ヲ結ブ直線ト x 軸トノ間
ノ角ヲ α トスレハ R ノ x 分力 R_x ハ

$$R_x = \sum F_x = R \cos \alpha$$

然ルニ

$$\sum F_x = 0$$

故ニ

$$R \cos \alpha = 0$$

然ルニ

$$\cos \alpha \neq 0$$

故ニ

$$R = 0$$

(c) ノ場合.

O ヲ共通ノ着力點トス.

$$\sum M_A = \sum M_B = 0$$

故ニ R カアラバ R ハ A 及 B ヲ通過スヘシ、R ハ亦 O ヲ
モ通過セサル可ラス、即チ R ハ A, B, O ノ三點ヲ通過セ

サル可ラス、然ルニ此三點ハ一直線ニアラサル様ニ撰
バレタルモノナリ、故ニ

$$R = 0$$

ナラサル可ラス.

圖上ニ於ケル釣合條件ハ力ノ多角形カ閉ツルコト
ナリ.

72. 同一平面上ニアル平行力ノ釣合.

此場合ノ條件ハ

$$(a) \quad \sum F = 0, \quad \text{及ビ} \quad \sum M = 0.$$

但 $\sum F$ ハ諸力ノ代數和ニシテ、 $\sum M$ ハ任意ノ點ニ關スル
諸力ノ moments ノ代數和ナリ.

又ハ

$$(b) \quad \sum M_A = 0, \quad \text{及ビ} \quad \sum M_B = 0$$

但 moments ノ中心 A 及ヒ B ヲ結ヘル直線 AB カ F ノ
方向ニ平行ナラサルコトヲ要ス.

(a) ノ場合.

$$\sum F = 0$$

∴

$$R = 0$$

且

$$\sum M = 0$$

故ニ couple ニモアラス.

(b) ノ場合.

$$\sum M_A = 0$$

故ニ couple ナラズ、R カアラバ R ハ A ヲ通ズ、亦

$$\sum M_B = 0$$

故に R は B を通す、故に R は A と B とを通す。然るに AB の與へラレタル諸力 = 平行ナラズ、即ち平行力ノ合力 R カ其平行力 = 平行ナラサルコト、ナリテ不都合ナリ、故に R ハ零ナラサル可ラス。

圖上ニ於ケル條件ハ力ノ多角形并ニ funicular polygon カ閉ツルコトナリ。

73. 同一平面上ニアラサル平行力ノ釣合.

此場合ノ條件ハ

$$\Sigma F = 0, \quad \Sigma M_x = 0 \quad \text{及} \quad \Sigma M_y = 0.$$

但 ΣF ハ諸力ノ和ナリ、是等諸力ハ x 軸 = 平行ナリトス、 $\Sigma M_x, \Sigma M_y$ ハ夫々 x 及 y 軸 = 關スル moments ノ和ナリ。

何ントナレバ

$$\Sigma F = 0$$

$$\therefore R = 0$$

又

$$\Sigma M_x = \Sigma M_y = 0$$

故に couple ニモアラズ。

74. 同一平面上ニアリテ、一點ニ會セサル、且平行ナラサル諸力ノ釣合.

此場合ノ條件ハ

$$(a) \quad \Sigma F_x = 0 \quad \Sigma F_y = 0, \quad \text{及} \quad \Sigma M = 0$$

但 ΣF_x 及 ΣF_y ハ夫々 x 及 y 分力ノ和ナリ、又 ΣM ハ任意ノ點ニ關スル moment ノ和ナリ。

又ハ

$$(b) \quad \Sigma M_A = 0, \quad \Sigma M_B = 0, \quad \text{及} \quad \Sigma F_x = 0$$

但 A と B とヲ結ヘル直線カ x 軸 = 直角ナラサルコトヲ要ス。

又ハ

$$(c) \quad \Sigma M_A = 0, \quad \Sigma M_B = 0, \quad \text{及} \quad \Sigma M_C = 0$$

但是等 moments ノ centres A, B, C ハ一直線上アラサル如クニ撰フコトヲ要ス。

(a) ノ場合.

$$R = \{(\Sigma F_x)^2 + (\Sigma F_y)^2\}^{\frac{1}{2}}$$

然ルニ

$$\Sigma F_x = \Sigma F_y = 0$$

$$\therefore R = 0$$

又

$$\Sigma M = 0$$

故に couple ニモアラズ。

(b) ノ場合.

$$\Sigma M = 0$$

故に couple ニアラズ、若シモ R カアリトスレバ

$$\Sigma M_A = \Sigma M_B = 0$$

ナルヲ以テ R ハ A, B を通ス、AB ト x 軸トノ間ノ角ヲ α トスレバ

$$R \cos \alpha = \Sigma F_x = 0$$

然ルニ $\alpha \neq 90^\circ$ 故に

$$R = 0$$

(c) の場合.

$$\Sigma M = 0$$

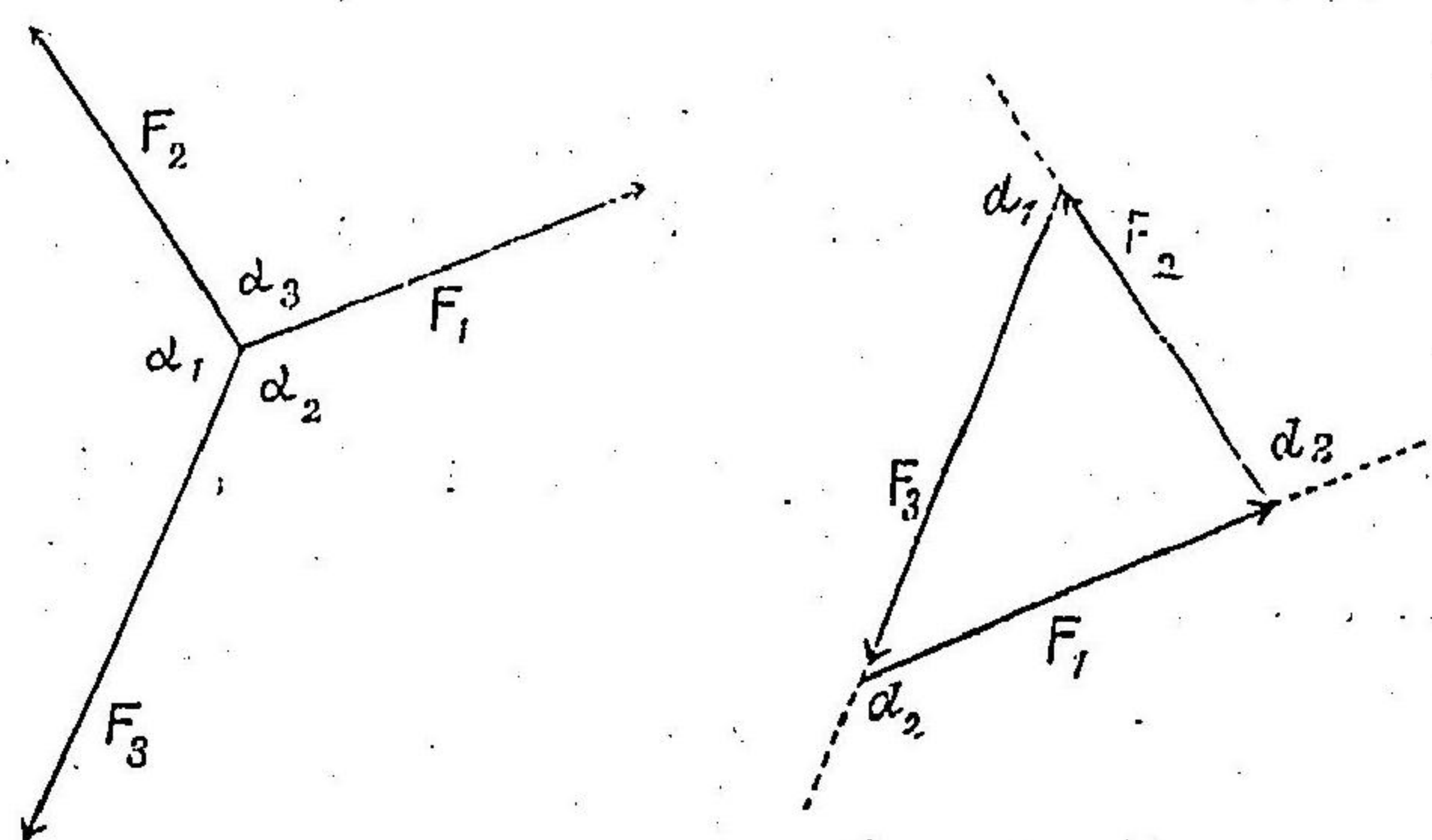
故 = couple ナラス, R アリトスレハ R ハ A, B, C ノ三點ヲ通シテ働カサル可ラス然ルニ此三點ハ一直線上ニアラサル様ニ撰ハレタルモノナリ故ニ R ハ存在スルコト能ハス.

圖上ニ於ケル釣合條件ハ力ノ多角形及 funicular polygon カ閉ツルコトナリ.

與ヘラレタル力ノ數カ四個ナル時ハ其内ノ一對ノ合力ト他ノ一對ノ合力トハ釣合ハサル可ラス.

75. 三力ノ釣合.

三力カ釣合フ爲ニハ同一平面上ニアリテ各力トモ平行セルカ又ハ一點ニ會セサル可ラス而シテ平行セル場合又ハ一點ニ會セル場合夫々既述ノ條件ニ適合セサル可ラス.



F_1, F_2, F_3 カ一點ニ會セル三力ナル時, F_1 ト F_2 トノ間

ノ角ヲ α_3 トシ, F_1 ト F_3 トノ間ノ角ヲ α_2 トシ, F_2 ト F_3 トノ間ノ角ヲ α_1 トスレハ釣合ヘル場合ニ

$$\frac{F_1}{\sin \alpha_1} = \frac{F_2}{\sin \alpha_2} = \frac{F_3}{\sin \alpha_3}$$

76. 問題 I.

同一平面上ニアル平行セル諸力ノ内二カヲ除キ他ノ諸力ハ完全ニ與ヘラレ, 二力ノミハ作用線ノ位置ノミ與ヘラレタリ, 是等諸力カ釣合ヘル時此二力ノ大サ并ニ方向ヲ定ムルコト.

此場合ニ於ケル釣合條件ハ

(a) $\Sigma F = 0$ 及ビ $\Sigma M = 0$

又ハ

(b) $\Sigma M_A = 0$ 及ビ $\Sigma M_B = 0$

但 A ト B トヲ結ヘル直線 AB ハ F ニ平行ナラス.

例ヘハ F_1, F_2, F_3, F', F'' ヲ與ヘラレタル諸力トス, 内 F_1, F_2, F_3 ハ完全ニ與ヘラレ, F', F'' ハ作用線ノミ與ヘラレタリ, 是等五個ノ力カ釣合ヘル場合ノ F', F'' ノ大サ及ビ方向ヲ定メトス.

$F_1 = 500$ 斤, $F_2 = 200$ 斤, $F_3 = 100$ 斤

$a = 5$ 呎, $b = 3$ 呎, $c = 4$ 呎, $d = 2$ 呎

F_1, F_3 ハ下方ハ向ヒ, F_2 ハ上方ヘ向ヘリ, F', F'' ハ方向未知ナルモ假ニ上方ヘ向ヘルモノト想像ス, 上方ヲ正ノ方向トス.

(a) ノ條件ヲ用フレバ

$$\sum F = -500 + 200 + F' - 100 + F'' = 0 \dots\dots\dots(1)$$

又 moment ノ 中心ヲ F'' ノ 作用線上ニ撰ベバ

$$\sum M = 500 \times 14 - 200 \times 9 - 6F' + 100 \times 2 = 0 \dots\dots\dots(2)$$

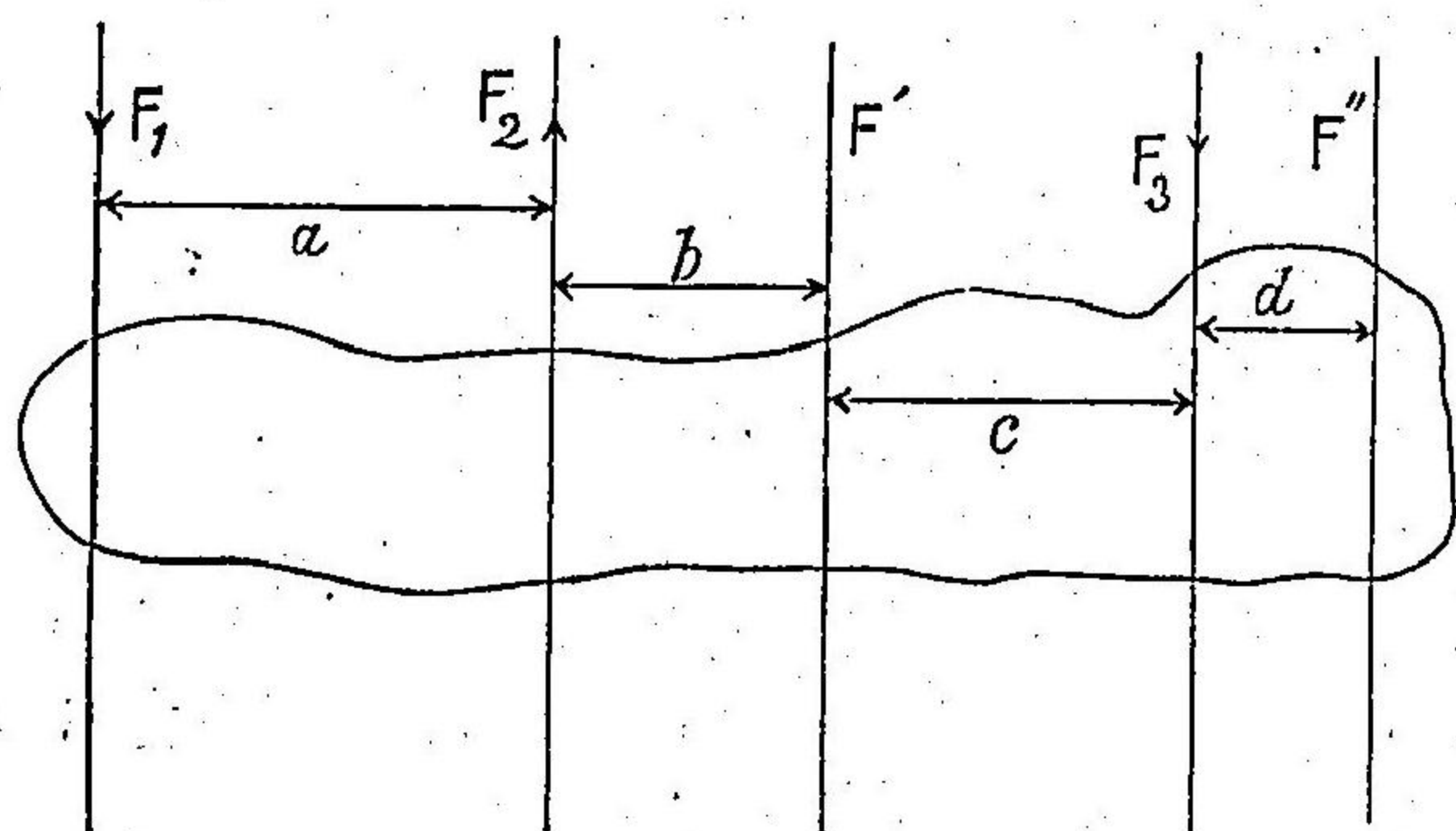
(2)ヨリ

$$F' = 900 \text{ 所}$$

此値ヲ (1)ニ用ヒテ

$$F'' = -500 \text{ 所}$$

F'' カ負號ナルハ最初ノ假定ニ反シテ F'' ハ下方ヘ向ヘルコトヲ示スモノナリ.



(b)ノ條件ヲ用フルモ同一ノ結果ヲ得ヘシ, A, B 二點ノ内一ツハ F' ノ 作用線上ニ他ノ一ツヲ F'' ノ 作用線上ニ撰ベバ

$$\sum M_A = 500 \times 8 - 200 \times 3 - 100 \times 4 + 6F'' = 0$$

$$\sum M_B = 500 \times 14 - 200 \times 9 - 6F' + 100 \times 2 = 0$$

是等ノ式ヨリ

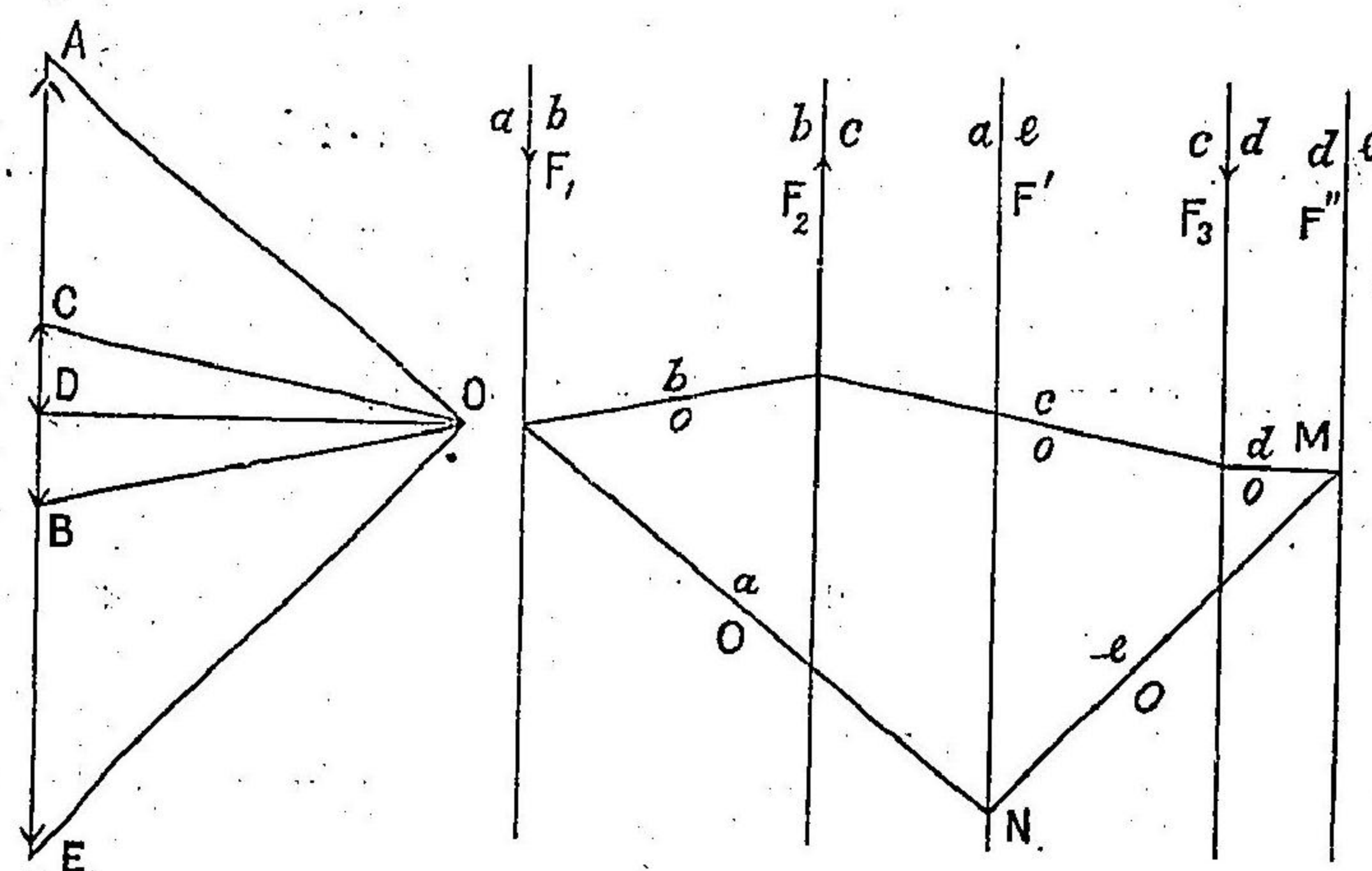
$$F' = 900, \quad F'' = -500$$

圖上ニテ此問題ヲ解クニハ次ノ如クナスベシ.

此場合ノ釣合條件ハ力ノ多角形並ニ funicular polygon ガ閉ヅルコトナリ.

$$F_1 = AB, \quad F_2 = BC, \quad F_3 = CD \text{ トス.}$$

E ハ未定ナルモ力ノ多角形ガ閉ヂザル可ラザルヲ以テ F' ヲ DE トズレバ, 殘リノ F' ハ EA ナラザル可ラズ, E ヲ定ムル爲ニハ funicular polygon ガ閉ヅ可キ條件ヲ用フ, string do ハ F'' ノ 作用線 de ト M ニテ交ハル, 又 ao ハ F' ノ 作用線 ae ト N ニテ交ハル, M ト N トヲ結ベ



ハ funicular polygon ハ閉ヂラル, MN ニ平行ニ OE ヲ引クバ此直線ハ直線 AB ト E ニテ交ハル, 是ニ由テ E ハ定マル, 從テ F', F'' ノ 大サ及ビ方向モ定マル, F'' ノ 大サハ DE ニシテ下方ヘ向ヒ, F' ノ 大サハ EA ニシテ上方ヘ向フ.

77. 問題 II.

同一平面上ニアリテ作用線ガ平行ナラザル場合ニ諸力ノ内二カヲ除キ他ハ完全ニ與ヘラレタリ, 二力ノ

内一方ハ作用線ノミ與ヘラレ他ノ一力ニ付テハ其作用線上ノ一ノミ與ヘラントリ、是等衆力ガ釣合ヘル場合ニ此二力ヲ定ムルコト。

釣合條件ハ

(a) $\Sigma F_x = \Sigma F_y = 0$ 及ビ $\Sigma M = 0$

又ハ

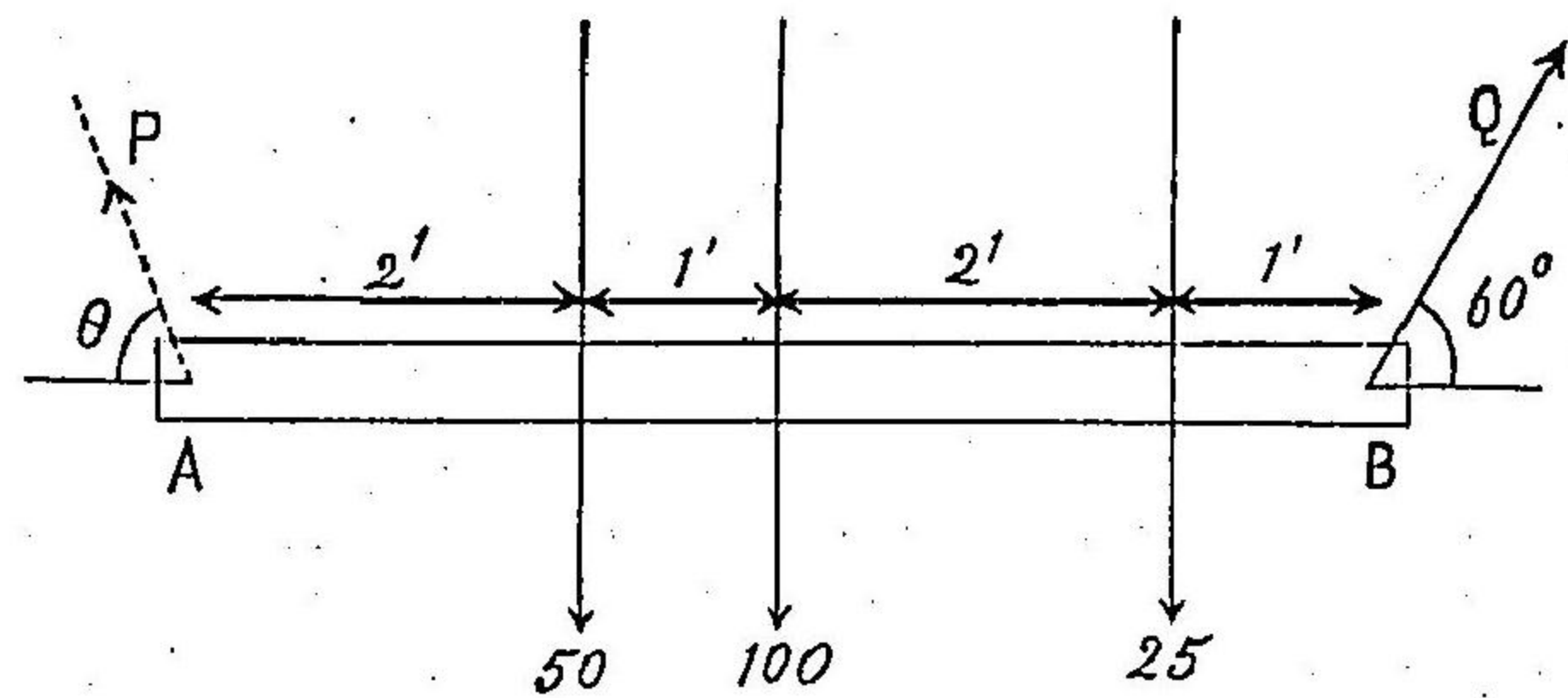
(b) $\Sigma F_x = 0$ 及ビ $\Sigma M_A = \Sigma M_B = 0$

但 A, B ヲ結ブ直線 AB ハ x 軸ニ直角ナラザルモノトス。

又ハ

(c) $\Sigma M_A = \Sigma M_B = \Sigma M_C = 0$

但 A, B, C ハ一直線上ニ無キモノトス。



例ハバ棒 AB ノ重量 100 斤ナリ、之ニ圖ニ示セル如キ位置ニ 50 斤及ビ 25 斤ノ重量懸レリ、而シテ B 端ハ AB ニ對シ 60° ノ角ヲナセル cord ニテ支ヘラレ、A 端ハ hinge ニテ止メラレタルモノトス、此場合ニ於ケル cord ノ tension Q、並ニ A ニ働ケル力 P ヲ見出サントス。

條件 (a), (b), (c) ノ内何レヲ用フルモ差支ナシ、(a) ヲ用非 AB ヲ x 軸トシ、y 軸ヲ之ニ直角ニ採レバ

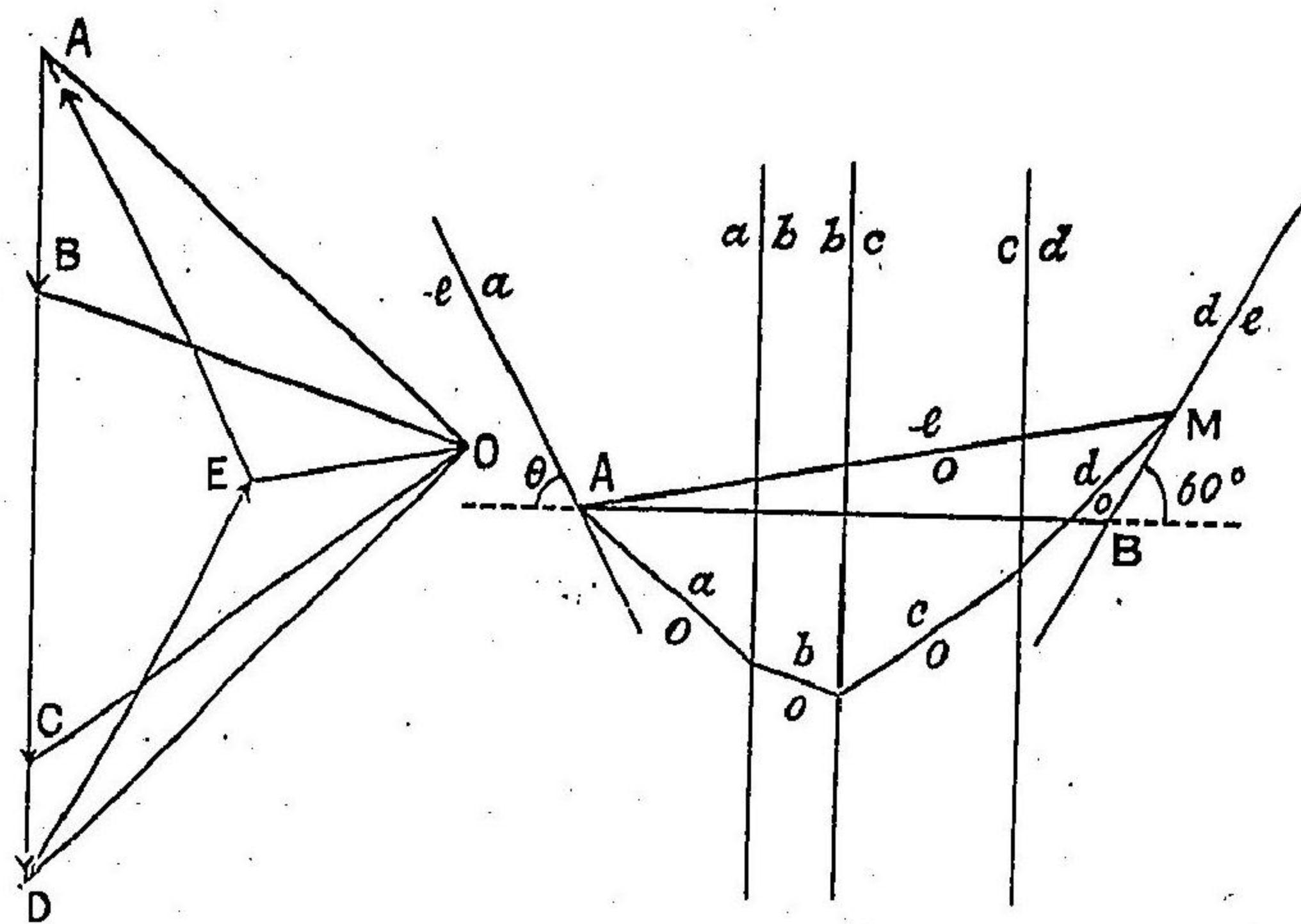
$$\Sigma F_x = -P \cos \theta + Q \cos 60^\circ = 0$$

$$\Sigma F_y = P \sin \theta + Q \sin 60^\circ - 50 - 100 - 25 = 0$$

$$\Sigma M_A = 6Q \sin 60^\circ - 2 \times 50 - 3 \times 100 - 5 \times 25 = 0$$

是等三式ヨリ $\theta, P,$ 及 Q ハ求メラル。

圖上ニテ之ヲ解クニハ先ヅ A ヲ通ジテ ao ヲ引キ、然ル後 bo, co, do ヲ引ク、do ハ de ト M ニテ交ハル、M ト A トヲ結ブ、MA ニ平行ニ O ヲ引ケル直線ハ DE ト



E ニテ交ハル、之ニ由テ DE 即チ Q ハ定マル、E ト A トヲ結ブ、EA ハ P ノ大サ及方向ヲ與フルモノナリ。

78. 問題 III.

同一平面上ニアリテ平行ナラザル諸力ガ釣合ニアリ、三力ヲ除キ他ノ諸力ハ完全ニ知ラレタルモ、三力ノ

ミハ作用線ノミ知ラレタリ此三力ヲ定ムルコト。

釣合條件ハ前問題ニ於ケルト同一ナリ。

例ハ前例ニ於テ P ヲ x 及ヒ y 分力ニ分解シ其 x 分力ヲ P_x , y 分力ヲ P_y トス。

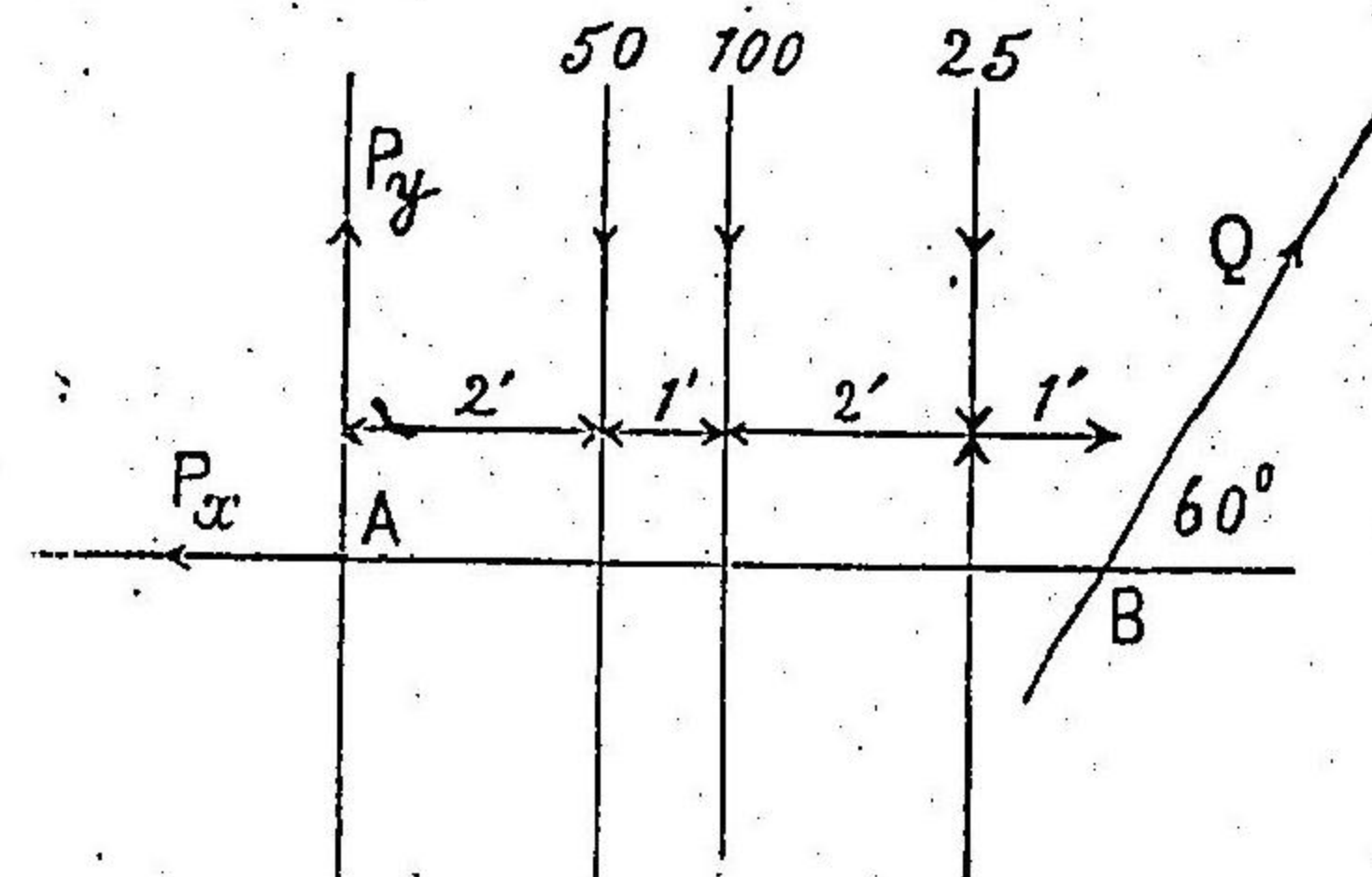
釣合條件 (b) ヲ用フレハ

$$\sum F_x = -P_x + Q \cos 60^\circ = 0$$

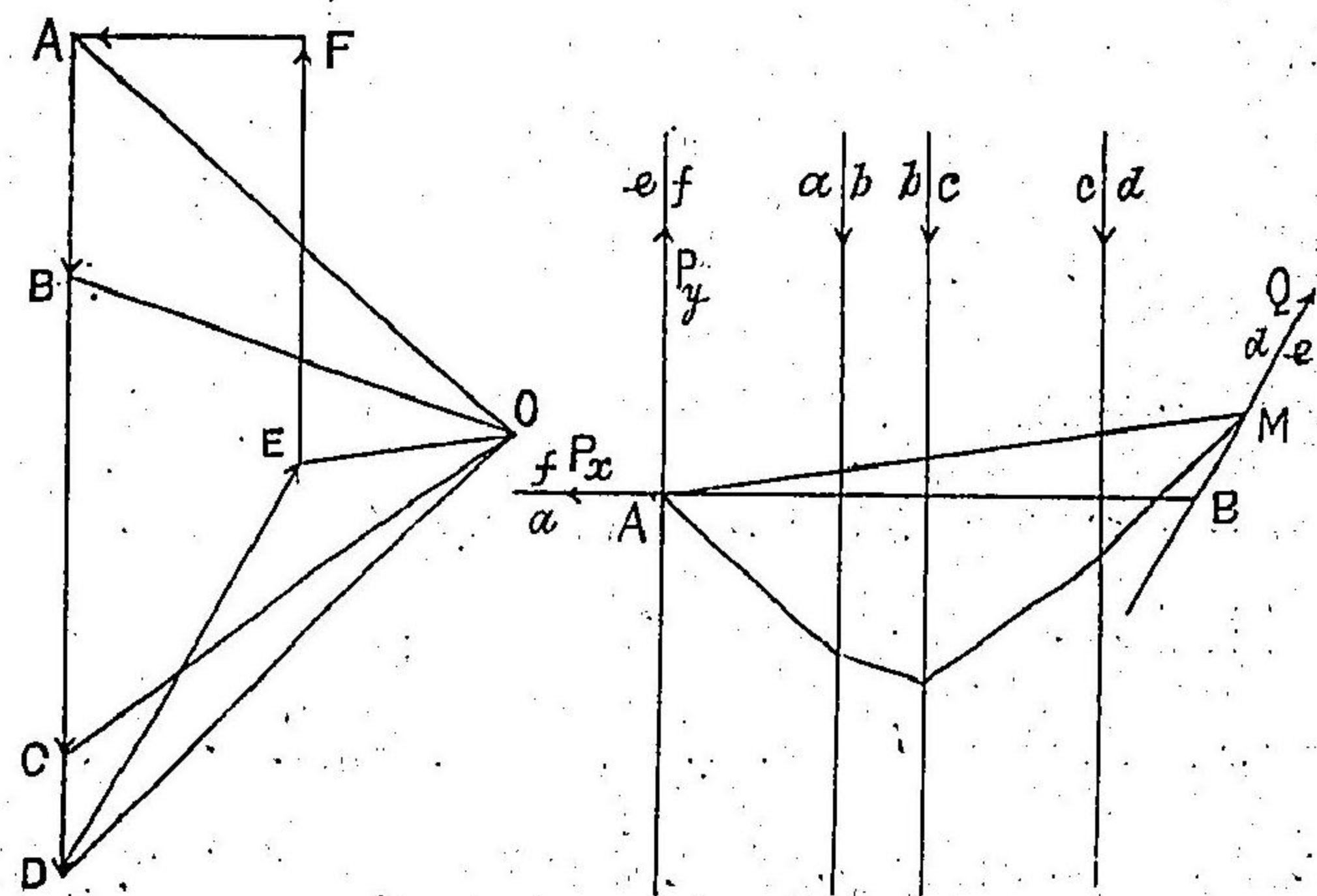
$$\sum M_A = 6Q \sin 60^\circ - 50 \times 2 - 100 \times 3 - 25 \times 5 = 0$$

$$\sum M_B = -P_y \times 6 + 50 \times 4 + 100 \times 3 + 25 \times 1 = 0$$

此三式ヨリ P_x, P_y 及ヒ Q ノ三力ハ確定ス。



圖ニヨリ見出スニハ次ノ如クナスヘシ。



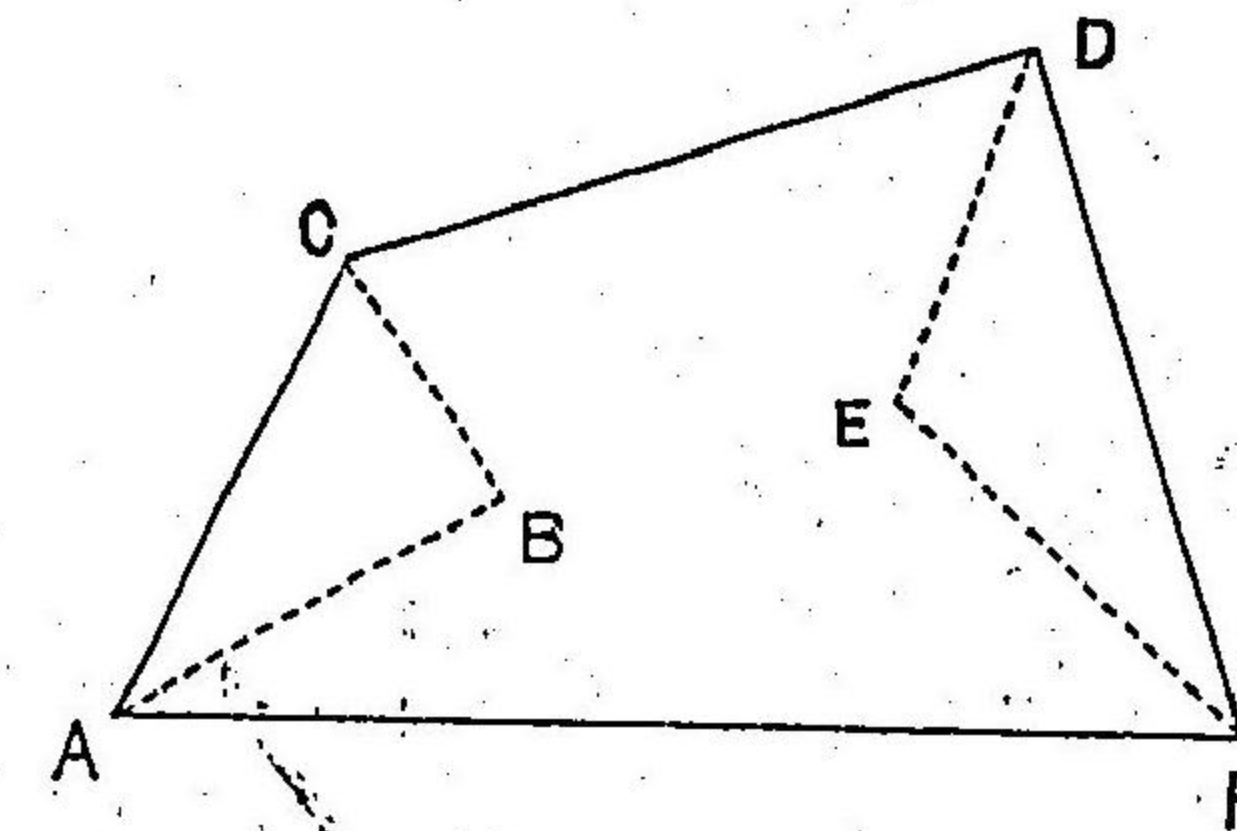
先ツ A ヨリ ao ヲ引キ然ル後 bo, co, do ヲ引ケハ do ハ de ト M ニテ交ハル, O ヲ通シ MA ニ平行ニ引カレタル直線ハ Q ノ方向ニ引カレタル直線 DE ト E ニテ交ハル, DE ノ大サハ Q ノ大サヲ表ハスモノナリ, E ヨリ y 軸ニ平行ニ引ケル直線 EF ト, A ヲ通シ x 軸ニ平行ニ引ケル直線 FA トハ F ニテ交ハルヘシ, EF 及 FA ハ夫々 P_y 及ヒ P_x ノ大サ及ヒ方向ヲ表ハスモノナリ。

79. 重力ノ作用ヲ受ケテ静止セル物體ノ釣合。

物體カ床上ニ静止セル時ニハ物體ノ重心ヲ通スル重量ト接觸セル各點ニ於ケル Reactions トハ互ニ釣合ヘリ, 若シモ reactions ノ合力カ物體ノ重心ヲ通スル重量ニ釣合ヒ得サル如キ狀況ニアレハ物體ハ其位置ニ静止スルコト能ハス。

A, B, C, 等ヲ或水平面上ニアル物體カ其平面ト接觸セル點トス, 是等接觸點

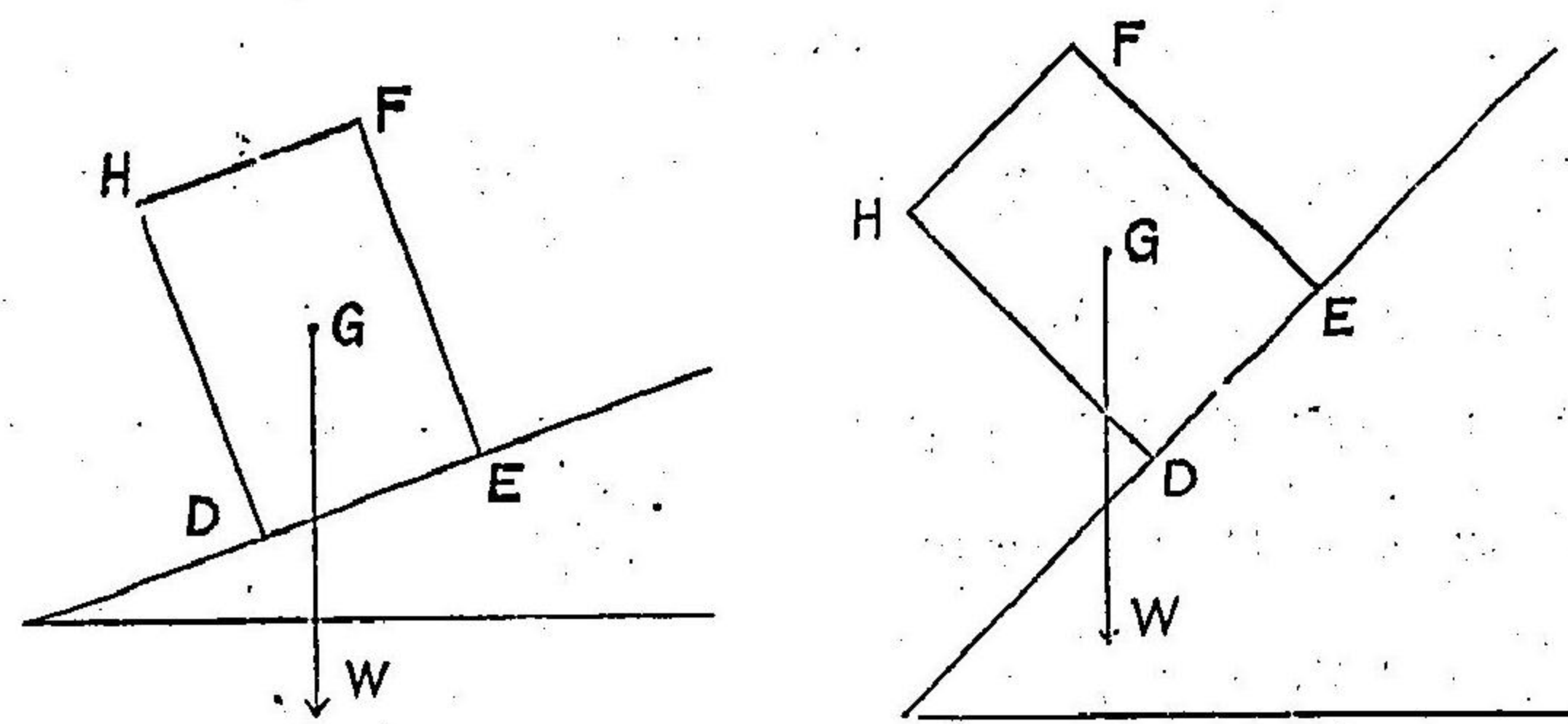
ノ内ノ外縁ニアルモノヲ結付ケテ凸多角形ヲ作ルヘシ, 其多角形ヲ A, C, D, F, ... トス, A, B, C, D, E, ... ニ於ケル reactions



ノ合力ハ此凸多角形内ノ或點ヲ過キテ作用ス, 故ニ物體ノ重心ヲ通シテ働ケル重量ノ作用線カ此多角形内ノ或點ヲ通スル如キ場合ニハ此重量ニ釣合ヒ得ベキ關係ヲ以テ A, B, C, D, E 等ニ於ケル reactions ハ作用ス

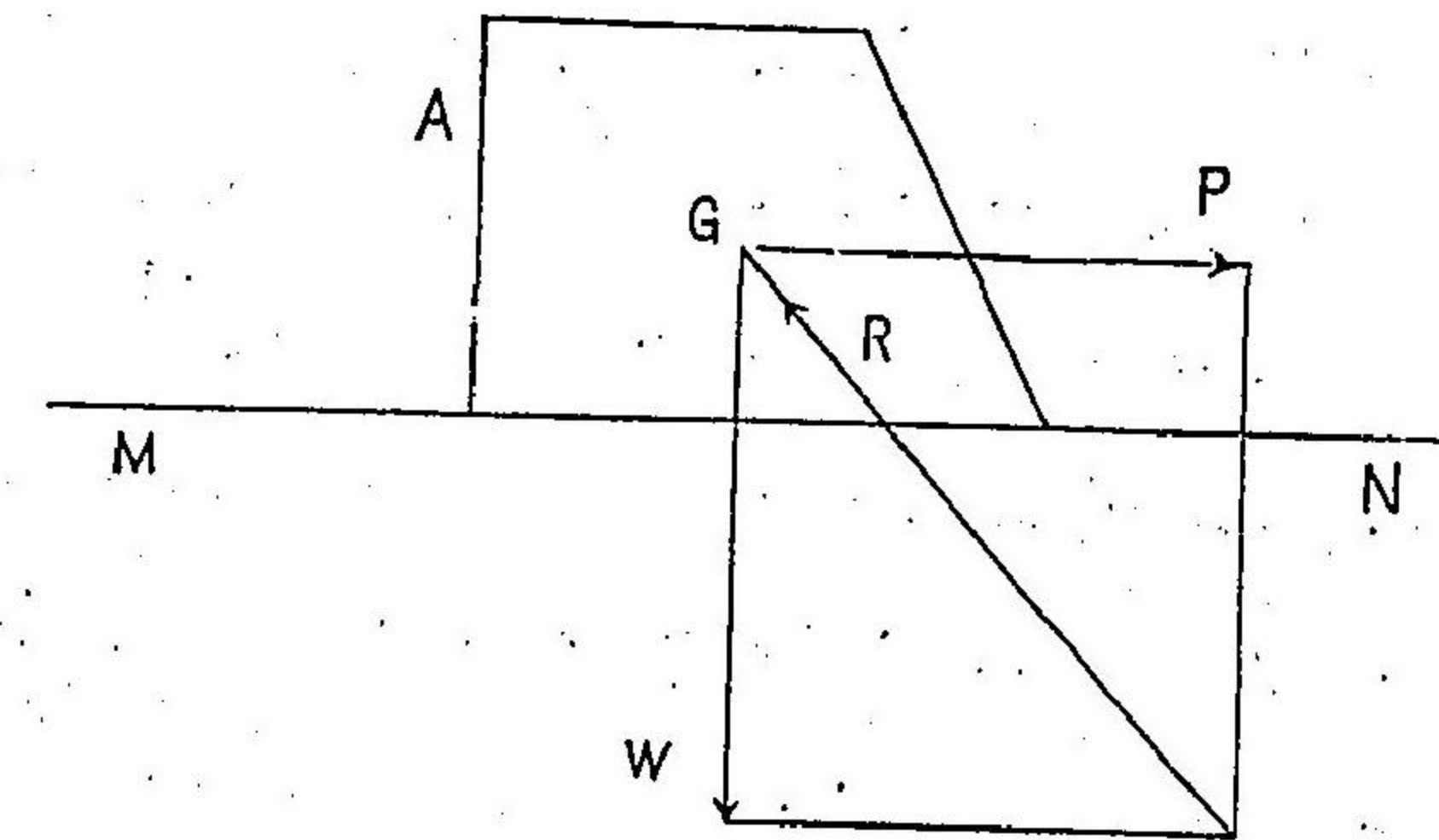
ルモノナリ、從テ物體ハ其位置ニアリテ靜止スベシ、故ニ物體ハ其重心ヨリノ鉛直線ガ其物體ト水平面トノ接觸點ヲ結付ケテ得ベキ凸多角形内ノ點ヲ通ズルカ否カニヨリテ靜止シ又ハ轉倒スベシ。

物體ノ立テル場所ガ水平面ナラズシテ斜面ナル場合モ同様ナリ、斜面上ニアル物體 DEFH ガ D ヲ通ズル水平線ヲ軸トシテ廻轉シ得ル場合ニハ物體ノ重量 W ノ作用線ガ DE 内ヲ通ズル間ハ顛倒セザルモ斜面ノ傾角ガ大トナリテ W ノ作用線ガ DE ノ外ニ落ツルニ



至レバ終ニ顛覆スベシ。

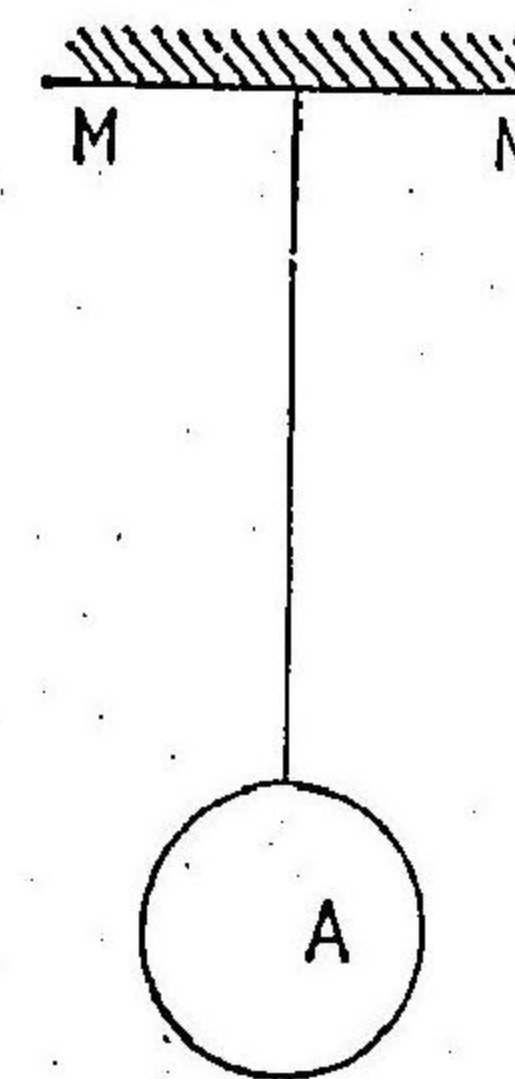
次ニ物體 A ガ水平表面 MN 上ニアリテ之ニ水平方向ヘ力 P ガ加ヘラレタル場合ヲ考フルニ、物體ヘ水平表面ヨリ働ケル reaction R ハ、P ト物體ノ重量 W トノ合力ト大サ等シク方向反對ニシテ同一直線上ニアリ、R ノ作用線ガ物體ノ接觸面ヲ切ラザレバ釣合フ能ハザルヲ以テ、P カ加ヘラル、モ猶顛覆セザル爲ニハ R ノ



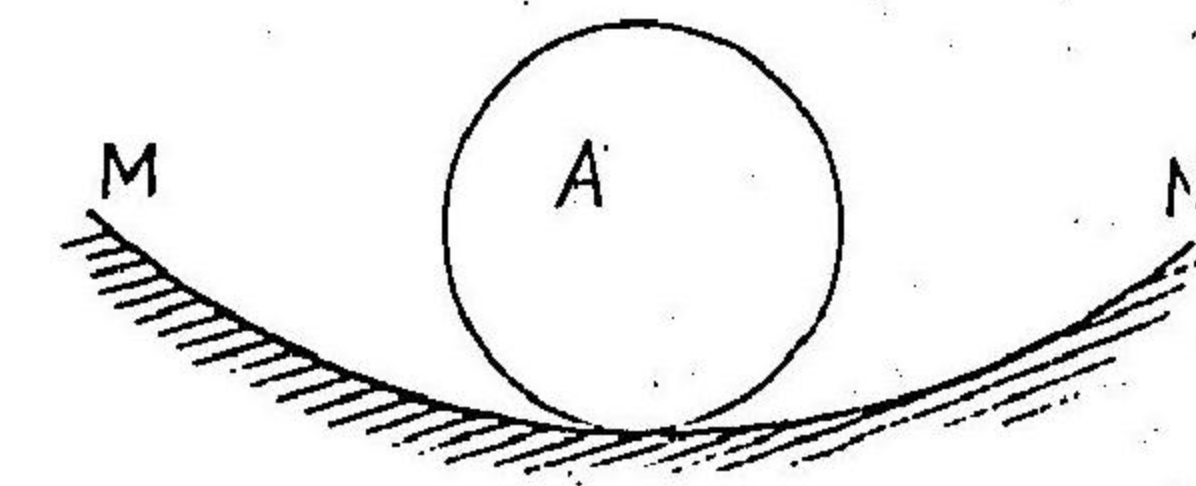
作用線ガ接觸セル表面ヲ切ラザルベカラズ。

80. 釣合ノ安定、不安定、及ヒ中性。

重力ノ作用ノ下ニ靜止セル爲物體水平方向ヘノ小ナル力ノ適用ニヨリテ、其靜止ノ位置ヨリ僅カニ動カサル、モ、其適用サレタル力ノ作用止メハ直ニ舊位置ニ復



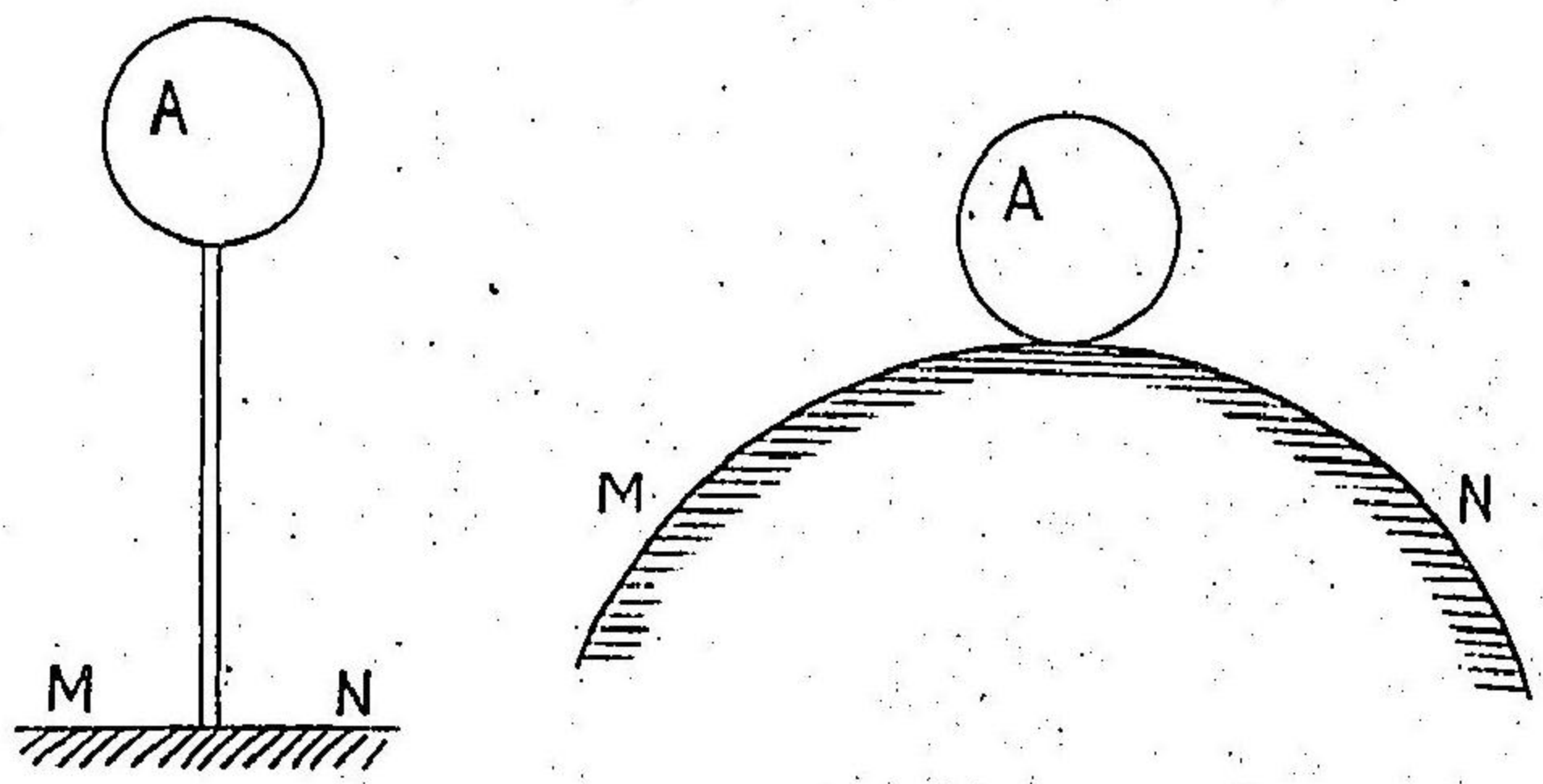
第一圖



第二圖

スルカ如キ場合ノ釣合ハ安定ノ釣合ナリト云フ、例ヘバ第一圖及ビ第二圖ニ示セル場合ニ物體 A ノ釣合ハ安定ノ釣合ナリ、之ニ反シテ再ビ舊位ニ復スル能ハザル

如キ場合ノ釣合ハ不安定ノ釣合ナリト云フ、第三圖第四圖ニ示セル物體 A ノ釣合ハ不安定ナリ、一般ニ安定ノ釣合ニアル場合ニハ、若シモ側方ヨリ或力ガ加ヘラレテ物體ガ動カサル、ナラバ其重心ハ原位置ヨリモ高クナリ、不安定ノ釣合ニアル場合ニハ之ガ爲ニ其重心ハ原位置ヨリモ低クナルモノナリ、故ニ水平方向ヘ



第三圖

第四圖

加ヘラレタル力ノ爲ニ物體ガ動キテ其重心カ高クナル如キ場合ノ釣合ハ安定ニシテ、低クセラル、如キ場合ノ釣合ハ不安定ナリ。

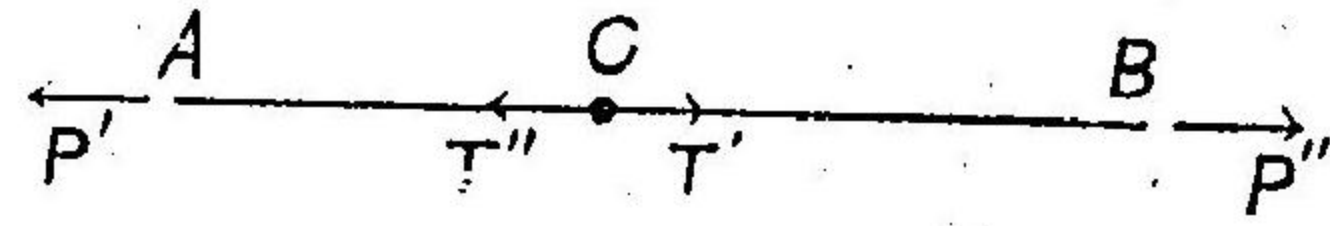
上述二種ノ釣合ノ外ニ尙第三ノ釣合アリ、側方ヨリノ力ノ爲ニ重心カ昇リモセズ、降リモセサル場合ニシテ之ヲ中性ノ釣合ト云フ、例ヘバ机上ニアル球體、横ハレル圓柱ノ如シ。

第 六 章

綱ニ於ケル張力

81. cord ニ於ケル張力。

cord ノ兩端 A, B へ力 P', P'' カ働キテ釣合ニアリトス、C ハ AB 上ノ任意ノ點ナリ、AC ハ釣合ニアリ、而シテ其左端ニハ P' カ働ケルヲ以テ之ト釣合フ爲ニ P' ト大サ等シク方向反對ナル力 T' カ AC ノ右端ニ働カサル可ラス、此 T' ハ BC ナル部分ニヨリテ AC ノ上ヘ働カル、モノナリ、同様ニ

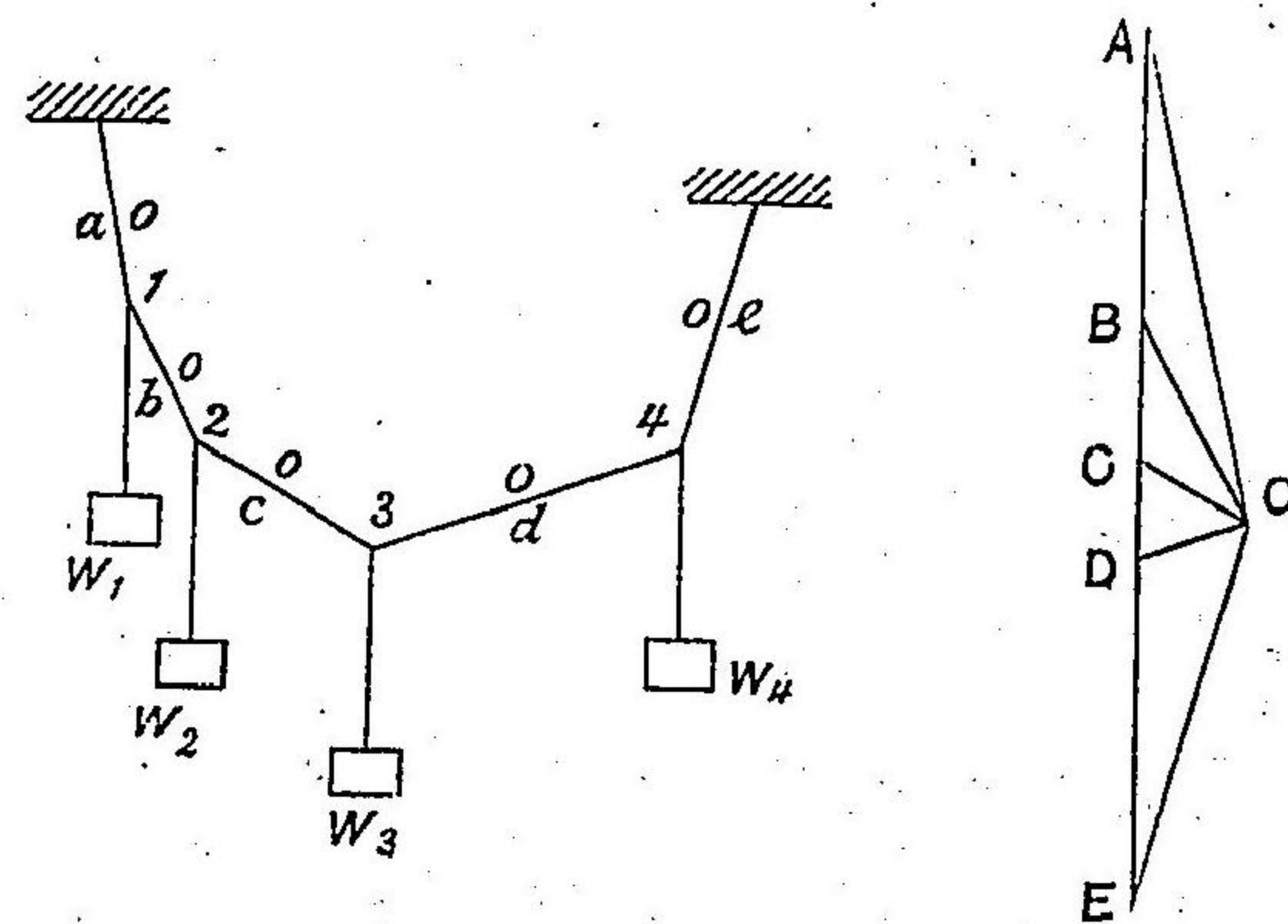
CB モ釣合ヘルヲ以テ  P'' ト大サ等シク方向反對ナル力 T'' カ存在スベシ、 T'' ハ AC ナル部分ヨリ BC ノ上ヘ働クモノナリ、然ルニ AB モ釣合ヘルヲ以テ P' ト P'' トハ大サ等シク方向反對ナリ、故ニ T' ト T'' トハ大サ相等シ之ヲ T トスレバ T ハ即チ張力ノ大サニシテ、AB カ釣合ニアル時其上ノ任意ノ點ニ於テ其大サ相等シキモノナリ。

82. cord ヲ一定ノ位置ニ保ツ爲ニ各結合點ニ加フベキ重量。

cord ヲ圖ニ示セル如キ位置ニ保ツ爲ニ各結合點ニ懸

クベキ重量ノ割合ヲ定メントス。

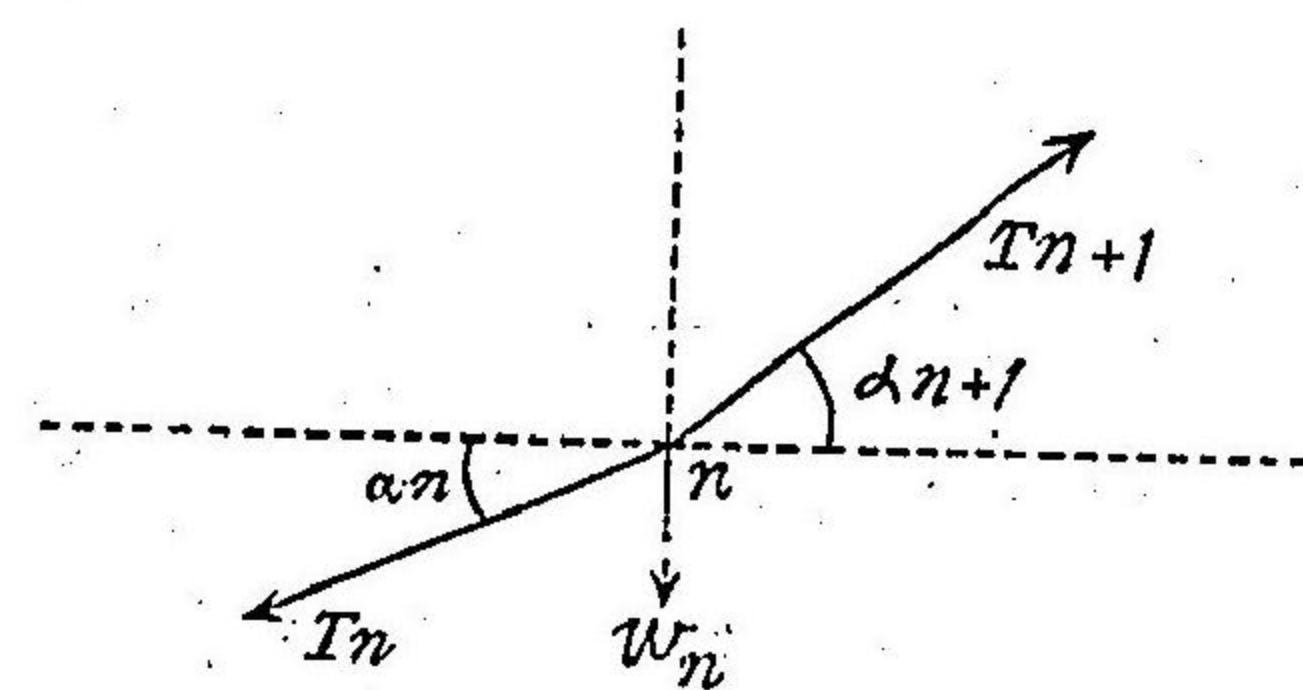
○ヨリ $oa = \text{平行} = OA, ob = \text{平行} = OB, oc = \text{平行} = OC, od = \text{平行} = OD, oe = \text{平行} = OE$ ヲ引ク、鉛直線 AE ヲ引ケバ AE



ハ OA, OB, OC, OD, OE ト夫々 A, B, C, D, E ニテ交ハル、然ル時 AB, BC, CD, DE ハ加フベキ重量 w_1, w_2, w_3, w_4 ノ大サノ割合ヲ表ハス。

83. load ヲ保持スル cord ノ位置。

圖ニ示セルハ第 n 番目ノ結合點ナリ、之ガ釣合ニア
ル時



$$\sum F_x = T_{n+1} \cos \alpha_{n+1} - T_n \cos \alpha_n = 0 \dots \dots \dots (1)$$

$$\sum F_y = T_{n+1} \sin \alpha_{n+1} - T_n \sin \alpha_n - w_n = 0 \dots \dots \dots (2)$$

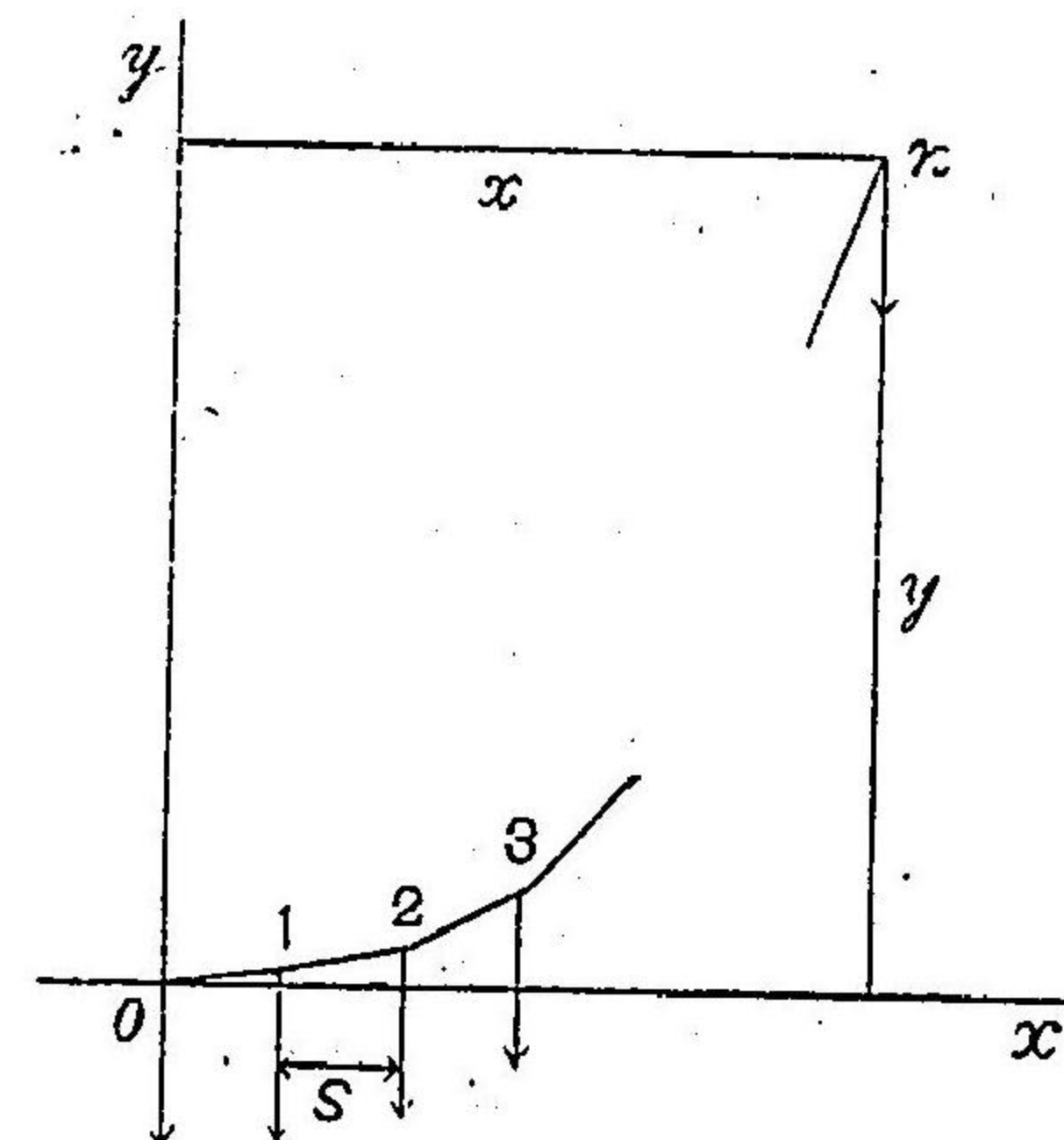
tension T ノ水平分力ハ第一式ニヨリ cord ノ各部ニ付
相等シキコトヲ知ル、此分力ヲ H トスレバ

$$H = T_n \cos \alpha_n = T_{n+1} \cos \alpha_{n+1} = \dots \dots$$

此關係ト第二式トヨリ

$$\tan \alpha_{n+1} = \tan \alpha_n + \frac{w_n}{H}$$

84. loads ノ作用線間ノ距離等シキ場合ノ cord ノ位
置但各 load ハ相等シ。



作用線間ノ距離ヲ s トス、 n 番目ノ結合點ノ坐標ヲ
 x, y トスレバ

$$x = ns \dots \dots \dots (1)$$

$$y = s(\tan \alpha_1 + \tan \alpha_2 + \dots)$$

前節ヨリ

$$\tan \alpha_2 = \tan \alpha_1 + \frac{w}{H}$$

$$\tan \alpha_3 = \tan \alpha_2 + \frac{w}{H} = \tan \alpha_1 + 2 \frac{w}{H}$$

$$\tan \alpha_2 = \tan \alpha_1 + 3 \frac{w}{H}$$

等ノ關係アルヲ以テ

$$y = s \left[n \tan \alpha_1 + \frac{1}{2} n(n-1) \frac{w}{H} \right] \dots \dots \dots (2)$$

(1) ト (2) トヨリ

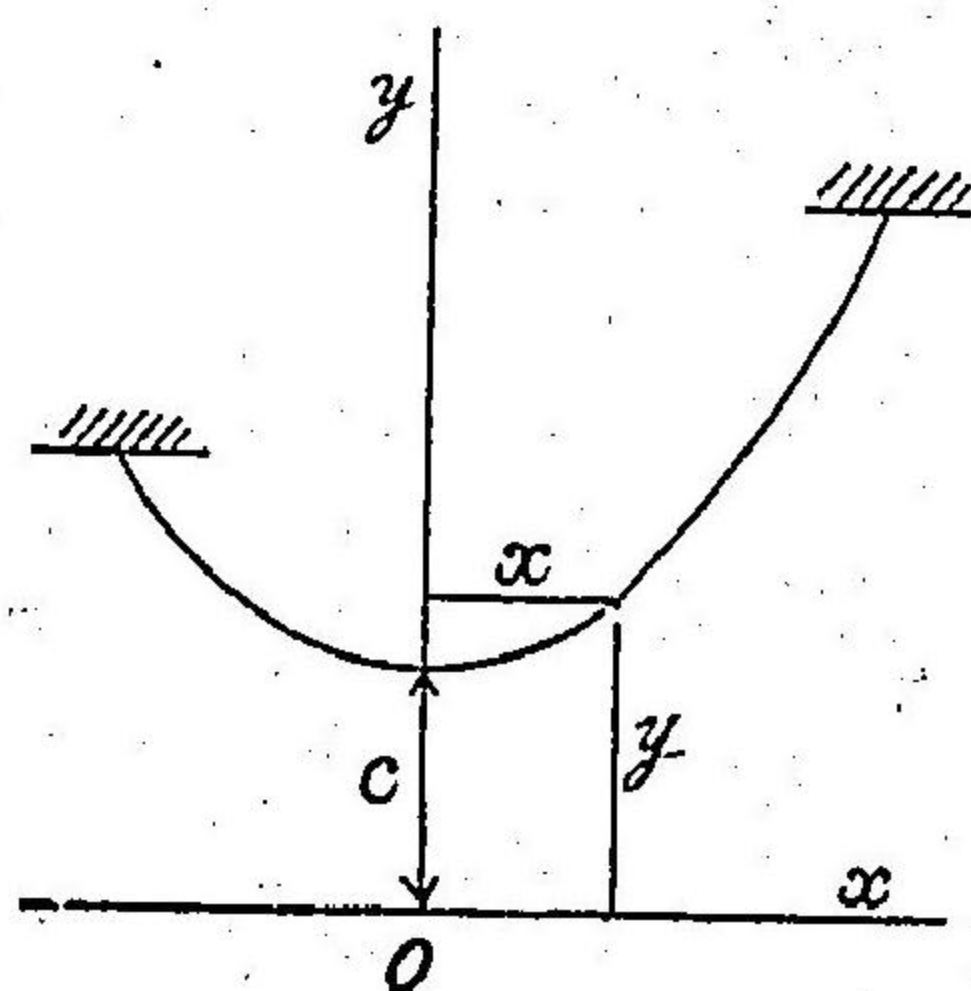
$$x^2 + \frac{2 \tan \alpha_1 H - w}{w} s x = \frac{2 H s}{w} y$$

此式ハ Parabola ヲ表ハス。

85. 兩端ニテ支ヘラレタル heavy flexible cord.

此場合ニ cord ノ形ハ catenary ニシテ其式ハ

$$y = \frac{c}{2} \left(e^{\frac{x}{c}} + e^{-\frac{x}{c}} \right)$$

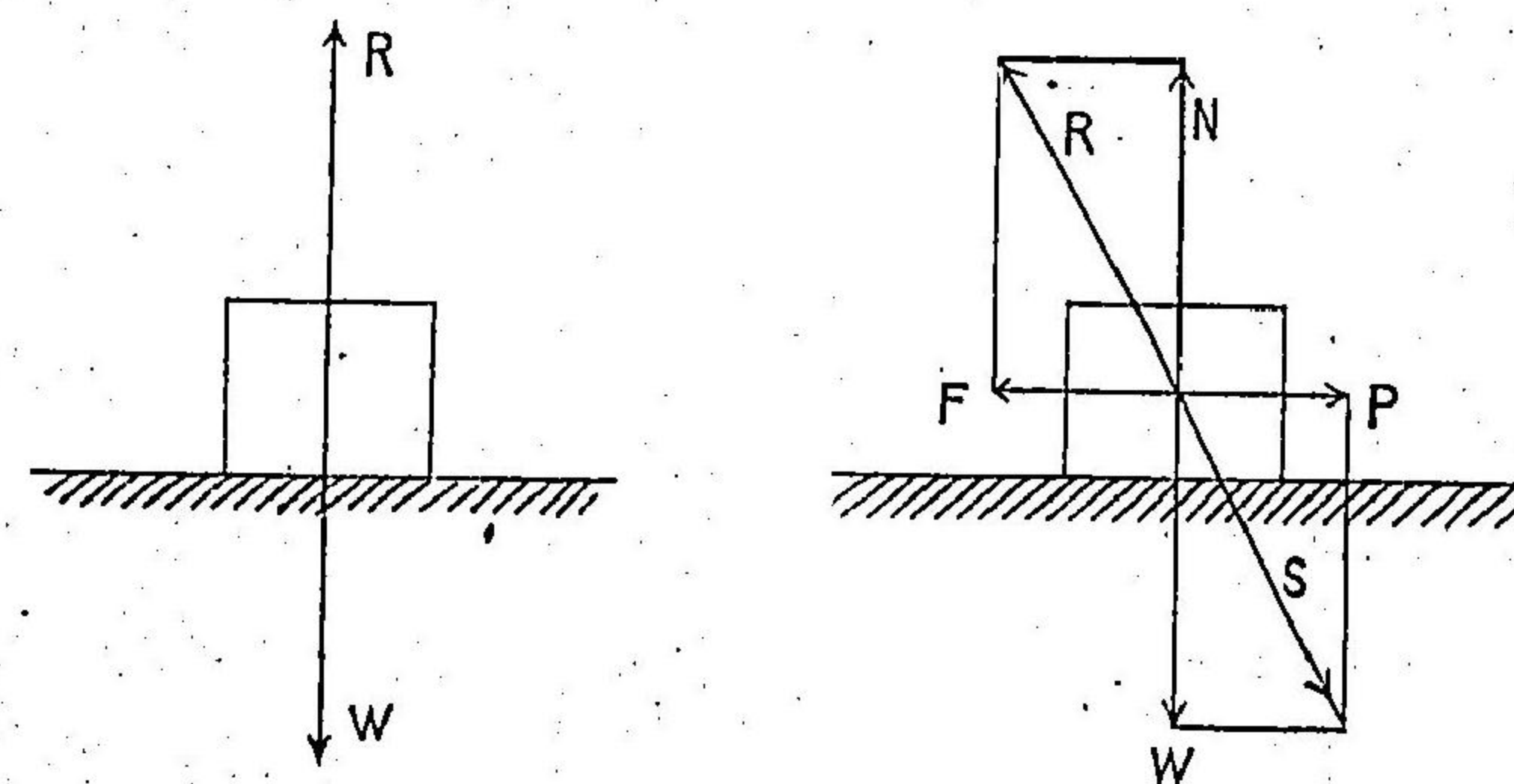


第七 章

摩 擦

86. 摩擦

或物體カ或表面上ニ靜止セル時、其表面ニ平行ニ或力ヲ加フルモ其力ノ大サガ或値ニ達セザル迄ハ動カス、其力ヲ増シテ或値ニ達スレバ物體ハ終ニ動キ始メントス、此クノ如ク物體ヲ或表面ニ沿フテ動かサント



スレバ、其運動セントスル方向ニ反對ノ方向ヘ働ク抵抗カアツ、此抵抗カヲ Friction ト云フ。

物體ガ机上ニ放置サレアル時ハ、物體ノ重量ト物體ヘ机ノ表面ヨリノ reaction トハ釣合ニアリ、此場合ニハ水平方向ヘ働ケル力モ無ク、friction モ無シ、更ニ此物體ニ水平方向ヘ力 P' ヲ加フルモ P' ガ或値 P ヲリモ小ナ

ル間ハ依然静止シ釣合ノ状態ニアリ,此際 friction ハ F' ニシテ其大サハ P' ニ等シク,其方向ハ P' ノ方向ト反對ナリ, P' ノ値ヲ増シテ P トスレバ終ニ物體ハ表面ニ沿フテ滑リ始メントスルニ至ルベシ,此場合ノ friction ヲ F トス, F ハ P ト大サ等シク方向反對ナリ, P ノ大サヲ少シニテモ増セバ物體ハ滑リ始ム,此 F ヲ limiting static friction ト云フ,實驗上 F ハ接觸表面ニ垂直ニ働ケル力 N ニ正比例ス,即チ

$$F \propto N$$

即チ

$$F = \mu N$$

但 μ ハ表面ノ材料及滑カサニ關スルモノナルモ, N ノ大小并ニ表面積ノ大小,形狀ニ關セズ,上式ヨリ

$$\mu = \frac{F}{N}$$

μ ヲ摩擦係數 coefficient of friction ト云フ.

上記ノ關係ハ通常ノ N ノ値ニ對シ正シキモ N ガ極メテ大ナル場合,又ハ小ナル場合ニハ精確ニ適合セズ.

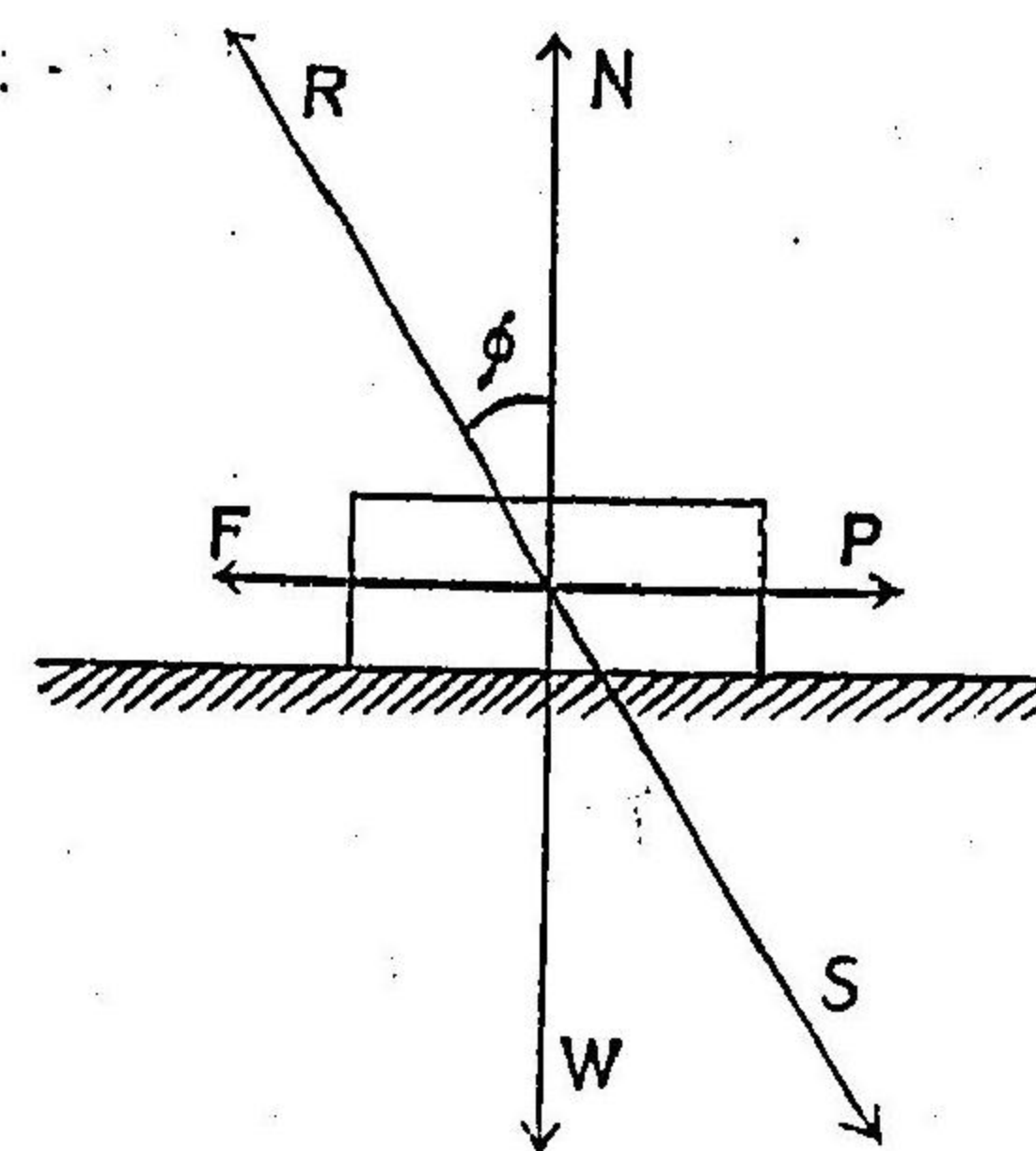
μ ノ値ハ概テ次表ノ如シ.

Wood on wood, soaped.....	0.22—0.44
” ” ” dry	0.30—0.70
Metal on metal, dry	0.15—0.24
” ” ” as in polished and well-lubricated	
” ” ” bearings.....	0.05—0.08

Wood on metal, dry	0.60
Hemp rope on wood	0.50—0.80
Sole-leather on wood on cast iron, as in packings, dry	0.40—0.60
Leather belting on pulleys.....	0.25—1.00

水平面上ニアル物體ノ重量ヲ W トシ,將ニ滑ラントセル時水平方向ニ働ケル力ヲ P トシ, P ト W トノ合力ヲ S トスレバ

$$S = \sqrt{P^2 + W^2}$$



物體ハ釣合ヘルヲ以テ机ヨリ物體ヘノ reaction ヲ R トスレバ R ト S トハ大サ等シク方向反對ナリ, R ノ鉛直分力ハ W ニ釣合ヒ, R ノ水平分力即チ friction ハ P ニ釣合フ.

$$\mu = \frac{P}{W}$$

此場合ノ S ト W トノ間ノ角,即チ接觸面ヘノ normal, ト R トノ間ノ角ヲ ϕ トスレバ

$$\tan \phi = \mu$$

ϕ を Friction Angle と云フ。

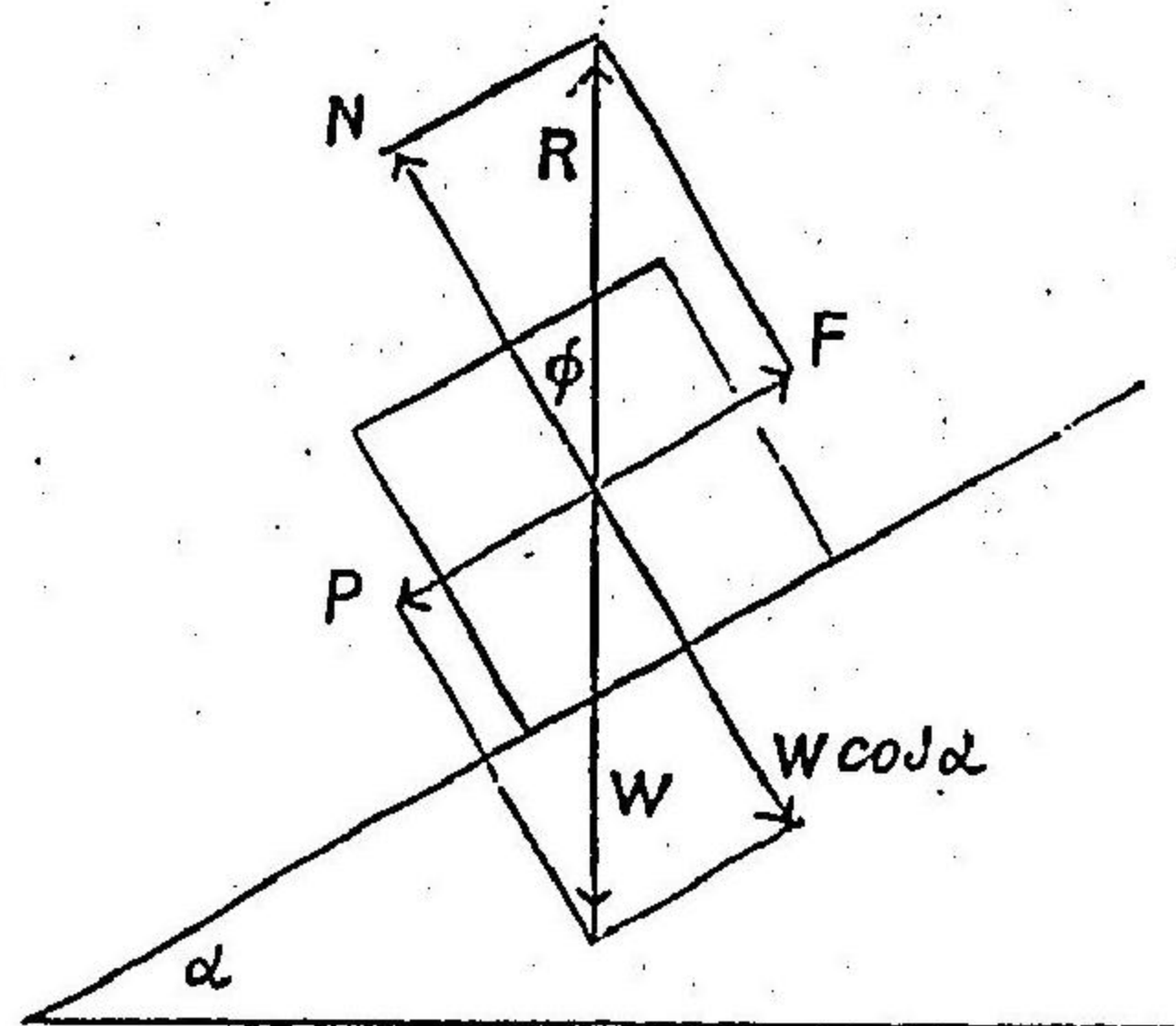
表面が水平方向ニ對シ α' ダケ傾ケラレテ猶物體ガ
 靜止セル時物體ノ重量 W ト物體ヘノ reaction R トハ釣
 合ニアリ表面ニ直角ナル分力ハ

$$W \cos \alpha'$$

表面ニ沿ヘル分力ハ

$$W \sin \alpha'$$

ナリ。



α' を増セバ物體ハ終ニ斜面ニ沿フテ滑リ降ラント
 ス、此場合ノ斜面ノ傾角ヲ α トスレバ

$$W \sin \alpha = \mu W \cos \alpha$$

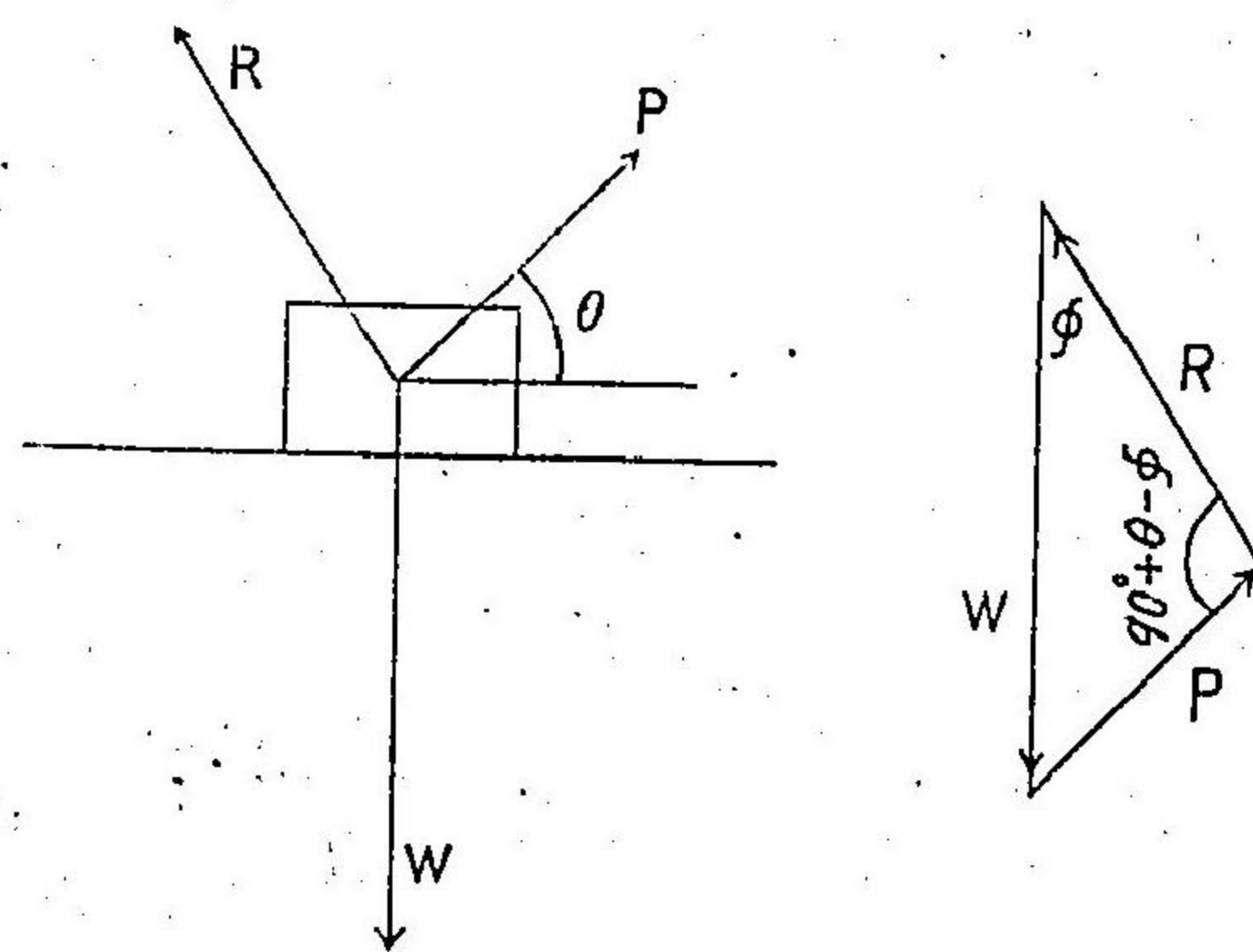
$$\therefore \tan \alpha = \mu = \tan \phi$$

故ニ物體ガ重力ノ爲ニ將ニ滑リ降ラントスル時ノ斜
 面ノ傾角 α ハ ϕ ニ等シ、 α を Angle of Repose と云フ。

物體ガ水平表面ヲ滑ラントスル場合 P ノ方向ガ水

平方向ニ對シ角 θ ヲナセル時、 P, W, R ヲ釣合ヘルヲ以
 テ

$$\frac{P}{W} = \frac{\sin \phi}{\sin(90^\circ - \phi + \theta)} = \frac{\sin \phi}{\cos(\theta - \phi)}$$



W 及ビ ϕ ノ値ガ與ヘラレタル場合ニ $\cos(\theta - \phi)$ カ最大
 ナル時、即チ $\theta = \phi$ ナル時 P ハ最小ナリ、而シテ P ノ方向
 ハ R ノ方向ニ直角ナリ。

次ニ斜面ニ沿フテ物體ガ引キ上ゲラレントスル時
 ノ釣合ヲ考フルニ、斜面ノ傾角ヲ α トシ、 P ガ斜面ニ平
 行ニ働ケルモノトスレバ、 P ト W ト R トノ釣合ニ於テ

$$\frac{P}{W} = \frac{\sin(\alpha + \phi)}{\sin(90^\circ - \phi)}$$

$$= \frac{\sin(\alpha + \phi)}{\cos \phi}$$

$$= \frac{\sin \alpha \cos \phi + \cos \alpha \sin \phi}{\cos \phi}$$

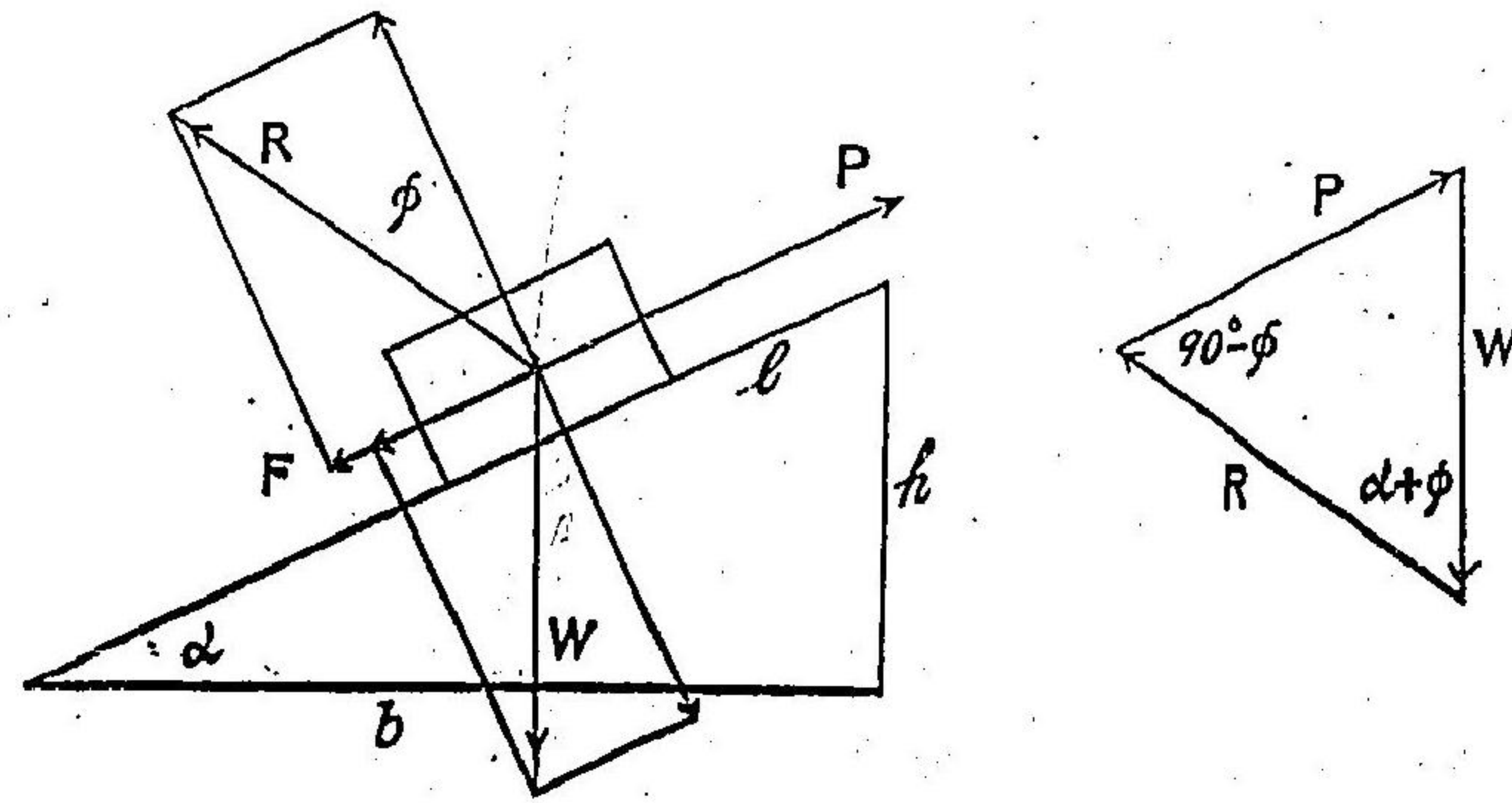
$$= \sin \alpha + \mu \cos \alpha$$

斜面ノ底ヲ b トシ、高サヲ h トシ、長サヲ l トスレバ
前式ヨリ

$$\frac{P}{W} = \frac{h}{l} + \mu \frac{b}{l}$$

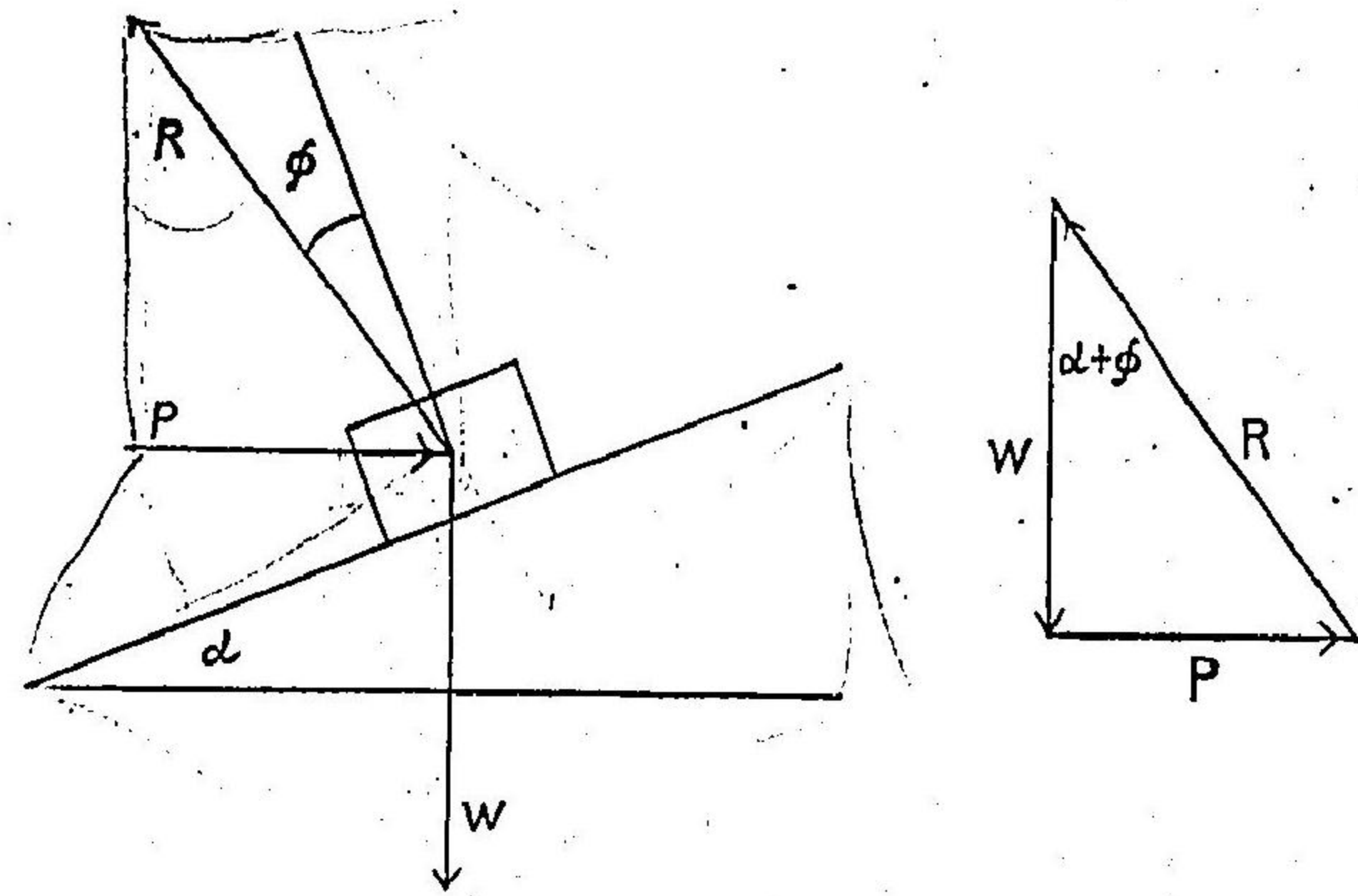
即チ

$$Pl = Wh + \mu Wb$$



次ニ P ガ斜面ノ底ニ平行セル場合ニハ

$$P = W \tan(\alpha + \phi)$$

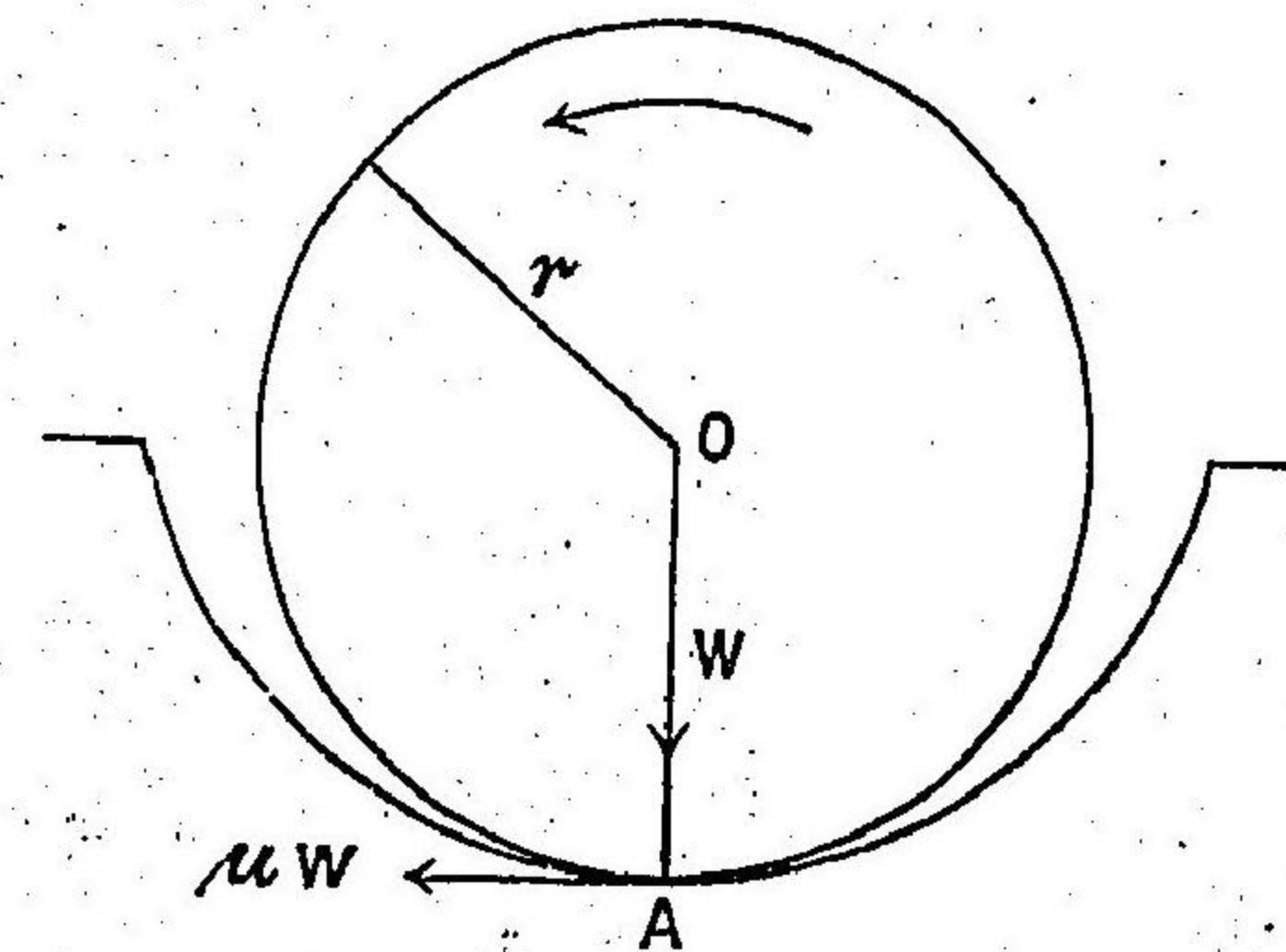


物體ガ水平表面ニ沿フテ引カル、時、引ク力 P ノ大

サガ limiting static friction F ニ打勝ツニ至レバ物體ハ表面ニ沿フテ滑リ始ムベシ、物體ガ滑リツ、アル場合ノ friction ヲ kinetic friction ト云フ、kinetic friction ノ係數ハ static friction ノ係數ヨリモ稍小ナリ、而シテ通常ノ速度ニ於テハ kinetic friction ハ接觸表面間ノ relative velocity ニハ殆ド關係セズ。

87. Journal Friction.

Shaft ガ静止セル時 bearing ノ上ニ journal ノ壓力 W ハ中心 O ヲ通ジ、且最下點 A ヲ通ジ鉛直下方ニ向フベシ、矢ニテ示セル方向ニ廻轉セントスレバ A 點ハ水平ニ



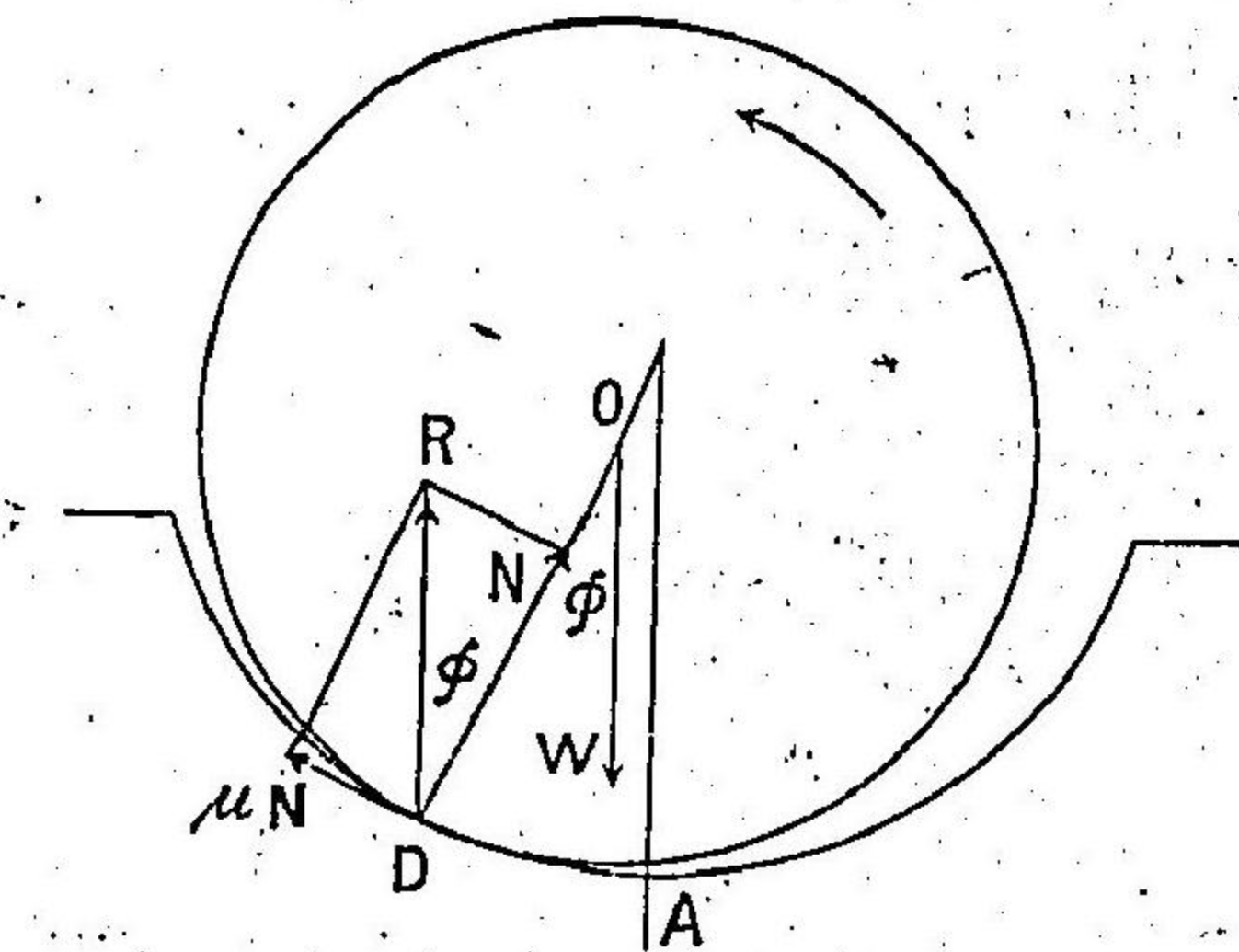
右方ニ動カントシ、從テ friction μW ヲ左方ニ受クベシ、此摩擦抵抗力ノ O 點ニ關スル能率ハ $\mu W r$ ナリ、此 friction moment ニ打勝ツ爲ニ大サ等シクシテ反對ナル moment ヲ要スベシ、然レドモ全部ガ釣合ノ状態ニアル爲ニハ此 moment ノミニテハ不足ナリ、水平方向ニ於ケル諸力ノ和ガ零トナル條件ヲ満足セザル可ラズ、然ルニ A ニ

frictional force ガアルモノトシテハ後ノ條件ハ満足サレズ、實際ニ於テハ接觸點ハ A ヨリモ側方ノ點 D ニアリテ normal reaction N ト friction μN トノ兩水平分力ガ釣合ニアリ、OD ガ鉛直線トナセル角ヲ α トスレバ

$$N \sin \alpha = \mu N \cos \alpha$$

$$\therefore \tan \alpha = \mu = \tan \phi$$

$$\therefore \alpha = \phi$$



Bearing ヨリノ total reaction R ハ N ト μN トノ合力ニシテ DO ト ϕ ナル角ヲナス、 R ト W トハ大サ等シク方向反對ニシテ Friction couple ヲ作ル、而シテ其 couple ノ moment ハ

$$W r \sin \phi$$

ナリ、O 點ノ側方ヘノ移動ハ甚ダ僅カナルヲ以テ W ハ猶 Bearing ノ最下點 A ヲ通スルモノト見做シテ可ナリ、lubricated journals. 付

$$\mu = \tan \phi < 0.1$$

故ニ $\tan \phi$ ノ代リニ $\sin \phi$ ヲ用フルモ可ナルヲ以テ

$$W r \sin \phi = \mu W r$$

即チ frictional force μW ガ r ナル lever-arm ヲ以テ働クモノト見做シ得ラル。

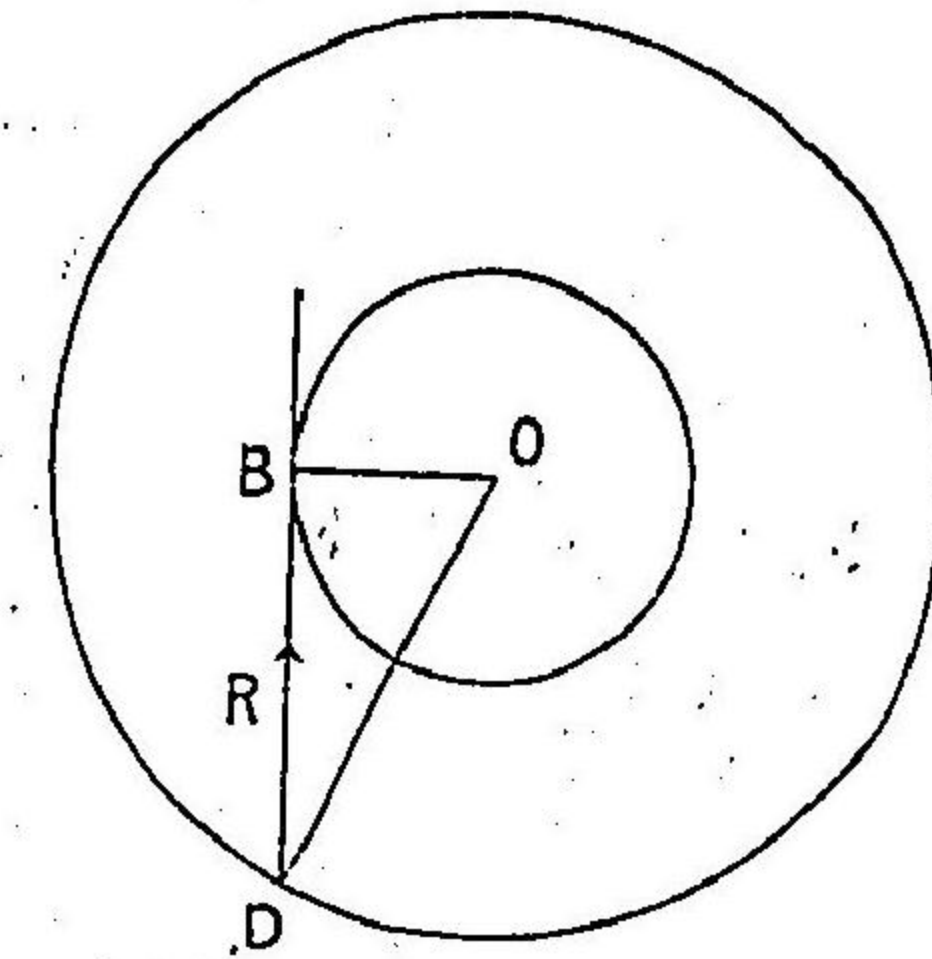
O ヲ中心トシ、半径 $r \sin \phi$ ヲ以テ書ケル圓ヲ friction circle ト云フ。

$$\sin \text{BDO} = \frac{r \sin \phi}{r}$$

$$= \sin \phi$$

$$\therefore \text{角 BDO} = \phi$$

故ニ slipping ガ起ラントスル時、bearing ヨリ働ク resistance ノ作用線ハ其ノ friction circle ニ切線ナリ。



88. Rolling Friction.

Cylinder ガ水平面上ヲ廻轉スル場合ヲ考フ、廻轉體ノ重量ヲ W トス、表面ヘ落ち込ミタル深サヲ h トス、廻轉體ノ半径ヲ R トス、水平ニ加ヘラレタル力 P ニヨリテ將ニ廻轉ヲ起サントスル時ノ釣合ニ於テ

$$P \cdot \overline{BA} = W \cdot \overline{AC}$$

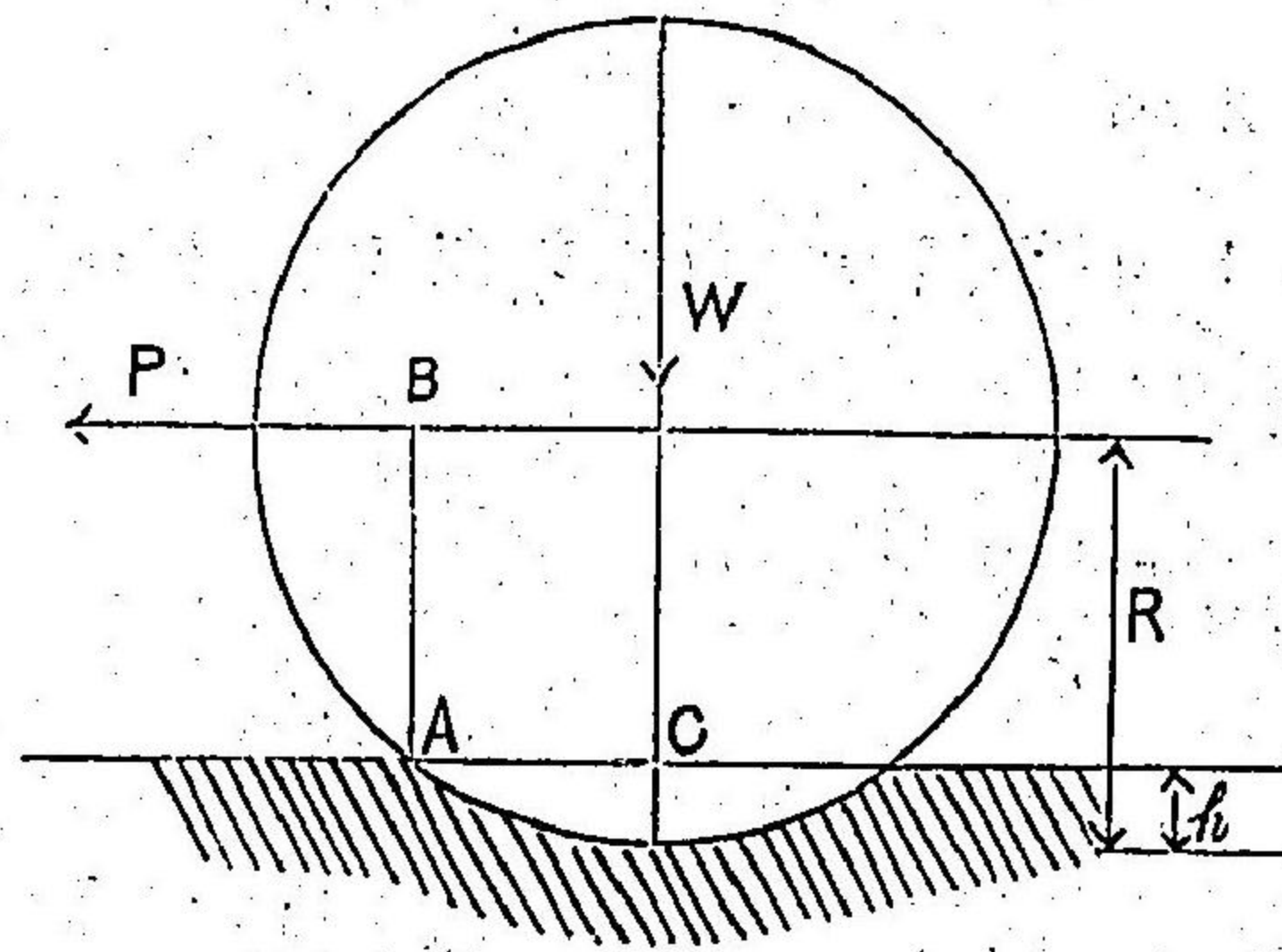
$$\text{即チ } P = \frac{AC}{BA}$$

$$AC = K \text{ トスレバ}$$

$$P = \frac{W \cdot K}{R - h}$$

ルハ R = 比シテ極メテ小ナルヲ以テ

$$P = K \frac{W}{R}$$



P ト W, 及 R ト K トハ夫々同一ノ單位ニテ測ラレ
ザル可ラズ, K ノ値ヲ時ニテ與フレバ略次表ノ如シ.

	K (inches)
Iron or steel wheels on iron or steel rails	0.007—0.015
” ” wood	0.06—0.10
” ” macadam	0.05—0.20
” ” soft ground	3—5

第 八 章

簡 單 ナ ル 機 械

89. 簡 單 ナ ル 機 械

通常 simple machines ト稱セラル、モノハ次ノ六種ナ
リ.

1. 槓杆, 2. 軸車, 3. 滑車, 4. 斜面, 5. 楔,
6. 螺旋.

機械ノ一部ニ働ケル Resistance ニ打勝ツ爲ニ他ノ一
部ニ加ヘラレタル力ヲ Effort ト云フ, 又時トシテ Resis-
tance ヲ Weight ト云ヒ, Effort ヲ Power ト稱スルコトアリ.

Resistance ヲ W トシ, effort ヲ P トス, 然ル時

$$\frac{W}{P} = A$$

A ヲ其機械ノ mechanical advantage ト云フ.

二個ノ機械 M_1 ト M_2 トカ組合ハサレテ M_1 ノ受クル
所ノ resistance W' ガ M_2 ニ對シ effort トシテ働ク場合ニ
ハ, M_1 ニ働ケル effort ヲ P, M_2 ニ働ケル resistance ヲ W ト
シ, M_1 , M_2 ノ mechanical advantage ヲ夫々 A_1 , A_2 トシ組合
サレテ得タル機械ノ mechanical advantage ヲ A トスレバ

$$A_1 = \frac{W'}{P}, \quad A_2 = \frac{W}{W'}$$

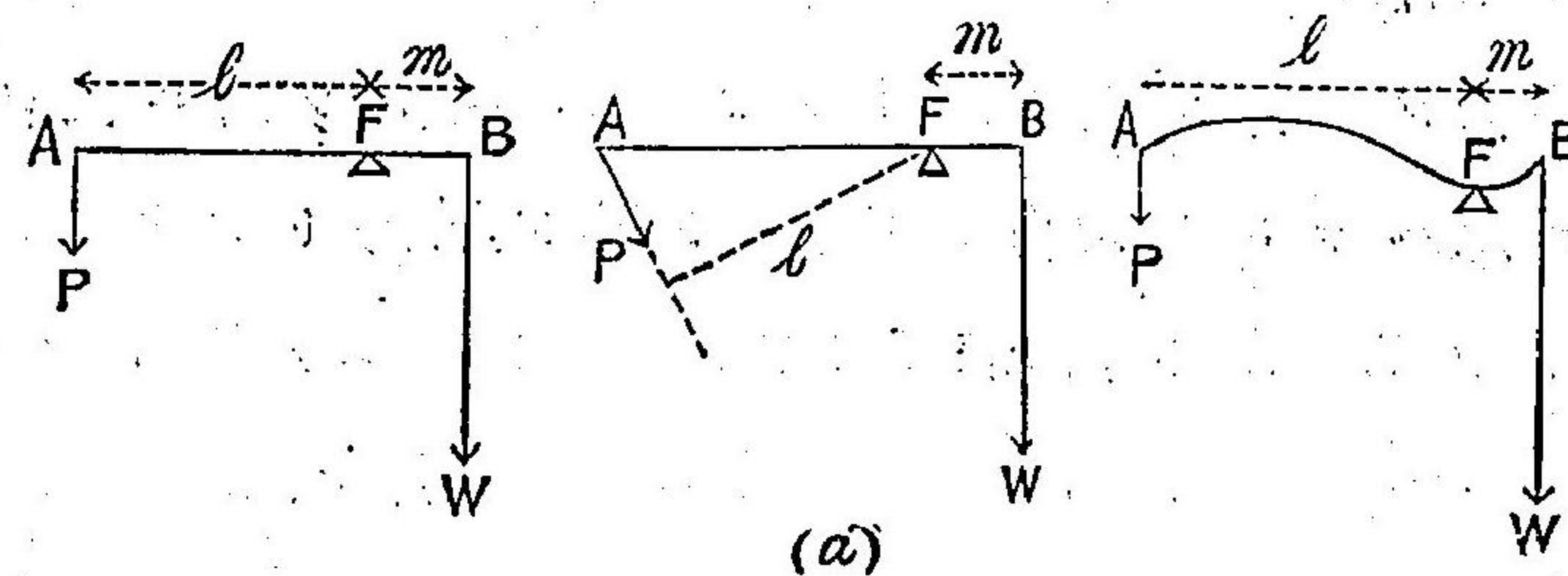
而シテ

$$A_1 \times A_2 = \frac{W'}{P} \times \frac{W}{W'} = \frac{W}{P} = A$$

此結果ハ二個ノ機械ノ組合ニ付テノミナテズ、多数ノ機械ガ組合ハサレタル場合モ同様ナリ。

90. 槓杆.

槓杆ニハ真直ナルアリ、屈曲セルアリ、釣合ヘル時ニハ W ト P ト支點ニ於ケル reaction トノ三力ニヨリテ釣合ヘリ、其作用線ハ平行ナルコトアリ、然ラザルコトアリ、平行ナラザル場合ニハ釣合ノ條件ニヨリテ三作



線ハ一點ニ會ス、何レノ場合ニモ支點 F ヨリ P ノ作用線ニ至ル距離ヲ l トシ、W ノ作用線ニ至ル距離ヲ m トスレバ釣合ヘル時 F ニ關スル moment ニ付

$$Pl - Wm = 0$$

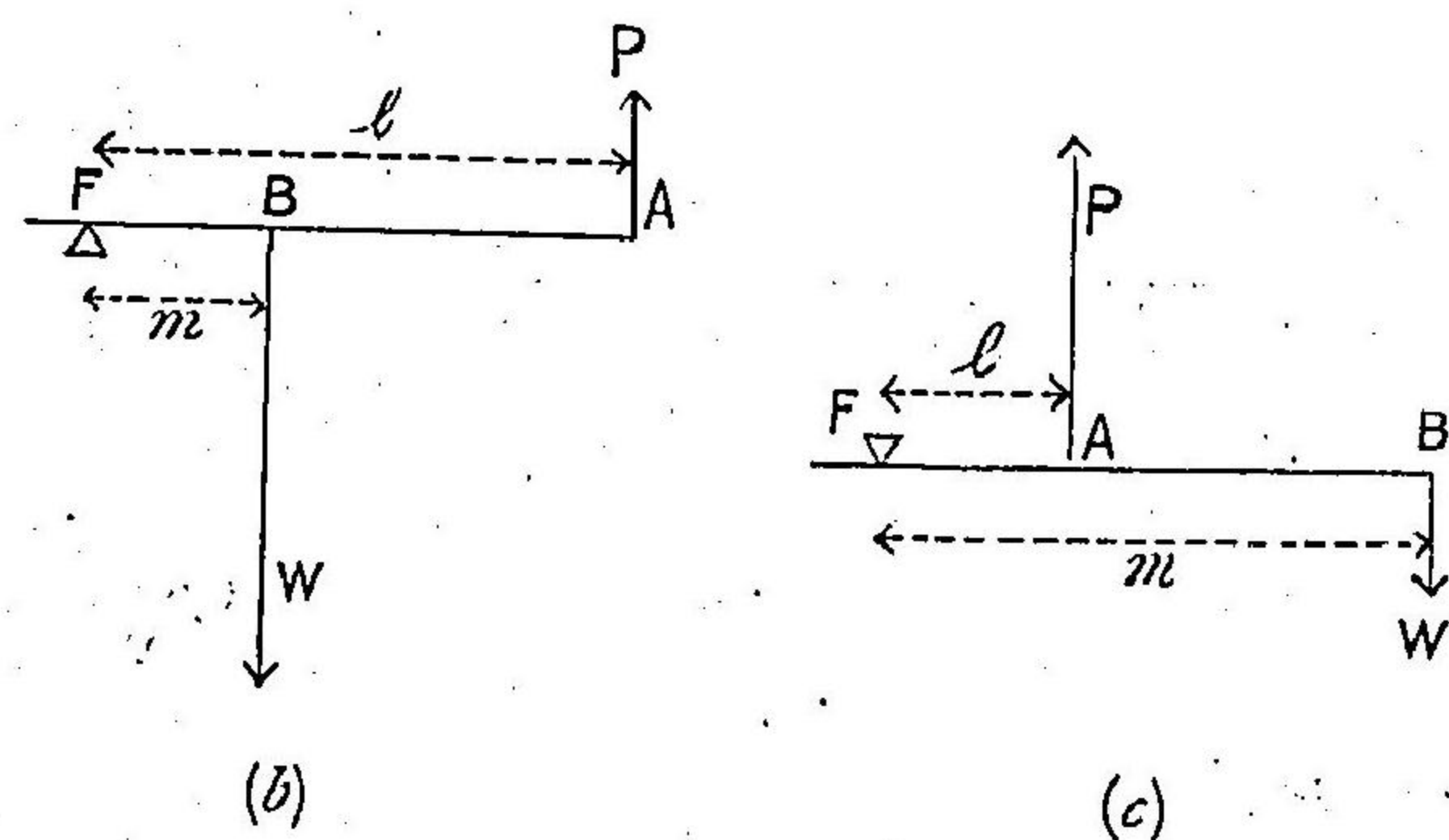
$$\frac{W}{P} = \frac{l}{m}$$

又

$$P = \frac{m}{l} W$$

支點ト P ノ着力點 A ト W ノ着力點 B トノ位置ニヨ

リテ圖ニ示セル如ク (a), (b) 及ビ (c) ノ三種類トナル。



上述セル所ニ於テハ棒ノ重量ハ棄却セラレタルモ、此重量ヲモ計算ニ入ル、場合ニハ、棒ノ太サ一様ニシテ、密度亦一様ナリトシ、單位ノ長サニ付テ重量 w ナリトス、棒ノ全長ヲ L トス、從テ棒ノ重量ハ wL ナリ、(a) ノ場合ヲ例トシテ考フルニ、棒ノ重心ハ支點ヨリ

$$l - \frac{1}{2}L$$

故ニ釣合ニ於テ

$$Pl + wL(l - \frac{1}{2}L) - Wm = 0$$

$$W = P \frac{l}{m} + \frac{wL(l - \frac{1}{2}L)}{m}$$

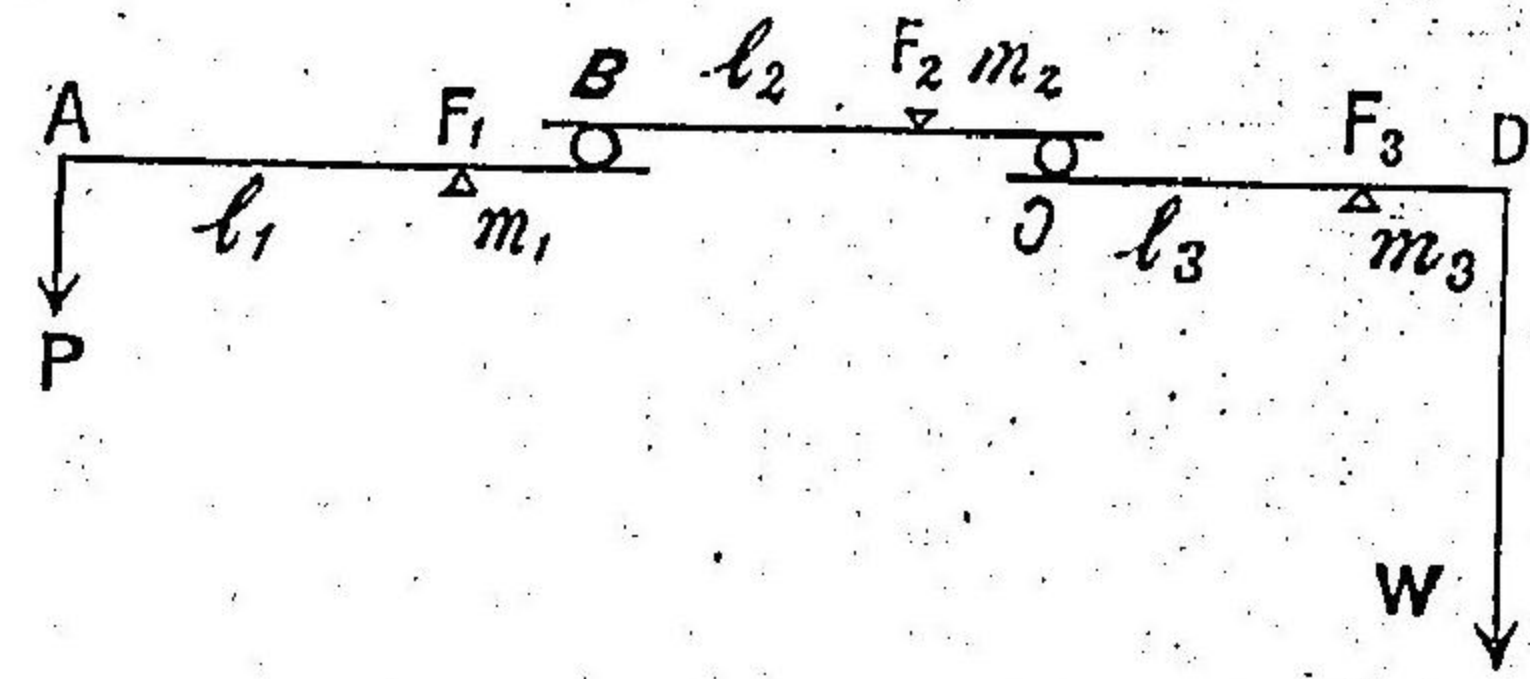
同様ニ (b) ノ場合ニハ

$$Pl - Wm - wL \times \frac{1}{2}L = 0$$

$$W = P \frac{L}{m} - \frac{wL^2}{2m}$$

AB, BC, CD ハ三個ノ槓杆ナリ、其支點ヲ夫々 F_1, F_2, F_3 トス、長キ arm ヲ夫々 l_1, l_2, l_3 トシ、短キ arm ヲ m_1, m_2, m_3 ト

ス、又 B = 於ケル pressure ヲ R_B トシ、C = 於ケルヲ R_C トス。



釣合ヘル時

$$R_C = \frac{m_3 W}{l_3}$$

$$R_B = \frac{m_2 R_C}{l_2} = \frac{m_2 m_3 W}{l_2 l_3}$$

$$P = \frac{m_1 R_B}{l_1} = \frac{m_1 m_2 m_3 W}{l_1 l_2 l_3}$$

又

$$\frac{W}{P} = \frac{l_1 l_2 l_3}{m_1 m_2 m_3}$$

91. Wheel and Axle.

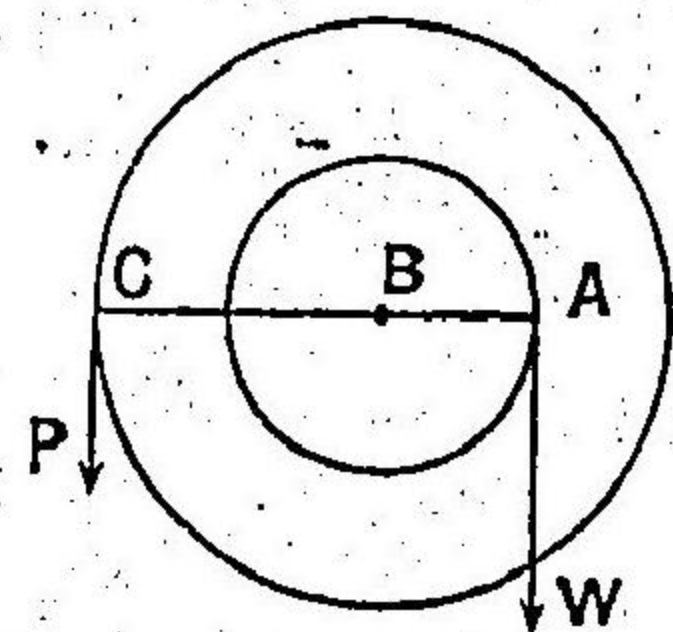
釣合 = 於テ

$$P \times \overline{BC} = W \times \overline{AB}$$

$BC = R$, $AB = r$ トスレバ

$$\frac{W}{P} = \frac{R}{r}$$

$$P = \frac{r}{R} W$$

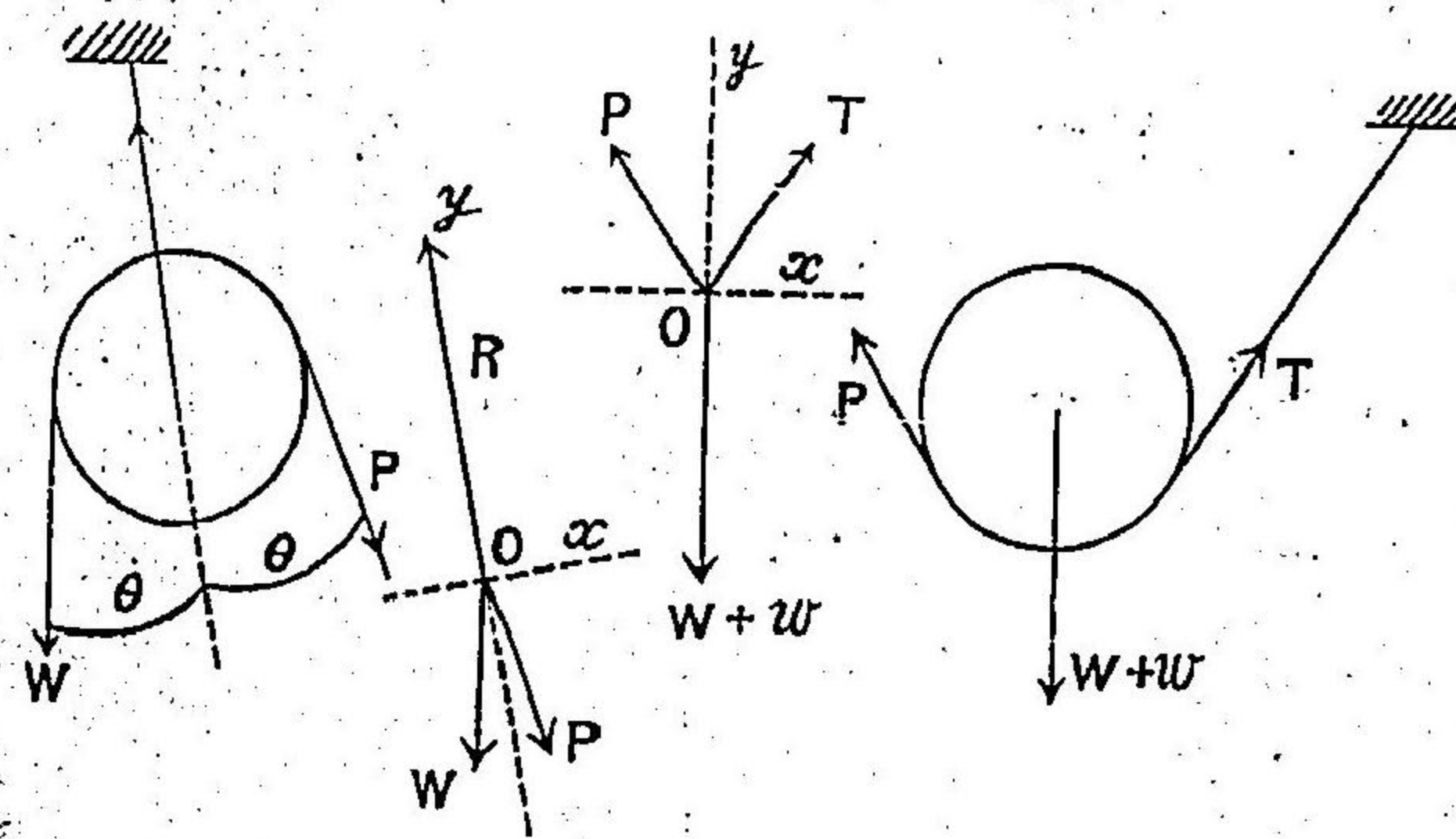


92. 滑車

摩擦無シト假定ス、定滑車 = 付其半徑ヲ r トスレバ

$$Pr = Wr$$

$$P = W$$



x 及 y 軸ヲ圖ニ示セル如クニ採レハ釣合ニ付

$$R - W \cos \theta - W \cos \theta = 0$$

但シ R ハ block ヲ支持スル staple ノ reaction ナリ、故ニ

$$R = 2W \cos \theta$$

動滑車ノ釣合ニ於テ T ヲ網ノ tension トスレバ

$$-Pr + Tr = 0$$

$$P = T$$

w ヲ動滑車ノ重量トスレバ

$$P \cos \theta + P \cos \theta - W - w = 0$$

故ニ

$$P = \frac{W + w}{2 \cos \theta}$$

93. 數多ノ滑車ノ組合.

釣合ヘル場合ニ網ノ各部ノ tension ハ同一ナリトシテ各部ノ釣合ヲ考フベシ.

第一圖ニ於テ下ノ blockニ懸レル綱ノ數ヲ n トスレハ

$$W = nP$$

ナルコトカ容易ニ證明セラル、下ノ blockノ重量ヲ w トシ之ヲモ考フレハ

$$W = nP - w$$

第二圖ニ於テハ第 n 番目ノ滑車ニ働ケル力ヲ T_n トスレハ

$$\begin{aligned} W &= T_n = 2T_{n-1} = 2^2T_{n-2} = 2^3T_{n-3} \\ &= \dots = 2^n T_0 \\ &= 2^n P \end{aligned}$$

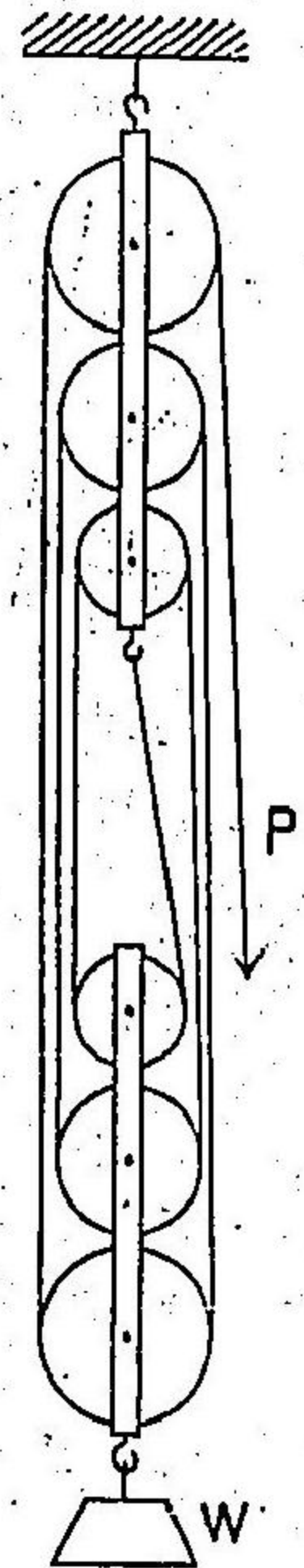
又滑車ノ重量ヲ各 w_1, w_2, w_3, \dots

w_n トスレハ各部ノ釣合ニ於テ

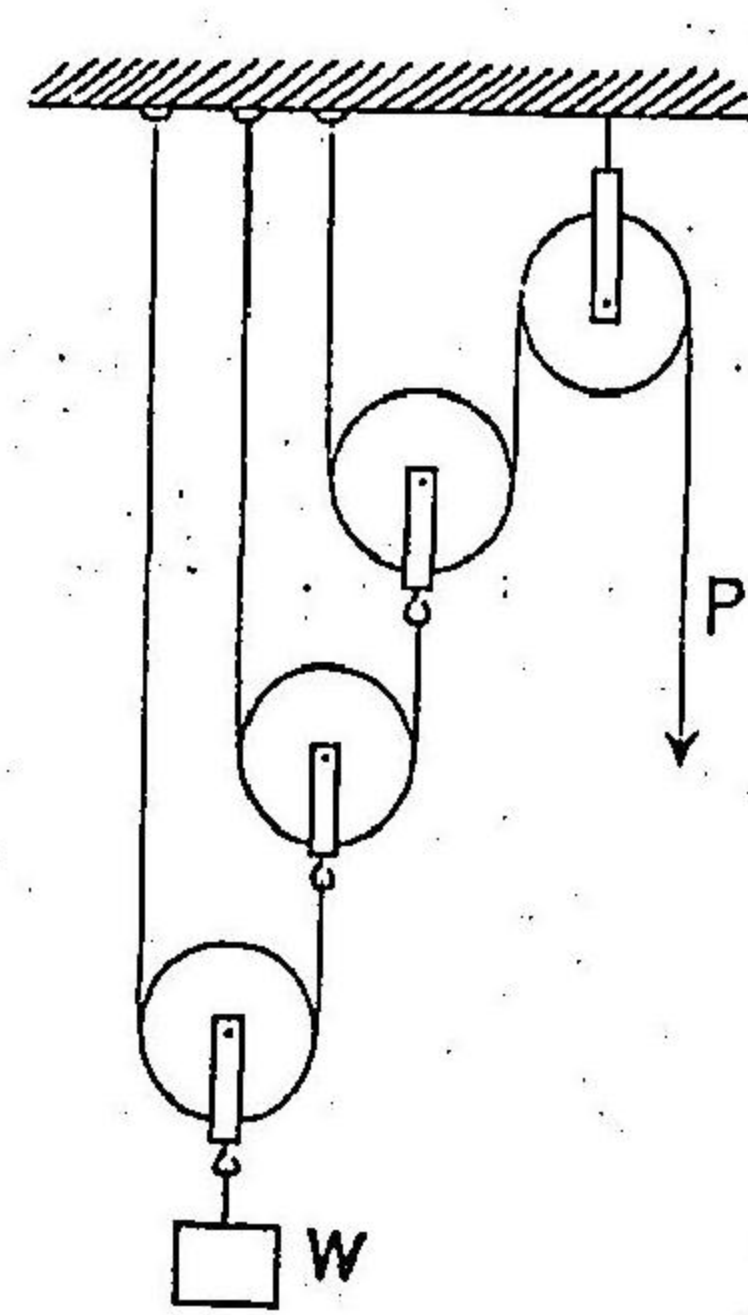
$$\left. \begin{aligned} W - 2T_{n-1} + w_n &= 0 \\ T_{n-1} - 2T_{n-2} + w_{n-1} &= 0 \\ T_{n-2} - 2T_{n-3} + w_{n-2} &= 0 \\ \dots & \\ T_1 - 2P + w_1 &= 0 \end{aligned} \right\}$$

第二式ニ 2 ヲ乗シ、第三式ニ 2^2 、第四式ニ 2^3 ヲ乗ス、追テ此クノ如クスレハ

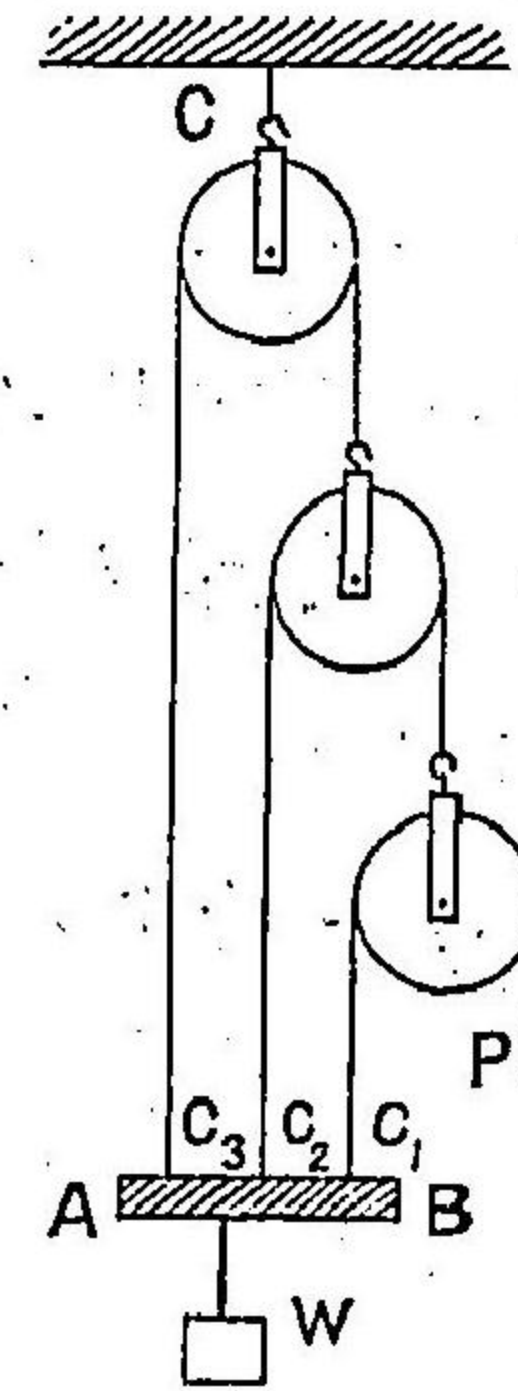
$$\left. \begin{aligned} W - 2T_{n-1} + w_n &= 0 \\ 2T_{n-1} - 2^2T_{n-2} + 2w_{n-1} &= 0 \\ 2^2T_{n-2} - 2^3T_{n-3} + 2^2w_{n-2} &= 0 \\ 2^3T_{n-3} - 2^4T_{n-4} + 2^3w_{n-3} &= 0 \\ \dots & \\ 2^{n-1}T_1 - 2^n P + 2^{n-1}w_1 &= 0 \end{aligned} \right\}$$



第一圖



第二圖



第三圖

是等ノ式ヲ加フレハ

$$W - 2^n P + w_n + 2w_{n-1} + 2^2w_{n-2} + \dots + 2^{n-1}w_1 = 0$$

故ニ

$$W = 2^n P - (w_n + 2w_{n-1} + 2^2w_{n-2} + \dots + 2^{n-1}w_1)$$

若シモ $w_1 = w_2 = w_3 = \dots = w_n = w$ ナラハ

$$\begin{aligned} W &= 2^n P - (1 + 2 + 2^2 + \dots + 2^{n-1})w \\ &= 2^n P - (2^n - 1)w \end{aligned}$$

第三圖ノ場合ハ第二圖ノ場合ヲ逆ニセシモノナリ、 C ニ於テ滑車ニ働ケル力ハ第二圖ノ場合ノ W ニ相當ス之ヲ W' トスレハ

$$W' = 2^n P$$

滑車ノ組合全部ハ W', W 及ヒ P ニテ釣合ヘルヲ以テ

$$W' = P + W = 2^n P$$

故 = $W = (2^n - 1)P$

Wヲ釣ルス可キ位置ヲ求ムルニハ、 c_1, c_2, c_3 等ニ於ケル網ノ tensionヲ見出シ、是等ノ tensionsノ合力Wノ AB上ニ於ケル着力點ヲ見出セハ、其着力點カ即 Wヲ釣ルスヘキ位置ナリ。

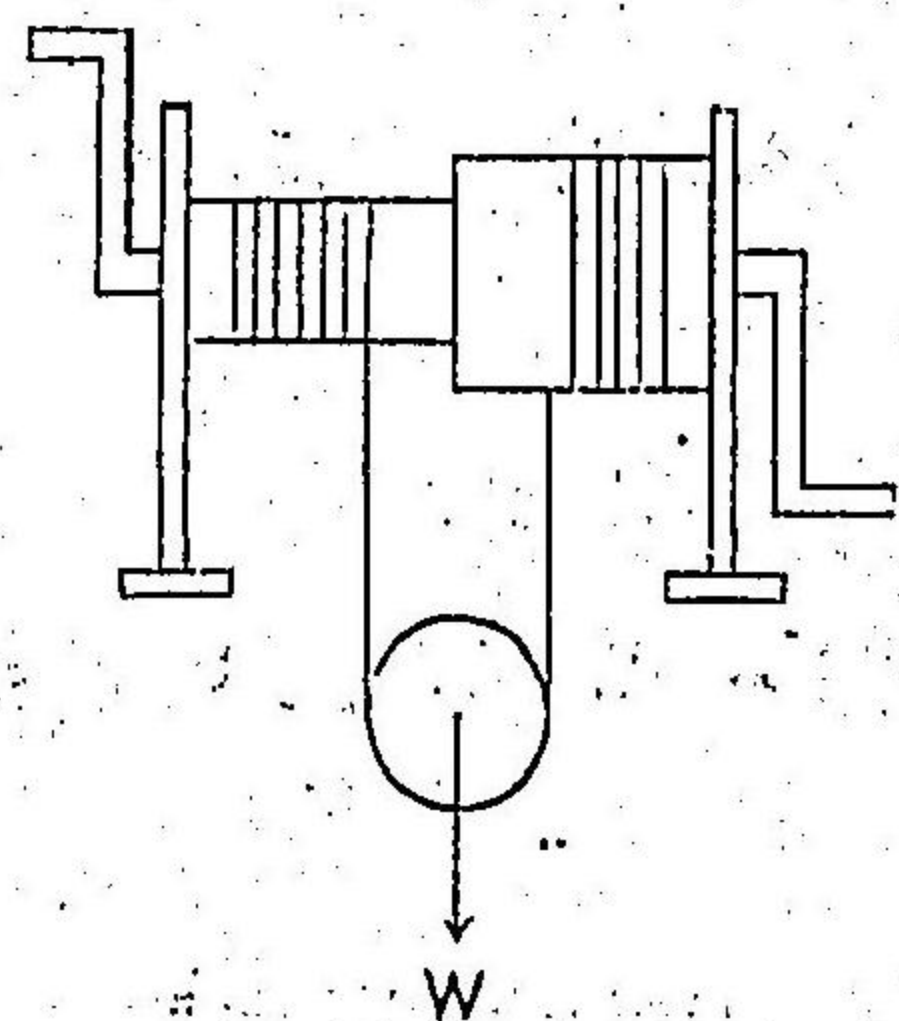
- c_1 = 於ケル tension = P
- c_2 " " = 2P
- c_3 " " = 2²P
- c_4 " " = 2³P

94. Chinese Windlass.

網ノ tensionハ動滑車ニ懸レル重量ノ半分ナリ、大ナル barrelノ半径ヲ R、小ナル barrelノ半径ヲ rトス、handleノ半径ヲ lトス、一廻轉ニ付 Wハ R-rダケ上昇スヘシ。

釣合ニ於テ

$$\frac{W}{2} \times R = \frac{W}{2} \times r + Pl$$



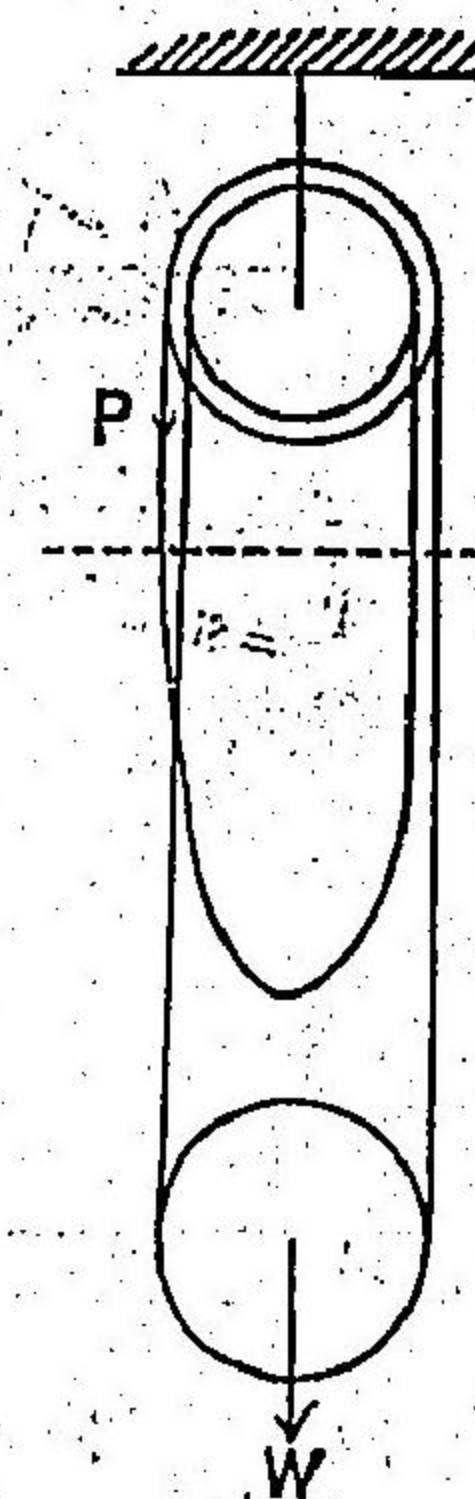
故 =

$$W = \frac{2Pl}{R-r}$$

故ニ Rトrトノ差ヲ小ニナセハ從テ小ナル力ヲ以テ大ナル重量ヲ引キ上クルコトヲ得。

95. Weston's Differential Tackle.

先ヅ點線ヨリ上部ノ tackleノ部分ノ釣合ヲ考フ、其重量ヲ無キモノトスレハ、此部分ニ働ケル力ハ四個ナリ、其四力トハ P、hookニ於テ上方へ働ケル pull、小ナル wheelヲ越エテ左方へ懸レル網ノ tension $\frac{W}{2}$ 、及ヒ大ナル wheelヲ經テ其右方へ懸レル網ノ tension $\frac{W}{2}$ ナリ、小ナル滑車ノ半径ヲ rトシ、大ナル滑車ノ半径ヲ Rトスレハ釣合ノ條件トシテ次ノ關係アリ。



$$PR + \frac{Wr}{2} - \frac{WR}{2} = 0$$

故 =

$$W = \frac{2R}{R-r} P$$

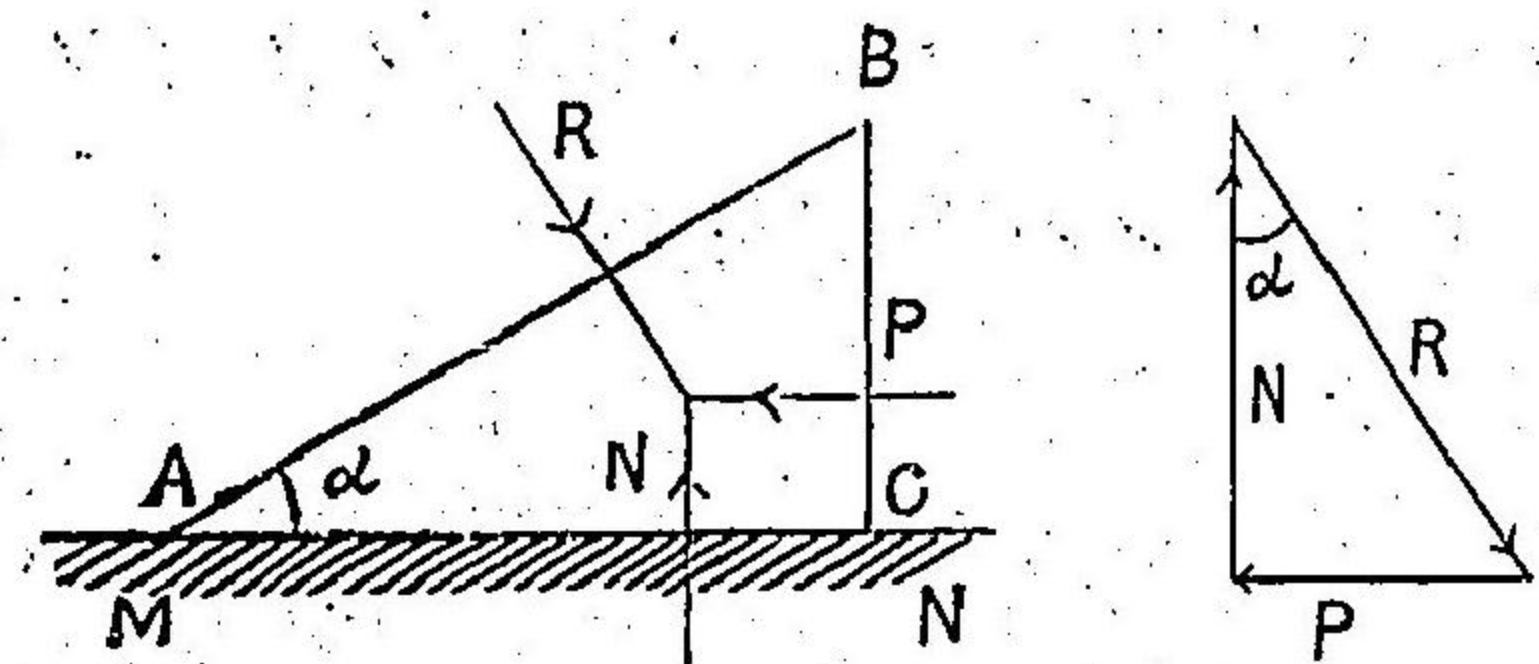
Westonノ differential tackleハ Chinese windlassノ handleニ働ク力ノ代リニ大ナル wheelニ懸レル網ニ力ヲ作用セシムルモノナレハ、前條ニテ得タル式ニ於テ lノ代ニ Rヲ用フレハ上式ヲ得ベシ。

96. 斜面.

斜面ニ關シテハ既ニ第七章, 84ニ記述セラレタリ.

97. 楔.

摩擦無キ場合ニ於テ wedge ノ断面カ直角三角形ヲナセル場合ニ, PヲBC面ニ直角ニ加ヘラレタル力トシ, RヲAB面ヘノ壓力トシ, NヲMNヨリACヘ働ケル

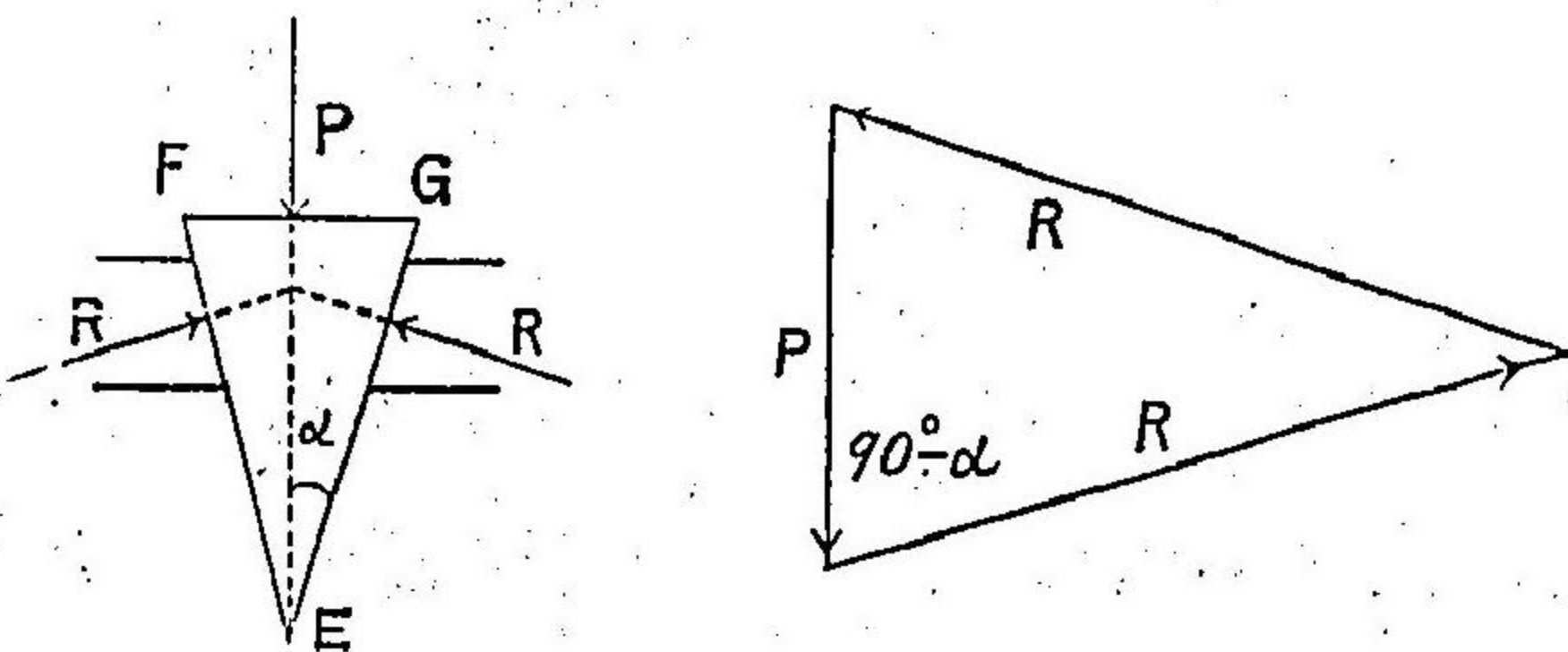


reaction トス, 是等三力カ釣合ヘル時ニハ一點ニ會スヘシ. 斜面ノ傾角ヲ α トスレハ力ノ三角形ヨリ

$$\frac{P}{R} = \sin \alpha$$

故ニ $P = R \sin \alpha$

又楔ノ横断面カ二等邊三角形ヲナセル場合ニ楔ノ面 EF ト EG トニ働ケル抵抗力 R ノ Pニ平行ナル分力ト直角ナル分力トヲ夫々 V, H トシ, 角 FEG ノ半分ヲ α トスレハ



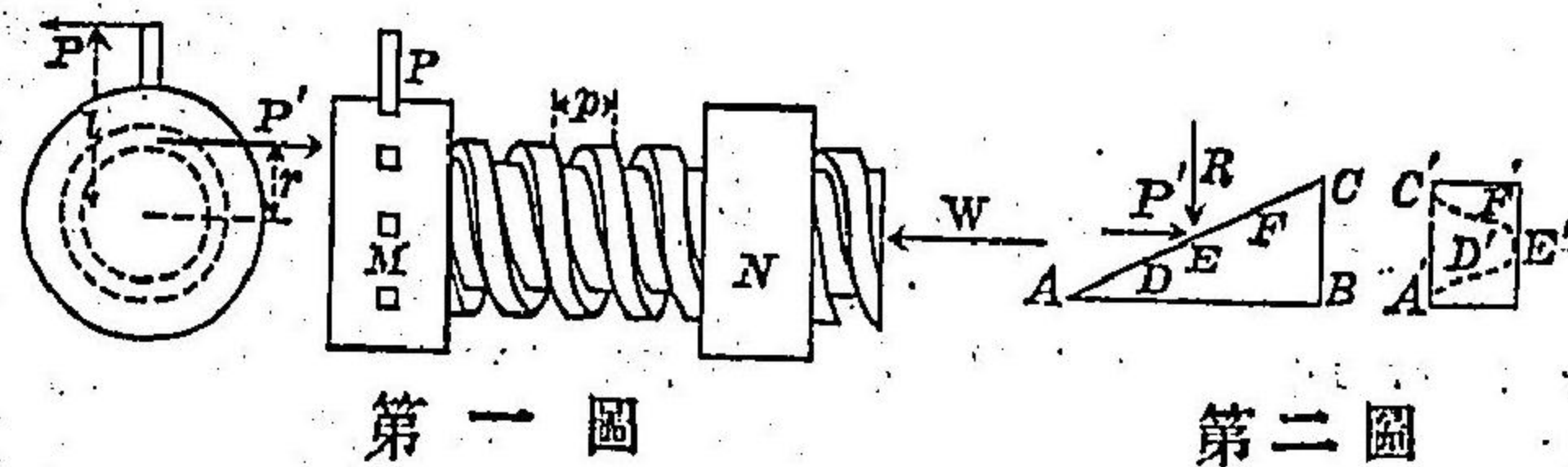
$$\frac{P}{2} = R \sin \alpha = V$$

$$\frac{P}{2} \cot \alpha = R \cos \alpha = H$$

α カ小ナレハ HハPニ比シ大トナル可シ.

98. 螺旋.

Nハ fixed nut ナリ, lハ lever arm ノ長サナリ, Wハ resisting force ナリ.



第二圖 ABCハ直角三角形ナリ, 底邊 ABハ半徑 rノ cylinder ノ周 $2\pi r$ ニ等シクシテ, 之ヲ其 cylinderニ捲ケハ其表面上ニ helix A'D'E'F'C'ヲ作ル可シ. 其傾キハ斜面 ACノ傾キ α ナリ, A'C'ヲ p トス, p ハ直角三角形 ABCノ高サ BCニ相當ス, p ヲ helixノ pitchト云フ, p ハ screwカ effort Pニヨリテ一廻轉スル間ニ fixed nut N中ヲ進行スル距離ナリ.

r ヲ screwノ helical surfaceノ平均半徑トシ, d ヲ其直徑トシ, 其 mean inclinationヲ α トスレハ

$$\tan \alpha = \frac{p}{\pi d}$$

斜面 ACニ沿ヒ, weight Wヲ, ABノ方向ニ加ヘラレタル力 P'ニヨリテ引キ上ケントスル場合ノ釣合ニ付 84 條ノ末尾ニ與ヘラレタル如ク

$$P' = W \tan(\alpha + \phi)$$

但シ ϕ ハ friction angle ナリ.

故ニ

$$\begin{aligned} \frac{P'}{W} &= \tan(\alpha + \phi) \\ &= \frac{\tan \alpha + \tan \phi}{1 - \tan \alpha \tan \phi} \\ &= \frac{p + \mu \pi d}{\pi d - \mu p} \end{aligned}$$

P' カ arm r ヲ以テ作用スル代リニ arm l ナル lever ニ加ヘラレタル effort P ヲ以テスル時ハ

$$P' d = 2 P l$$

故ニ

$$\begin{aligned} P &= \frac{d}{2l} P' \\ &= \frac{dW}{2l} \tan(\alpha + \phi) \end{aligned}$$

又

$$\frac{W}{P} = \frac{2l}{d} \frac{\pi d - \mu p}{p + \mu \pi d}$$

Screw ノ運動方向ヲ逆ニシテ load W ヲ下ロス爲ニハ effort P' ハ逆ニセラレ其値ハ

$$P' = W \tan(\phi - \alpha)$$

ナリ、若シモ

$$\phi > \alpha$$

ナレハ P' ハ正號ナリ、然ルニ若シモ

$$\phi < \alpha$$

ナレハ P' ハ負號ナリ、即チ W ヲ下ロスントスル場合ニモ引キ上クル場合ト同一ノ方向ヘ P ヲ働カシムルコトヲ要ス、然ラサレハ W ノミノ作用ニヨリテ運動ハ逆ニセラレベシ。

第 九 章

Moment of Inertia.

99. Moment of Inertia.

或直線ニ關スル或物體ノ moment of inertia トハ其物體ヲ組成スル質點ノ質量 dm ト其質點ト其直線トノ間ノ距離 r ノ平方トノ乘積 $dm r^2$ ヲ物體全部ニ付テ加ヘ合セタル總和 $\Sigma dm r^2$ ナリ之ヲ I ヲ以テ表ハセバ

$$I = \Sigma dm r^2$$

直線ハ moment of inertia ノ軸ト名ケラル。

密度一様ナル物體ニ付テハ其密度ヲ δ トシ、 dm ニ對スル容積ヲ dv トスレバ

$$I = \delta \Sigma dv r^2$$

100. Radius of Gyration.

$$I = \Sigma dm r^2$$

之ヲ次ノ如ク置ク

$$I = M \kappa^2$$

但シ $M = \Sigma dm$ 即チ物體ノ全質量ナリ。

上記ノ關係ヲ満足スル κ ヲ Radius of Gyration ト云フ。

$$\kappa = \sqrt{\frac{I}{M}}$$

密度一様ナル物體ニ付物體ガ n 個ノ質點ヨリ成ルモノトスレバ

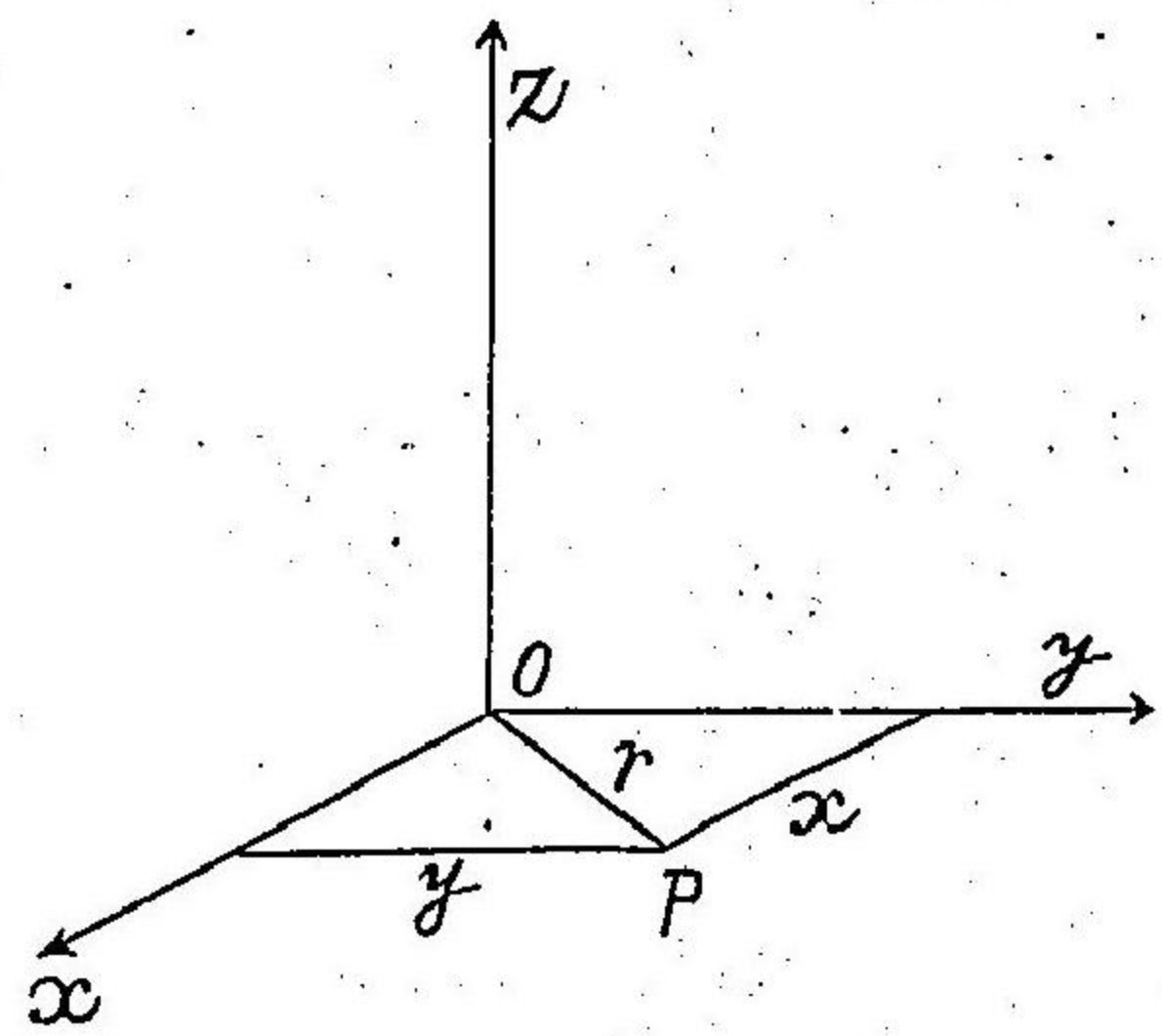
$$\frac{r_1^2 + r_2^2 + r_3^2 + \dots + r_n^2}{n} = \frac{r_1^2 dm + r_2^2 dm + r_3^2 dm + \dots + r_n^2 dm}{n dm}$$

$$= \frac{I}{M} = \kappa^2$$

101. Moment of Inertia = 關スル定理 I.

xy 平面上ニアル或平面板ノ z 軸ニ關スル moment of inertia ヲ I_z トシ, x 軸ニ關スルモノヲ I_x , y 軸ニ關スルモノヲ I_y トスレバ

$$I_z = I_x + I_y$$



何ントナレバ

$$r^2 \kappa^2 = x^2 + y^2$$

故 =
$$I_z = \sum r^2 dm = \sum (x^2 + y^2) dm$$

$$= \sum x^2 dm + \sum y^2 dm$$

然ルニ

$$\sum x^2 dm = I_y, \quad \sum y^2 dm = I_x$$

故ニ

$$I_z = I_x + I_y$$

若シモ

$$I_x = I_y = I$$

ナル場合ニハ

$$I_z = 2I$$

102. Moment of Inertia = 關スル定理 II.

x, y, z 軸ニ關スル或物體ノ moment of inertia ヲ夫々 I_x, I_y, I_z トスレバ

$$I_x + I_y + I_z = 2 \sum dm r^2$$

但シ r ハ origin O ヨリ質點ニ至ル距離ナリ.

質點 $P_i(x_i, y_i, z_i)$ ノ質量ヲ dm_i トス, 此點ノ x, y, z 軸ニ關スル moment of inertia ヲ夫々 i_x, i_y, i_z トスレバ

$$\left. \begin{aligned} i_x &= (y_i^2 + z_i^2) dm_i \\ i_y &= (x_i^2 + z_i^2) dm_i \\ i_z &= (x_i^2 + y_i^2) dm_i \end{aligned} \right\}$$

故ニ

$$i_x + i_y + i_z = 2(x_i^2 + y_i^2 + z_i^2) dm_i$$

$$= 2r_i^2 dm_i$$

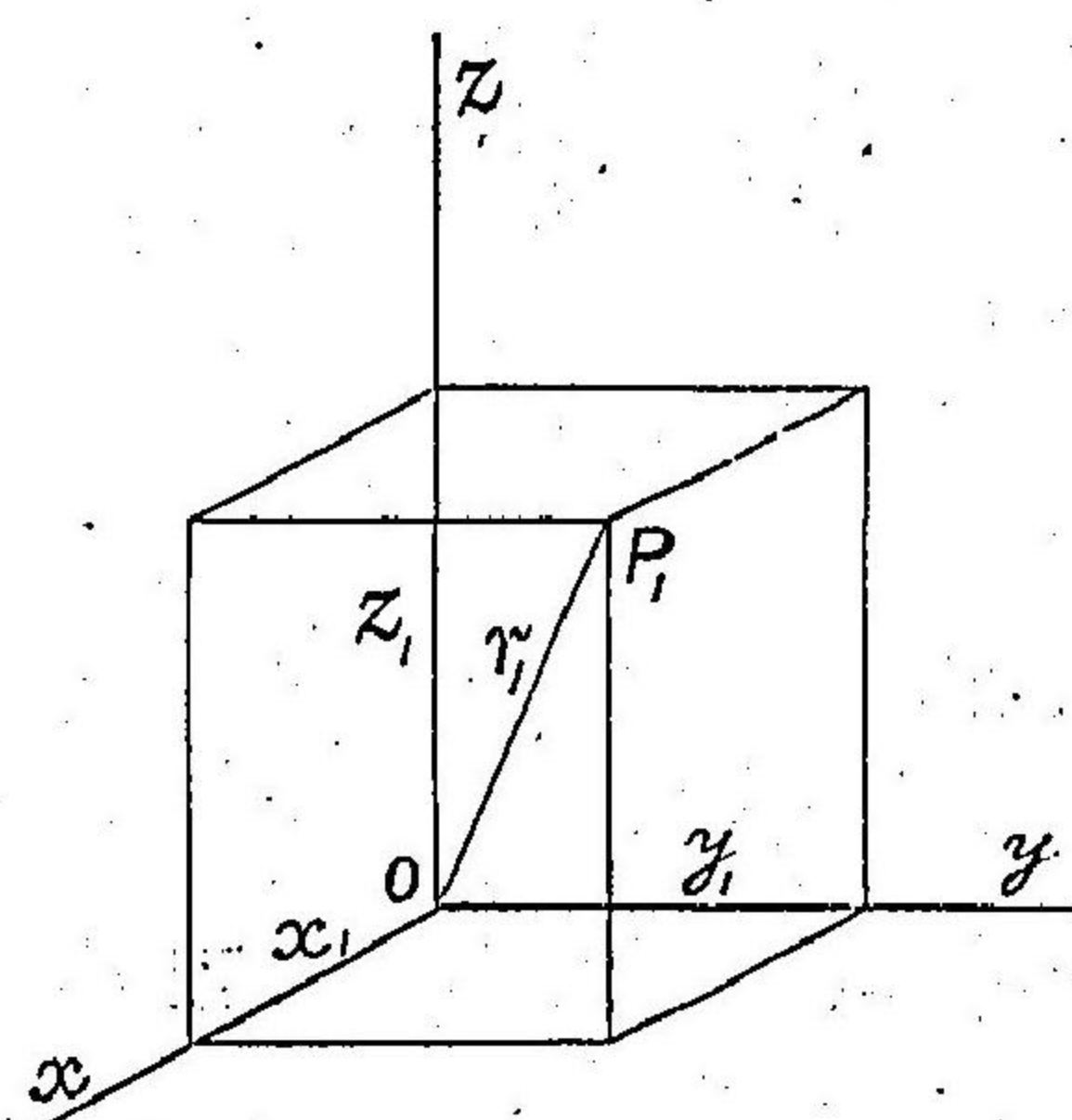
故ニ

$$I_x + I_y + I_z = 2 \sum r^2 dm$$

$\sum dm r^2$ ヲ I_0 トスレバ

$$I_x + I_y + I_z = 2I_0$$

I_0 ヲ O = 關スル物體ノ Polar Moment of Inertia ト云フ.



$$\begin{aligned} I_0 &= \sum dm r^2 \\ &= \sum dm (x^2 + y^2 + z^2) \\ &= \sum dm x^2 + \sum dm y^2 + \sum dm z^2 \\ &= I_{yz} + I_{xz} + I_{xy} \end{aligned}$$

但シ $I_{yz} = \sum dm x^2$, $I_{xz} = \sum dm y^2$, $I_{xy} = \sum dm z^2$

I_{yz}, I_{xz}, I_{xy} ヲ夫々 yz, xz, xy 平面ニ關セル物體ノ moment of inertia ト云フ。

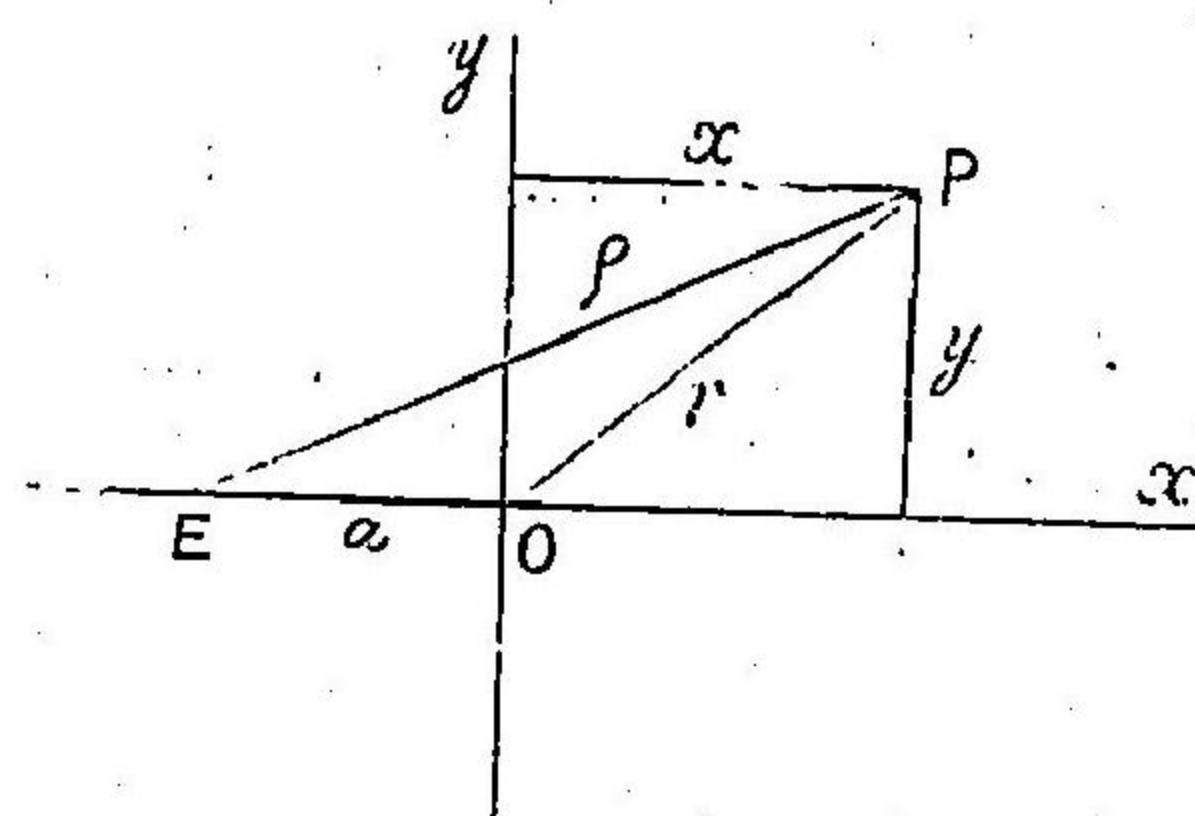
103. Moment of Inertia ニ關スル定理 III.

軸 AB ニ關スル moment of inertia ヲ I トス, AB ニ平行ニシテ重心ヲ通ズル軸 CD ニ關スル moment of inertia ヲ I_0 トシ, AB ト CD トノ間ノ距離ヲ a トシ, 物體ノ mass ヲ M トスレバ

$$I = I_0 + Ma^2$$

CD ヲ z 軸トス, 其軸ノ xy 平面トノ交リヲ O トス, AB ハ xz 平面上ニアリトシ, 其軸ノ xy 平面トノ交點ヲ E トス, O ト E トノ距離ハ即チ a ナリ, P ハ xy 平面上ノ

任意ノ點ナリ, OP ヲ r トシ, EP ヲ ρ トス.



然ル時

$$I = \sum dm \rho^2$$

然ルニ

$$\begin{aligned} \rho^2 &= y^2 + (x+a)^2 \\ &= y^2 + x^2 + 2ax + a^2 \end{aligned}$$

∴

$$\begin{aligned} I &= \sum dm (x^2 + y^2) + 2a \sum dm x + a^2 \sum dm \\ &= \sum dm r^2 + 2a \sum dm x + a^2 \sum dm. \end{aligned}$$

然ルニ

$$\sum dm r^2 = I_0$$

又 yz ノ平面ハ重心ヲ通ズ, 即チ Zero moment ノ平面ナルヲ以テ

$$\sum dm x = 0$$

故ニ

$$I = I_0 + Ma^2$$

CD ニ關スル radius of gyration ヲ κ_0 トシ, AB ニ關スル radius of gyration ヲ κ トスレバ

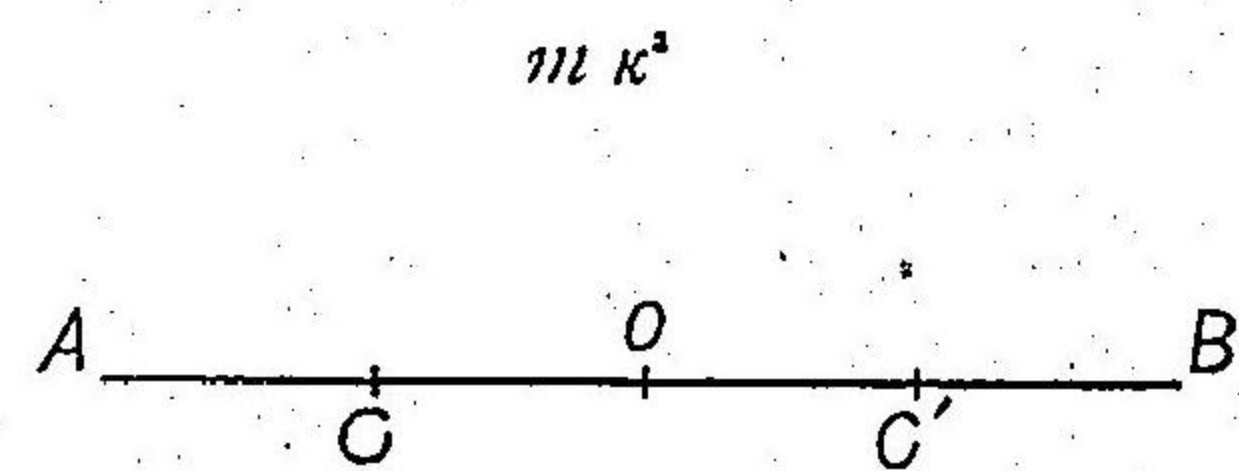
$$M\kappa^2 = M\kappa_0^2 + Ma^2$$

$$\kappa^2 = \kappa_0^2 + a^2$$

104. 直線ノ moment of inertia.

AB ハ真直ナル針金ナリ其長サ $2a$ ナリ中點ヲ O トス, AO ノ中點ヲ C , OB ノ中點ヲ C' トス.

O ヲ通ジ AB = 直角 = 交ハル直線 = 關スル AB ノ radius of gyration ヲ κ トシ, AB ノ mass ヲ m トスレバ其 moment of inertia ハ



C ヲ通ジ AO = 直角ナル軸 = 關スル AO ノ moment of inertia ハ

$$\frac{I}{2} m \left(\frac{\kappa}{2} \right)^2 = \frac{1}{8} m \kappa^2$$

$$\begin{aligned} m \kappa^2 &= \frac{m}{2} \left(OC^2 + \frac{\kappa^2}{4} \right) + \frac{m}{2} \left(OC'^2 + \frac{\kappa^2}{4} \right) \\ &= m^2 \left(OC^2 + \frac{\kappa^2}{4} \right) \end{aligned}$$

$$\therefore \kappa^2 = OC^2 + \frac{\kappa^2}{4}$$

$$\therefore \kappa^2 = \frac{a^2}{3}$$

故ニ O ヲ通ジ AB = 直角ナル軸 = 關スル AB ノ I ノ値ハ

$$I = \frac{1}{3} m a^2$$

但 a ハ AB ノ半分ナリ.

A ヲ通ジ AB = 直角ナル軸 = 關スル moment of inertia ヲ I' トス然ル時

$$\begin{aligned} I' &= I + m a^2 \\ &= \frac{1}{3} m a^2 + m a^2 \\ &= \frac{4}{3} m a^2 \end{aligned}$$

故ニ其 radius of gyration ハ

$$\kappa = \frac{2}{\sqrt{3}} a$$

AB ノ長サヲ l トスレバ

$$\begin{aligned} \kappa &= \frac{2}{\sqrt{3}} \times \frac{l}{2} \\ &= \frac{l}{\sqrt{3}} \end{aligned}$$

此結果ハ次ノ如クニシテモ得ラル, r_x ヲ O ヨリ dm_x ニ至ル距離トス, O ト B トノ間ニ於ケル

$$\int_0^a dm r^2$$

ノ値ハ O ヲ通ジ AB = 直角ナル軸 = 關スル AB 全部ニ付テノ半分ナリ, 即チ

$$\int_0^a dm r^2 = \frac{1}{3} m a^2$$

OB ノ質量ヲ m' トス即チ $2m' = m$ 故ニ OB ノ一端 O ヲ通ジ OB = 直角ナル軸 = 關スル OB ノ moment of inertia ハ

$$\frac{1}{3} m' a^2$$

但 a ハ OB ノ長サナリ, 其 radius of gyration ヲ κ トスレバ

$$\kappa = \frac{a}{\sqrt{3}}$$

105. 矩形ノ moment of inertia.

矩形ノ邊ヲ a, b トス, 邊 a ヲ軸トセル moment of inertia
ヲ求メントス.

軸ニ平行ナル直線ヲ以テ矩形ノ面積ヲ n 等分スレ
バ其一分ノ面積ハ

$$\frac{ab}{n}$$

又軸ヨリ第 m 番目ノ面積ニ至ル距離ハ

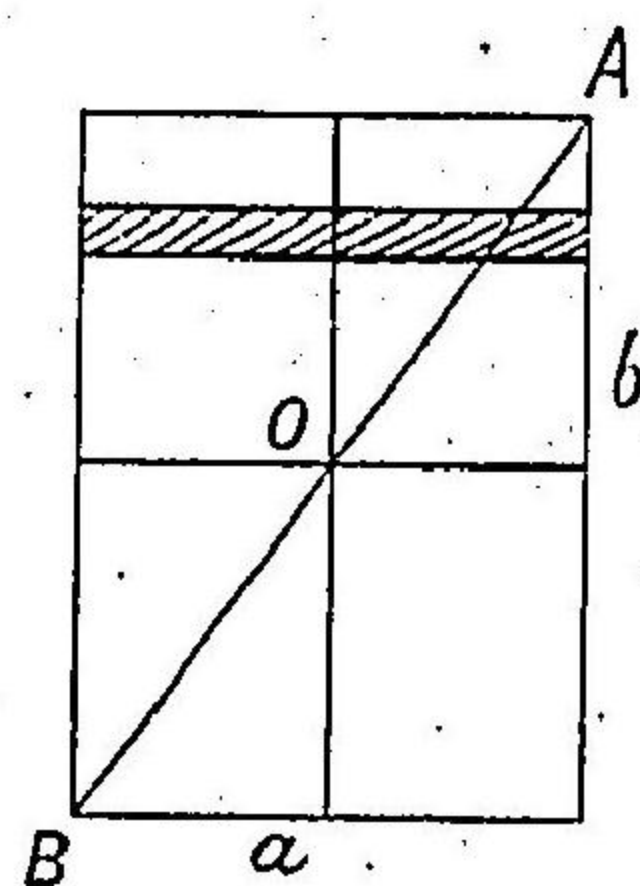
$$\frac{mb}{n}$$

故ニ此小面積ノ moment of inertia ハ

$$\frac{ab}{n} \times \left(\frac{mb}{n}\right)^2 = \frac{ab^3 m^2}{n^3}$$

故ニ矩形全面積ニ付テハ

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{m=1}^n \frac{ab^3 m^2}{n^3} = ab^3 \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\sum m^2}{n^3} \\ = \frac{ab^3}{3}$$



其 radius of gyration ヲ κ トセバ

$$\frac{ab^3}{3} = ab\kappa^2$$

$$\therefore \kappa = \frac{b}{\sqrt{3}}$$

更ニ此結果ヨリ矩形ノ重心 O ヲ通ジ邊 a ニ平行ナル
直線ヲ軸トセル矩形ノ moment of inertia ヲ導クニ

$$\frac{a \left(\frac{b}{2}\right)^3}{2 \cdot 3} = \frac{ab^3}{12}$$

$$\therefore \frac{ab^3}{12} = ab\kappa^2$$

$$\therefore \kappa^2 = \frac{b^2}{12}$$

矩形ノ質量ヲ m トスレバ邊 a ニ關スル moment of
inertia ハ

$$\frac{mb^2}{3}$$

又 O ヲ通シ a ニ平行ナル軸ニ關スル moment of inertia ハ

$$\frac{mb^2}{12}$$

ナリ.

次ニ O ヲ通シ矩形ニ直角ナル軸ニ關スル moment of
inertia ヲ見出サントス, 之ヲ I トスレバ

$$I = \frac{ma^2}{12} + \frac{mb^2}{12} \\ = \frac{m(a^2 + b^2)}{12}$$

其 radius of gyration ハ

$$\kappa = \sqrt{\frac{a^2 + b^2}{12}} = \frac{\overline{AB}}{2\sqrt{3}}$$

106. 圓形ニ曲ケラレタル針金ノ moment of inertia.

中心ヲ通シ圓面ニ直角ナル軸ヲ z 軸トスレバ, 此軸
ニ關スル moment of inertia I_z ハ

$$I_z = \sum dm r^2$$

$$= r^2 \sum dm$$

$$= mr^2$$

但シ r ハ半徑ナリ.

任意ノ直徑ニ關スル moment of inertia ヲ I_x トスレハ

$$I_x = 2I_z$$

$$\therefore 2I_x = mr^2$$

$$\therefore I_x = \frac{1}{2}mr^2$$

此軸ニ關スル radius of gyration ハ

$$k = \frac{r}{\sqrt{2}}$$

107. 圓板ノ moment of inertia.

圓ノ半徑ヲ a トス, 半徑ヲ n 等分シテ $\frac{ma}{n}$ ト $\frac{m+1}{n}a$ トヲ半徑トシテ畫ケル圓周ニテ限ラレタル ring ノ面積ハ

$$2\pi \frac{ma}{n} \times \frac{a}{n}$$

中心ヲ通シ圓ノ面ニ直角ナル軸ニ關スル此 ring ノ moment of inertia ハ

$$2\pi \frac{ma}{n} \times \frac{a}{n} \times \left(\frac{ma}{n}\right)^2 = \frac{2\pi a^4 m^3}{n^4}$$

故ニ圓板ノ moment of inertia ハ

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n \frac{2\pi a^4 m^3}{n^4} = 2\pi a^4 \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\sum_{i=1}^n m^3}{n^4} = \frac{\pi a^4}{2}$$

又

$$k^2 = \frac{a^2}{2}$$

即チ

$$k = \frac{a}{\sqrt{2}}$$

質量ヲ m トスレハ中心ヲ通シ圓板ノ面ニ直角ナル軸ニ關スル moment of inertia ハ

$$I = \frac{1}{2}ma^2$$

直徑ニ關スル moment of inertia ヲ I' トスレハ

$$2I' = \frac{1}{2}ma^2$$

$$I' = \frac{ma^2}{4}$$

其 radius of gyration ハ $\frac{a}{2}$ ナリ.

108. 球殼ノ moment of inertia.

任意ノ直徑ニ關シ moment of inertia ハ相等シキヲ以テ

$$3I = 2 \sum dm r^2$$

$$= 2r^2 \sum dm$$

$$= 2mr^2$$

$$\therefore I = \frac{2}{3}mr^2$$

$$k = r\sqrt{\frac{2}{3}}$$

109. 球體ノ moment of inertia.

半徑 a ヲ n 等分シ, $\frac{ma}{n}$ ト $\frac{m+1}{n}a$ トヲ半徑トセル球面ニテ限ラレタル部分ノ容積ハ

$$4\pi \left(\frac{ma}{n}\right)^2 \times \frac{a}{n}$$

ナルヲ以テ, 其中心ニ關スル polar moment of inertia ハ

$$4\pi \left(\frac{ma}{n}\right)^2 \frac{a}{n} \times \left(\frac{ma}{n}\right)^2 = \frac{4\pi a^4 m^4}{n^5}$$

故ニ球ノ中心ニ關シ其球ノ容積ノ polar moment of inertia

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n \frac{4\pi a^5 m^4}{n^5} = 4\pi a^5 \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\sum_{i=1}^n m^4}{n^5}$$

$$= \frac{4\pi}{5} a^5$$

質量ヲ m トスレバ中心ニ關スル polar moment of inertia ハ

$$\frac{3}{8} ma^2$$

任意ノ直徑ニ關スル moment of inertia ヲ I トスレバ

$$3I = 2 \sum dm r^2$$

$$= 2 \times \frac{3}{8} ma^2$$

$$I = \frac{2}{3} ma^2$$

$$k = \sqrt{\frac{2}{3}} a$$

κ ノ 表 (第一)

	Name of solid, and Dimensions.	Position of Axis through c. g.	$k^2 = \frac{I}{M}$
I.	Circular hoop of thin wire—Radius, r	Perp. to plane of figure.	r^2
II.	Circular hoop of thin wire—Radius, r	About a diameter.	$\frac{1}{2} r^2$
III.	Uniform circular rod—Length, l ; radius, r	Perp. to length.	$\frac{1}{12} l^2 + \frac{1}{4} r^2$
IV.	Solid circular cylinder—Radius, r	About its own axis.	$\frac{1}{2} r^2$
V.	Hollow circular cylinder or ring—Radii, R, r	About its own axis.	$\frac{1}{2}(R^2 + r^2)$
VI.	Thin cylindrical shell—Radius, r	About its own axis.	r^2
VII.	Solid sphere—Radius, r	About a diameter.	$\frac{2}{5} r^2$
VIII.	Hollow sphere—Radii, R, r	About a diameter.	$\frac{2}{5} \frac{R^5 - r^5}{R^3 - r^3}$
XI.	Thin spherical shell—Radius, r	About a diameter.	$\frac{2}{3} r^2$
X.	Solid cone—Radius of base, r	About its own axis.	$\frac{3}{10} r^2$

κ の 表 (第 二)

	Form of Lamina, Surface, or Section.	Position of Axis through c. g.	κ'
I.	Rectangle-Sides, a, b .	Parallel to side, b	$\frac{1}{2}a^2$
II.	Rectangle-Sides, a, b .	Perp. to plane of figure.	$\frac{1}{12}(a^2+b^2)$
III.	Hollow rectangle—Sides, A, B, and a, b .	Parallel to sides, B, b	$\frac{1}{12} \frac{A^2B - a^2b}{AB - ab}$
IV.	Triangle—Altitude, a ; base, b .	Parallel to base, b	$\frac{1}{18}a^2$
V.	Circular section—Radius, r	Perp. to plane of figure.	$\frac{1}{2}r^2$
VI.	Circular section—Radius, r .	About a diameter.	$\frac{1}{4}r^2$
VII.	Hollow circular section—Radii, R, r .	Perp. to plane of figure.	$\frac{1}{2}(R^2+r^2)$
VIII.	Hollow circular section—Radii, R, r .	About a diameter.	$\frac{1}{4}(R^2+r^2)$
IX.	Elliptical section—Axes, a, b .	About axis, b .	$\frac{1}{16}a^2$
X.	Elliptical section—Axes, a, b .	Perp. to plane of figure.	$\frac{1}{16}(a^2+b^2)$
XI.	Hollow elliptical section—Axes, A, B, and a, b .	About axis, B, b	$\frac{1}{16} \frac{A^2B - a^2b}{AB - ab}$

第 拾 章

剛 體 ノ 運 動

110. Centre of Mass.

一物體又ハ數個ノ物體ノ全質量ヲ M トシ、之ヲ組成セル質點ノ質量ヲ dm トス。

$$\left. \begin{aligned} \bar{x} &= \frac{\sum dm x}{M}, \\ \bar{y} &= \frac{\sum dm y}{M}, \\ \bar{z} &= \frac{\sum dm z}{M} \end{aligned} \right\}$$

此式ニヨリテ定メラル、點 $(\bar{x}, \bar{y}, \bar{z})$ ヲ是等ノ物體ノ centre of mass ト云フ、centre of gravity ヲ $(\bar{x}_0, \bar{y}_0, \bar{z}_0)$ トス。レバ

$$\left. \begin{aligned} \bar{x}_0 &= \frac{\sum dw x}{W}, \\ \bar{y}_0 &= \frac{\sum dw y}{W}, \\ \bar{z}_0 &= \frac{\sum dw z}{W} \end{aligned} \right\}$$

然ルニ $dw = dm g$, 故ニ

$$\begin{aligned} \bar{x}_0 &= \frac{\sum dw x}{W} = \frac{\sum dm g x}{Mg} \\ &= \frac{g \sum dm x}{Mg} \\ &= \frac{\sum dm x}{M} \end{aligned}$$

故ニ

$$\left. \begin{aligned} \bar{x} &= \bar{x}_0 \\ \bar{y} &= \bar{y}_0 \\ \bar{z} &= \bar{z}_0 \end{aligned} \right\}$$

故ニ centre of gravity ハ centre of mass ニアリ。

111. Rigid Bodies.

或質點群ニ於テ各質點相互間ノ距離カ不變ナルモノナル時其群ハ Rigid Body ナリト云フ。

112. 質點群ニ働ケル諸力。

質點ノ群ニ働ケル諸力ノ中ニハ自己ノ群ニ屬セザル他ノ群ヨリ働カル、諸力アリ、是等ノ力ヲ external forces ト云フ又或質點ノ群ニ屬スル或質點カ自己ノ屬スル群ノ内ノ他ノ質點ヨリ受クル諸力アリ、之ヲ其質點ニ働ケル internal forces ト云フ、Newton ノ第三運動定律ニヨリ或質點群内ノ質點 A ガ同一群内ノ他ノ質點 B ヨリ受クル internal force ハ、B カ A ヨリ受クル internal force ト大サ等シク方向反對ナリ、故ニ或質點群ノ internal forces ハ是等ノ大サ等シク方向反對ニシテ同一直線上ニアルニ力ノ數多ノ組合ヨリ成レリ。

或質點ニ働ケル internal forces 及ビ external forces ノ resultant ヲ其質點ニ働ケル effective forces ト云フ、其質點ノ質量ヲ dm トシ、其質點ノ受クル acceleration ヲ a トスレバ effective force ハ

$$dm a$$

ナリ

113. D'Alembert's Principle.

或質點群ニ於テ其群ノ總テノ質點ノ effective forces ノ總體ハ總テノ external 及ビ internal forces ヨリ成ルヲ以テ、effective forces ノ resultant ハ external forces 及ビ internal forces ノ resultant ニ同シ然ルニ internal forces ハ大サ等シク方向反對ニシテ同一直線上ニアルニ力ノ數多ノ組合ヨリ成ルヲ以テ internal forces ノ resultant ハ零ナリ故ニ

I. 任意ノ質點群ニ付 effective forces ノ resultant ト external forces ノ resultant トハ大サ等シク方向モ亦同一ナリ。

之ヲ更ニ換言スレバ

II. Effective forces ノ resultant ノ方向ヲ反對ニセシ力ト external forces ノ resultant トハ釣合ニアリ。

114. Rigid body ノ translation.

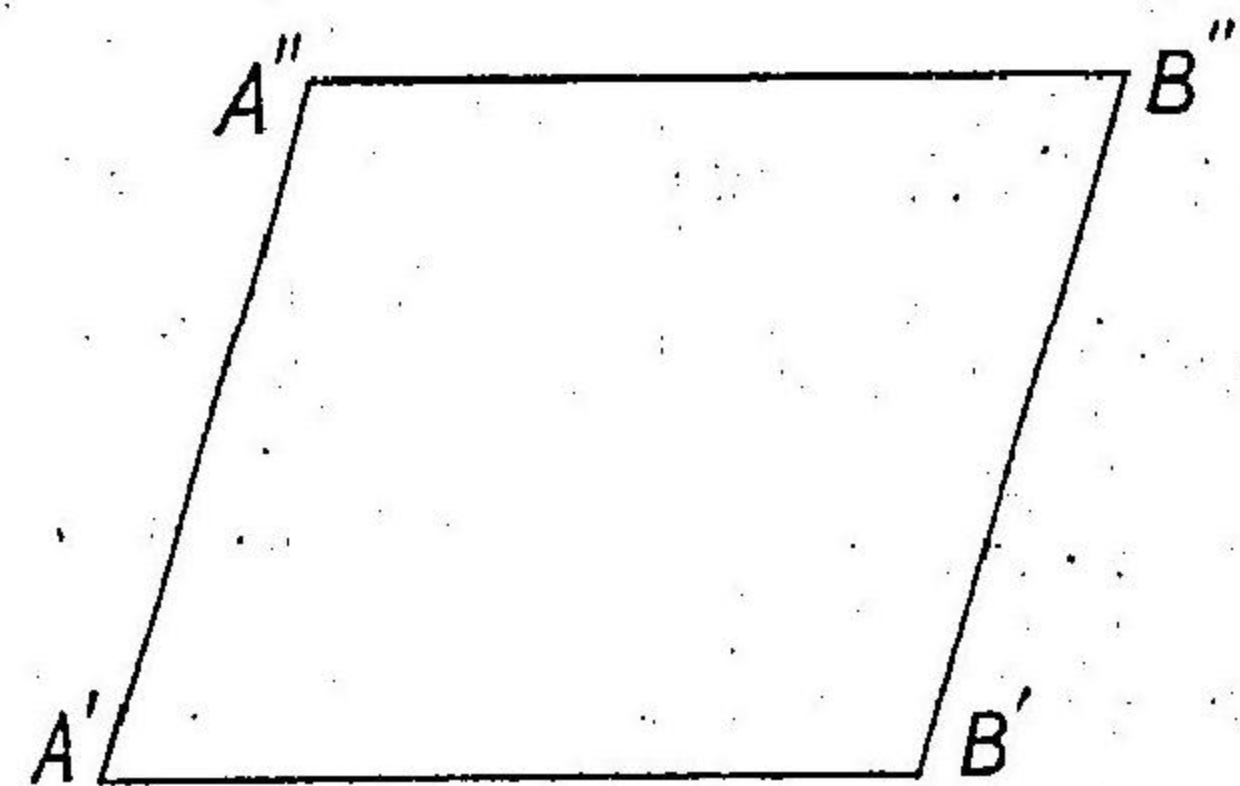
運動體内ノ各直線ガ運動ノ間方向一定セル時、其運動ヲ Translation ト云フ。

A, B ヲ translation ヲナセル運動體内ノ任意ノ二點トス、是等ノ點ハ或瞬時ニ夫々 A', B' ニアリ、次ノ他ノ瞬時ニ A'', B'' ニアリトス、定義ニヨリ $A'B'$ ト $A''B''$ トハ平行セリ、又 rigid body ナルヲ以テ

$$A'B' = A''B''$$

ナリ、故ニ四邊形 $A'B'A''B''$ ハ平行四邊形ナリ、而シテ

$$A'A'' = B'B''$$



且 $A'A''$ と $B'B''$ とハ平行ナリ故ニ此時間ニ於テ A 點ノ displacement と B 點ノ displacement とハ大サ並ニ方向トモ全ク同一ナリ從テ translation ヲナセル剛體ヲ組成スル各點ノ有スル velocity 及ビ acceleration ハ總テノ點ニ付大サ並ニ方向トモ同一ナリ。

115. Translation ヲナセル剛體ニ働ケル effective forces ノ合力。

前條ニ述べタル如ク translation ニ於テハ各質點ノ acceleration ハ大サ方向トモニ等シキヲ以テ各質點ノ effective force ハ夫々ノ質量ニ比例シ是等 effective forces ハ平行力ヲ成ス故ニ effective forces ノ合力ハ其平行力ノ centroid ニ働ケル單一ナル力ナリ。

質點ノ質量ヲ夫々 dm_1, dm_2, dm_3 等トシ各質點ニ共通セル acceleration ヲ a トスレバ effective forces ノ resultant ハ

$$dm_1 a + dm_2 a + dm_3 a + \dots = a \sum dm$$

$$= ma$$

但シ m ハ質點ノ質量ノ總和ナリ。

External forces ノ合力ヲ R トスレバ D'Alembert ノ Principle ニヨリ

$$R = ma$$

各質點ノ effective forces ヲ成レル平行力ノ centroid 即チ ma ノ着力點ヲ $(\bar{x}_0, \bar{y}_0, \bar{z}_0)$ トシ此物體ノ centre of mass ヲ $(\bar{x}, \bar{y}, \bar{z})$ トスレバ

$$\bar{x}_0 = \frac{\sum dm ax}{ma} = \frac{\sum dm x}{m} = \bar{x}$$

同様ニ

$$\bar{y}_0 = \bar{y}$$

$$\bar{z}_0 = \bar{z}$$

故ニ ma ノ着力點ハ其物體ノ centre of mass ナリ。

116. Rotation.

運動體內又ハ運動體ノ extension 内ニ於ケル一ノ直線ガ固定セル運動ヲ Rotation ト云フ其固定直線ヲ rotation ノ軸ト云フ rotation ニ於テハ其物體ノ各質點ハ軸上ニ中心ヲ有シ軸ヨリ其點ニ至ル距離ヲ半径トセル圓運動ヲナス而シテ軸ハ是等ノ圓面ニ直角ニ交ハル。

Rotation ニ於テ其軸ト直角ニ交ハル平面ヲ名ケテ Rotation ノ平面ト云フ。

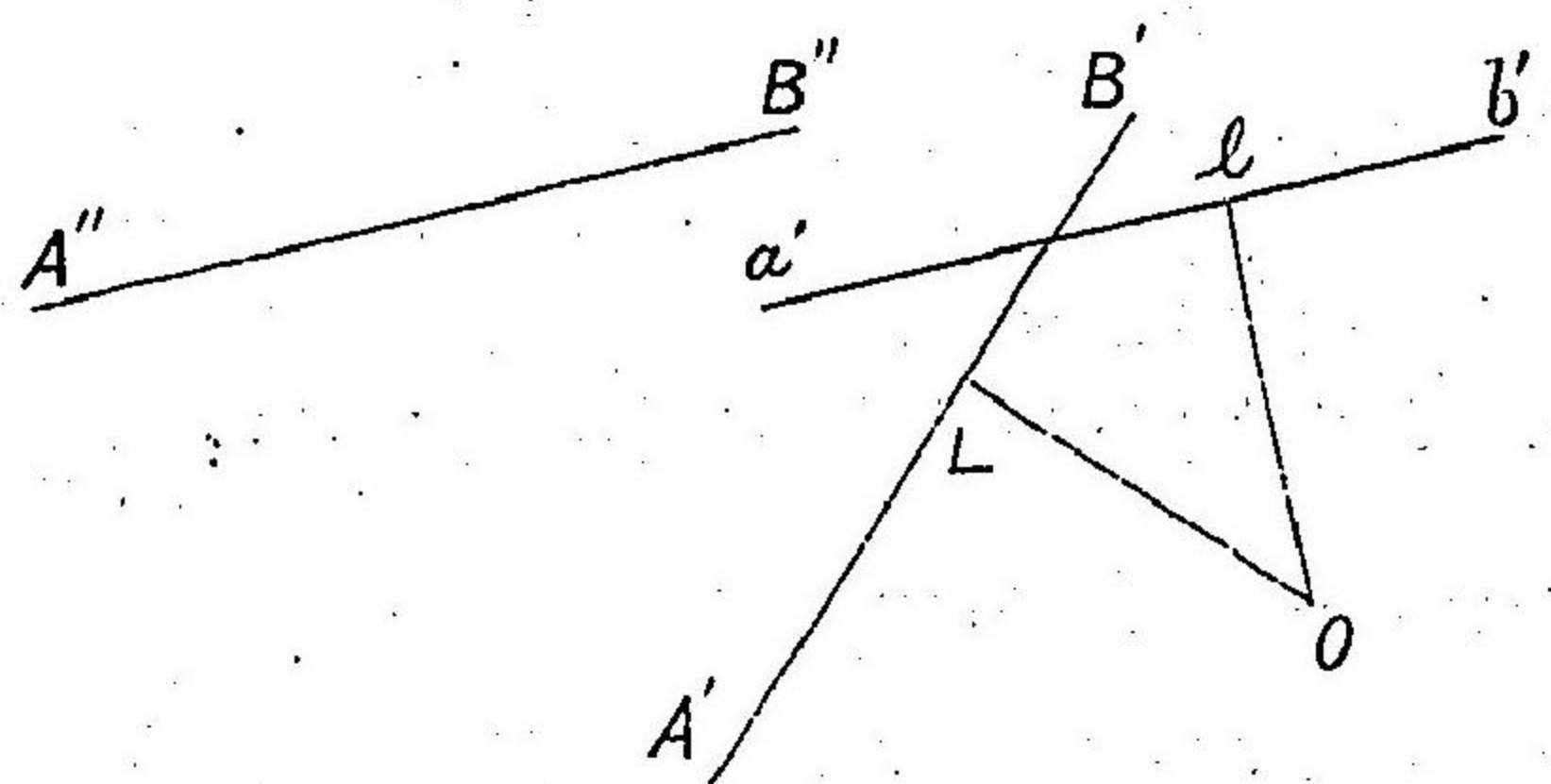
Rotation ノ軸ニ平行ナル任意直線上ノ各點ハ同一ノ運動ヲナス故ニ rotation ノ平面上ニ其直線ノ正射影ノ運動ハ其直線上ノ總テノ運動ヲ表ハスベシ從テ物體全體ノ運動ハ rotation ノ平面ニ其物體ノ正射影ノ運

動ニヨリテ表ハサル。

117. Plane Motion.

運動體ノ各點ガ運動ノ間或定マレル平面ヨリ一定距離ニアル時其運動ヲ Plane Motion ト云フ、其平面ヲ運動ノ平面ト云フ。

A, B ヲ plane motion ヲナセル剛體内ノ二點トス共ニ運動ノ平面上ニアリトス、或瞬時ニ是等ノ二點ハ A', B' ナル位置ニアリ、次ノ或瞬時ニ A'', B'' ナル位置ヲ占メ



タリトス、即チ物體ハ A', B' ニテ定マル可キ位置ヨリ A'', B'' ニテ定マルベキ位置迄此時間ニ displacement ヲ受ケタルナリ、此 displacement ハ種々ナル方法ヲ以テ仕遂クルコトヲ得ベシ。

O ヲ運動ノ平面上ノ任意ノ點トス、先ヅ物體ヲ A'B' ガ A''B'' ニ平行ナル位置 a'b' ナル位置ヲ占ムル迄 O 點ヲ中心トシテ廻轉シ然ル後物體ヲ a'A'', 又ハ a'B'' ニ平行ニ translation ヲナサシメ、a'b' ヲシテ A''B'' ニ合セシム、此クノ如ク一回ノ rotation ト之ニ次クトコロノ translation トニヨリテ、A'B' ナル位置ヨリ A''B'' ナル位置ヘ移

スコトヲ得タリ、OL 及ビ Ol ハ夫々 O ヲリ A'B' 及ビ a'b' へ下セル垂線ナリ、然ル時 LOl ナル角ハ物體ガ廻轉セル角ナリ、此角ハ A'B' ト a'b' トノ間ノ角、即チ A'B' ト A''B'' トノ間ノ角ニ等シキヲ以テ物體ガ A'B' ナル位置ヨリ A''B'' ナル位置ヘ移サル、爲ニ廻轉スベキ角ノ大サハ O 點ノ位置ニ關セズ同一ナルモノナリ、然レドモ translation ニヨル displacement ハ O 點ノ位置ニヨリテ異ナレリ。

又次ノ如キ方法ニヨリテモ物體ヲ A'B' ナル位置ヨリ A''B'' ナル位置ヘ移スコトヲ得。

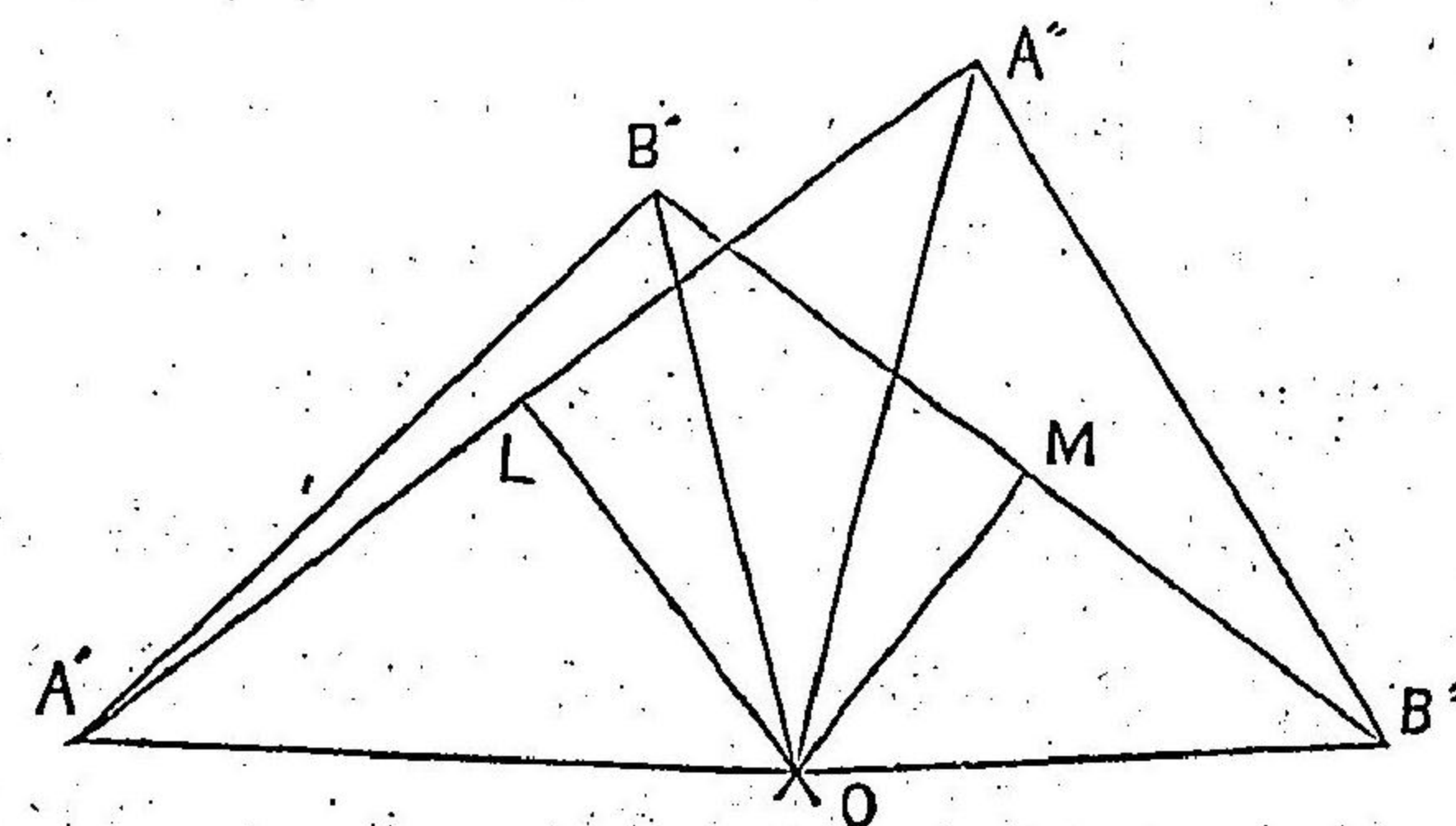
A' ト A'' ト及ビ B' ト B'' トヲ結ブベシ、A'A'' 及ビ B'B'' ヲ夫々 L 及ビ M ニテ等分シ、L ヲリ A'A'' へノ垂線、及ビ M ヲリ B'B'' へノ垂線ノ交點ヲ O トスレバ

$$OA' = OA'',$$

$$OB' = OB'',$$

$$A'B' = A''B''$$

故ニ三角形 A'OB' ト三角形 A''OB'' トハ全ク相等シ



而シテ

$$\text{角 } A'OB' = \text{角 } A''OB''$$

$$\therefore \text{角 } A'OA'' = \text{角 } B'OB''$$

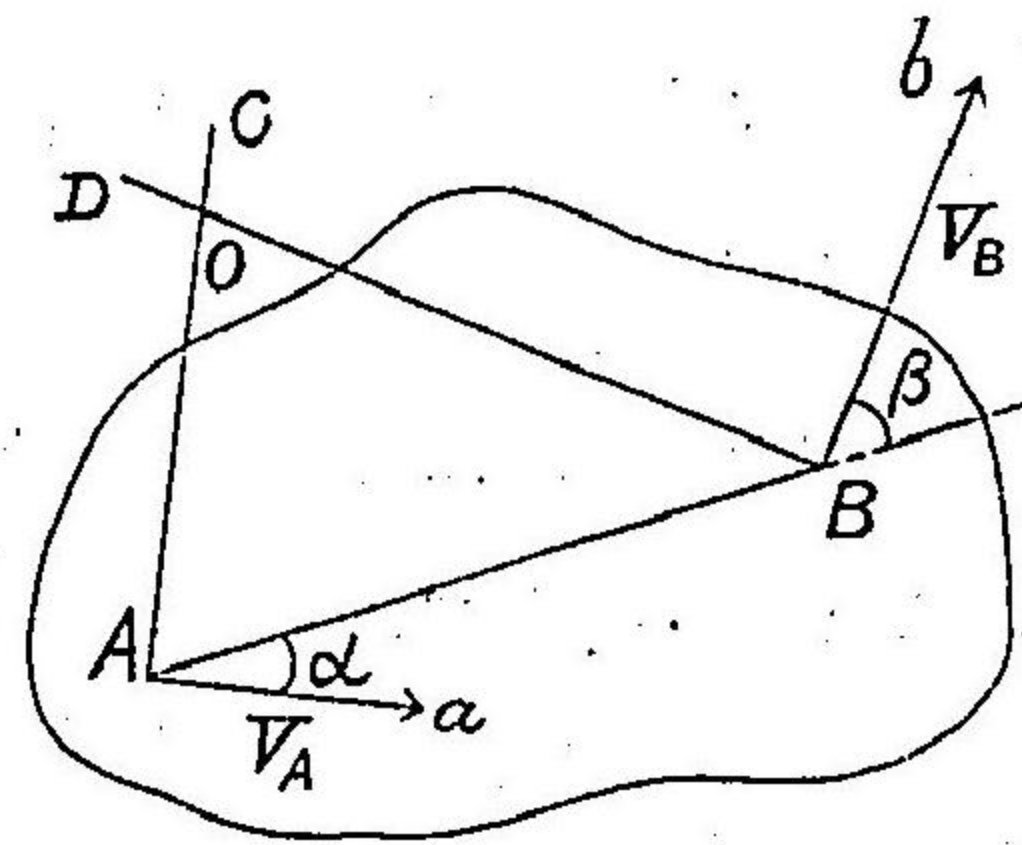
故ニ物體ヲ O ヲ中心トシテ角 $A'OA''$ ダケ廻轉スレバ物體ヲ $A'B'$ ノ位置ヨリ $A''B''$ ノ位置ヘ移スコトヲ得。

118. Instantaneous Rotation.

前條ヨリ plane motion ハ或瞬時ニ於テ或點ヲ通シ運動平面ニ直角ナル直線ヲ軸トセル Instantaneous Rotation ト見ラル、コトガ知ラル、此クノ如ク任意ノ plane motion ガ instantaneous rotation ナルコトハ更ニ次ノ如ク考ヘテモ知ラルベシ。

A, B ハ plane motion ヲナセル剛體內ノ二點ニシテ運動平面上ニアリトス、紙面ヲ運動平面トス、或時ニ A ハ Aa ノ方向ヘ、 B ハ Bb ノ方向ヘ動キツ、アリトス、 Aa, Bb ガ AB トナセル角ヲ夫々 α, β トス、 Aa ヘノ垂線 AC ト、 Bb ヘノ垂線 BD トハ O ニテ會スベシ、或瞬時ニ於テ A ノ運動ハ AC 上ニ中心ヲ有スル圓運動ト見ルモ A ノ運動方向ノミニ付テハ差支無シ、同様ニ B ノ運動ハ BD 上ニ中心ヲ有スル圓運動ト見ルモ其運動方向ノミニ付テハ差支無シ、故ニ此瞬時ニ於テ運動平面上ヘノ物體ノ正射影ノ運動ハ、 O ヲ中心トセル rotation ト見ルモ其運動方向ノミニ付テハ差支無シ、即チ此瞬時ニ於テ物體ハ O ヲ通シ運動平面ニ直角ニ交ハレル直線ヲ

軸トシテ rotation ヲナシツ、アルモノト見ルモ其運動方向ノミニ付テハ差支無キモノナリ。



A ノ velocity ヲ V_A, B ノ velocity ヲ V_B トス、 A ト B トノ距離ハ一定不變ナルヲ以テ、 AB ノ方向ニ於ケル A 及ビ B ノ component velocities ハ大サ方向トモニ同一ナラザル可ラサルヲ以テ

$$V_A \cos \alpha = V_B \cos \beta$$

$$\therefore V_A \sin OAB = V_B \sin OBA$$

$$\therefore \frac{V_A}{V_B} = \frac{\sin OBA}{\sin OAB} = \frac{AO}{BO}$$

若シモ正射影カ O ヲ中心トシテ rotation ヲナスナラバ

$$\frac{V_A}{V_B} = \frac{AO}{BO}$$

故ニ此瞬時ニ於テ正射影ノ運動ハ、 O ヲ中心トセル rotation ト見ルモ其運動方向ニ付テノミナラズ、其各點ノ velocity ノ大サニ付テモ差支無シ、是故ニ物體ハ此瞬時ニ於テ、 O ヲ通シ運動平面ニ直角ニ交ハレル直線ヲ

軸トセル rotation ヲナシツ、アルモノト見ルモ差支無シ。

○ヲ此瞬時ニ於ケル Instantaneous Centre ト云フ。此點ハ時ト共ニ其位置ヲ變ズ、其 locus ヲハ名ケテ Centroid ト云フ。

Instantaneous centre ヲ通ジ運動平面ニ直角ニ交ハレル直線ヲ Instantaneous Axis ト云フ、而シテ其 locus ヲ Axode ト云フ。

119. Centripetal Force ト Centrifugal Force.

一樣ナル speed ノ圓運動ヲナセル點ニハ常ニ中心ニ向ヘル acceleration アリ、其大サハ v ヲ speed トシテ半徑トスレバ

$$\frac{v^2}{r}$$

angular velocity ヲ ω トスレバ

$$r\omega^2$$

ニテ表ハサル。

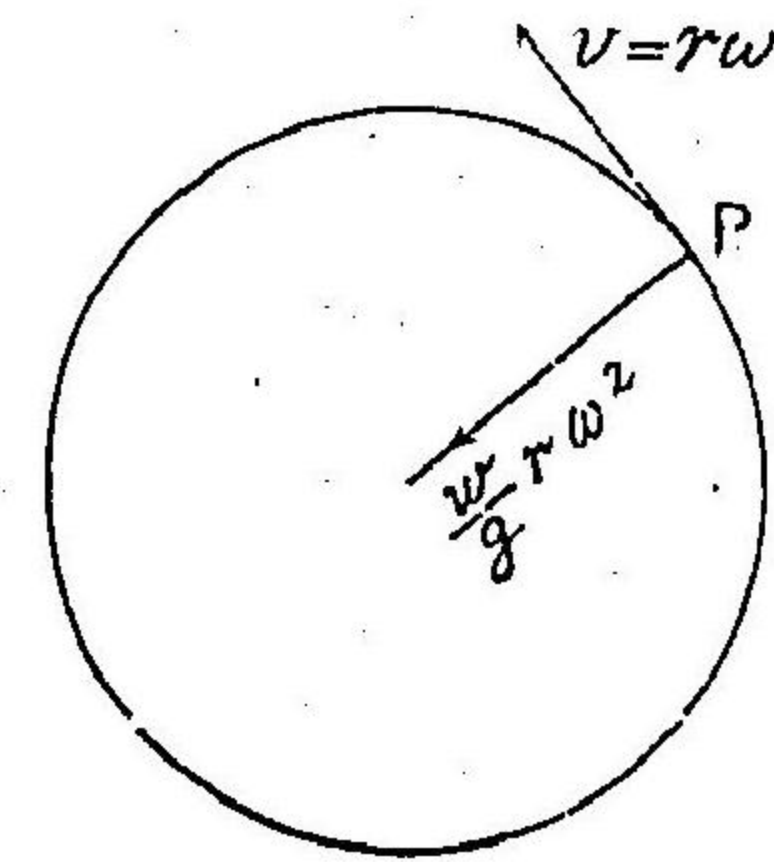
此質點ノ重量ヲ w トス然ル時

$$\frac{w}{g} \frac{v^2}{r} \text{ 又ハ } \frac{w}{g} r \omega^2$$

ハ此質點ニ作用セル力ニシテ其方向ハ acceleration ノ方向、即チ常ニ圓ノ中心ニ向ヘリ、之ヲ Centripetal Force ト云フ、而シテ所謂 Centrifugal Force ナルモノハ此 Reaction ヲ指セルモノナリ、centripetal force ハ質點カ圓運動ヲナス爲ニ他ノ物體ヨリ此ノ質點ニ働ケル力ニシテ常ニ中

心ニ向ヘリ、centrifugal force ハ其 reaction ニシテ centripetal force ト大サ等シク方向反對ナリ、即チ中心ヨリ外方ヘ向ヘリ、

圓運動ヲナセル質點 P ニ働ケル力ハ centripetal force ニシテ centrifugal force ニハアラザレドモ、此種ノ問題ヲ考フルニ centripetal force ヲ時トシテ考フルコトアリ。



A, B ハ二個ノ質點ニシテ其重量ヲ夫々 w_1, w_2 トス、此二點ハ同一平面ニアリテ O ヲ中心トシテ一樣ナル angular velocity ω ヲ以テ廻轉セルモノトス。

OA = r_1 , OB = r_2 トス、A ノ centrifugal force ヲ F_1 トスレバ

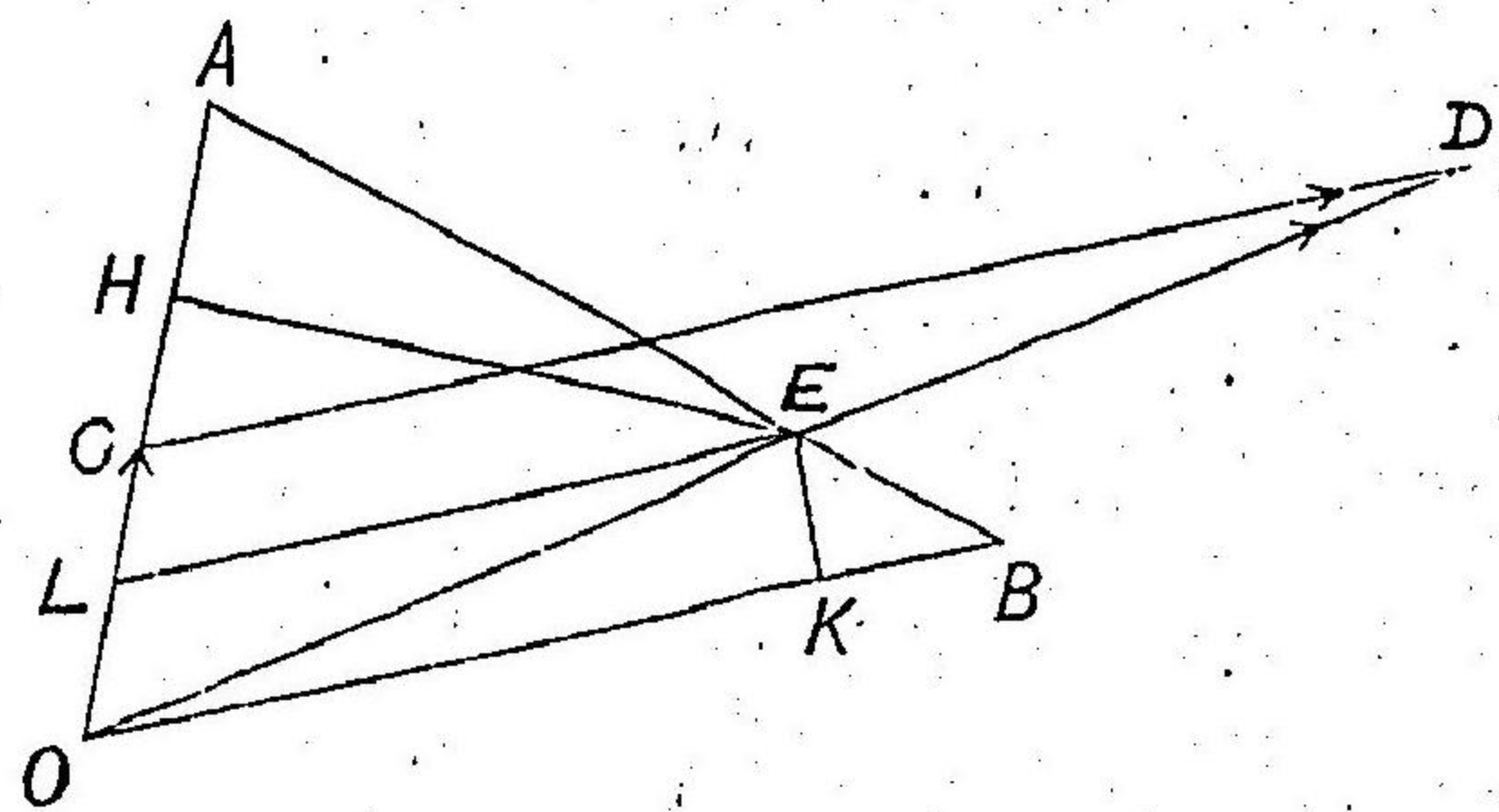
$$F_1 = \frac{w_1 \omega^2 r_1}{g}$$

其方向ハ O ヲリ A ニ向フ、B ノ centrifugal force ヲ F_2 トスレバ

$$F_2 = \frac{w_2 \omega^2 r_2}{g}$$

其方向ハ O ヲリ B ニ向フ。

OA 上ニ OC ヲ F_1 ニ等シク採リ、OB ニ平行ニ CD ヲ F_2 ニ等シクナセバ、OD ハ F_1 ト F_2 トノ二力ノ合力ナル centrifugal force ニシテ O ヲリ D ニ向フ、AB ト OD トノ交點ヲ E トス、E ヲリ OA, OB へ夫々垂線 EH ト EK トヲ引ク、又 E ヲリ OB ニ平行、即チ CD ニ平行ニ LE ヲ引



クベシ然ル時 E ハ合力 OD ノ作用線上ニアルヲ以テ E ニ關スル F_1 ノ moment ト F_2 ノ moment トハ其大サ相等シ故ニ

$$\frac{w_1 r_1 \omega^2 \cdot \overline{EH}}{g} = \frac{w_2 r_2 \omega^2 \cdot \overline{EK}}{g}$$

$$\therefore \frac{w_1}{w_2} = \frac{r_2 \cdot \overline{EK}}{r_1 \cdot \overline{EH}} = \frac{\Delta OBE}{\Delta OAE} = \frac{BE}{AE}$$

故ニ E ハ A ト B トノ centre of gravity ナリ

又

$$\frac{OL}{OA} = \frac{BE}{BA} = \frac{w_1}{w_1 + w_2}$$

$$\therefore OL = \frac{w_1 r_1}{w_1 + w_2}$$

尙

$$\frac{OD}{OE} = \frac{OC}{OL} = \frac{F_1 (w_1 + w_2)}{w_1 r_1}$$

$$= \frac{w_1 \omega^2 r_1 (w_1 + w_2)}{g w_1 r_1}$$

故ニ

$$\frac{OD}{OE} = \frac{(w_1 + w_2) \omega^2}{g}$$

OD=F, OE=r トスレバ

$$F = \frac{(w_1 + w_2)}{g} r \omega^2$$

故ニ A 及ビ B ノ centrifugal forces ノ合力ハ A ト B トノ centre of mass ニ A ノ質量ト B ノ質量トカ集リテ成レル一個ノ質點ノ centrifugal force ニ等シ

或平面板アリテ其平面ニ直角ナル軸ノ周圍ニ廻轉セリ此平面板ハ數多ノ質點ヨリ成ルモノト見ルコトヲ得是等質點ノ重量ヲ夫々 w_1, w_2, w_3 等トス然ル時前述ノ理ニヨリ w_1 ナル點ノ centrifugal force ト w_2 ナル點ノ centrifugal force トノ合力ハ此二點ノ centre of mass ニ $(w_1 + w_2)$ ナル重量ノ物體ノ centrifugal force ニ等シ又 w_1, w_2, w_3 ナル各點ノ centrifugal forces ノ合力ハ此三質點ノ centre of mass ニ是等三點ノ全質量ガ集マリテ成レル一質點ノ centrifugal force ニ等シ追テ此ノ如シ故ニ與ヘラレタル平面板ノ働クトコロノ centrifugal force ハ其全質量ガ其物體ノ centre of mass ナル一點ニ集マリテ成レル一個ノ質點ノ centrifugal force ニ等シ

物體ハ數多ノ薄キ plates ヨリ成ルモノト見做スコトヲ得是等各 plate ノ centre of mass カ皆物體ノ廻轉軸ニ平行ナル同一直線上ニ存在セル場合ニハ物體ノ centrifugal force ハ其物體ノ centre of mass ニ全質量ガ集マリテ成レル一個ノ質點ノ centrifugal force ニ等シ

120. Momentum ノ Moment.

廻轉體ノ或質點ノ質量ヲ dm トシ、廻轉軸ヨリノ距離ヲ r トシ、物體廻轉ノ angular velocity ヲ ω トスレバ dm ノ linear momentum ハ

$$dm r \omega$$

ナリ、此 momentum ノ廻轉軸ニ關スル moment ハ

$$dm r^2 \omega$$

物體全部ニ付

$$\Sigma dm r^2 \omega = \omega \Sigma dm r^2$$

然ルニ廻轉軸ニ關スル物體ノ moment of inertia ハ

$$I = \Sigma dm r^2$$

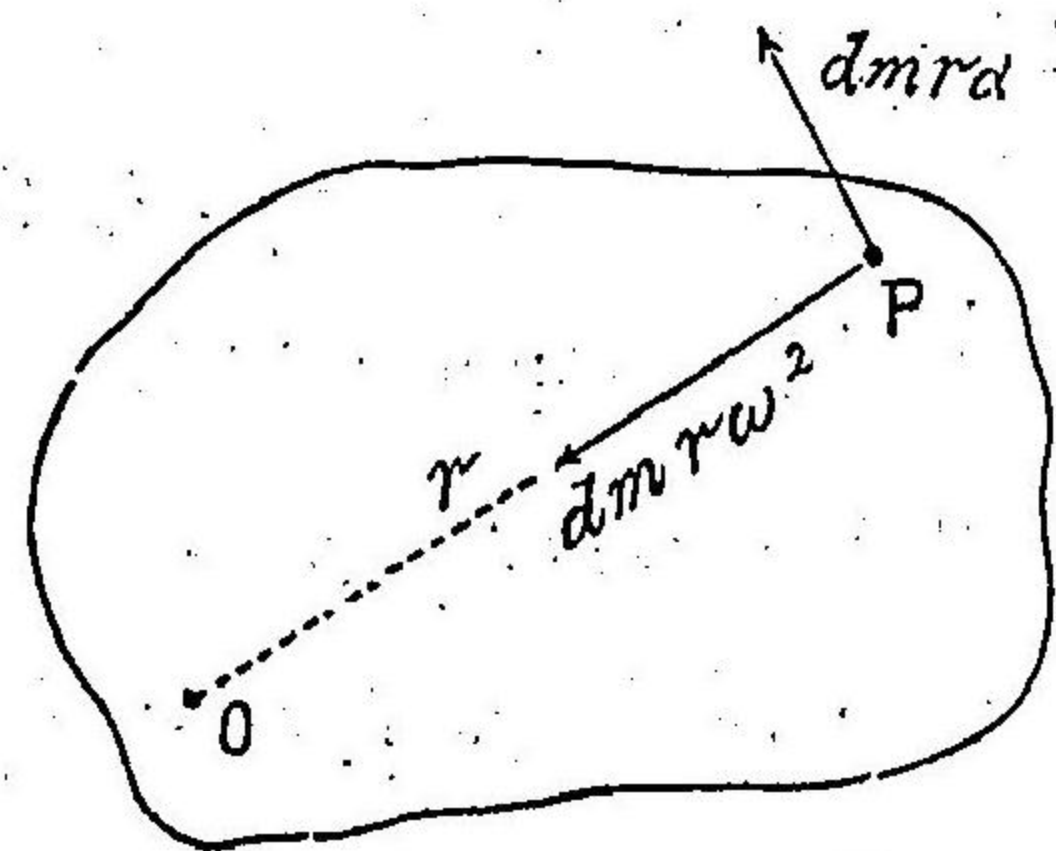
故ニ上式ハ

$$I \omega$$

之ヲ廻轉軸ニ關スル物體ノ momentum ノ moment 又ハ angular momentum ト云フ。

121. Rotation = 付テノ Equation of Motion.

P ハ廻轉體內ノ任意ノ點ナリ、其質量ヲ dm トス、O 點ヲ rotation ノ軸ノ位置トス、軸ヨリ P ニ至ル距離ヲ r



トス、或瞬時ニ於ケル物體ノ angular velocity ヲ ω トス、angular acceleration ヲ a トス、P ハ O 點ヲ中心トシテ圓ヲ畫クベシ。

P ニ作用セル effective force ノ P ノ道ニ切線ノ方向ノ分力ハ

$$dm r a$$

ナリ、道ニ normal ナル分力ハ

$$dm r \omega^2$$

ナリ、P ノ effective force ノ O ニ關スル moment ハ上記二分力ノ moments ノ和ナルモ、二分力ノ内後者ノ O ニ關スル moment ハ零ナリ、故ニ P ノ effective force ノ O ニ關スル moment ハ $dm r a$ ノ O ニ關スル moment $dm r a \cdot r$ 即チ

$$a dm r^2$$

故ニ物體ヲ組織セル總テノ質點ニ働ケル effective forces ノ O ニ關スル moments ノ和ハ

$$a \Sigma dm r^2$$

然ルニ $\Sigma dm r^2$ ハ廻轉軸ニ關スル物體ノ moment of inertia I ナリ、故ニ上式ハ

$$I a$$

ニテ表ハサル、D'Alembert ノ Principle ニヨリテ一般ニ effective forces ノ moments ノ和ハ external forces ノ moments ノ和ニ等シキヲ以テ、此物體ニ働ケル external forces ノ軸ニ關スル moments ノ和ヲ ΣM トスレバ

$$\Sigma M = I a$$

122. Compound Pendulum.

centre of mass ヲ通ゼザル水平直線ヲ軸トシテ廻轉セル物體ヲ compound pendulum ト云ヒ、又ハ Physical pendulum トモ云フ。

C ハ重心ナリ、S ハ廻轉軸ノ位置ナリ、W ヲ物體ノ重量トス、SN ハ鉛直線ナリ、SC ハ SN ト角 θ ヲナセリ、又 $SC=l$ トス、廻轉軸ニ關スル物體ノ radius of gyration ヲ κ トス、然ル時廻轉軸ニ付重量ノ moment ハ

$$Wl \sin \theta$$

ナリ、angular acceleration ヲ ω トスレバ

$$\omega = -\frac{Wl \sin \theta}{\frac{W}{g} \kappa^2}$$

廻轉軸ニ平行ニシテ重心ヲ通ズル軸ニ關スル物體ノ radius of gyration ヲ κ_0 トスレバ

$$\dot{\omega} = -\frac{Wl \sin \theta}{\frac{W}{g} (\kappa_0^2 + l^2)}$$

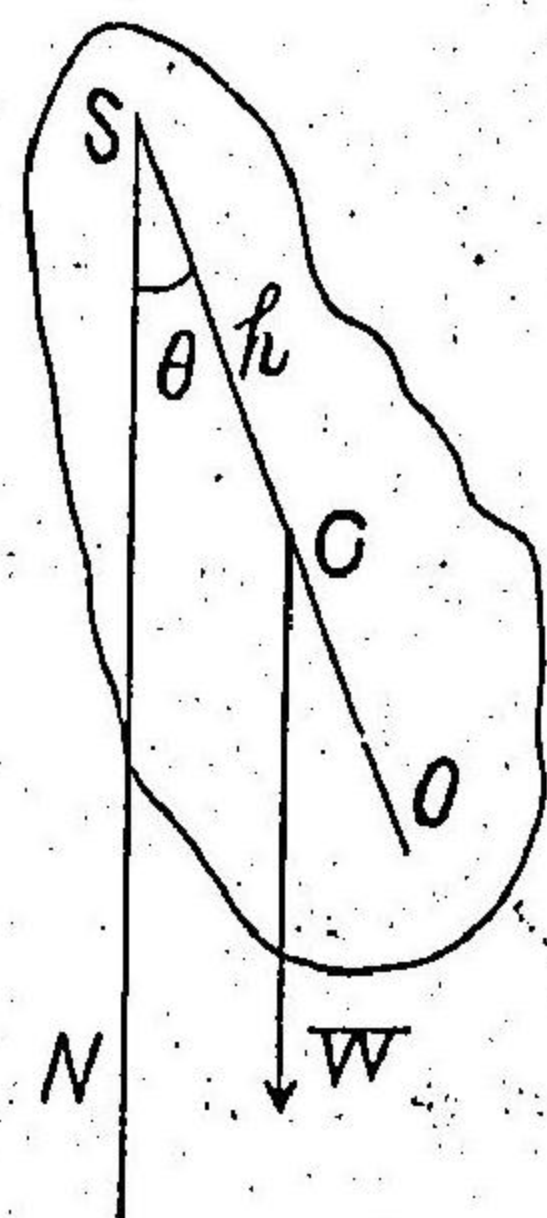
故ニ ω ハ SC ノ鉛直ナル位置ヨリノ displacement ニ比例ス、物體ノ運動ガ

$$\sin \theta = \theta$$

ト見做シ得ル程ニ小ナル場合ニハ

$$\dot{\omega} = -\frac{gl}{\kappa_0^2 + l^2} \cdot \theta$$

然ルニ simple pendulum ニ於テ其長サヲ l トスレバ



$$\dot{\omega} = -\frac{g}{l} \theta$$

故ニ compound pendulum ハ

$$l = \frac{\kappa_0^2 + l^2}{l}$$

ナル長サノ simple pendulum ト見做スコトヲ得。

Pendulum ガ simple pendulum ナル時 period ヲ T トスレバ

$$T = 2\pi \sqrt{\frac{l}{g}}$$

故ニ compound pendulum ニ於テハ

$$T = 2\pi \sqrt{\frac{l^2 + \kappa_0^2}{gl}}$$

SC ヲ O マデ延長シ SO ヲ $l =$ 等シカラシムベシ、S ヲ centre of suspension ト云ヒ、O ヲ centre of oscillation ト云フ、SO ヲ equivalent simple pendulum ノ長サト云フ。

$$l = \frac{\kappa_0^2 + l^2}{l}$$

故ニ

$$\begin{aligned} \kappa_0^2 &= l(l-l) \\ &= \overline{SC} \cdot \overline{CO} \end{aligned}$$

更ニ O ヲ centre of suspension トシテ物體ヲ振動セシム、OC ヲ延長シ OC 上ニ S' ヲ OS' ガ新ニ得タル compound pendulum ト isochronous ナル simple pendulum ノ長サニ等シクアル様ニ定ム、然ル時

$$\kappa_0^2 = \overline{OC} \cdot \overline{CS'}$$

故ニ S ト S' トハ一致ス、故ニ centre of suspension ト centre of oscillation トヲ取替フルモ period ヲ變セズ。

123. Ballistic Pendulum 及ヒ Centre of Percussion.

M ヲ pendulum ノ質量トシ m ヲ彈丸ノ質量トス、O ヲ廻轉軸ノ位置トス、此軸ニ關スル物體ノ radius of gyration ヲ K トス、彈丸ガ pendulum ヲ打ツ時ノ velocity ヲ v トシ衝突ニヨリテ起レル angular velocity ヲ ω トス、r ヲ O ヲヨリ blow ノ作用線ニ至ル距離トスレハ彈丸ノ velocity ハ $r\omega$ ナリ、突入時間ハ極メテ小ナルヲ以テ、 angular displacement ハ零ト見做シ得ベシ、故ニ彈丸ガ突入シ終リタル瞬時ニ於ケル彈丸ノ velocity $r\omega$ ハ水平ノ方向、即 blow ノ方向ナリト見ルコトヲ得。

Pendulum ヲヨリ彈丸ニ作用セル impulse 及ヒ彈丸ニヨリ pendulum ニ作用セル impulse ノ大サハ

$$m(v - r\omega)$$

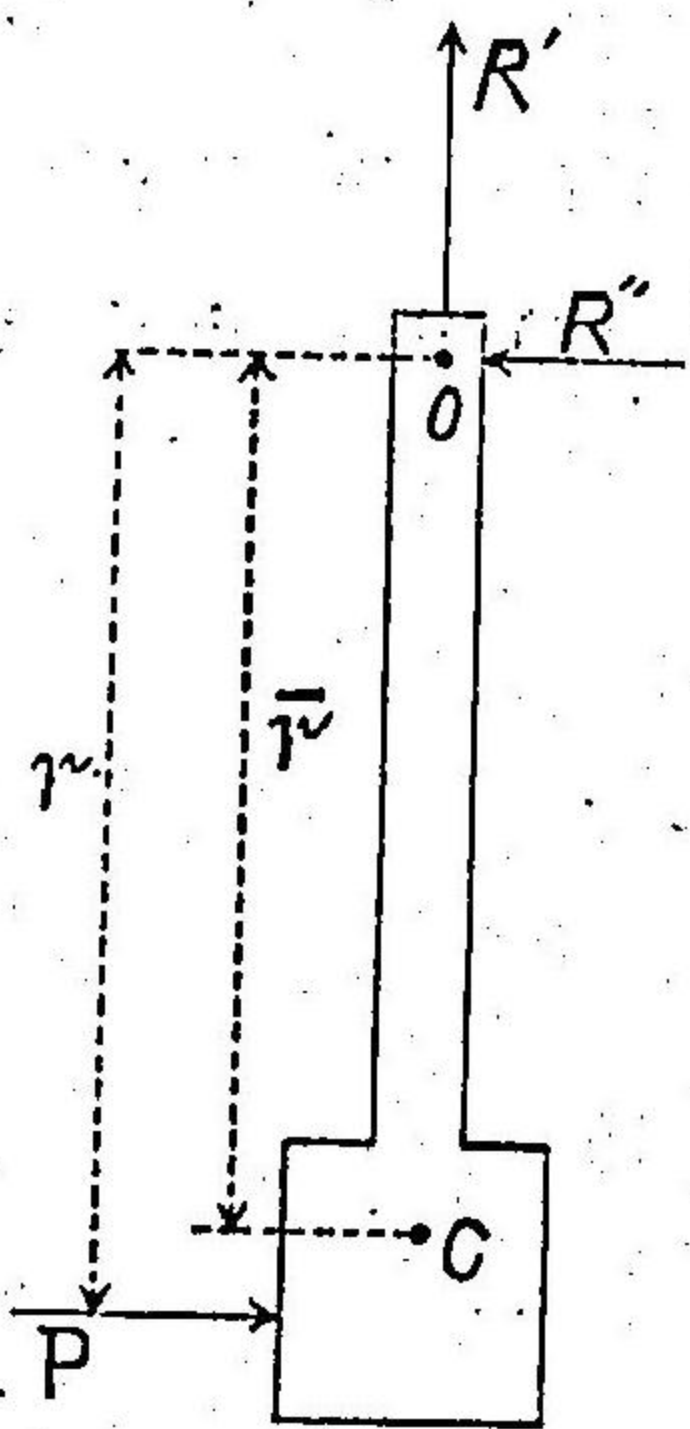
pendulum ノ上ヘ働ケル彈丸ノ impulse ノ軸ニ關スルトコロノ moment ハ

$$\frac{Pt}{m(v - r\omega)r}$$

又 blow ノ間ニ於テ pendulum ノ momentum ノ moment ノ變化ハ

$$MK^2\omega$$

故ニ



$$m(v - r\omega)r = MK^2\omega$$

$$v = \frac{(MK^2 + mr^2)\omega}{mr}$$

R' 及ビ R'' ヲ blow ノ際ニ於ケル pendulum ヘノ hinge reaction ノ鉛直及ビ水平分力トス、P ヲ以テ blow ノ大サヲ表ハシ、t ヲ其時間トス、r ヲ支持點 O ト centre of gravity C トノ距離トス、pendulum ノ momentum ハ水平方向ヘ

$$M\bar{r}\omega$$

故ニ次ノ關係アリ

$$R't - Wt = 0,$$

$$Pt - R''t = M\bar{r}\omega,$$

$$Ptr = MK^2\omega$$

但シ W ハ pendulum ノ重量ナリ。

故ニ

$$\left. \begin{aligned} R' &= W \\ R'' &= \frac{M\omega\left(\frac{K^2}{r} - \bar{r}\right)}{t} \end{aligned} \right\}$$

故ニ R' ハ blow ニ關係無キモノナリ、若シモ blow カ O ヲヨリ

$$\frac{K^2}{\bar{r}}$$

ダケ下方ニアル點ニ加ヘラル、ナラバ

$$R'' = 0$$

即チ此クノ如キ位置ニ於テ pendulum ヲ打ツモ其爲ニ
 Oヲ通スル軸ニ衝撃ヲ與ヘズ此點ヲ centre of Percussion
 ト云フ、Oヨリ鉛直下方へ

$$\frac{K^2}{F}$$

ノ位置ニアリ此點ハ centre of oscillation ト一致ス。

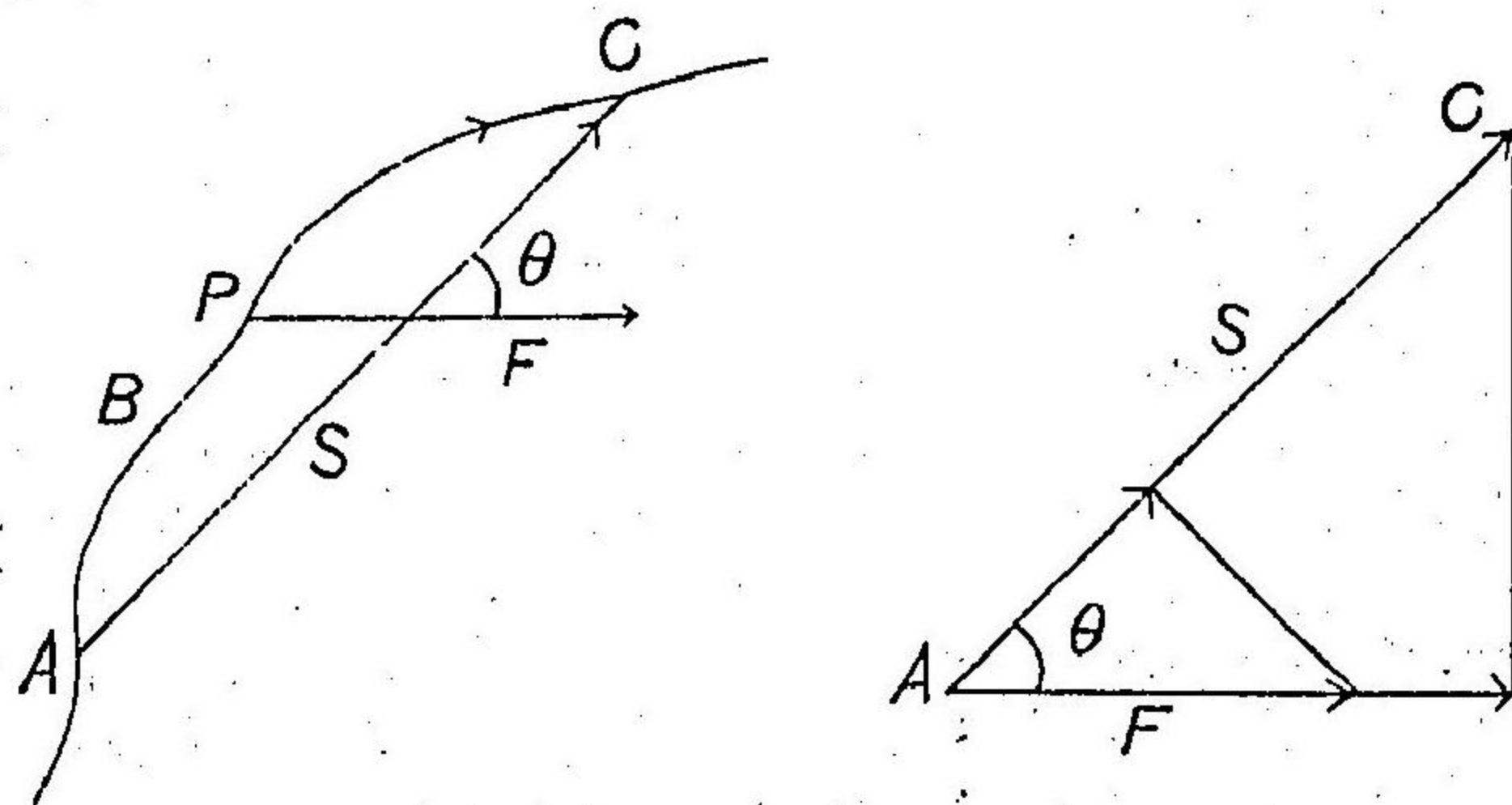
第 拾 壹 章

Work 及 ビ Energy.

124. Work.

物體ガ力ノ作用ヲ受ケツ、動キ其力ノ作用線ニ沿
 ヒテ displacement ノ component ヲ有スル時其力ニヨリテ
 物體ノ上ニ Work ガ爲サレタリト云フ。

Work ハ物體ニ働ケル力ノ大サト其力ニ働カレナガ
 ラ受ケタル displacement ノ力ノ作用線ニ沿ヘル component
 ノ大サトノ乗積ニテ測ラル。



故ニ若シモ一定ノ力 F ノ作用ヲ受ケツ、物體ガ其
 力ノ方向へ displacement S ヲ受ケタリトセバ、Fニヨリ
 此物體ノ上ニ爲サレタル work W ハ

$$W = FS$$

若シモ F ト S トカ角 θ ヲナセルナラバ

$$W = F \cdot S \cos \theta$$

圖ニ於テ P ハ物體內ニ一定セル着力點ナリ、曲線 ABC ハ P 點ノ道ナリ、直線 AC ハ其 displacement ナリ。

上式ニヨリ work ハ displacement S ト S ノ方向ニ於ケル力ノ component $F \cos \theta$ トノ乘積ニテ與ヘラル、モノトモ云フコトヲ得ヘシ。

$\theta < 90^\circ$ ナレバ W ハ正號ヲ有ス、此場合ニハ F ニヨリテ work ガナサレタルコトヲ示ス、 $\theta > 90^\circ$ ナレバ W ハ負號ヲ有ス、此場合ニハ力 F ニ逆ヒテ work ガ爲サレタルト云フ、 $\theta = 90^\circ$ ナレバ $W = 0$ 。

125. Work ノ單位.

I. 重力單位.

物體ガ 1 pound ノ力ノ作用ヲ受ケナガラ其力ノ方向ヘ 1 foot ノ displacement ヲナセル時其力ニヨリテ爲サレタル work ヲ work ノ單位トシ此單位ニテ測ラレタル work ハ幾 foot-pounds ト稱セララル。

物體ガ 1 kilogram ノ力ノ作用ヲ受ケナガラ其力ノ方向ヘ 1 metre ノ displacement ヲナセル時其力ニヨリテ爲サレタル work ヲ work ノ單位トシ其單位名ヲ kilogram-metre ト呼ブ。

II. 絶對單位.

物體ガ 1 poundal ノ力ノ作用ヲ受ケナガラ其力ノ方向ヘ 1 foot ノ displacement ヲナセル時其力ニヨリテ爲サ

レタル work ヲ work ノ單位トシ其單位名ハ foot-poundal ト呼ハル。

物體カ 1 dyne ノ力ニ働カレツ、其力ノ方向ヘ 1 centimetre ノ displacement ヲナセル時ニ其力ニヨリテ爲サレタル work ヲ work ノ單位トシ其單位名ヲ 1 erg ト呼フ、又 10^7 ergs ヲ 1 joule ト云フ。

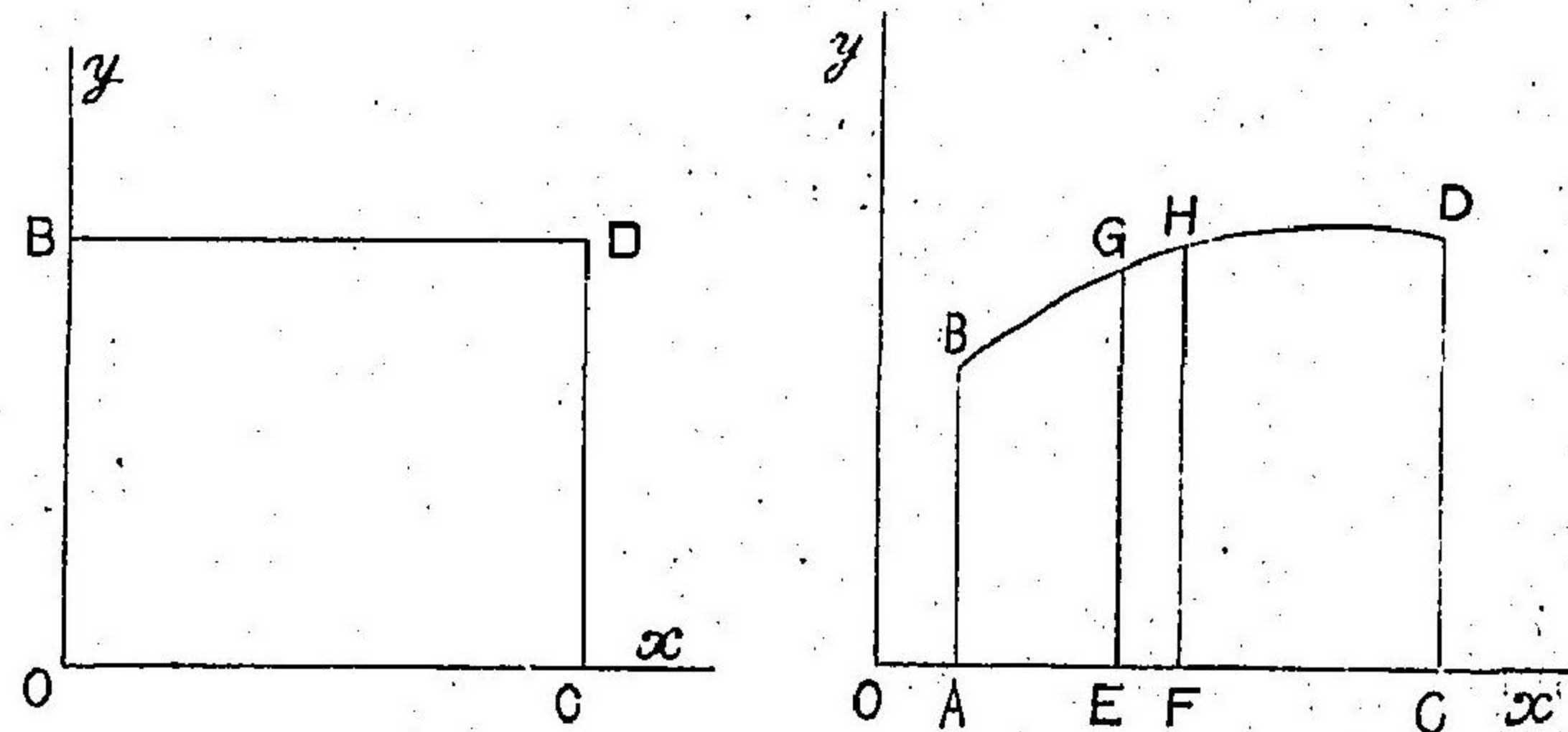
126. Power.

時間ニ對シ work ノ爲サル、割合ヲ Power ト云フ、重力單位ノ power ノ單位ハ 1 foot-pound per second, 或ハ 1 kilogram-metre per second ナリ、又絶對單位ニテハ 1 foot-poundal per second, 或ハ 1 erg per second ナリ、通常工業上ニ於テ用ヒラル、power ノ單位ハ horse-power 及 ビ watt ニシテ 1 horse-power ハ 550 foot-pounds per second, 即チ 3300 foot-pounds per second ナリ、又 1 watt ハ 10^7 ergs per second, 即チ 1 joule per second ナリ。

127. Work ノ Diagram.

物體カ一定ノ力 F ノ作用ヲ受ケツ、動ケル時其作用線ノ方向ニ於ケル displacement ノ component ヲ x 軸ニ沿フテ測リ之ヲ OC トス、 F ノ大サヲ y 軸ニ沿フテ測リ之ヲ OB トス、然ル時矩形 $BOCD$ ノ面積ハ此 displacement ノ間ニ F ニヨリテ爲サレタル work ヲ表ハスヘシ。

力ガ一定ナラサル場合ニモ displacement ヲ x 軸ノ方向ニ測リ、力ノ大サヲ y 軸ニ平行ニ測リテ畫ケル曲線 $BGHD$ ト、兩端 B, D ニ於ケル ordinates BA, DC ト x 軸ト



ノ間ノ面積 ABDCA ハ AC ナル displacement ノ間ノ work
ヲ表ハスベシ。

128. 數多ノ物體ヲ引キ揚ケル場合ノ work.

數多ノ物體ガ夫々異ナレル高サニ引キ揚ケラレタル
場合又ハ一物體ノ各部分ガ引キ揚ケラレタル高サ
異ナレル場合ニ爲サレタル work ノ全量ハ全重量ニ前
後ニ於ケル全部ノ重心ノ位置ノ間ノ鉛直距離ヲ乘セ
シモノニ等シ。

w_1, w_2, w_3 等ヲ夫々各物體ノ重量又ハ一物體各部ノ重
量トス全重量ヲ W トス引キ揚ケラレ、前ニ於テ或水
平面ヨリ各部ヘノ高サヲ夫々 h_1, h_2, h_3 等トシ全部ノ重
心ノ高サヲ H トス引キ揚ケラレシ後ニ於テ同一水平
面ヨリ各部ヘノ高サヲ夫々 k_1, k_2, k_3 等トシ全部重心ヘ
ノ高サヲ K トス、work ノ全量ヲ U トス。

$$U = w_1(k_1 - h_1) + w_2(k_2 - h_2) + w_3(k_3 - h_3) + \dots$$

即チ

$$U = (w_1 k_1 + w_2 k_2 + w_3 k_3 + \dots) - (w_1 h_1 + w_2 h_2 + w_3 h_3 + \dots)$$

重心ノ定義ニヨリ

$$WH = \sum wkh$$

$$WK = \sum wkh$$

故ニ

$$U = WK - WH$$

$$= W(K - H)$$

129. 廻轉ニ於ケル work.

固定軸ニ直角ナル平面上ニ力 P ガ働キテ物體ガ其
固定軸ヲ廻轉軸トシテ廻轉ヲ起ス時、軸ヨリ P ノ作用
線ニ至ル距離ヲ R トスレバ turning moment 即チ torque ハ
 PR ナリ、物體ガ θ radians 廻轉シ其間 P 及ビ R カ一定ナ
リシナラバ、此廻轉ノ間ニ P ニヨリテナサレタル work ハ

$$PR\theta \quad \text{即} \quad T\theta$$

但シ T ハ torque PR ナリ。

一廻轉ニ付テハ上式ヨリ

$$2\pi RP$$

n 廻轉ニ付テハ

$$2n\pi RP$$

130. Energy.

物體ガ其物體ニ働ケル力ニ逆ヒテ work ヲ爲シ得ル
時物體ハ Energy ヲ有スト云フ、energy ハ物體ガ work ヲ
ナシ得ル能ニシテ其量ハ爲シ得ル work ノ量ニヨリテ
表ハサル、モノナルヲ以テ work ト同一ノ單位ニテ表
ハサル。

131. Kinetic Energy.

Velocity ヲ有スル物體ハ其運動方向ニ反對ニ働ク力ニ逆ヒテ work ヲナスコトヲ得此 velocity ニ基ク energy ヲ Kinetic Energy ト云フ。

u feet per second ヲ以テ動キツ、アル重量 w 斤ノ質點ガ其運動方向ニ反對ニ F 斤ノ力ヲ受クレバ其點ノ受クル acceleration ハ

$$-\frac{F}{\frac{w}{g}} \text{ feet per sec. per sec.}$$

ナリ、velocity カ零トナル迄ニ動ケル道ヲ S トスレバ

$$-u^2 = -\frac{2FS}{\frac{w}{g}}$$

$$\therefore FS = \frac{1}{2} \frac{w}{g} u^2$$

FS ハ F ニ逆テ爲サレタル work ナリ故ニ此質點ガ u feet per second ノ大サノ velocity ヲ有スル時ニ其 velocity ヲ失フ迄ニ

$$\frac{1}{2} \frac{w}{g} u^2 \text{ foot-pounds}$$

ダケノ work ヲ爲シ得ヘシ即此質點ハ velocity u ヲ有スルガ爲ニ上式ニヨリ表ハサレタル kinetic energy ヲ有ス。物體ノ kinetic energy ヲ E トシ此物體ヲ組成スル質點ノ質量ヲ dm トシ其質點ノ velocity ヲ v トスレバ

$$E = \frac{1}{2} \sum dm v^2$$

Translation ヲナセル物體ニ付テハ v ノ値各質點ニ付同一ナルヲ以テ

$$E = \frac{1}{2} v^2 \sum dm \\ = \frac{1}{2} m v^2$$

但シ $m = \sum dm$.

W pounds ノ物體ガ v feet per sec. ノ velocity ヲ以テ translation ヲナセル時

$$E = \frac{1}{2} \frac{W}{g} v^2 \text{ foot-pounds.}$$

Rotation ヲナセル物體ニ付廻轉軸ヨリ r ナル距離ニアル質點 dm ノ kinetic energy ハ angular velocity ヲ ω トスレバ

$$\frac{1}{2} dm (r\omega)^2$$

全物體ニ付

$$E = \frac{1}{2} \sum dm (r\omega)^2 \\ = \frac{1}{2} \omega^2 \sum dm r^2 \\ = \frac{1}{2} I \omega^2$$

但シ I ハ廻轉軸ニ關スル物體ノ moment of inertia ナリ其 radius of gyration ヲ K トシ全質量ヲ m トスレバ

$$E = \frac{1}{2} m K^2 \omega^2$$

更ニ

$$K\omega = u$$

トスレバ

$$E = \frac{1}{2} m u^2$$

軸ヨリ κ ナル距離ニアル點ノ linear velocity ナルヲ以テ rotation ヲナセル物體ノ kinetic energy ハ rotation ノ軸ヨリ κ ナル距離ニ全質量ガ集合セルモノト見做セル場合ノ kinetic energy ニ等シ。

物體ノ重量ガ W pounds ナル時

$$E = \frac{1}{2} \frac{W}{g} \kappa \omega^2 \text{ foot-pounds.}$$

上式ニ於テ angular velocity ハ radians per second ニテ表ハサレタルモノナリ、若シ angular velocity カ N revolutions per minute ナル時ニハ

$$\begin{aligned} E &= \frac{1}{2} \frac{W}{g} \kappa^2 \left(\frac{2\pi N}{60} \right)^2 \\ &= \frac{2\pi^2 N^2}{60^2} \frac{W}{g} \kappa^2 \text{ foot-pounds.} \end{aligned}$$

Plane motion [ハ instantaneous rotation ナルヲ以テ instantaneous axis ニ關スル moment of inertia ヲ I トスレバ

$$E = \frac{1}{2} I \omega^2$$

ヲ instantaneous axis ト centre of mass トノ間ノ距離トシ、 \bar{I} ヲ instantaneous axis ニ平行ニシテ centre of mass ヲ通ズル軸ニ關スル moment of inertia トス、 \bar{v} ヲ centre of mass ノ linear velocity トスレバ

$$E = \frac{1}{2} I \omega^2$$

$$= \frac{1}{2} \bar{I} \omega^2 + \frac{1}{2} m \bar{v}^2 \omega^2$$

$$= \frac{1}{2} \bar{I} \omega^2 + \frac{1}{2} m \bar{v}^2$$

但シ m ハ全質量ナリ。

物體ノ重量 W pounds シテ、centre of mass ヲ通ズル軸ニ關スル radius of gyration ガ κ ナル時

$$E = \frac{W \kappa^2 \omega^2}{2g} + \frac{W \bar{v}^2}{2g} \text{ foot-pounds.}$$

右邊ノ第一項ハ物體ガ centre of mass ヲ通ズル直線ヲ軸トシテ rotation ヲナセル場合ノ kinetic energy ニ相當シ、第二項ハ物體ガ velocity \bar{v} ニテ translation ヲナセル場合ノ kinetic energy ニ相當ス。

132. Potential Energy.

物體ガ運動シツ、アラザル時モ、或狀況ノ下ニアル物體ハ力ニ逆ヒテ work ヲナシ得ル能即チ energy ヲ有ス例ヘバ互ニ引カヲ働クニ物體ガ互ニ相接近シ得ル如キ位置ニアル時、或ハ壓縮又ハ伸張サレタル spring ガ自然状態ニ復シ得ルガ如キ狀況ニアル場合ノ如シ、此クノ如ク物體ノ configuration ニ基ケル energy ヲ Potential energy ト云フ。

或 configuration ニ於ケル potential energy ハ其 configuration ヨリ標準ノ configuration へ變化スル間ニ爲シ得ル work ニテ測ラル、其標準 configuration ハ任意ニ撰ビ得ルモ通常ハ他ノ configuration ニ於ケル potential energy ガ正號トナル如クニ撰バル、モノトス。

或 configuration ヨリ標準ノ configuration ニ至ル間ニ external forces ニ逆テ爲サル、work ハ internal forces ニヨリ

テ爲サル、workニ等シ。

何ントナレバ後節述ブル如ク configurationノ變化ノ間ニ於テ internal 及ビ external forcesニヨリテ爲サレタル workハ其 systemノ kinetic energyノ増加ニ等シキモノナリ、然ルニ今ノ場合ニ於テ或 configurationニ於ケル potential energyハ各質點ノ velocityノ變化ヲ生ゼシメズニ、即チ其 systemノ kinetic energyノ變化ヲ生ゼシメズニ、其 configurationヨリ標準ノ configurationニ至ル間ニ external forcesニ逆テ爲サル、workナルヲ以テ internal 及ビ external forcesニヨリテ爲サル、workヲ夫々 w_i 及ビ w_e トスレバ

$$w_i + w_e = 0$$

ナラザル可ラズ、故ニ

$$w_i = -w_e$$

$-w_e$ ハ external forcesニ逆テ爲サレタル work 即チ初メノ configurationニ於ケル potential energyナリ、故ニ或 configurationニ於ケル potential energyハ其 configurationヨリ標準ノ configurationニ至ル間ニ internal forcesニヨリテ爲サル、workニ等シ。

133. Conservative Forces.

Configurationノ或變化ノ間ニ internal forcesニヨリ爲サレタル workハ其變化ガ如何ナル道ヲ經テ行ハレタルカニ關係無キコトアリ、又關係スルコトアリ、關係無キ場合ニ其等 internal force-pairs (action 及ビ reaction)ハ con-

servative forcesナリト云フ其變化ガ如何ニ行ハレタルカ其方法ニヨリテ workガ異ナレル場合ニ其等 internal force-pairsヲ名ケテ non-conservative forcesナリト云フ物體間ニ働ケル引力ノ如キハ conservative forceナリ、一般ニ conservative forcesノ性質トシテ其等力ノ作用ヲ受クル質點ノ velocityニ無關係ナリ、non-conservative forcesハ其大サ或ハ方向ガ其作用ヲ受クル質點ノ velocityニ關係ス、frictionハ non-conservative forceナリ、常ニ物體ノ運動方向ニ反對ニ作用スルモノナリ。

134. Work ト Kinetic Energy.

一個ノ質點ニ付、其點ノ或 displacementノ間ニ其點ニ働ケル諸力ニヨリテ爲サレタル workヲ W トスレバ、其 workハ悉ク其點ノ kinetic energyノ増加 ΔE_k トナル、即チ

$$W = \Delta E_k$$

數多ノ質點ノ任意ノ systemニ付テハ internal、及ビ external forcesニヨリテ爲サレタル workハ、上式ニ與ヘラレタル關係ガ各質點ニ付成立スルヲ以テ、其 systemノ kinetic energyノ増加トナルベシ、external、及ビ internal workヲ夫々 W_e 及ビ W_i トシ、systemノ kinetic energyノ増加ヲ ΔE_k トスレバ

$$W_e + W_i = \Delta E_k$$

剛體ニ付テハ各質點相互間ノ距離一定不變ナルヲ以テ

$$W_i = 0$$

故 =

$$W_e = \Delta E_k$$

135. Conservative System = 付 Work と Energy.

Conservative system ノ任意 displacement ノ間ニ, external force ニヨリテ其 system ノ上ニ爲サレタル work ハ, 其 system ノ kinetic energy ノ増加ト potential energy ノ増加トニナル, 即チ potential energy ノ増加ヲ ΔE_p トスレバ

$$W_e = \Delta E_k + \Delta E_p$$

何ントナレバ C_1 及ビ C_2 ヲ夫々 initial 及ビ final configuration トシ, C_0 ヲ標準ノ configuration トス, 又 E_p' 及ビ E_p'' ヲ以テ夫々 C_1 及 C_2 ニ於ケル potential energy トス, 然ル時 C_1 ヨリ C_0 へ displacement ノ間ニ internal forces ニヨリテ爲サレタル work ハ E_p' ナリ, 同様ニ C_2 ヨリ C_0 へノ work ハ E_p'' ナリ, 故ニ C_1 ヨリ C_2 へノ變化ノ間ニ internal forces ニヨリ爲サレタル work ハ

$$E_p' - E_p''$$

故 = 前節ニヨリテ

$$W_e + (E_p' - E_p'') = \Delta E_k$$

即チ

$$\begin{aligned} W_e &= \Delta E_k + (E_p'' - E_p') \\ &= \Delta E_k + \Delta E_p \end{aligned}$$

External forces ニヨリテ爲サレタル work ガ正號ノモノナレバ system ハ energy ヲ得, work ガ負號ノモノナレバ system ハ energy ヲ損ス, 更ニ換言スレバ positive work ガ system ノ上ニ爲サレタルコトハ其 work ト同量ノ energy

ヲ増加セシコトヲ表ハシ, positive work ガ system ニヨリテ爲サレタルコトハ其 work ト同量ノ energy ヲ損ゼシコトヲ示スモノナリ.

136. Energy ノ Conservation.

Potential energy ト kinetic energy トヲ mechanical energy ト云フ, 此外ニ熱ノ energy, 電氣ノ energy 等アリ.

他ノ system ト關係ヲ有セザル或 material system ガ其状態ヲ變ズル時, 如何ナル變化ニ於テモ其 system ノ有スル energy ノ總和ハ一定不變ナリ, 即 energy ハ indestructible ナリ.

conservative system ニ付テハ前節ヨリ

$$\Delta E_k + \Delta E_p = 0$$

何ントナレバ單獨ニ存在セル場合ナルヲ以テ W_e ハ零ナルヲ以テナリ, 故ニ此場合ニハ任意ノ變化ノ間ニ於テ potential energy ト kinetic energy トノ和ハ一定不變ナリ.

或 material system ガ孤獨ニ存在セズシテ他ノ system ト關聯セル場合ニハ, 一方ノ system ガ或量ダケ energy ヲ増セシナラバ他方ノ system ハ其ト同額ノ energy ヲ減ズベシ, 即チ此兩 systems ヲ更ニ一個ノ system ト見レバ其 energy ノ總和ハ一定ナリ.

137. 機械ニヨリ移サル、Energy.

機械ハ或物體 A ヨリ他ノ物體 B へ energy ノ傳達ヲナスモノナリ, 傳達ノ際 energy ノ形式ヲ變ズルコトアリ, 變ゼザルコトアリ, 例ヘバ A ヨリ mechanical energy ヲ受取り, 其形式ヲ變ゼズ mechanical energy ノ儘 B へ傳達ス

ルコトアリ、又ハ其形式ヲ變ジテ他種ノ energy, 例ヘバ
電氣ノ energy, 又ハ熱ノ energy 等ノ形ヲ以テ B = 傳フ
ルコトアリ。

機械ガ A ヨリ受取リタル energy ヲ input ト云ヒ、B へ
與フル energy ヲ output ト云フ、或瞬時ニ於テ機械ノ有ス
ル energy ヲ其瞬時ニ於ケル stored energy ト云フ、摩擦等
ノ爲 A ヨリ受ケタル energy ヲ、少シモ減スルコト無ク、
之ヲ B へ移スコト能ハズシテ、他ノ方面へ放散セラル
、モノアリ、之ヲ lost energy ト云フ。

E_i ヲ input, E_o ヲ output, E_l ヲ loss, ΔE_s ヲ機械ノ stored
energy ノ増加トスレバ, energy 不減ノ法則ニヨリテ

$$E_i - (E_o + E_l) = \Delta E_s$$

即チ

$$E_i = E_o + E_l + \Delta E_s$$

若シモ $\Delta E_s = 0$ ナラバ

$$E_i = E_o + E_l$$

138. Efficiency.

前節ニヨリ

$$E_i = E_o + E_l$$

此場合ニ於テ E_o ト E_i トノ比ヲ其機械ノ efficiency ト云
フ, efficiency ヲ η トスレバ

$$\eta = \frac{E_o}{E_i}$$

η ハ常ニ 1 ヨリ小ナリ、唯 E_l ガ無キ場合ノミニ 1 トナ
ルベシ。

第拾貳章

衝突

139. 弾性體衝突ニ付 Newton ノ法則.

Newton ハ實驗ニヨリ、同一直線上ヲ動キツ、アル同
一材料ヨリ成レル二個ノ球體ガ衝突セル場合ニ、衝突
後ノ relative velocity ト衝突前ノ relative velocity トノ比ハ
其材料ニヨリテ異ナルモ、其質量ニ關係セズ、且衝突前
ノ各ノ velocity ニモ關係セズ、而シテ relative velocity ノ方
向ハ衝突前後ニ於テ反對ナルコトヲ知リタリ、此比ヲ
通常 e ヲ以テ示ス、 u 及ビ v ヲ夫々衝突前ニ於ケル二
球 A 及ビ B ノ velocity トシ、 u' 及ビ v' ヲ夫々衝突後ニ
於ケル二球ノ velocity トスレバ、上記ノ法則ハ次式ニテ
表ハサル。

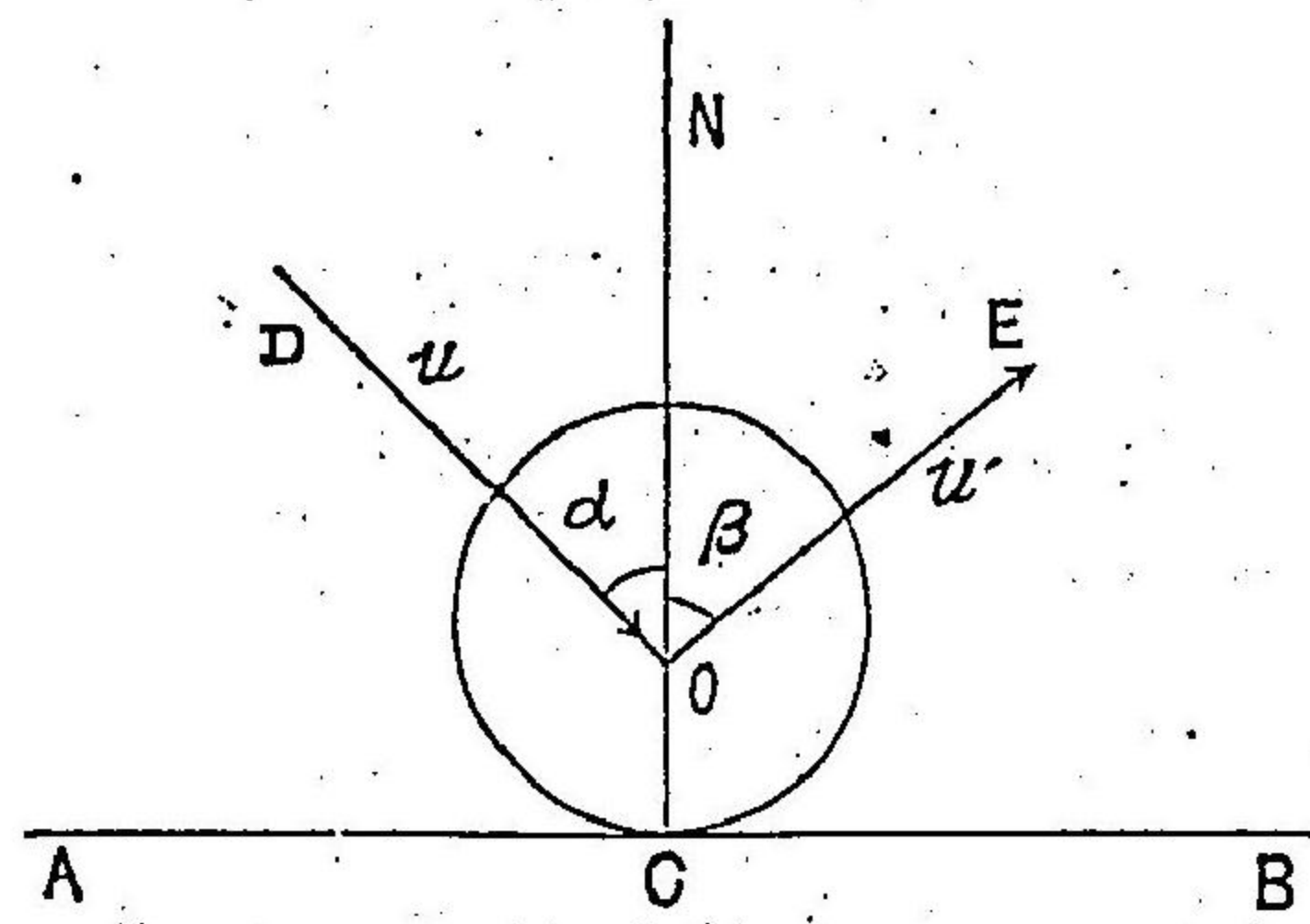
$$-\frac{u' - v'}{u - v} = e$$

e ヲ coefficient of restitution ト云フ、 e ハ通常 1 ヨリ小ナリ、
 $e = 1$ ナルモノヲ perfectly elastic body ト云ヒ、 $e = 0$ ナルモ
ノヲ non-elastic body ト云フ、上式ニ於ケル負號ハ relative
velocity ノ方向ガ前後ニ於テ反對トナルコトヲ示セル
モノナリ、若シモ u ガ v ヨリ大ナレバ u' ハ v' ヨリ小ナ
ルベシ、 e ノ値ハ大略次ノ如シ。

硝子	0.94	cast-iron	0.66
象牙	0.81	鉛	0.20
cork	0.65		

140. 固定表面へ球ノ衝突.

球ノ質量ヲ m トス, 衝突前後ニ於ケル球ノ velocity ヲ夫々 u 及ビ u' トス, AB ハ固定表面ニシテ C ハ接觸點ナリ, CN ハ AB へノ垂線ニシテ球ノ中心 O ヲ通ス, DO ハ u ノ方向, OE ハ u' ノ方向ヲ表ハス, u ガ NO トナセル角ヲ α トシ, u' ガ ON トナセル角ヲ β トス.



接觸面ニ摩擦無シトスレバ, 接觸面ニ tangential force 無シ故ニ AB へ平行ナル component velocity ハ變化ヲ受ケズ故ニ

$$u \sin \alpha = u' \sin \beta \dots\dots\dots(1)$$

AB へ normal ナル component ハ, AB へ固定セルヲ以テ v 及ビ v' ガ零ナルガ故ニ

$$u' \cos \beta = eu \cos \alpha \dots\dots\dots(2)$$

(1) ト (2) トヨリ

$$u' = u \sqrt{\sin^2 \alpha + e^2 \cos^2 \alpha}$$

又

$$\cot \beta = e \cot \alpha$$

表面 AB へノ pressure ノ impulse ハ球ノ受クルモノト大サ等シク方向反對ナリ故ニ AB へノ pressure ノ impulse ノ大サハ球ノ AB へ直角ノ momentum ノ變化ニテ測ラル, 即チ

$$\begin{aligned} \text{blow ノ impulse} &= mu \cos \alpha + mu' \cos \beta \\ &= m(1+e)u \cos \alpha \end{aligned}$$

若シモ $\alpha=0$ ナレバ

$$\beta=0, \quad u' = eu$$

$e=1$ ナル時

$$\beta=\alpha, \quad u' = u$$

$e=0$ ナレバ

$$\beta=90^\circ, \quad u' = u \sin \alpha$$

141. 同一直線上ヲ動キツ、アル二球ノ衝突.

兩球ハ同一ノ方向へ動キツ、アルモノトシ, 質量ヲ夫々 m_1 及ビ m_2 トス, 衝突前後ニ於ケル m_1 ノ velocity ヲ夫々 u, u' トシ, m_2 ノ velocity ヲ夫々 v, v' トス.

$$u' - v' = -e(u - v) \dots\dots\dots(1)$$

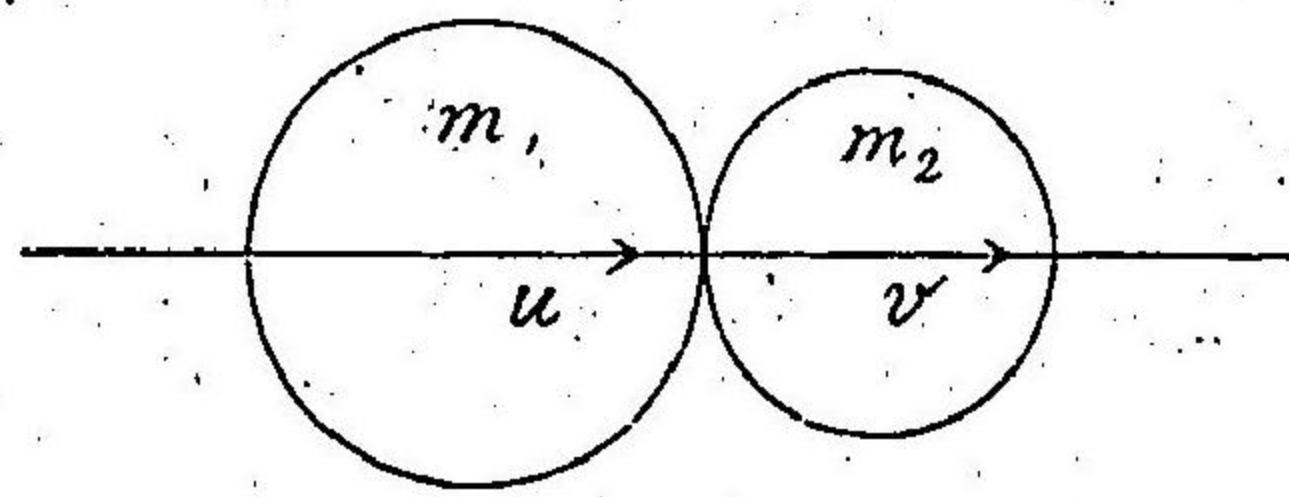
又 momentum ノ總和ハ衝突前後ニ於テ變ゼザルモノナルヲ以テ

$$m_1 u' + m_2 v' = m_1 u + m_2 v \dots\dots\dots(2)$$

(1) ト (2) トヨリ

$$\left. \begin{aligned} (m_1 + m_2)u' &= (m_1 - em_2)u + m_2(1+e)v \\ (m_1 + m_2)v' &= m_1(1+e)u + (m_2 - em_1)v \end{aligned} \right\}$$

此兩式ヨリ u' 及ビ v' ヲ得ベシ.



又 m_1 ノ上ヘ blow ノ impulse ハ

$$m_1(u - u') = \frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2} (1+e)(u - v)$$

m_2 ノ上ヘ blow ノ impulse ハ之ト大サ等シク方向反對ナリ.

若シモ $m_1 = m_2$, 且 $e = 1$ ナレバ

$$u_1 = v, \quad v' = u$$

又 $e = 0$ ナレバ

$$u' = v' = \frac{m_1 u + m_2 v}{m_1 + m_2}$$

142. 二球ガ斜ニ衝突セル場合.

質量 m_1 ナル球ガ velocity u ヲ以テ質量 m_2 , velocity v ナル他ノ球ニ斜ニ衝突セル場合ヲ考フ, 兩球ガ衝突接觸セル際其兩者ノ中心ヲ結ベル直線ヲ AB トス, u 及ビ v ガ AB トナセル角ヲ夫々 α, β トス, 衝突後ニ於ケル m_1 , m_2 ノ velocity ヲ夫々 u' 及ビ v' トシ, u' 及ビ v' ガ AB トナセル角ヲ夫々 θ 及ビ ϕ トス, 然ル時

$$u' \sin \theta = u \sin \alpha \dots\dots(1)$$

$$v' \sin \phi = v \sin \beta \dots\dots(2)$$

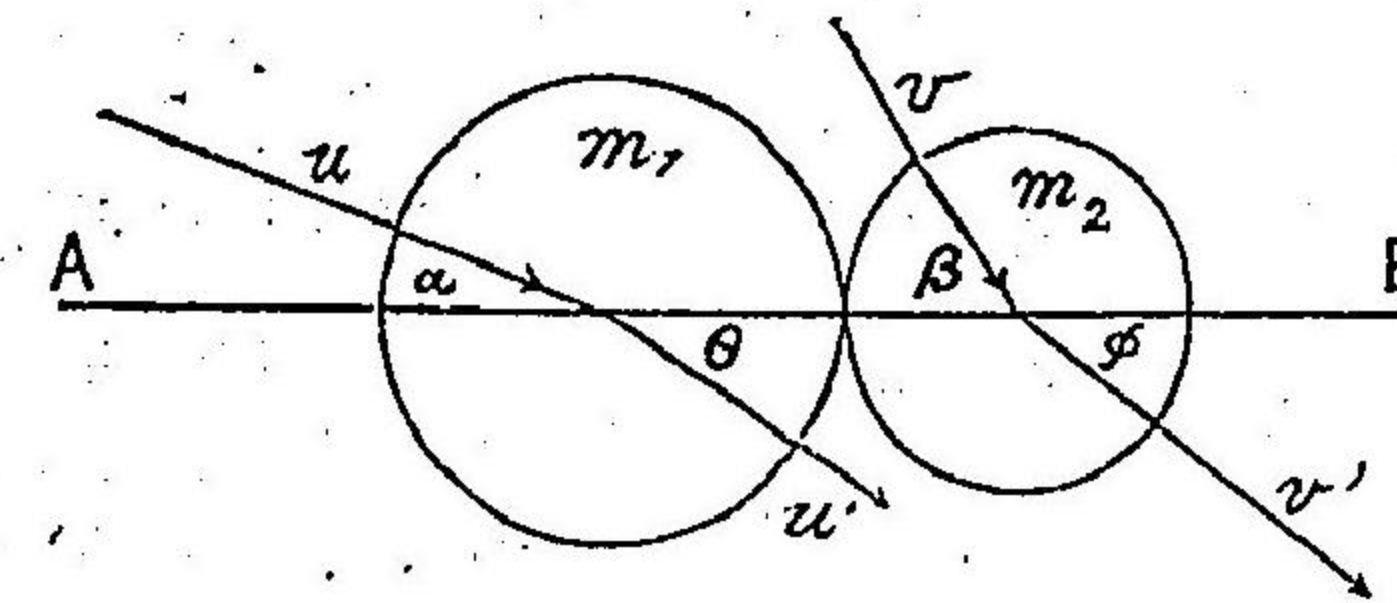
$$u' \cos \theta - v' \cos \phi = -e(u \cos \alpha - v \cos \beta) \dots\dots(3)$$

又 momentum ノ關係ヨリ

$$m_1 u' \cos \theta + m_2 v' \cos \phi = m_1 u \cos \alpha + m_2 v \cos \beta \dots\dots(4)$$

(1), (2), (3), (4) ノ四式ヨリ u', v', θ, ϕ ハ定メラル, (3) = m_2 ヲ乘シテ (4) = 加フレバ

$$u' \cos \theta = \frac{(m_1 - em_2)u \cos \alpha + m_2(1+e)v \cos \beta}{m_1 + m_2} \dots\dots(5)$$



(3) = m_1 ヲ乘シテ (4) ヲ減スレバ

$$v' \cos \phi = \frac{m_1(1+e)u \cos \alpha + (m_2 - em_1)v \cos \beta}{m_1 + m_2} \dots\dots(6)$$

(1) ノ平方 = (5) ノ平方ヲ加フレバ u' ヲ得, (1) ヲ (5) = テ除スレバ $\tan \theta$ ヲ得ベシ, 同様 = (2) ト (6) トヨリ v' 及ビ $\tan \phi$ ヲ得ベシ.

m_1 ノ上ヘ blow ノ impulse ハ

$$m_1(u \cos \alpha - u' \cos \theta) = \frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2} (1+e)(u \cos \alpha - v \cos \beta)$$

m_2 ノ上ヘ blow ノ impulse ハ之ト大サ等シク方向反對ナリ.

若シモ $v=0$ ナレバ

$$\phi=0$$

$m_1=m_2$ 且 $e=1$ ナレバ

$$u' \cos \theta = v \cos \beta$$

$$v' \cos \phi = u \cos \alpha$$

143. 衝突ニ基ク kinetic energy ノ損失.

先ヅ二球ガ同一直線上ヲ動キツ、アツシ場合ヲ考フレバ

$$m_1 u' + m_2 v' = m_1 u + m_2 v \dots\dots(1)$$

$$u' - v' = -e(u - v) \dots\dots(2)$$

(2)ノ平方ニ $m_1 m_2$ ヲ乘シ之ヲ (1)ノ平方ニ加フレバ

$$\begin{aligned} (m_1^2 + m_1 m_2)u'^2 + (m_2^2 + m_1 m_2)v'^2 \\ = (m_1 u + m_2 v)^2 + e^2 m_1 m_2 (u - v)^2 \end{aligned}$$

即チ

$$\begin{aligned} (m_1 + m_2)(m_1 u'^2 + m_2 v'^2) \\ = (m_1 u + m_2 v)^2 + m_1 m_2 (u - v)^2 - (1 - e^2) m_1 m_2 (u - v)^2 \\ = (m_1 + m_2)(m_1 u^2 + m_2 v^2) - (1 - e^2) m_1 m_2 (u - v)^2 \end{aligned}$$

故ニ

$$\begin{aligned} \frac{1}{2} m_1 u'^2 + \frac{1}{2} m_2 v'^2 \\ = \frac{1}{2} m_1 u^2 + \frac{1}{2} m_2 v^2 - \frac{1 - e^2}{2} \frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2} (u - v)^2 \end{aligned}$$

故ニ衝突ニヨリテ kinetic energy ノ損失ハ

$$\frac{1 - e^2}{2} \frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2} (u - v)^2$$

ナリ、 $e=1$ ナル場合ニハ此頃ハ消失ス、即チ完全ナル彈

性體ニ付テハ衝突ノ爲 kinetic energy ノ損失無シ.

次ニ斜ニ衝突セル場合ヲ考フルニ前ト同様ニシテ

$$\frac{1}{2} m_1 u'^2 \cos^2 \theta + \frac{1}{2} m_2 v'^2 \cos^2 \phi = \frac{1}{2} m_1 u^2 \cos^2 \alpha + \frac{1}{2} m_2 v^2 \cos^2 \beta$$

$$- \frac{1 - e^2}{2} \frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2} (u \cos \alpha - v \cos \beta)^2 \dots(3)$$

又 $u' \sin \theta = u \sin \alpha$ 、及ビ $v' \sin \phi = v \sin \beta$ ナルヲ以テ

$$\frac{1}{2} m_1 u'^2 \sin^2 \theta + \frac{1}{2} m_2 v'^2 \sin^2 \phi = \frac{1}{2} m_1 u^2 \sin^2 \alpha + \frac{1}{2} m_2 v^2 \sin^2 \beta \dots\dots(4)$$

(3)ト(4)トヲ加フレバ

衝突後ノ kinetic energy = 衝突前ノ kinetic energy

$$- \frac{1 - e^2}{2} \frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2} (u \cos \alpha - v \cos \beta)^2$$

故ニ $e=1$ ノ場ヲ除キテハ kinetic energy ノ損失アリ、此 energy ハ主トシテ熱ノ energy トナル.

144. 彈性體衝突時間中ニ於ケル作用.

二個ノ彈性體ガ衝突セル時其衝突中ノ時間ヲ二部分ニ區分スルコトヲ得、最初ノ部分ハ兩者互ニ壓迫スル時間ニシテ、後ノ部分ハ兩者ガ其形狀ヲ恢復セントスル時間ナリ、壓迫ヲ終リ將ニ復歸ヲ始メントスル瞬時ニハ兩者共通ノ velocity ヲ有ス、衝突ノ前部分ニ働ケル力ヲ compression ノカト云ヒ、後ノ部分ニ働ケル力ヲ restitution ノカト云フ.

同一直線上ヲ動ケル球體ガ衝突セル場合ニ於テ、 U ヲ以テ衝突時間中ノ或瞬時ニ於テ兩球體ガ共通ニ有スル velocity トスレバ、 m_1 ナル球ニヨリ失ハレタル momentum ハ

$$m_1(u-U)$$

又 m_2 為得タル momentum ヲ

$$m_2(U-v)$$

故 = compression ノ力ノ impulse ヲ I トスレバ

$$I = m_1(u-U)$$

$$= m_2(U-v)$$

故 =

$$\frac{I}{m_1} + \frac{I}{m_2} = u - U + U - v$$
$$= u - v \dots \dots \dots (1)$$

又 restitution ノ間ニ m_1 ノ失ヘル momentum ヲ

$$m_1(U-u')$$

m_2 ノ得タル momentum ヲ

$$m_2(v'-U)$$

故 = I' ヲ restitution ノ力ノ impulse トスレバ

$$I' = m_1(U-u')$$

$$= m_2(v'-U)$$

$$\frac{I'}{m_1} + \frac{I'}{m_2} = U - u' + v' - U$$
$$= v' - u' \dots \dots \dots (2)$$

故 = (1) ト (2) トヨリ

$$\frac{I'}{I} = \frac{v' - u'}{u - v} = e$$

故 =

$$I' = eI$$

明治四拾四年十一月一日發行
明治四拾四年十月廿五日印刷

著作兼發行者

商船學校

東京市深川區越中島八番地

代表者 商船學校長 石橋甫

印刷人

田村茂太郎

東京市神田區皆川町二番地

印刷所

田村印刷所

東京市神田區皆川町二番地

